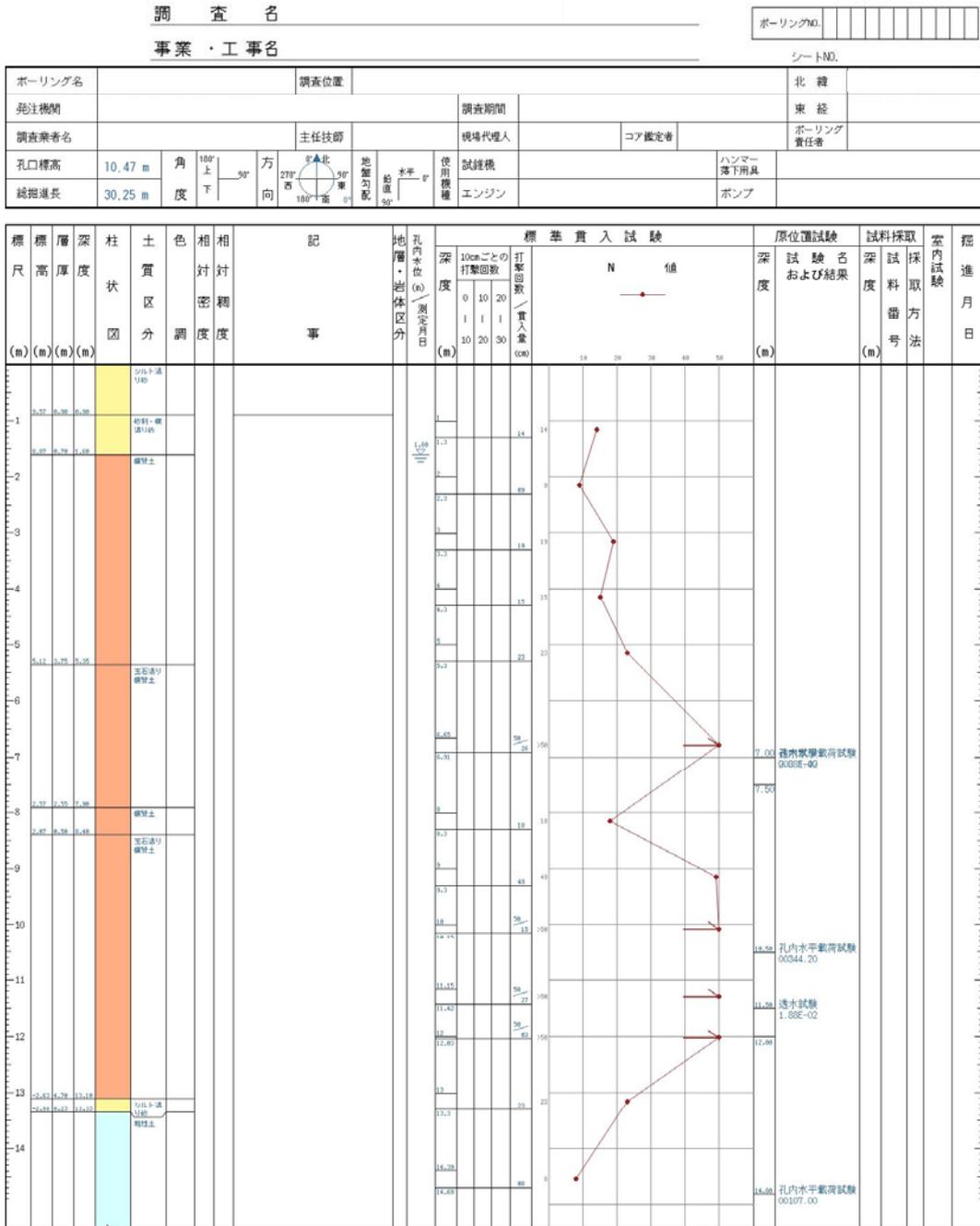
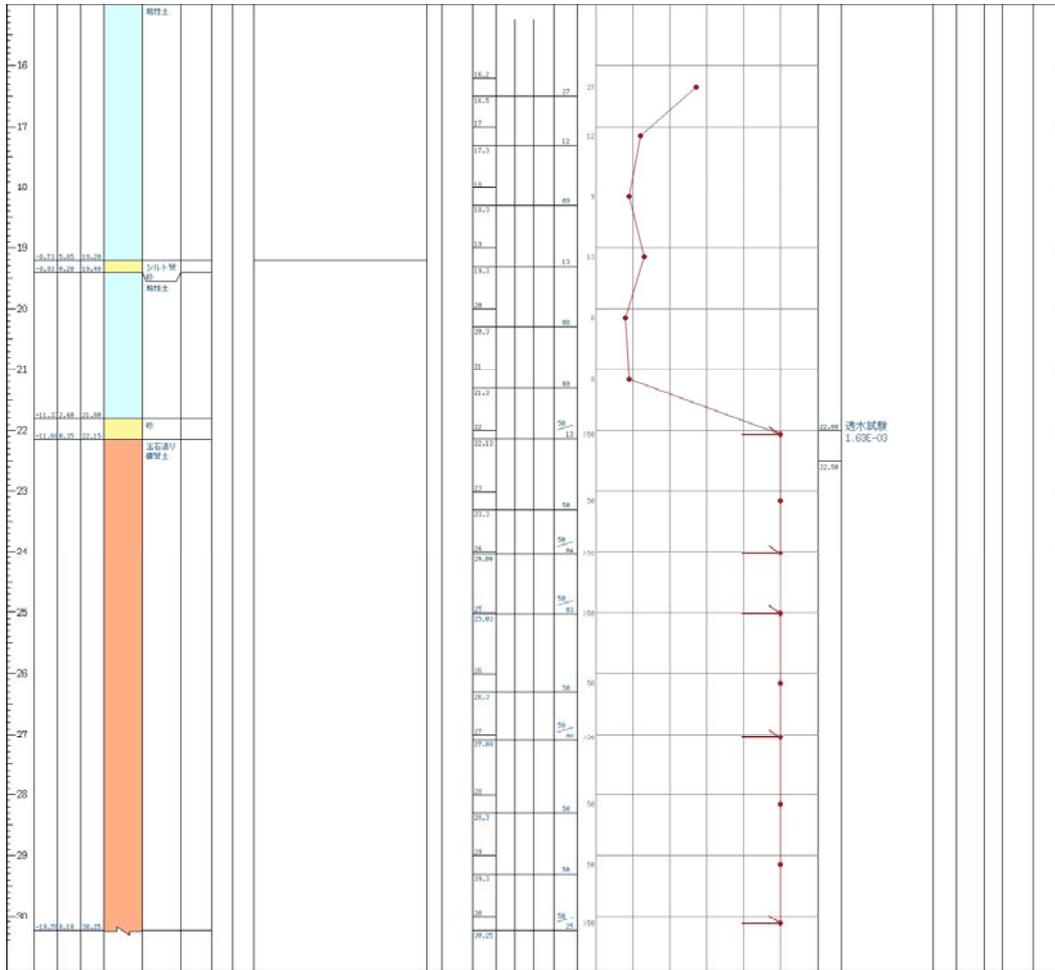


ボーリング柱状図



(参考55-1)



ボーリング柱状図

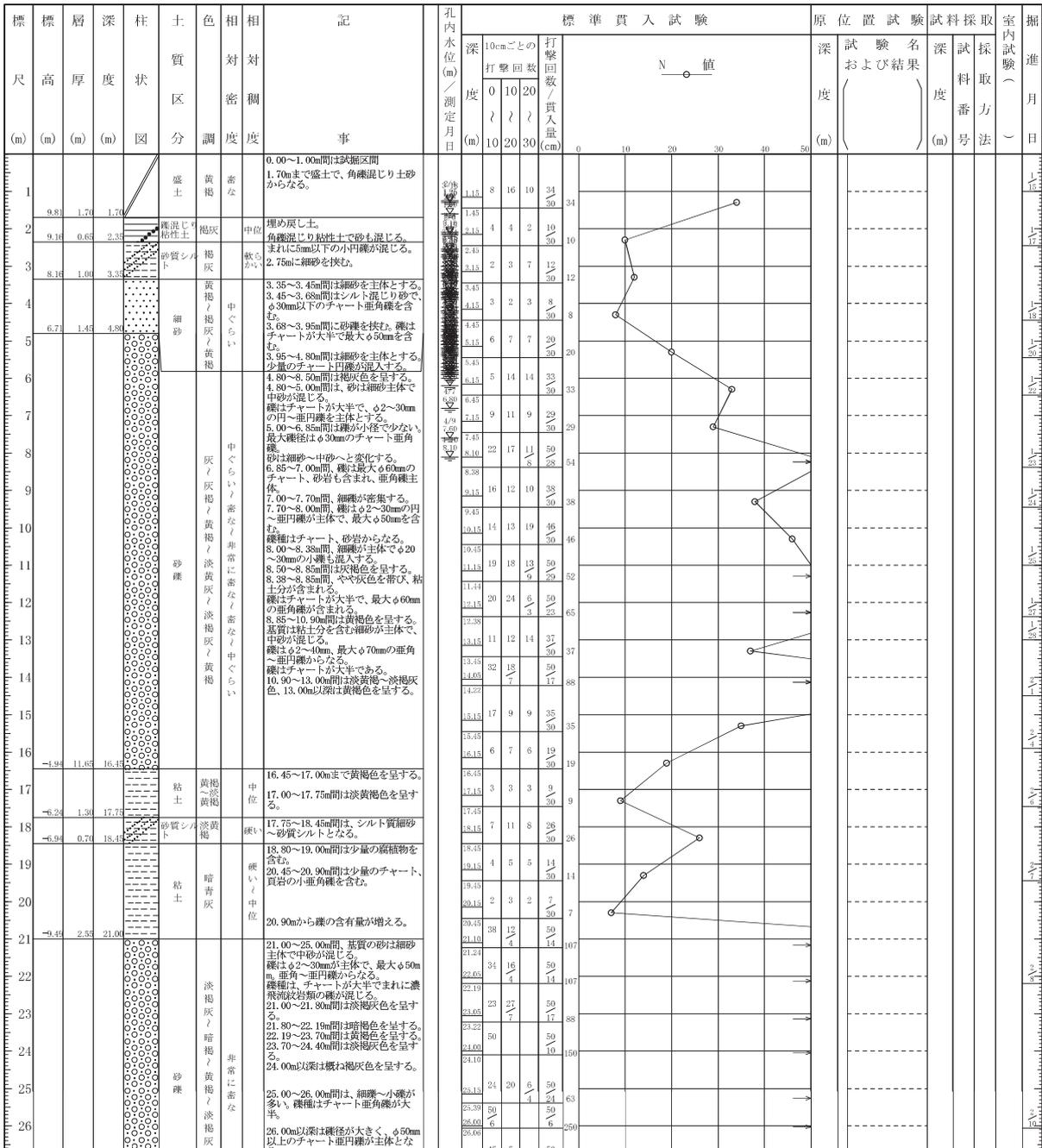
調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

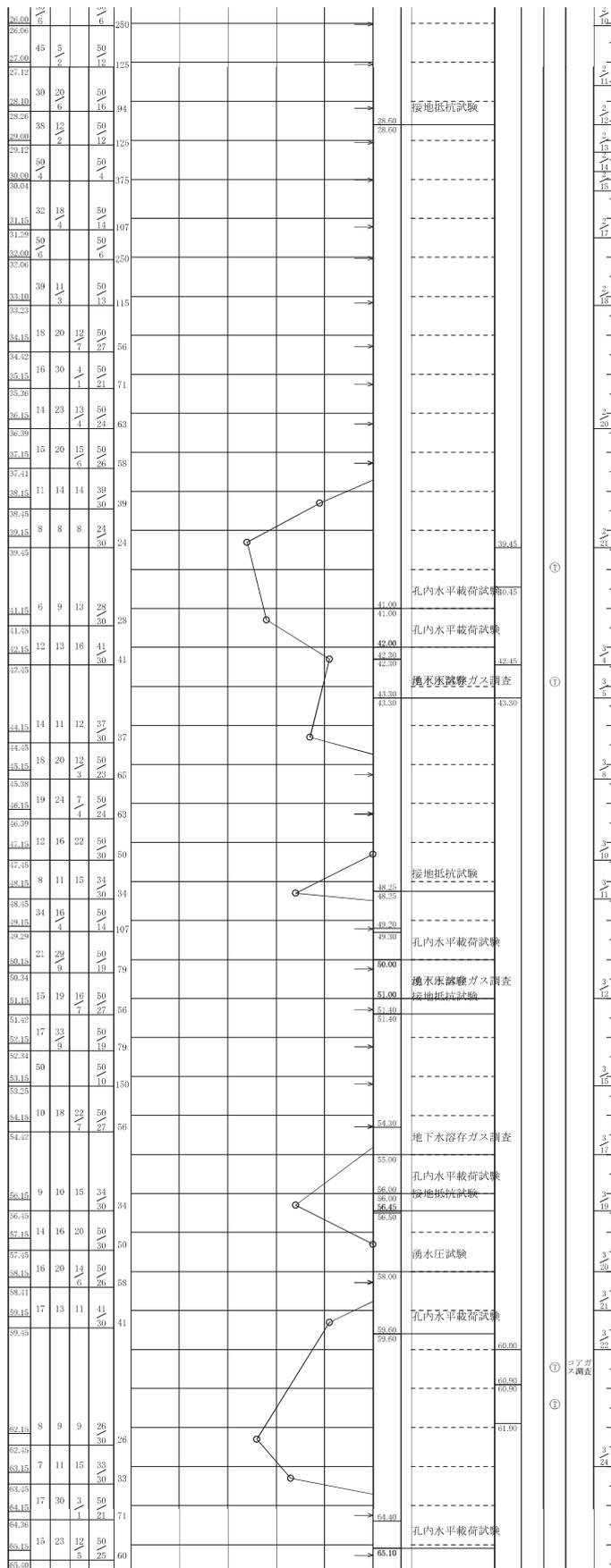
事業・工事名

シートNo

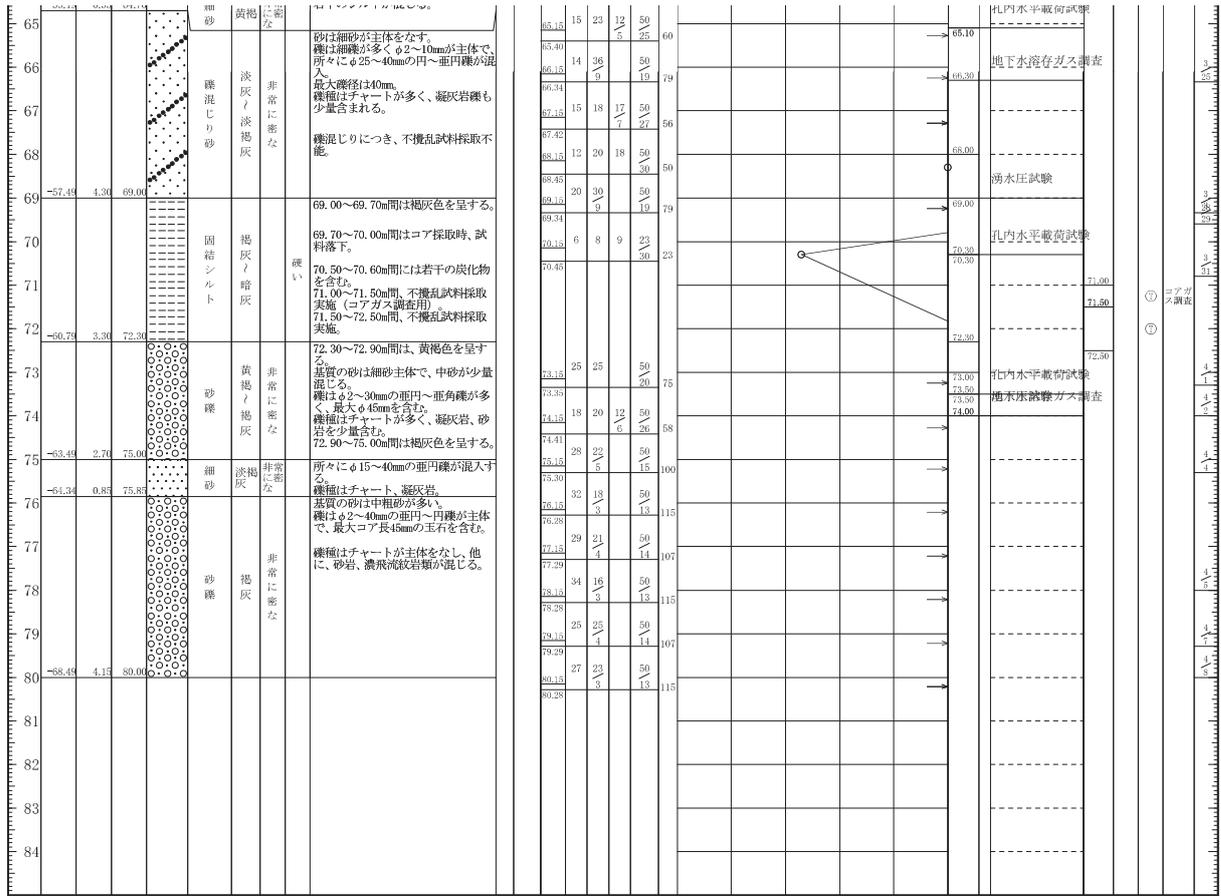
ボーリング名	調査位置			北緯						
発注機関	調査期間			東経						
調査業者名	主任技師		現代場	ボーリング責任者						
孔口標高	11.51m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 180° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 90°	使用機種	コア 鑑定者	ハンマー 落下用具
総掘進長	80.00m	度		向		配		エンジン		ポンプ



26			淡褐色 褐灰		半。 26.00m以深は礫径が大きく、φ50mm以上のチャート亜円礫が主体となる。 26.50~28.70m間、基質の砂は中砂主体で粗砂が混じる。まれに玉石が混入する(26.9m地点、φ90mm)。	
27						
28						
29	-17.19	7.70	28.70	玉石混じり砂礫	非常に密な	基質の砂は中砂~粗砂が主体。礫はφ40~50mm程度の亜円礫が多い。 玉石はコア長で170mm、220mmに達する。 玉石は濃黄褐色岩類が多く、チャートの礫も含まれる。 30.00~30.70m間はCTによるコア採取で、礫率が非常に高いことが窺える。 30.70~33.00m間は細粒分の大半が流失している。 31m地点、標準貫入試験試料落下。
30						
31						
32						
33	-21.94	4.73	33.47	礫混じり砂	非常に密な	砂は細砂が主体で、中粗砂が混じる。礫は細礫が多くφ2~15mm主体で、まれにφ30mm程度を混入する。礫種はチャートが大半で、亜円~亜角礫を示す。
34						
35	-24.14	2.20	35.63	粗砂	非常に密な	中粗砂が主体をなす。礫はφ20mm程度の亜円礫(チャート)を混入する。 37.75~38.00m間は、強い酸化が見られ、橙褐色を呈する。
36						
37						
38	-26.64	2.50	38.14	固結シルト	硬い	灰色を呈した固結シルト。 39.45~40.45m間、不攪乱試料採取実施。
39						
40	-28.85	2.23	40.41	砂質シルト	硬い	40.80m地点、幅30cmで褐色化し強い礫が見られる。 40.70~40.90m間は少量の炭化物が混入する。
41	-29.94	1.05	41.46	細砂	中くらい	細砂主体で、中砂が少量混じる。 42.45~43.30m間、不攪乱試料採取実施。
42						
43	-31.94	2.00	43.45	礫混じり砂	密な	砂は細砂主体で、中粗砂が混じる。礫は細礫主体、礫種は、チャートが大半で、亜角礫も含まれる。 44.25~44.90m間は細砂主体。
44						
45	-32.74	0.80	44.25	砂	非常に密な	44.90~46.39m間は細礫が混じる。まれにφ20mmが混じる。 礫はチャート亜円礫からなる。 45.00~45.15m間は淡灰色シルトを含む。 46.39~47.00m間は細砂主体、細礫が少量混じる。
46						
47	-35.43	2.73	47.00	礫混じり砂	非常に密な中くらい	砂は細砂が主体。礫はφ2~30mmの亜角~亜円礫。 礫種はチャートが多く、所々に石灰~灰白色を呈する凝灰質シルトの軟質化の礫を含む。
48						
49	-37.35	1.50	48.90	砂礫	非常に密な	基質の砂は細砂が主体で、中粗砂が混じる。礫はφ2~40mmの亜円~亜角礫からなる。 礫種はチャートが大半で、所々に軟質化した凝灰質シルト~粘土礫を含む。
50						
51						
52						
53						
54	-42.35	5.00	53.90	固結シルト	非常に硬い	53.90~55.60m間、砂はシルト混じり細砂が主体。 礫は少量であるが、まれにφ40mm前後のチャート亜円礫、φ10mm程度の軟質化凝灰質粘土礫が混入する。 55.50~58.00m間、砂は細砂主体となるが、礫の含有量が増える。 礫混じりにつき、不攪乱試料採取不能。 56.50~58.00m間では中粗砂~細礫が多く含まれる。 58.00~58.55m間は細礫~小礫が密集する砂礫。 58.55~59.15m間、砂は中粗砂が多い。 59.85~59.90m間には軟質化した凝灰質礫が多く含まれる。 59.00~59.15m間は強い酸化により褐色化した細砂~中砂。 59.15~61.90m間は灰色を呈する固結シルト。 60.00~60.90m間、不攪乱試料採取実施(コアガス調査用)。 60.90~61.90m間、不攪乱試料採取実施。
55						
56						
57						
58						
59	-47.64	5.23	59.11	砂質シルト	非常に硬い	62.55~63.25m間は褐炭、腐植物を少量含み、暗灰色を呈する。 63.60~63.70m間は砂質シルト。 63.85m地点は幅30cmで強い酸化褐色化が見られる。 若干のシルトが混じる。
60						
61						
62						
63	-51.74	4.10	63.21	細砂	非常に密な	砂は細砂が主体をなす。礫は細礫が多くφ2~10mmが主体で
64						
65						



( JR-56 )



( JR-56 )

ボーリング柱状図

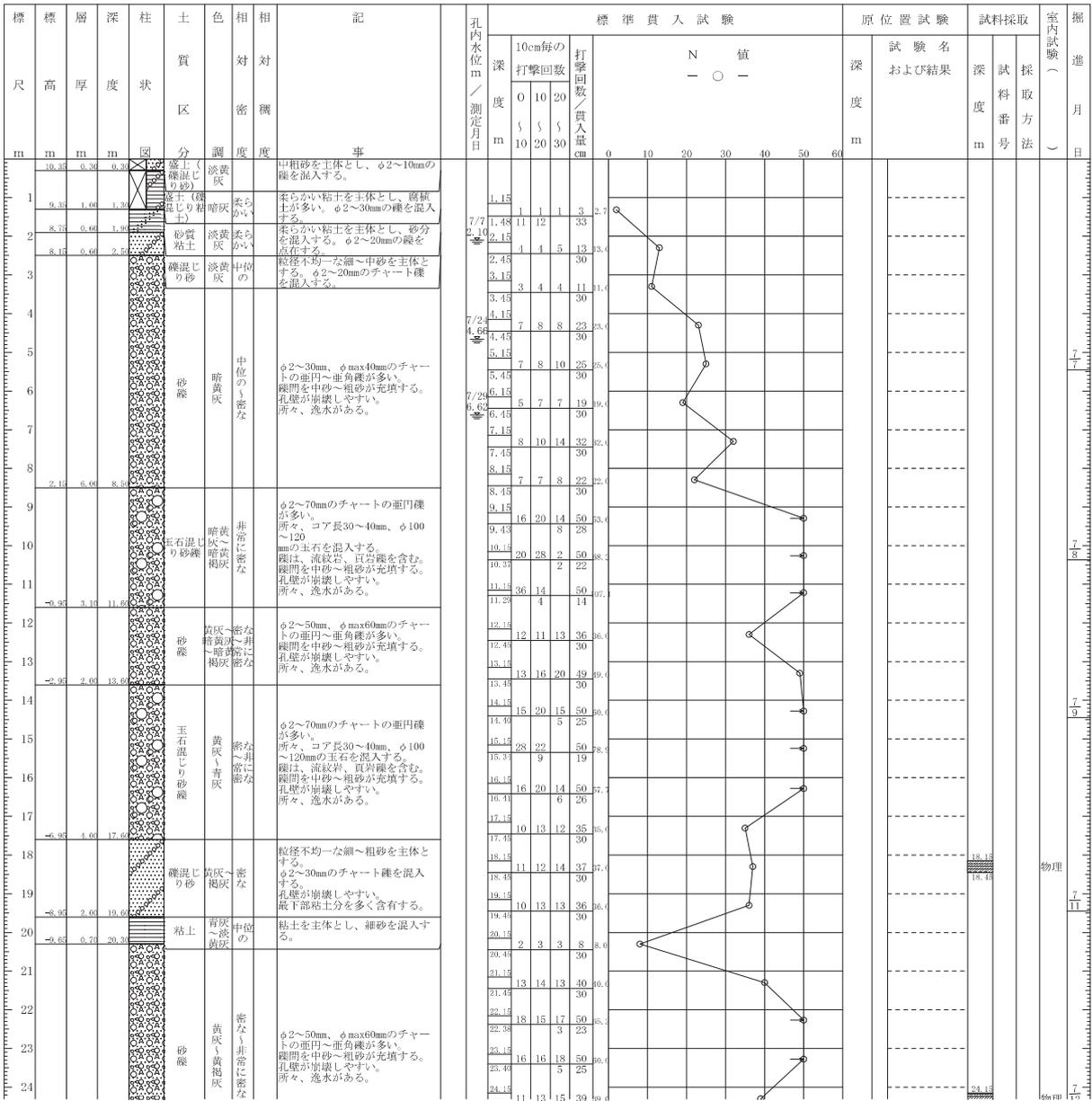
調査名 \_\_\_\_\_

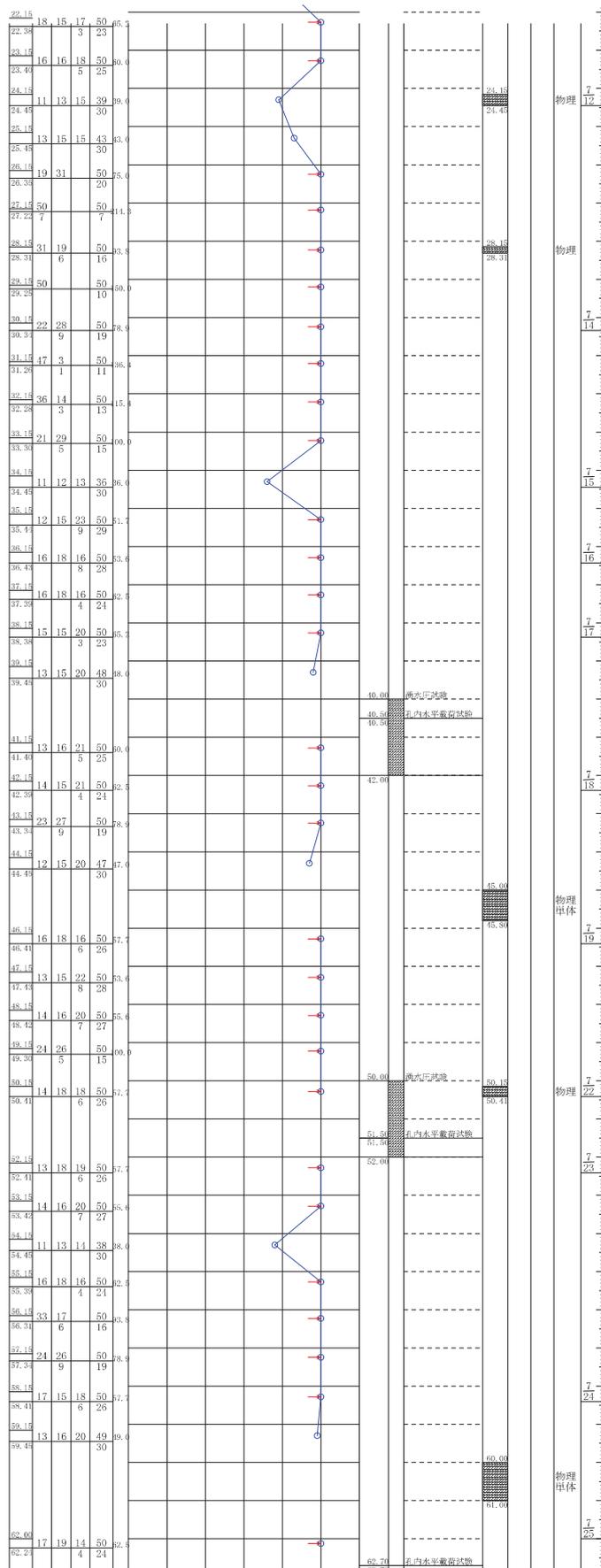
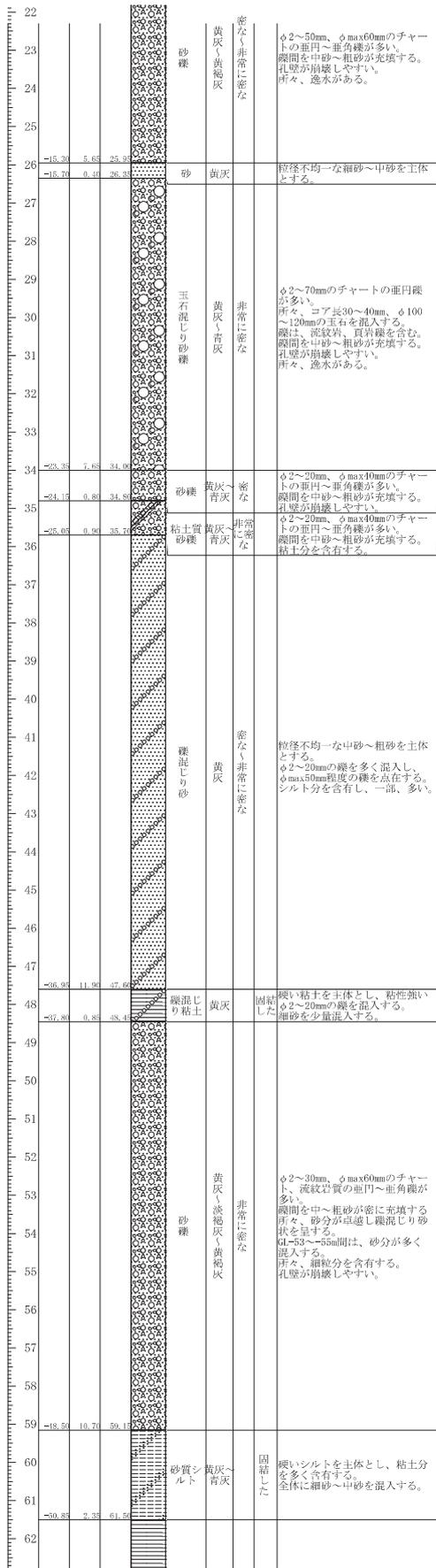
ボーリングNo. \_\_\_\_\_

事業・工事名 \_\_\_\_\_

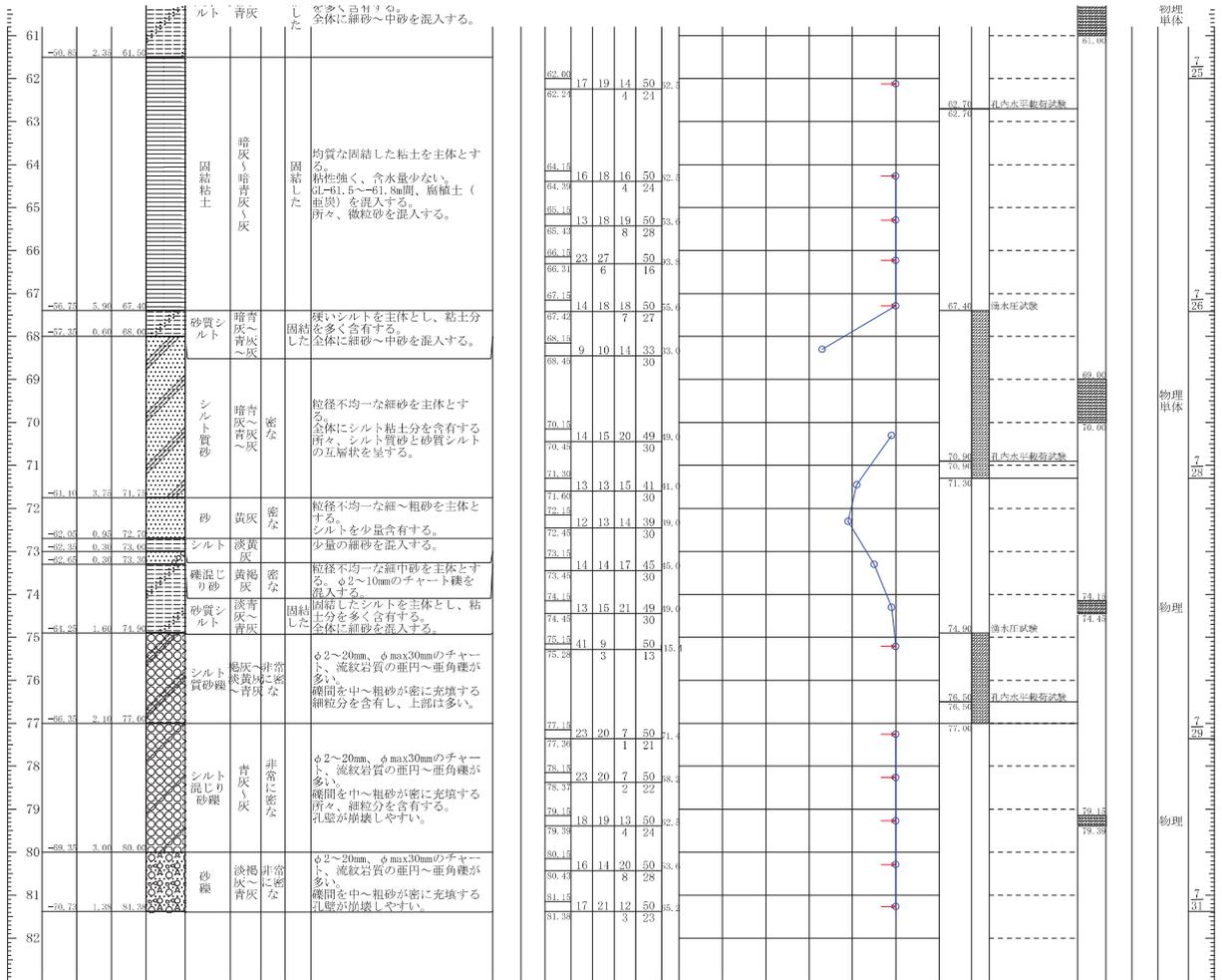
シートNo. \_\_\_\_\_

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者
孔口標高	H +10.650m	角	180° 上 0° 下	方	北 0° 東 180° 南
総掘進長	81.38m	度	270° 西 180° 南 0° 東 90°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機	ハンマー 落下用具		ボーリング 責任者	
	エンジン	ポンプ			





(JR-57)



( JR-57 )

## (参考57-1)

## 参考57-1

井戸の位置						
所有者又は 管理者の氏名			1/5万地図図幅名	メッシュコード番号	緯度 - 経度	
施工業者の氏名			さく井開始			
機械の種類			さく井完了			
地形			自然水位			GL-m
地盤高	10.1 * m		揚水水位			GL-m
使用目的						
深 度	65.00 m		揚水量			m <sup>3</sup> /d
スクリーン	層					
口 径	m		自噴量			
	mm					
深 度 m	化石	地 質 名 称	深 度 m	化石	地 質 名 称	
	動 植			動 植		
0.00～ 1.00		表土	～			
1.00～ 6.00		粘土	～			
6.00～ 16.00		玉石交り砂利	～			
16.00～ 21.00		粘土	～			
21.00～ 39.00		粘土交り砂利	～			
39.00～ 43.00		粘土	～			
43.00～ 48.00		粘土交り荒砂	～			
48.00～ 60.00		荒砂	～			
60.00～ 65.00		粘土	～			
～			～			
～			～			
～			～			
スクリーンの位置 GL-m			～ =			～ =
			～ =			～ =
	～ =		～ =			～ =
水 質	水 温		塩 素			カルシウム
	P H		蒸発残留物			マグネシウム
	硝酸性窒素		総 硬 度			硫 酸
	亜硝酸性窒素		鉄			Mアルカリ度
	アンモニア性窒素		飲料の可否			過マンガン酸カリウム

※地盤高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考57-1)

さく井地層柱状図及び検層図					
工事件名				北緯	
工事地点				東経	
口径	深度	GL-	65.00 m	標高	m
主任技術者	自然水位			揚水水位	揚水量
水温	水質判定			施工開始	施工終了
検層	測定方法			ケーシング	ポンプ形式
モータ形式	スクリュー種類			揚水管	接続方式
納入年月日					

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	地質記号	地質名	色調	観察記事	ケーシング プログラム	比抵抗値 R (Ω-m)				水温 °C				
									50	100	150	200	20	40	60	80	
	-1.00	1.00	1.00		黄土												
	-6.00	6.00	5.00		粘土												
10					玉石交り砂利			▽									
	-16.00	16.00	10.00		粘土												
20					粘土			▽									
					粘土交り砂利												
	-39.00	39.00	18.00		粘土												
	-43.00	43.00	4.00		粘土												
	-48.00	48.00	5.00		粘土交り荒砂												
					荒砂												
	-60.00	60.00	12.00		粘土												
60					粘土												
	-65.00	65.00	5.00		粘土												

## (参考57-2)

## 参考57-2

井戸の位置							
所有者又は 管理者の氏名		1/5万地図図幅名		メッシュコード番号		緯度 - 経度	
施工業者の氏名		さく井開始					
機械の種類		さく井完了					
地形		自然水位				GL-m	
地盤高		10.0 * m		揚水水位		GL-m	
使用目的							
深 度		95.00 m		揚水量		m <sup>3</sup> /d	
スクリーン		層		自噴量			
口 径		m					
口 径		mm					
深 度 m		化石		深 度 m		化石	
		動 植				動 植	
		地 質 名 称				地 質 名 称	
0.00～ 3.00				～			
3.00～ 4.00		表土		～			
4.00～ 17.00		粘土		～			
17.00～ 23.00		粘土交り玉石砂利		～			
23.00～ 47.00		粘土		～			
47.00～ 51.00		砂交り砂利		～			
51.00～ 62.00		粘土		～			
62.00～ 72.00		砂交り砂利		～			
72.00～ 76.00		白粘土		～			
76.00～ 78.00		粘土		～			
78.00～ 95.00		粘土交り砂利		～			
～				～			
スクリーンの位置				～ =		～ =	
GL-m				～ =		～ =	
				～ =		～ =	
水 質		水 温		塩 素		カルシウム	
		P H		蒸発残留物		マグネシウム	
		硝酸性窒素		総 硬 度		硫 酸	
		亜硝酸性窒素		鉄		Mアルカリ度	
		アンモニア性窒素		飲料の可否		過マンガン酸カリウム	

※地盤高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考57-2)

さく井地層柱状図及び検層図																
工事件名						北緯				施工						
工事地点						東経										
口径		深度		GL- 95.00 m		標高		m		掘削機械						
主任技術者		自然水位				揚水水位				揚水量						
水温		水質判定				施工開始				施工終了						
検層		測定方法				ケーシング				ポンプ形式						
モータ形式		スクリュー種類				揚水管				接続方式						
納入年月日																
標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	地質記号	地質名	色調	観察記事	ケーシング プログラム	比抵抗値 R (Ω-m)				水温 °C			
									----- a1 = a2 = -----				自然電位 mV-----			
									50	100	150	200	20	40	60	80
0	-3.00	3.00	3.00		黄土											
0	-4.00	4.00	1.00		粘土											
10					粘土交り玉石砂利			▽								
10	-17.00	17.00	13.00													
20	-23.00	23.00	6.00		粘土			▼								
30					砂交り砂利											
40	-17.00	17.00	24.00													
50	-51.00	51.00	4.00		粘土											
60	-62.00	62.00	11.00		砂交り砂利											
70	-72.00	72.00	10.00		白粘土											
80	-76.00	76.00	4.00		粘土											
80	-78.00	78.00	2.00		粘土交り砂利											
90	-95.00	95.00	17.00													

## (参考57-3)

## 参考57-3

井戸の位置							
所有者又は 管理者の氏名		1/5万地図図幅名		メッシュコード番号		緯度 - 経度	
施工業者の氏名		さく井開始					
機械の種類		さく井完了					
地形		自然水位				GL-m	
地盤高		10.2 <sup>*</sup> m		揚水水位		GL-m	
使用目的							
深 度		120.00 m		揚水量		m <sup>3</sup> /d	
スクリーン		層		自噴量			
口 径		mm					
深 度 m	化石		地 質 名 称	深 度 m	化石		地 質 名 称
	動	植			動	植	
0.00～ 3.00			埋立土	77.00～ 85.00			砂利交り砂
3.00～ 6.00			黒粘土	85.00～ 97.00			青粘土
6.00～ 19.00			玉石交り砂利	97.00～ 119.00			小砂利交り砂
19.00～ 27.00			青粘土	119.00～ 120.00			粘土
27.00～ 34.00			玉石	～			
34.00～ 36.00			砂交り粘土	～			
36.00～ 47.00			玉石交り砂利	～			
47.00～ 49.00			茶粘土	～			
49.00～ 54.00			粘土交り砂利	～			
54.00～ 58.00			青粘土	～			
58.00～ 67.00			砂利	～			
67.00～ 77.00			青粘土	～			
スクリーンの位置 GL-m			～ =		～ =		
			～ =		～ =		
			～ =		～ =		
水 質	水 温		塩 素		カルシウム		
	P H		蒸発残留物		マグネシウム		
	硝酸性窒素		総 硬 度		硫 酸		
	亜硝酸性窒素		鉄		Mアルカリ度		
	アンモニア性窒素		飲料の可否		過マンガン酸カリウム		

※地盤高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考57-3)

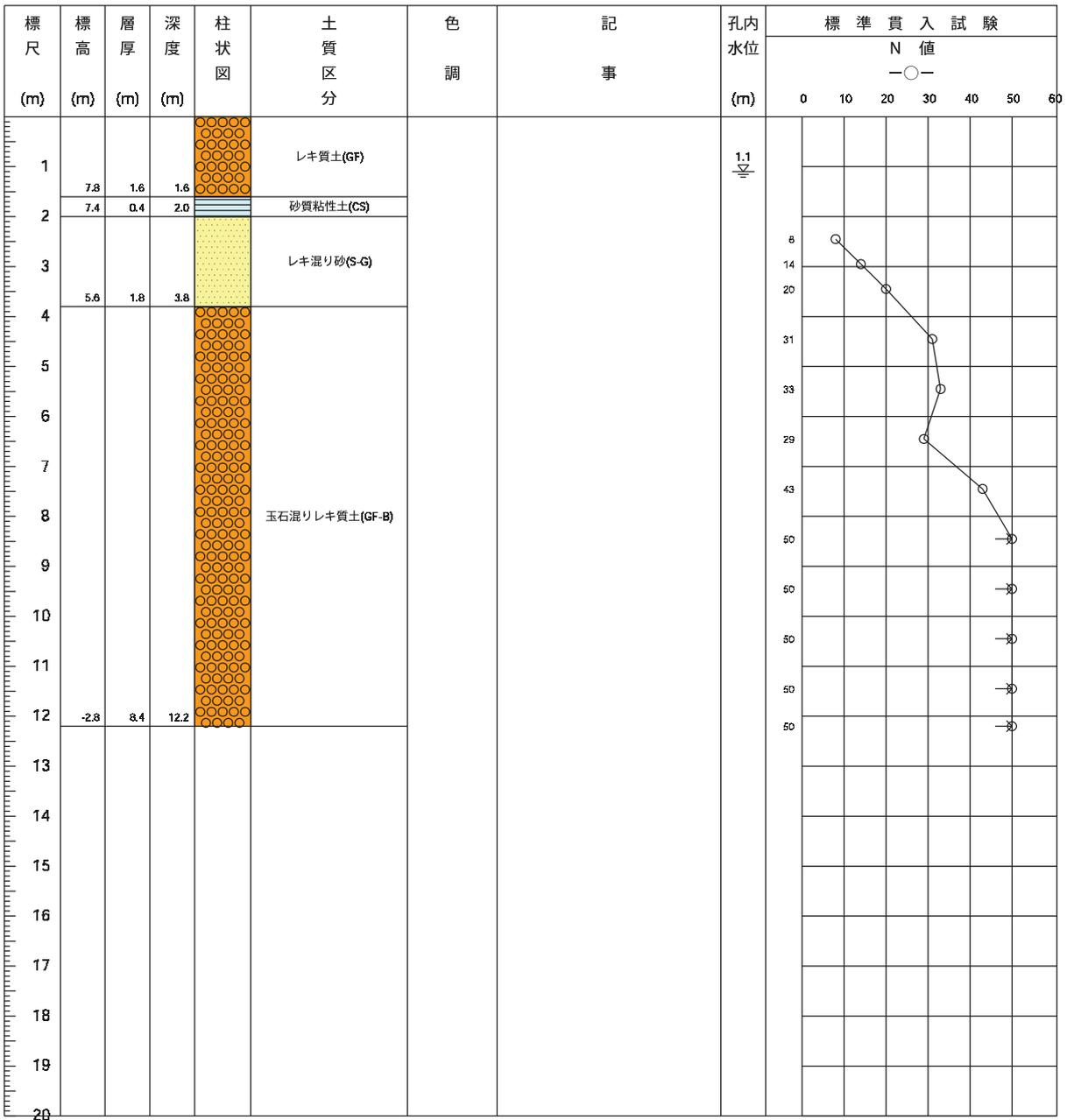
さく井地層柱状図及び検層図																
工事件名						北緯				施工						
工事地点						東経										
口径		深度		GL- 120.00 m		標高		m		掘削機械						
主任技術者		自然水位				揚水水位				揚水量						
水温		水質判定				施工開始				施工終了						
検層		測定方法				ケーシング				ポンプ形式						
モータ形式		スクリュー種類				揚水管				接続方式						
納入年月日																
標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	地質記号	地質名	色調	観察記事	ケーシング プログラム	比抵抗値 R (Ω-m)				水温 °C			
									----- a1 = a2 = -----				自然電位 mV-----			
									50	100	150	200	20	40	60	80
	-3.00	3.00	3.00		埋立土											
	-6.00	6.00	3.00		黒粘土											
10					玉石交り砂利			▽								
20	-19.00	19.00	13.00		青粘土											
30	-27.00	27.00	8.00		玉石											
	-34.00	34.00	7.00		砂交り粘土											
40	-36.00	36.00	2.00		玉石交り砂利			▽								
	-47.00	47.00	11.00		茶粘土											
50	-49.00	49.00	2.00		粘土交り砂利											
	-54.00	54.00	5.00		青粘土											
	-58.00	58.00	4.00		砂利											
60	-67.00	67.00	9.00		青粘土											
70	-77.00	77.00	10.00		砂利交り砂											
80	-85.00	85.00	8.00		青粘土											
90	-97.00	97.00	12.00		小砂利交り砂											
100																
110																
	-119.00	119.00	22.00		粘土											
	-120.00	120.00	1.00													

(参考57-4)

# ボーリング柱状図

参考57-4

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 9.4 m	総掘進長	12.2 m



(参考57-4)

## (参考57-5)

## 参考57-5

井戸の位置							
所有者又は 管理者の氏名	1/5万地図図幅名			メッシュコード番号		緯度 - 経度	
施工業者の氏名		さく井開始					
機械の種類		さく井完了					
地形		自然水位			GL-m		
地盤高		+10.000 m			GL-m		
使用目的		揚水水位					
深 度		65.00 m			m <sup>3</sup> /d		
スクリーン		層					
		m					
口 径		mm			自噴量		
深 度 m	化石		地 質 名 称	深 度 m	化石		地 質 名 称
	動	植			動	植	
0.00～ 3.50			粘土	～			
3.50～ 22.00			砂利	～			
22.00～ 25.00			粘土混じり砂利	～			
25.00～ 26.00			粘土	～			
26.00～ 35.00			玉石混じり砂利	～			
35.00～ 41.00			粘土混じり砂利	～			
41.00～ 43.00			粘土	～			
43.00～ 47.00			小砂利	～			
47.00～ 51.00			粘土混じり砂	～			
51.00～ 53.00			小砂利	～			
53.00～ 65.00			砂利	～			
～				～			
スクリーンの位置 GL-m			～ =		～ =		
			～ =		～ =		
	～ =		～ =		～ =		
水 質	水 温		塩 素		カルシウム		
	P H		蒸発残留物		マグネシウム		
	硝酸性窒素		総 硬 度		硫 酸		
	亜硝酸性窒素		鉄		Mアルカリ度		
	アンモニア性窒素		飲料の可否		過マンガン酸カリウム		

(参考57-5)

さく井地層柱状図及び検層図						
工事件名				北緯		
工事地点				東経		
口径	深度	GL- 65.00 m		標高	+10.000 m	
主任技術者	自然水位			揚水水位		
水温	水質判定			施工開始		
検層	測定方法			ケーシング		
モータ形式	スクリーン種類			揚水管		
納入年月日						

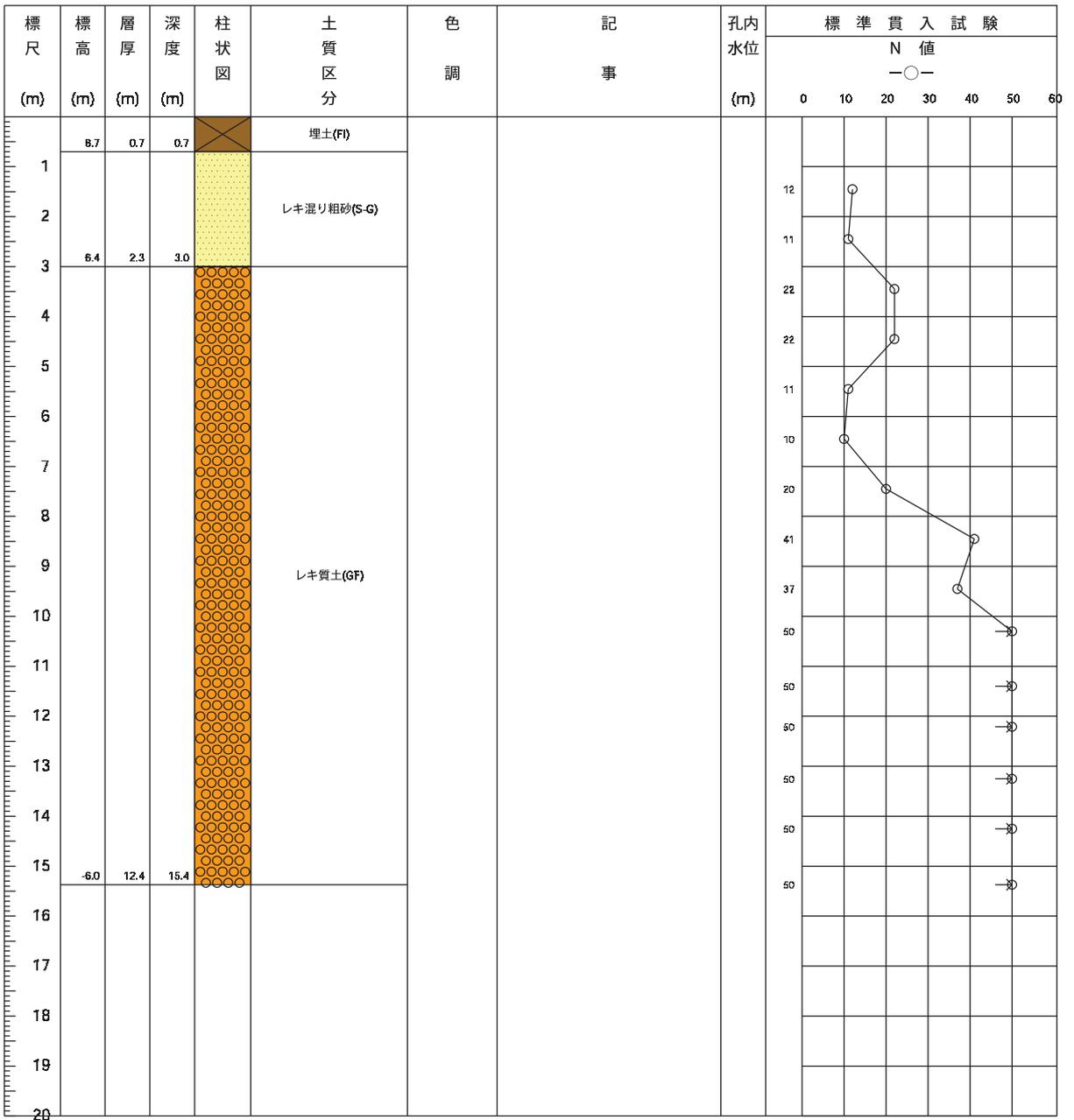
標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	地質記号	地質名	色調	観察記事	ケーシング プログラム	比抵抗値 R (Ω-m)				水温 °C			
									----- a1 = -----				20 40 60 80			
									----- a2 = -----				自然電位 mV-----			
50		100		150		200		-50		0		50		100		
	6.50	3.50	3.50		粘土											
10					砂利											
20	-12.00	22.00	18.50		粘土混じり砂利											
	-15.00	25.00	3.00		粘土											
	-16.00	26.00	1.00		粘土											
30					玉石混じり砂利											
	-25.00	35.00	9.00		粘土混じり砂利											
40					粘土											
	-31.00	41.00	6.00		粘土											
	-33.00	43.00	2.00		小砂利											
	-37.00	47.00	4.00		粘土											
50					粘土混じり砂											
	-41.00	51.00	4.00		粘土											
	-43.00	53.00	2.00		小砂利											
60					砂利											
	-55.00	65.00	12.00													

(参考57-6)

# ボーリング柱状図

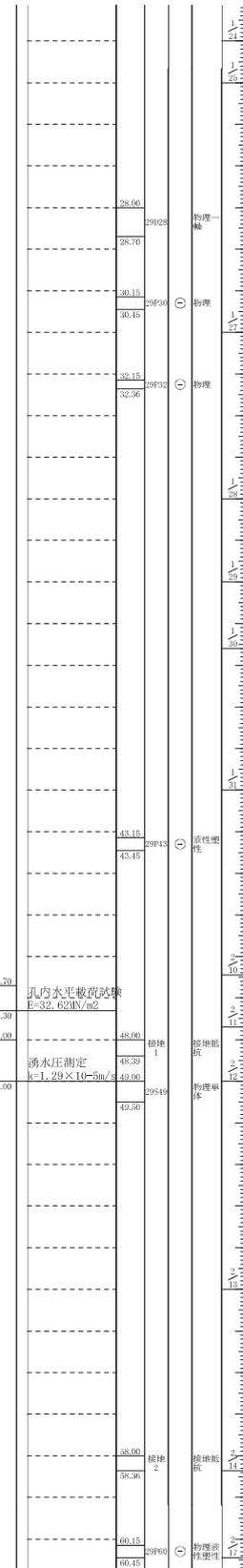
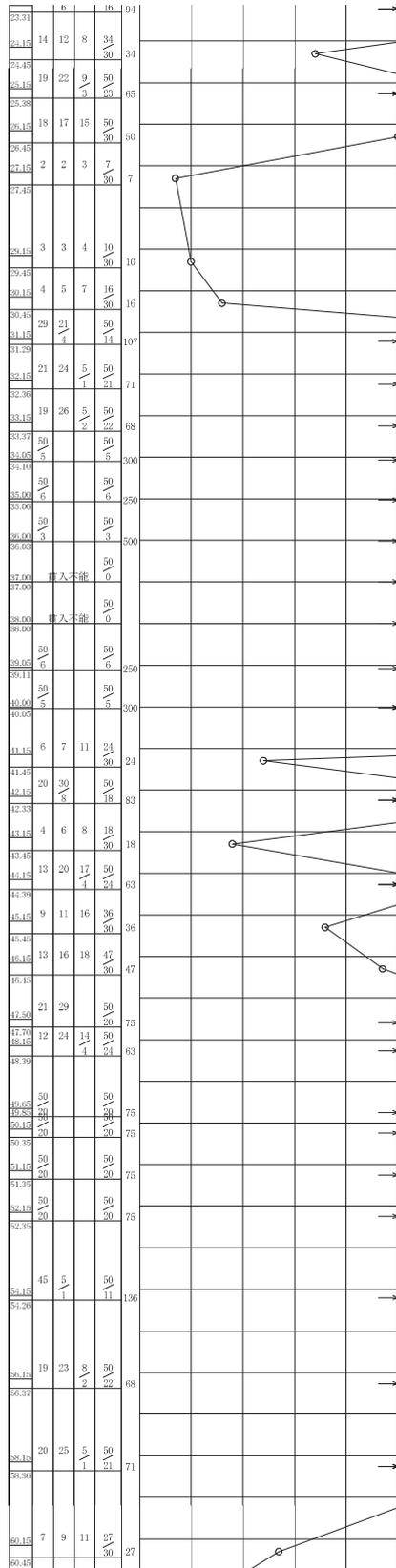
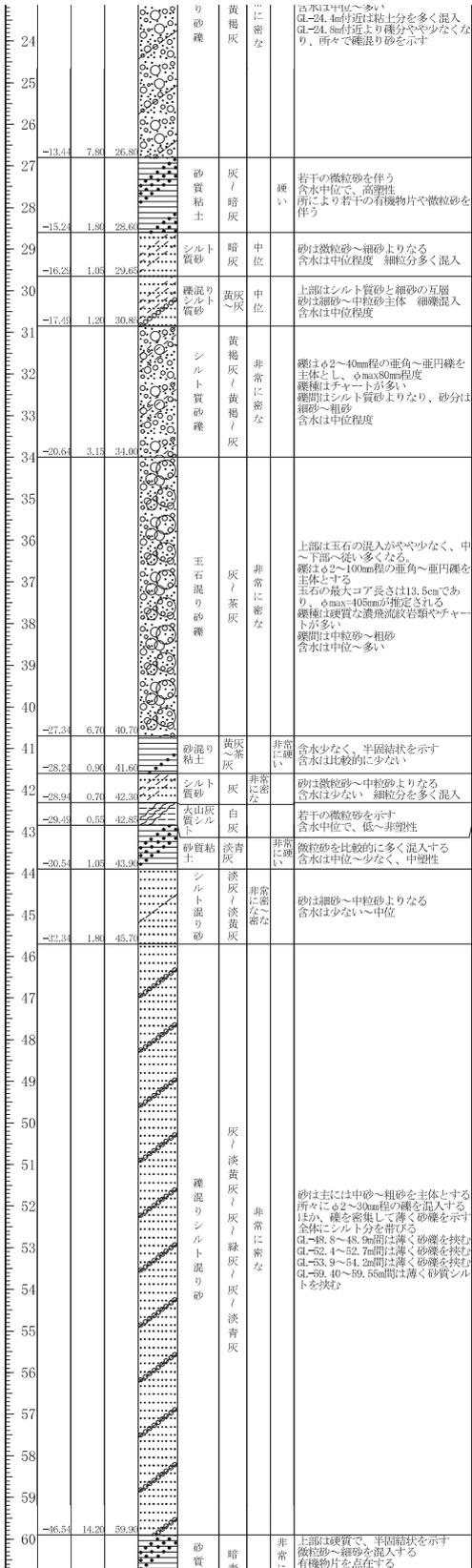
参考57-6

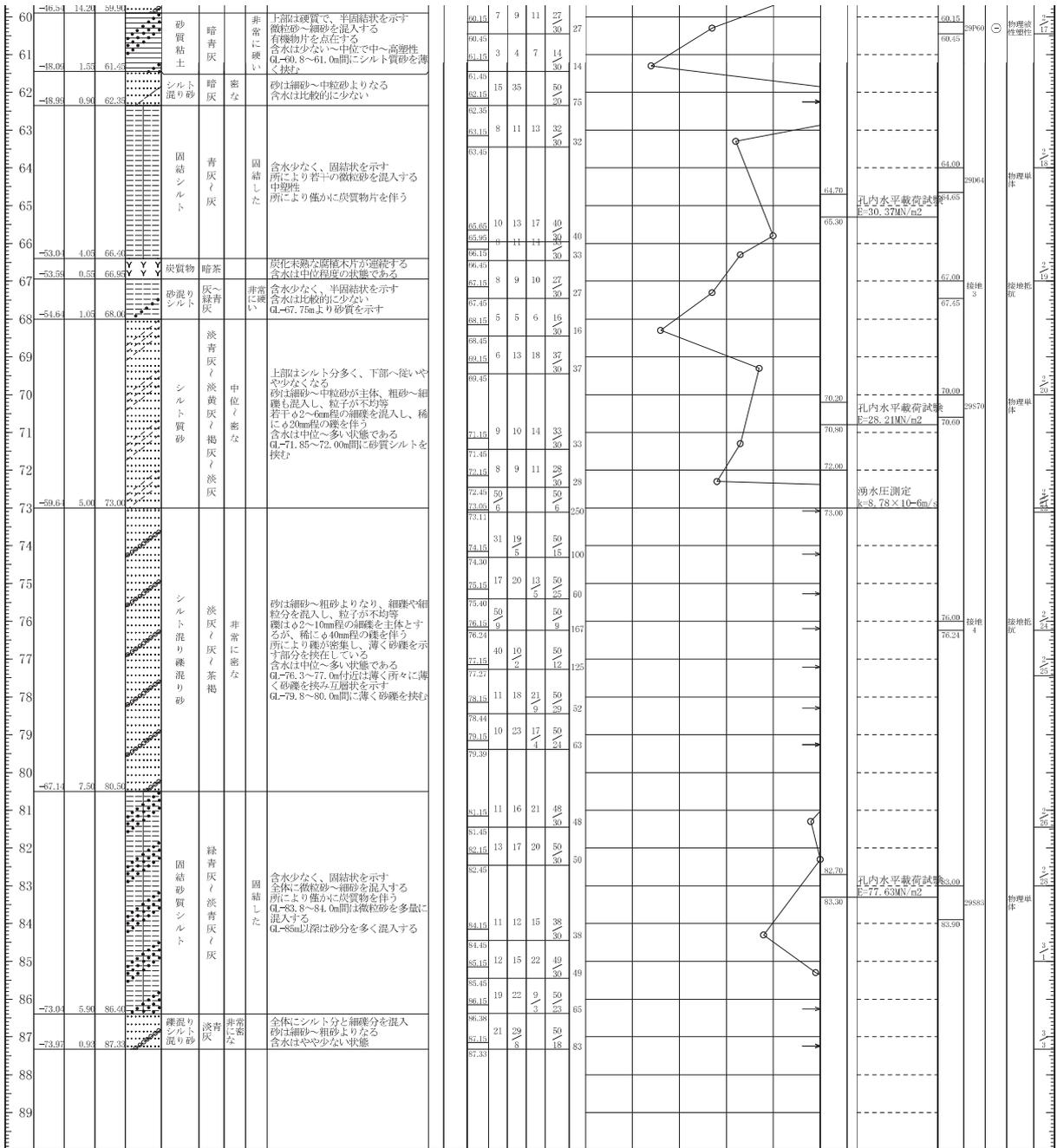
ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 9.4 m	総掘進長	15.37 m



(参考57-6)







( JR-58 )



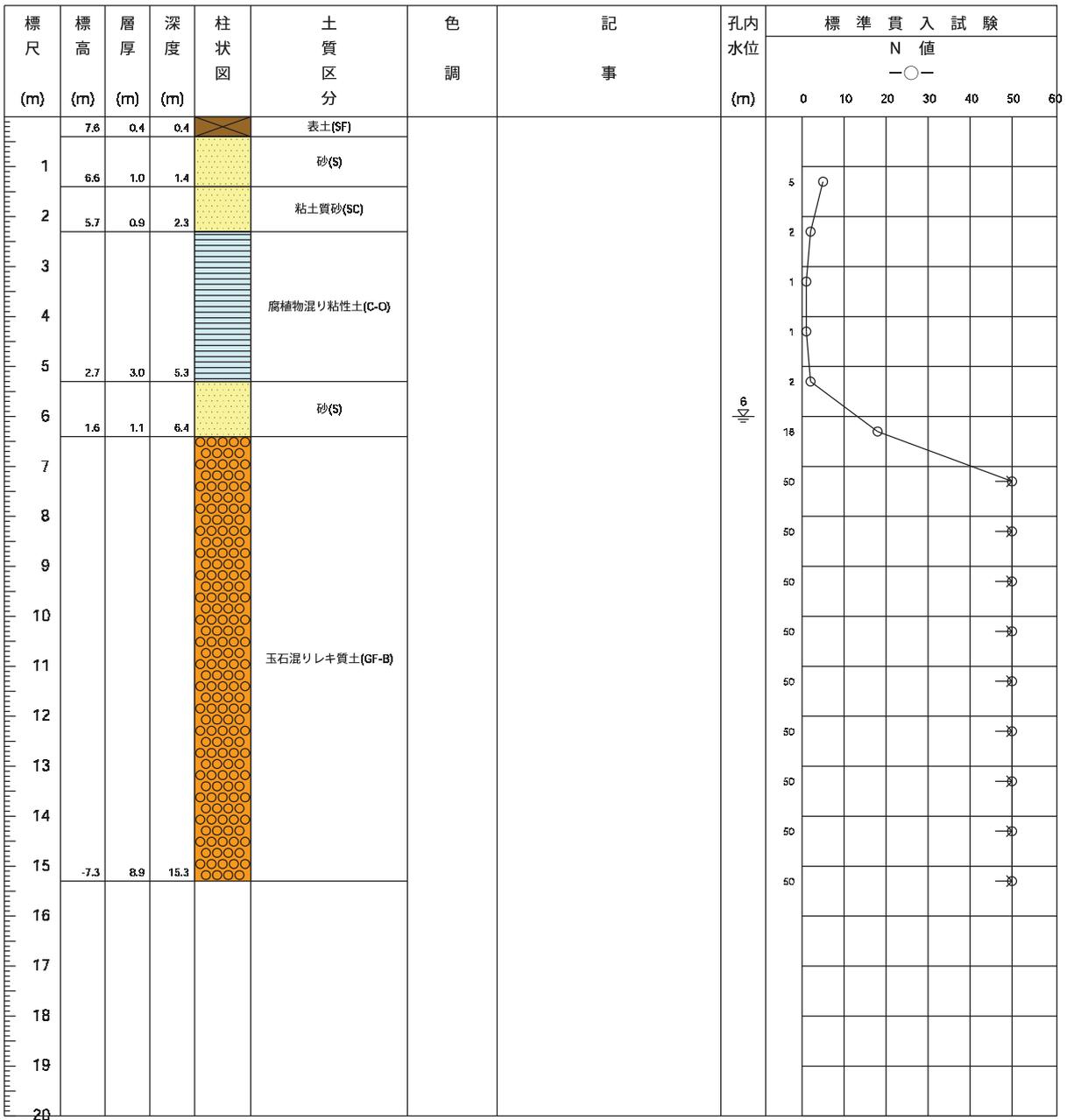


(参考58-2)

# ボーリング柱状図

参考58-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 8 m	総掘進長	15.3 m



(参考58-2)

ボーリング柱状図

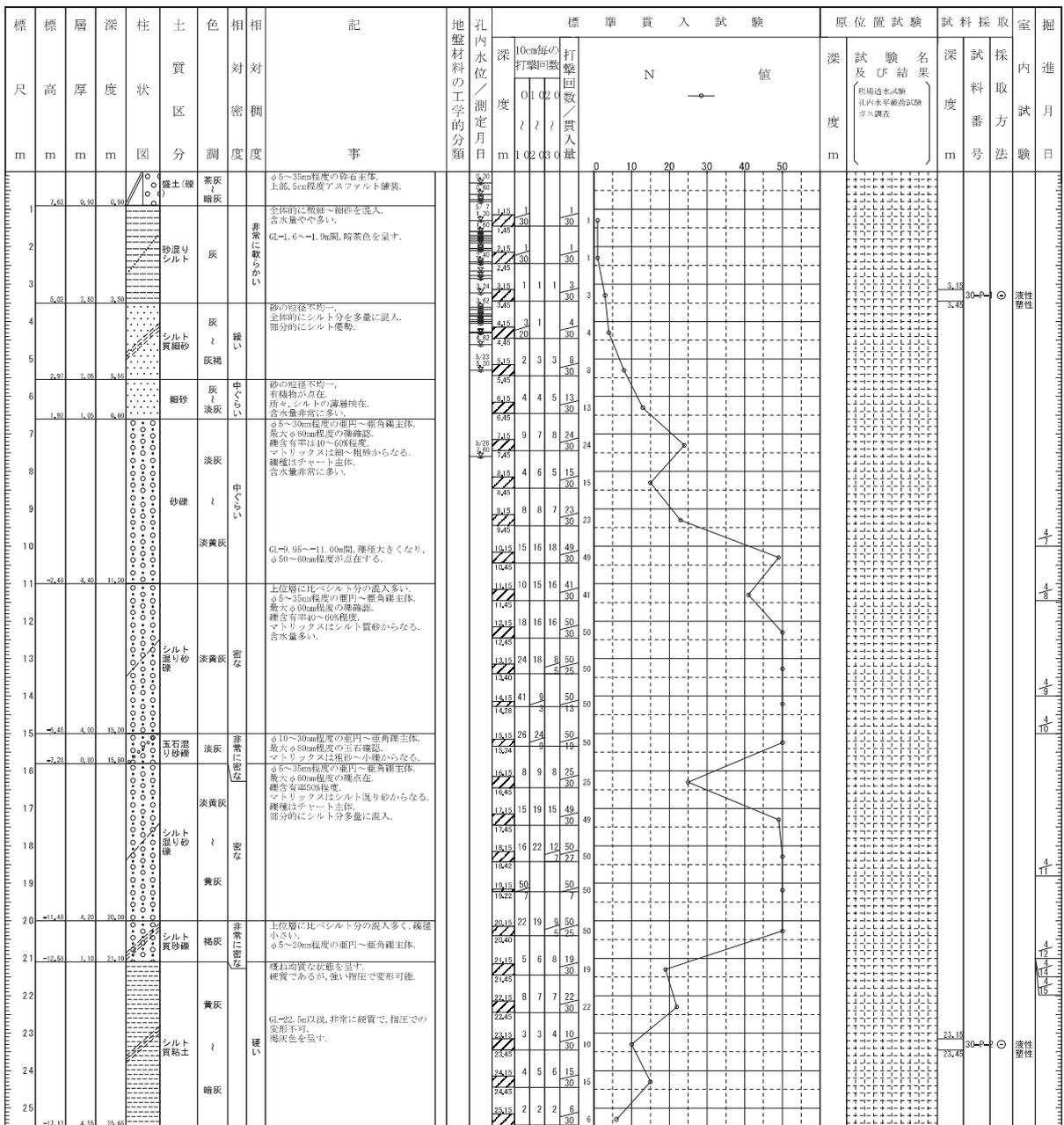
調査名

ボーリングNo.

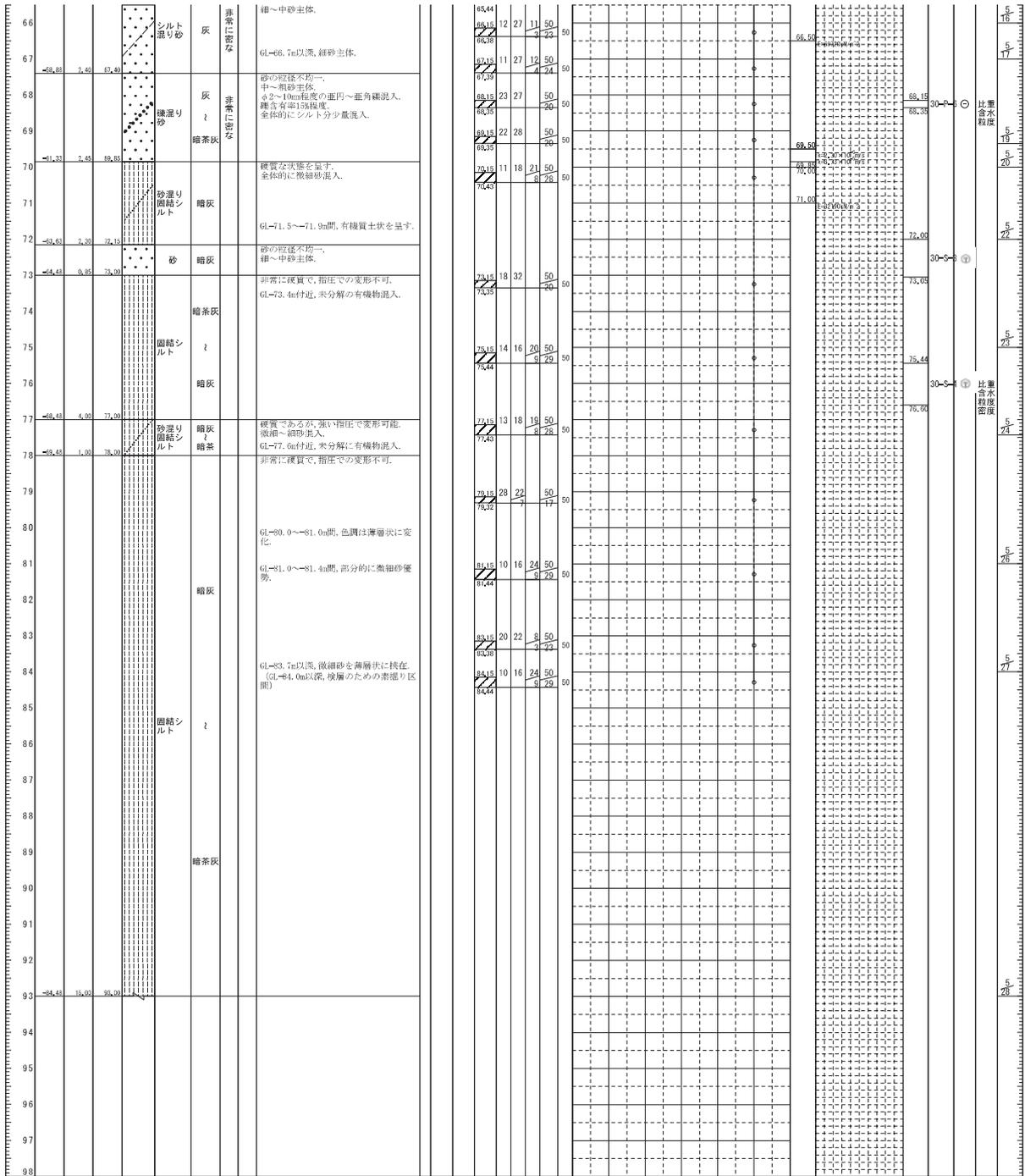
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師		現代場人	コアア者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 8.52m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 90° 東 180° 南
総掘進長	93.00m	度	0°	向	西 東
使用機種			ハンマー	ポンプ	
エンジン					







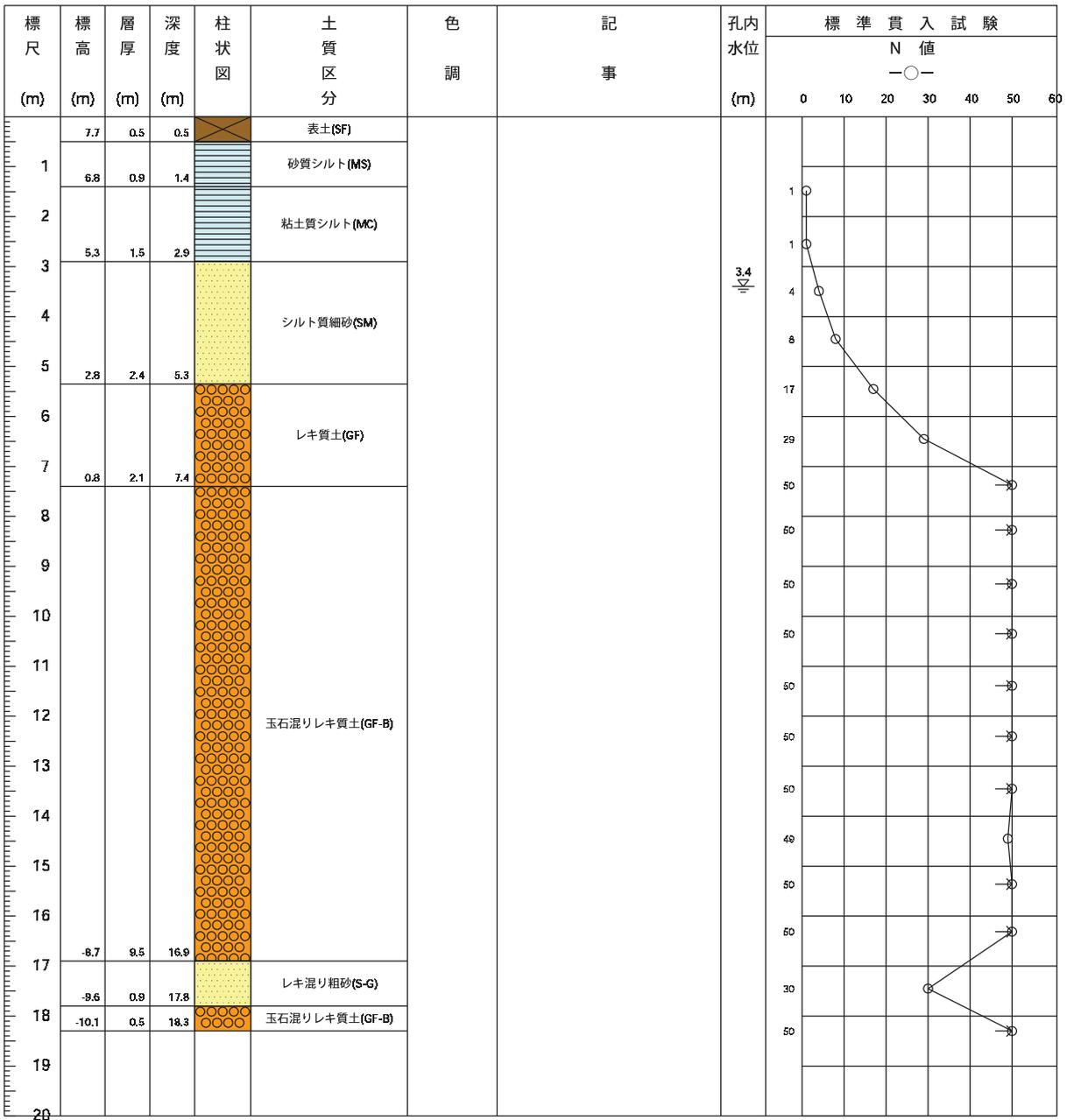
( JR-59 )

(参考59-1)

# ボーリング柱状図

参考59-1

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 8.2 m	総掘進長	18.3 m



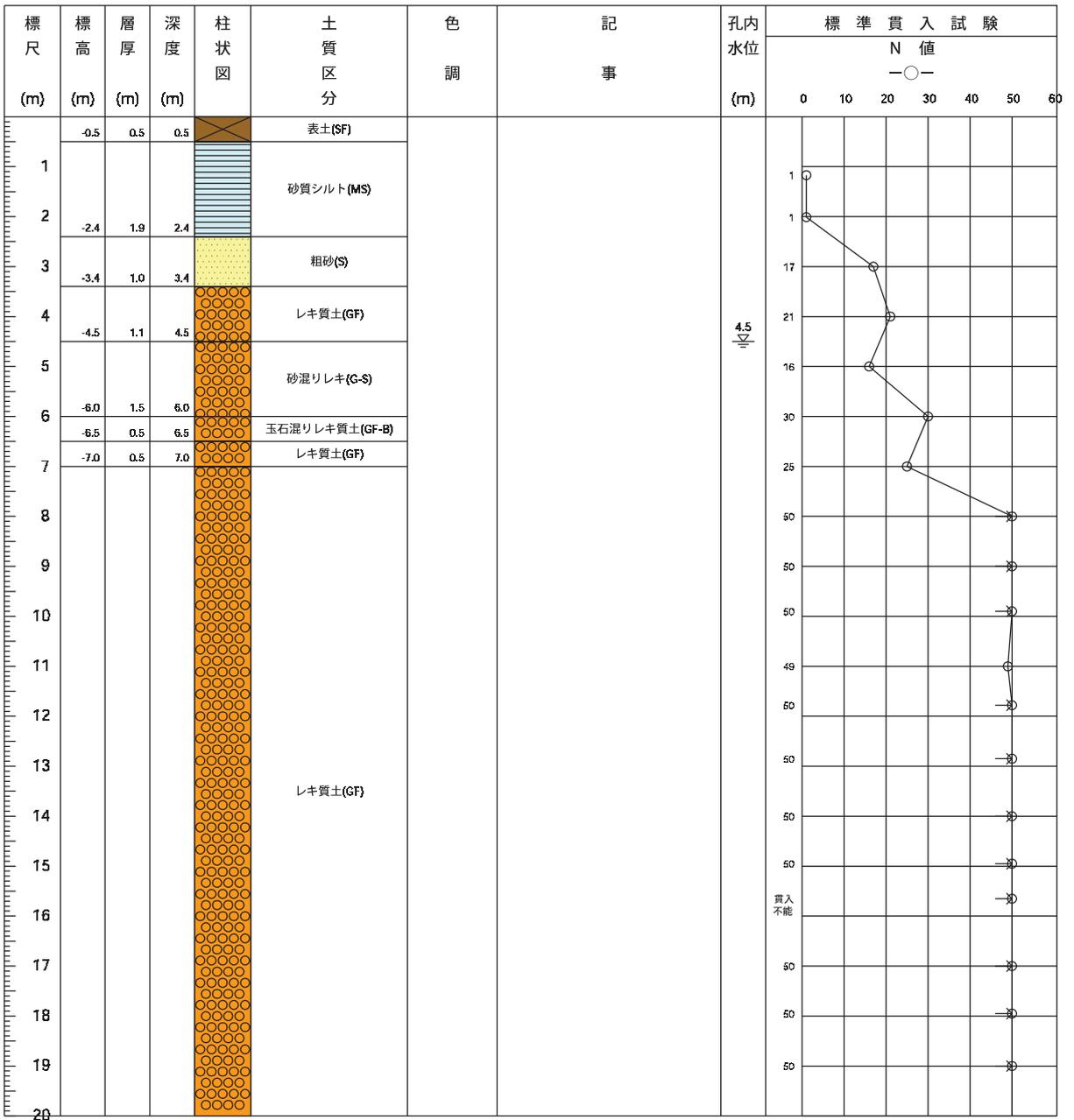
(参考59-1)

(参考59-2)

# ボーリング柱状図

参考59-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 0.03 m	総掘進長	20.05 m



(参考59-2)

20	20.0	13.1	20.1	○○○○○	レキ質主(GF)					50	—D
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
34											
35											
36											
37											
38											
39											
40											
41											
42											
43											
44											
45											
46											
47											
48											
49											
50											

ボーリング柱状図

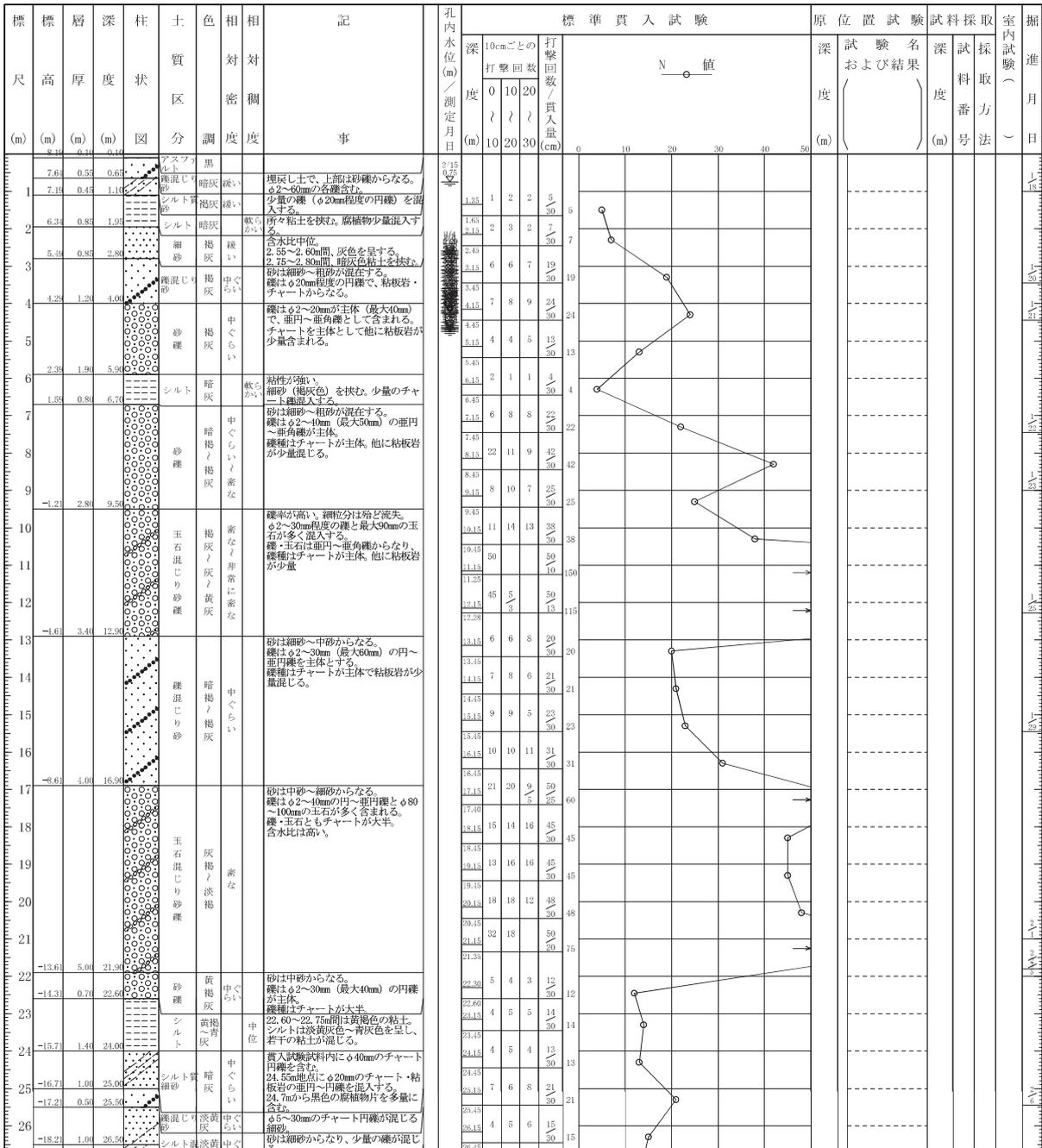
調査名

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

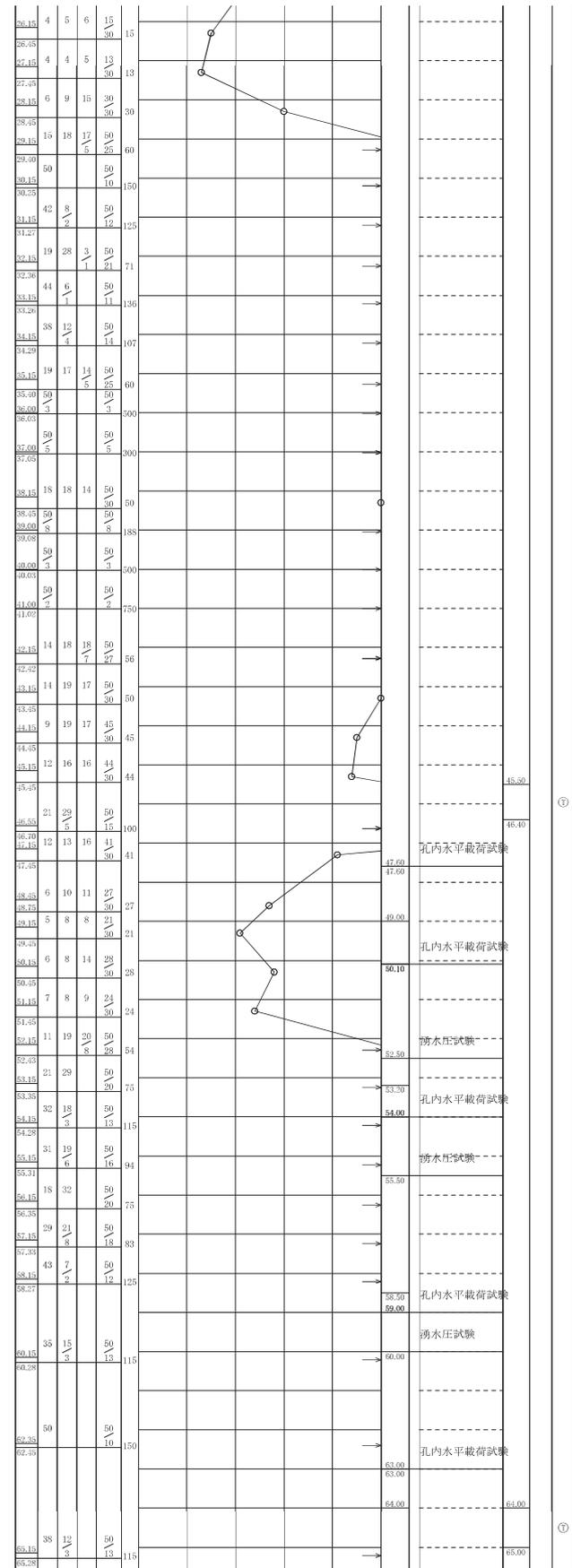
事業・工事名

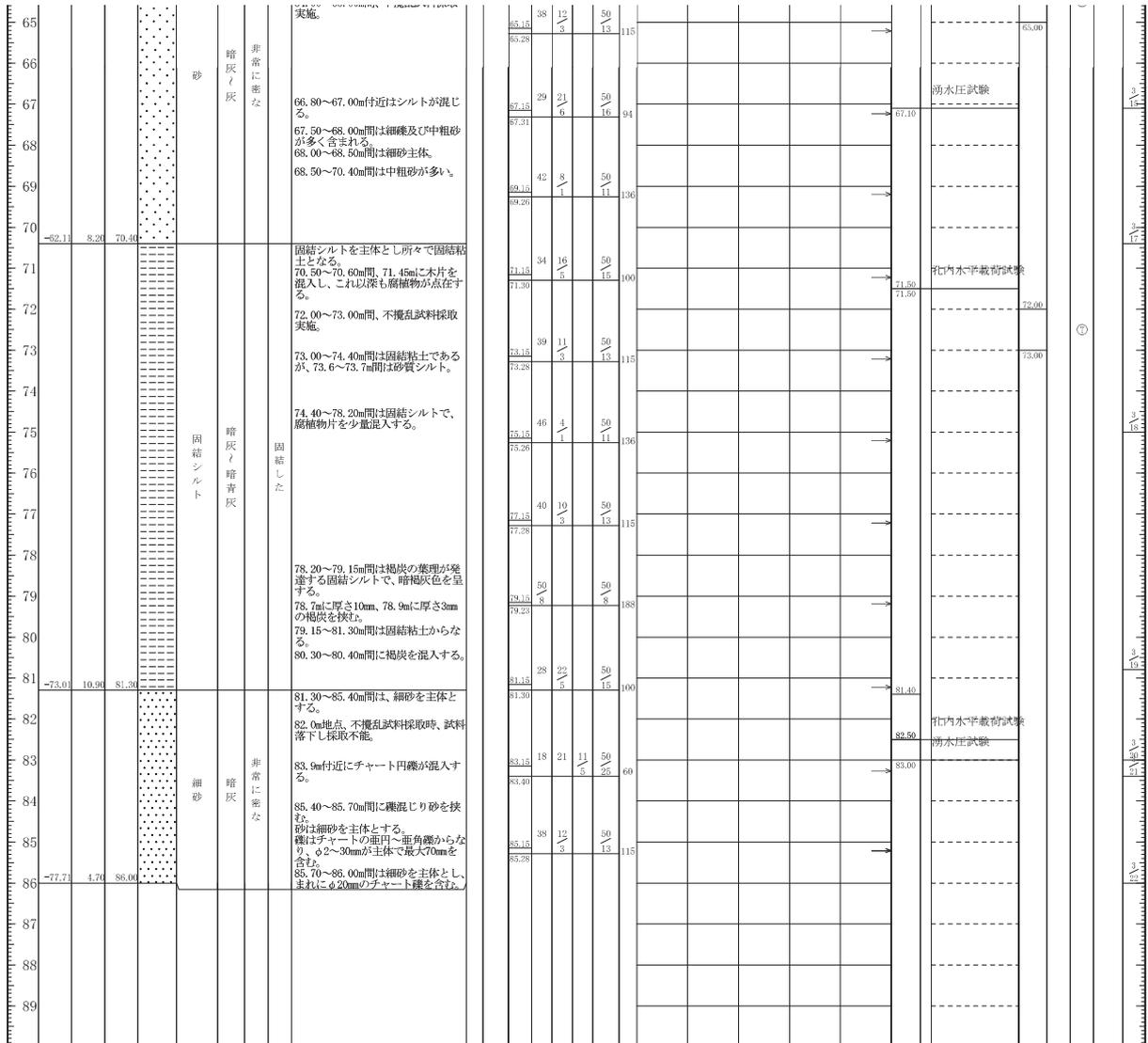
シートNo

ボーリング名	調査位置					北緯
発注機関					調査期間	東経
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	8.29m	角	180°上	方	北0°	使用機種 エンジン
総掘進長	86.00m	度	90°下	向	270°西	
		度		0°	90°東	ハンマー落下用具 ポンプ



26	-18.21	1.00	26.50	シルト質 中くらい	中くらい	45~90mmのチャート円礫が混じる 細砂。
27	-19.44	1.20	27.10	シルト質 中くらい	中くらい	砂は細砂からなり、少量の礫が混じ る。 26.0~26.15m間に中砂を挟む。 26.50~26.65m間に粘土状砂。 26.90mにφ30mmのチャート円礫を含む。
28	-20.21	0.80	28.50	粘土 暗灰	非常に硬い	27.70~27.95m間はシルト主体 固結している。
29	-27.46	7.23	35.70	砂礫 暗灰 / 黄褐色 / 淡褐色	非常に密な	砂は中砂を主体とする。 礫はφ2~20mm (最大15mm) の円~ 歪円礫からなる。 礫種はチャートが大半を占める。
36	-28.91	1.15	37.30	玉石混じり 砂礫	非常に密な	砂は中砂を主体とする。 礫はφ2~40mmを主体とし、最大コ ア径70mmをはじめとする玉石が混入 する。 玉石はチャートと濃飛流紋岩類で構 成される。 礫種は他に砂岩の円礫が少量含まれ る。
39	-30.73	1.80	39.00	砂礫 暗灰	非常に密な	細砂分は粘土混じり砂からなる。 礫はφ2~20mmが主体で、最大45mm が含まれる。 礫種はチャート、濃飛流紋岩類、砂 岩から構成される。
41	-33.21	2.50	41.50	玉石混じり 砂礫	非常に密な	細砂分は殆ど流失している。 礫および玉石はチャート、濃飛流紋 岩類、砂岩から構成される。 玉石は最大コア径で70mmを示す。 チャートは歪角~歪円礫が多い。
42	-33.61	0.40	41.90	固結粘土 暗灰	硬い	採取時、試料落下。固結した粘土。 固結している。砂は細砂からなる。
43	-34.44	0.80	42.70	細砂 暗灰 / 淡青灰	非常に密な	採取時、試料落下。 所々にシルトを挟む。含水比は中 位。
44	-35.33	1.10	43.80	固結シルト 暗灰 / 暗褐色 / 青灰	固結した / 非常に硬い	45.45~46.40m間、褐炭、腐植木片を 多数に混入する。 45.50~46.40m間、不攪乱試料採取 実施。 46.40~47.40m間は暗褐色を呈す る固結粘土。 特に46.70~47.40m間は木片が多数 に混入する。 47.40~47.80mは固結シルトで炭化 物は含まない。 まれにφ20mm程度のチャート円礫を 含む。 47.80~48.90m間、で砂質シルトへ と漸移する。
49	-40.63	5.10	48.90	細砂 暗灰 / 淡青灰 / 暗灰	中くらい / 非常に密な	全体に細砂を主体とするが、52.5~ 53.2m間に中砂が混じる。 また、φ5mm以下の細礫~小礫を下 位で少量含む。 不攪乱試料採取時、試料落下し採取 不能。
54	-47.21	2.30	53.50	砂礫 暗灰	非常に密な	砂は細砂が主体で、中砂が混じる。 礫はφ2~50mm (最大65mm) の円~ 歪円礫からなる。 礫はチャートが最も多く、砂岩、頁 岩、濃飛流紋岩類も含まれる。 55m以下は礫径がφ>20mmが主体 で、全体に小礫となる。 また、歪角礫が多くなる。
57	-51.88	4.65	60.10	細砂 暗灰 / 淡灰	非常に密な	細砂が主体であるが、下位にしたが って粗粒となる。 まれにφ20mm程度の礫を含む。 57.5m付近から中砂が、58m付近から は粗砂が多く含まれる。 不攪乱試料採取時、試料落下し採取 不能。 59.30~60.15m間に砂質シルトへシ ルトを挟む。
61	-53.91	2.05	62.20	砂礫 暗灰	非常に密な	砂は中粗砂が主体をなす。 礫はφ2~30mmが主体で最大60mmを 含む。 礫種はチャートが多く、頁岩、砂岩 も含まれる。 円~歪円礫が主体であるが、少量の 歪角礫も含まれる。
62	-57.70	2.05	62.20			62.20~62.70m間は細砂が主体をな す。 62.70~63.00m間では中粗砂が多く 混じる。 また、細礫及びφ10mm以下の礫も混 じる。 63.30~66.80m間は細砂が主体で少 量の細礫と中粗砂が混じる。 64.00~65.00m間、不攪乱試料採取 実施。





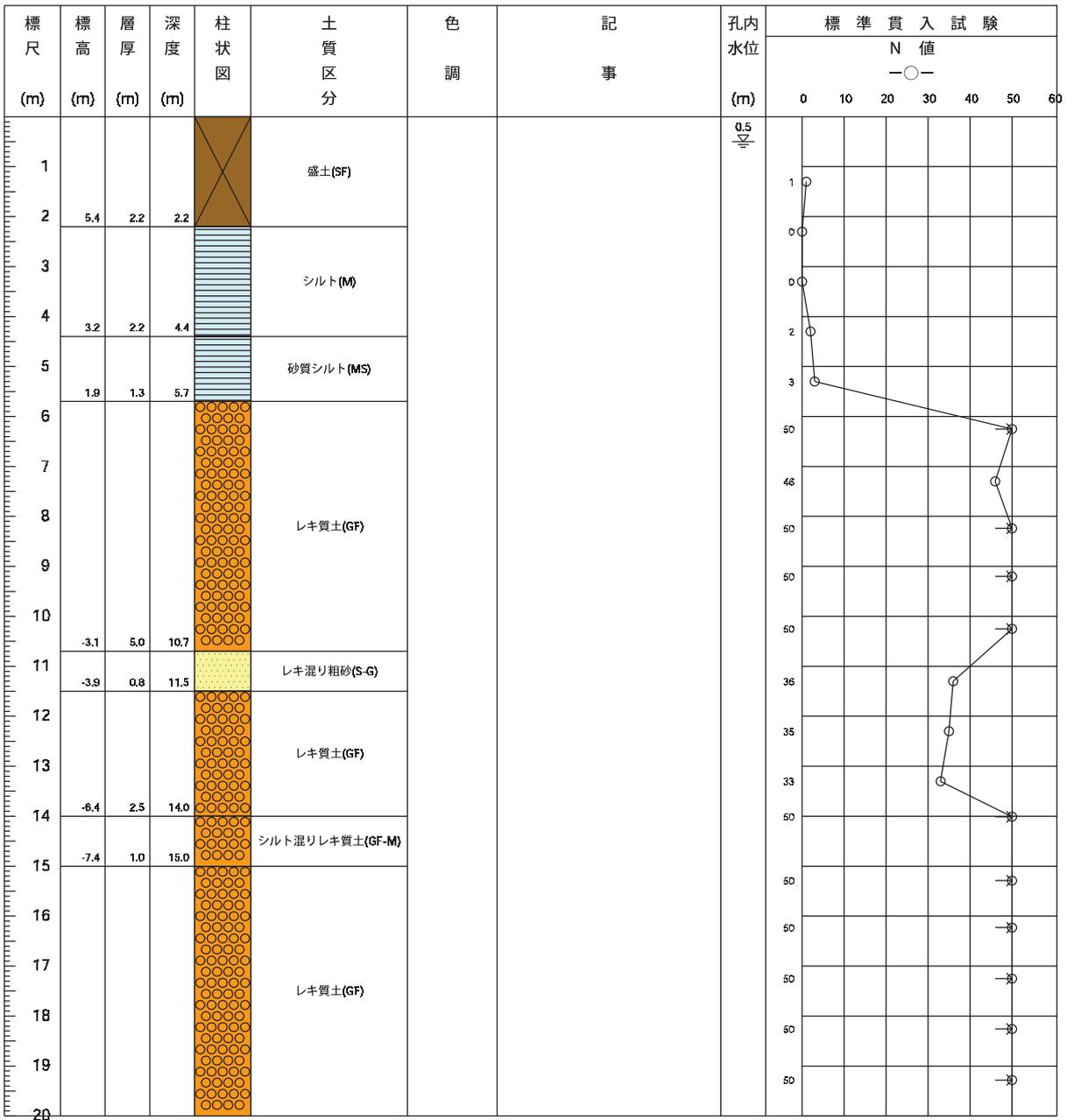
( JR-60 )

(参考60-1)

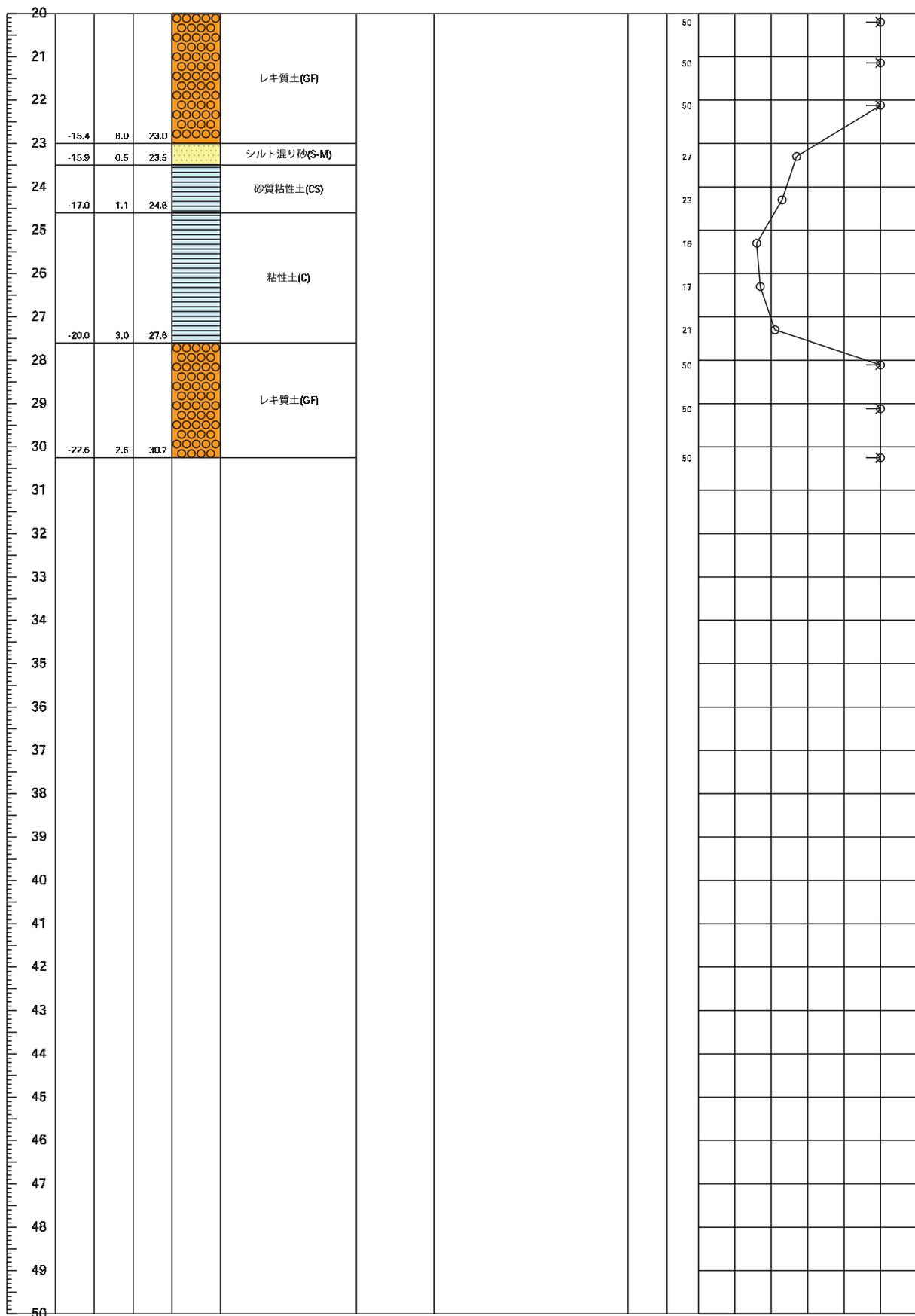
# ボーリング柱状図

参考60-1

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.6 m	総掘進長	30.25 m



(参考60-1)

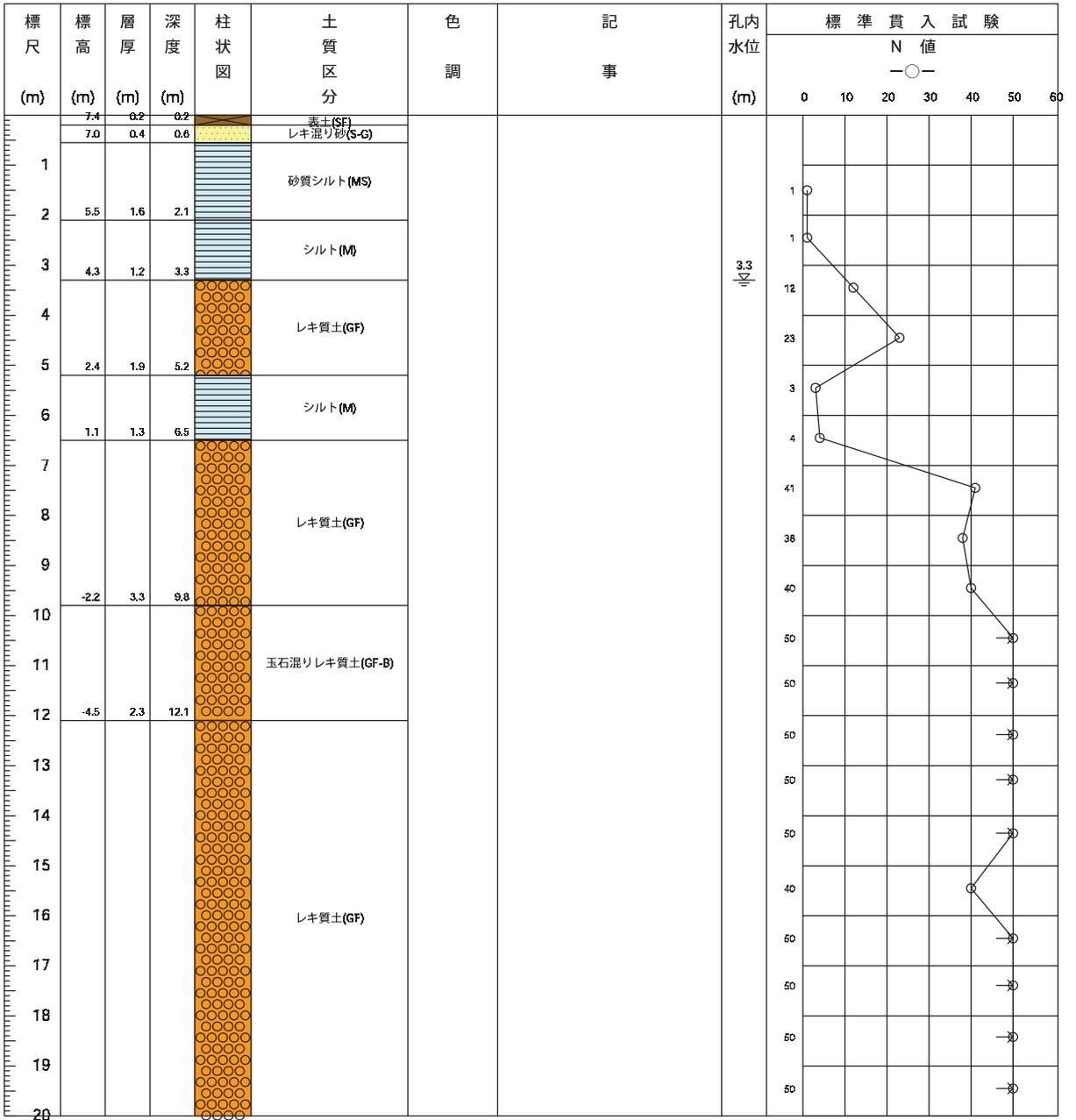


(参考60-2)

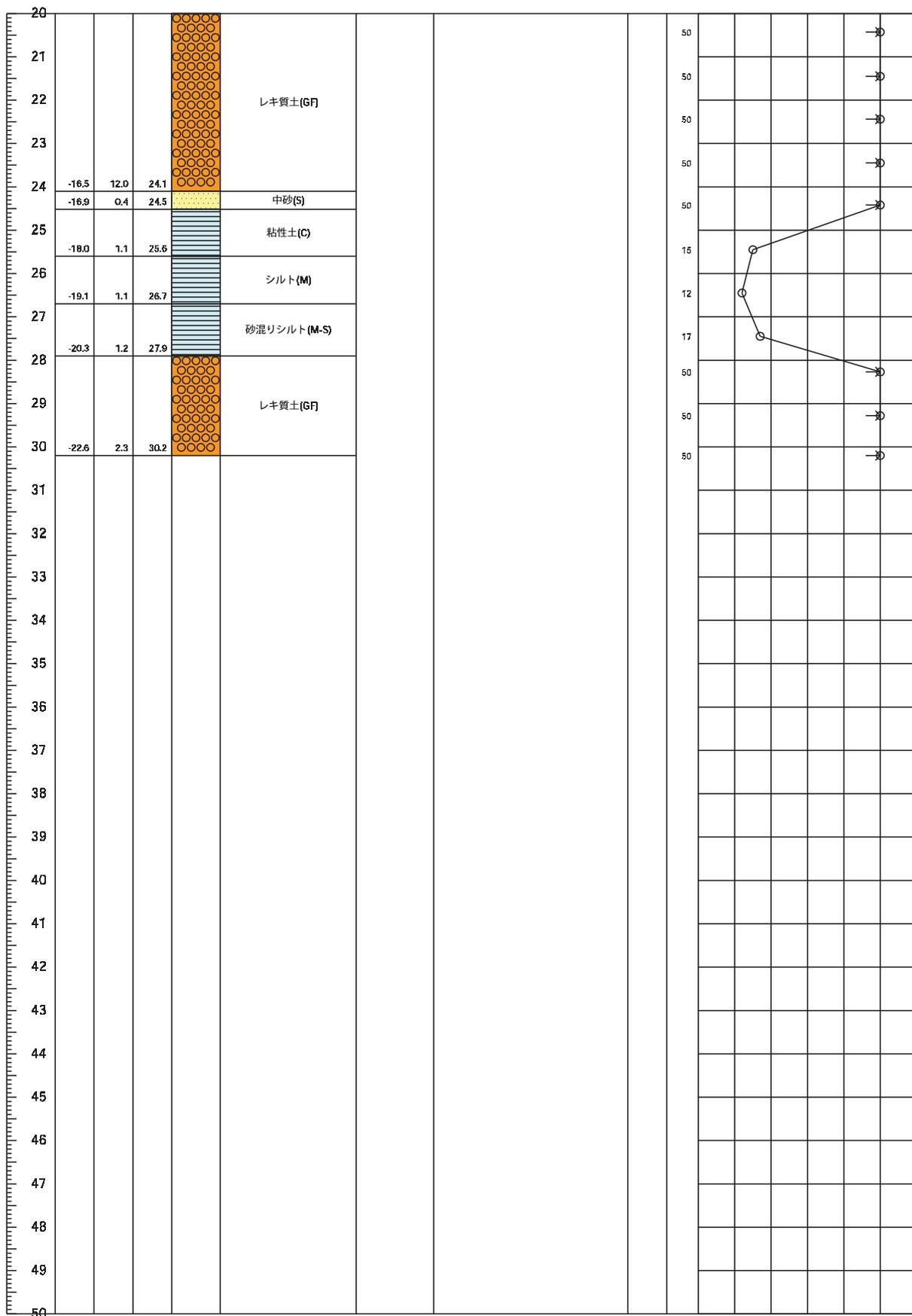
# ボーリング柱状図

参考60-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.6 m	総掘進長	30.2 m



(参考60-2)

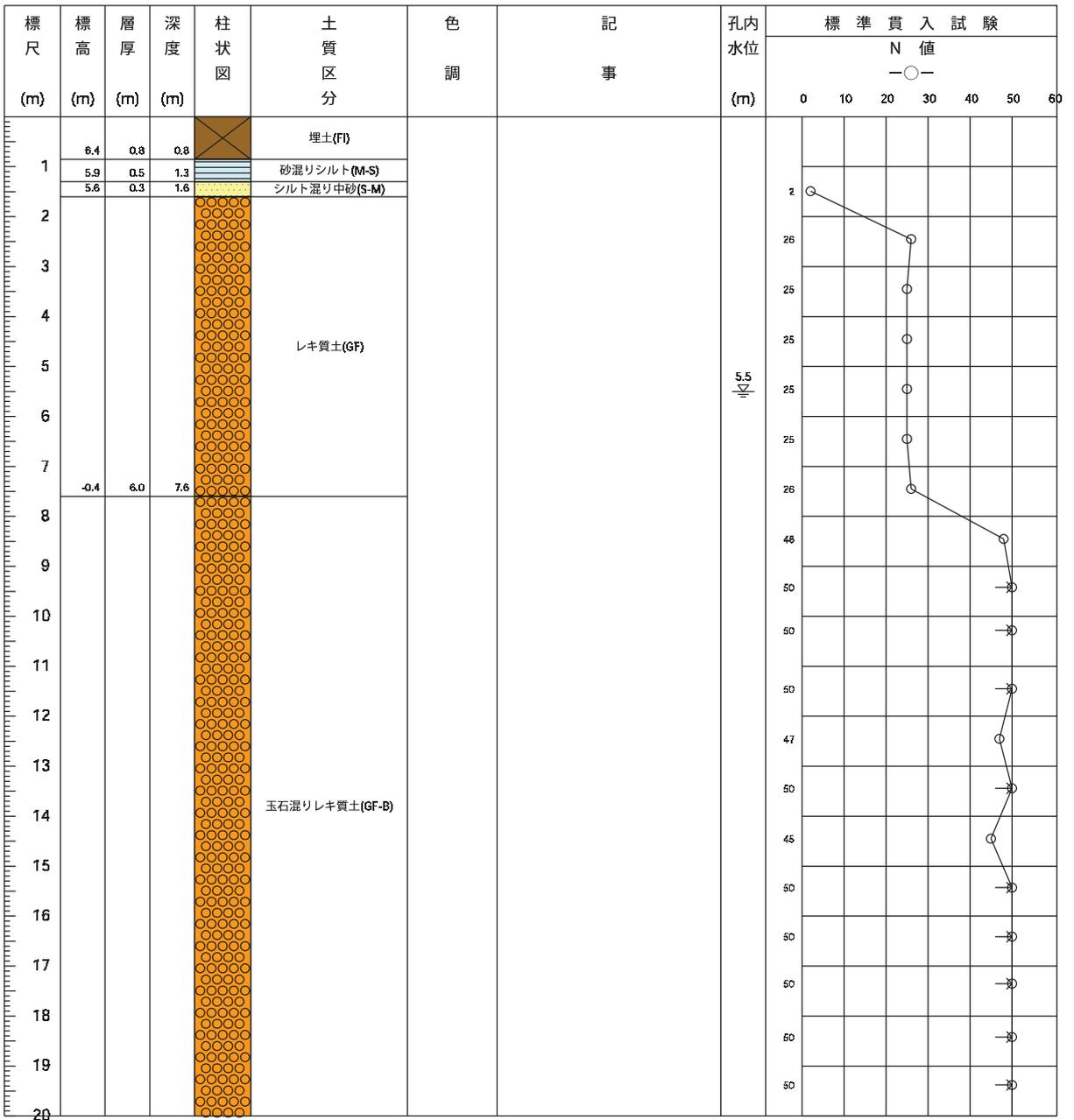


(参考60-3)

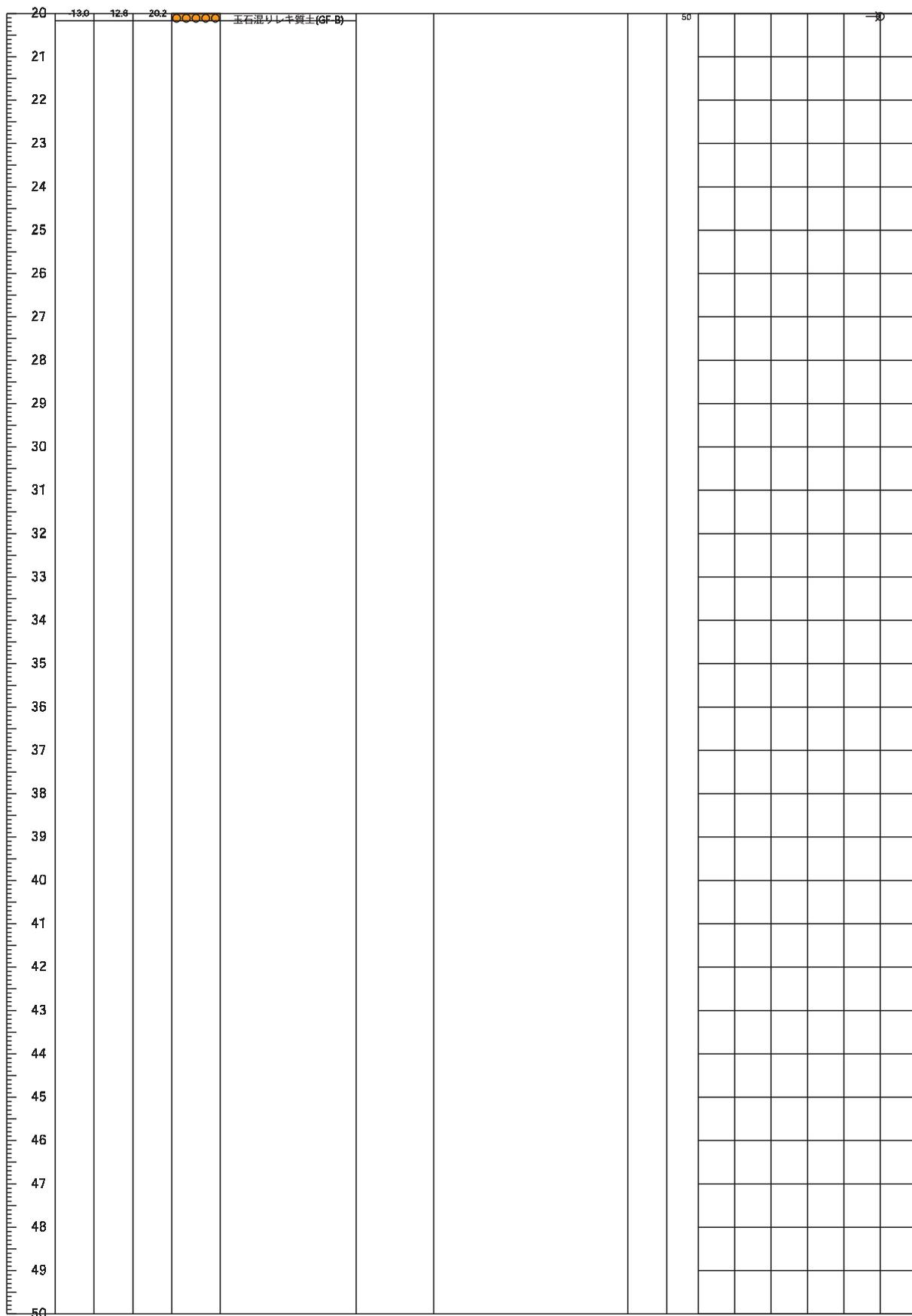
# ボーリング柱状図

参考60-3

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.2 m	総掘進長	20.17 m



(参考60-3)

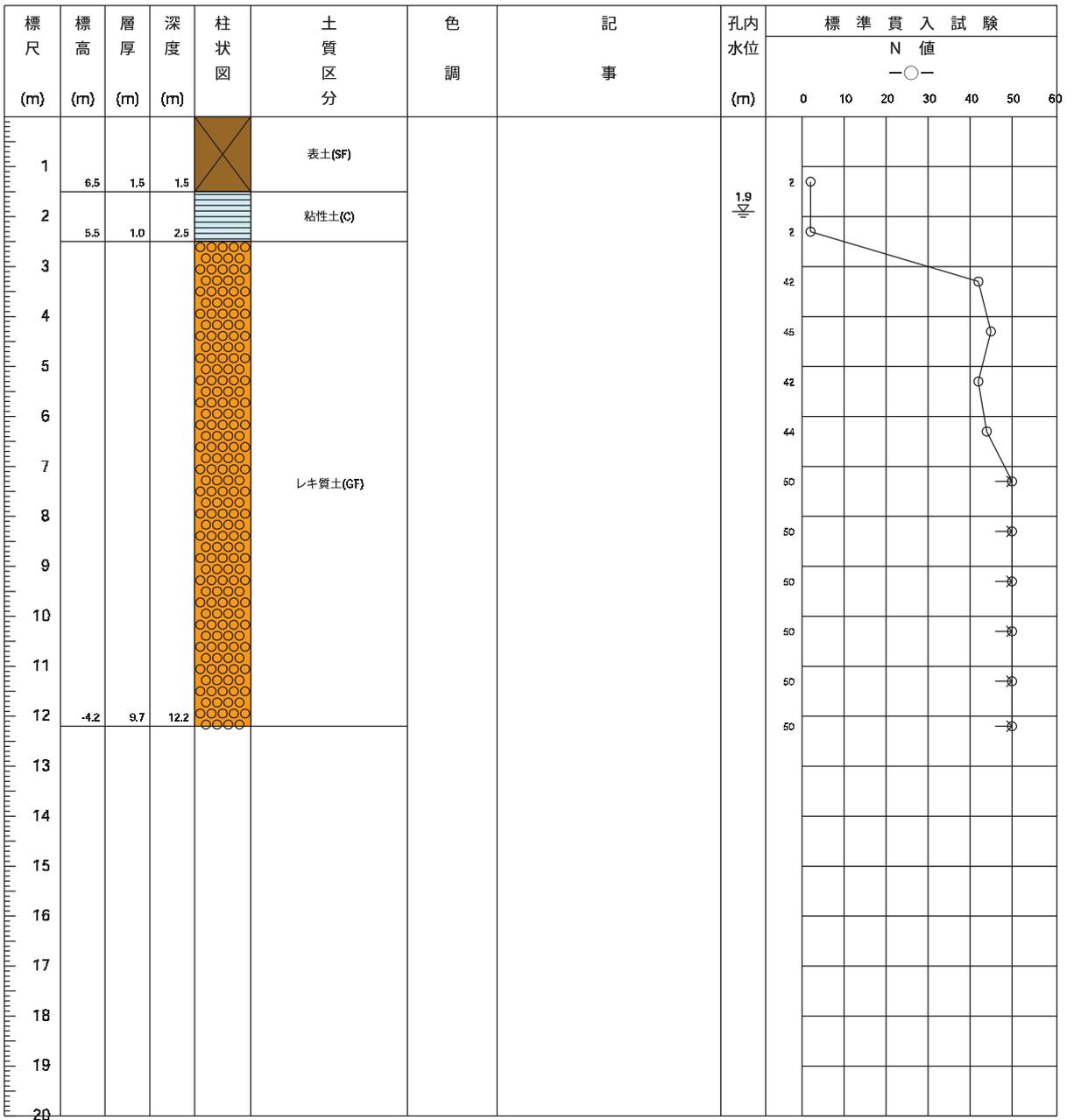


(参考60-4)

# ボーリング柱状図

参考60-4

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 8 m	総掘進長	12.2 m



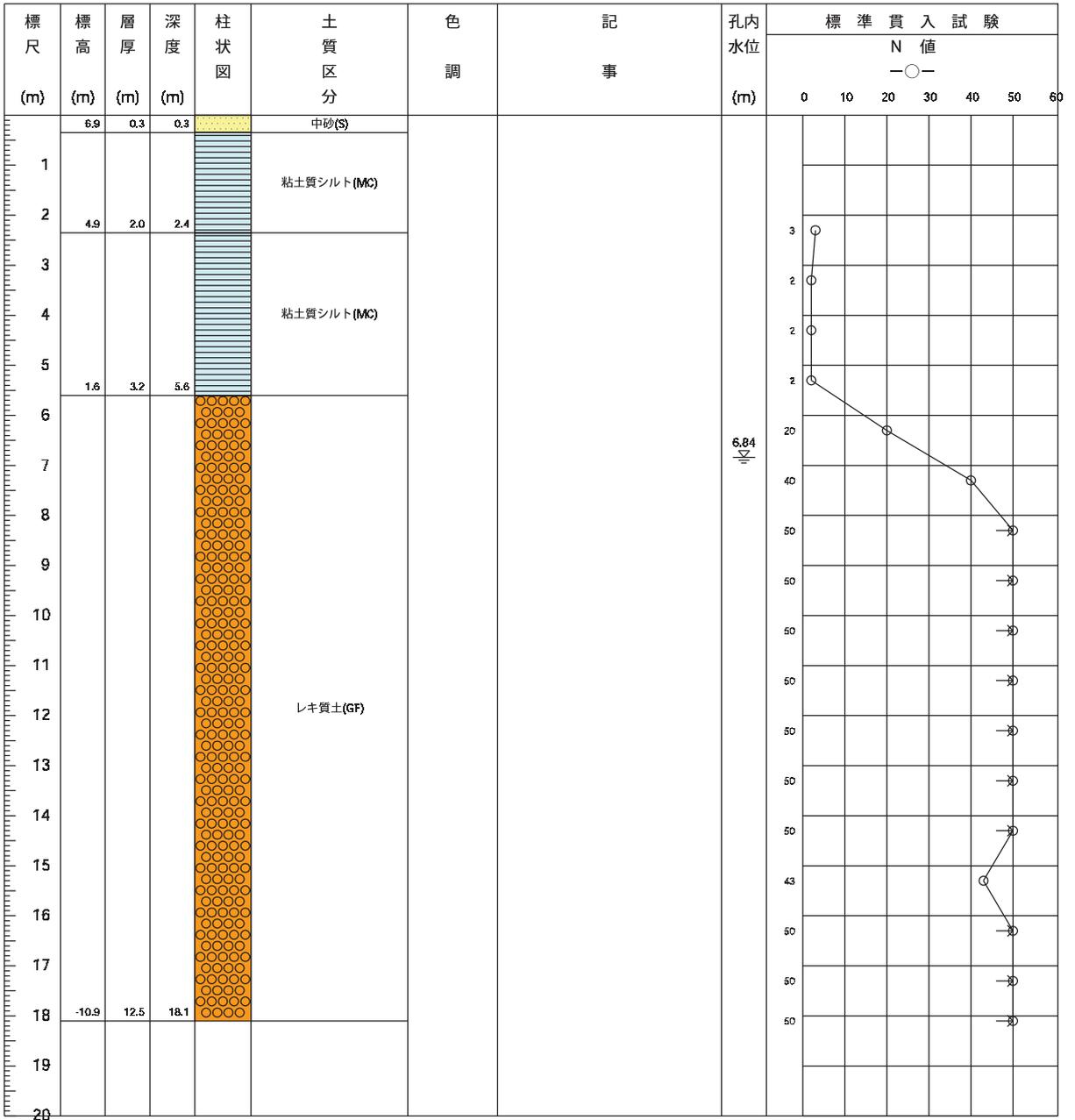
(参考60-4)

(参考60-5)

# ボーリング柱状図

参考60-5

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.24 m	総掘進長	18.1 m



(参考60-5)

ボーリング柱状図

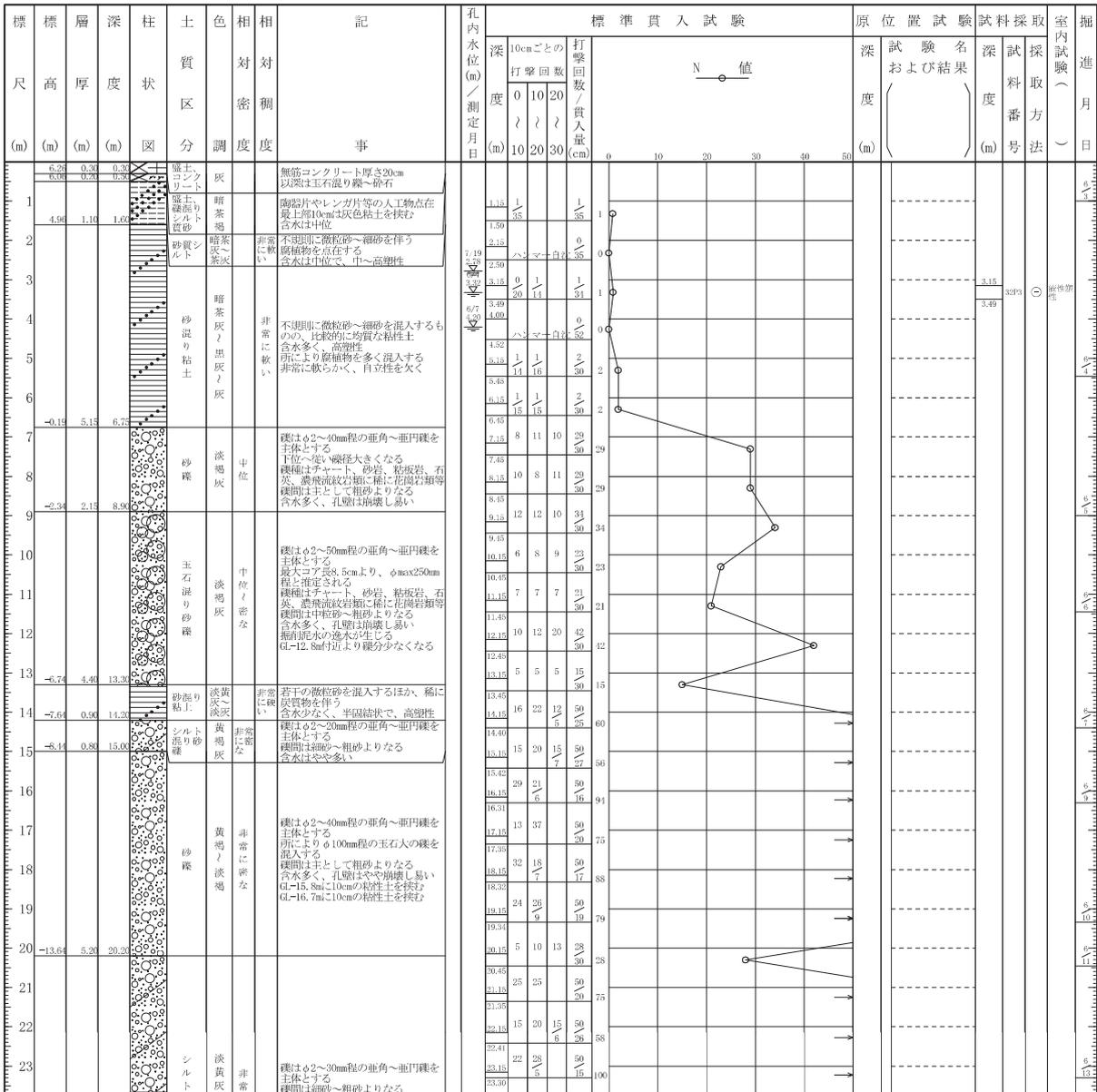
調査名

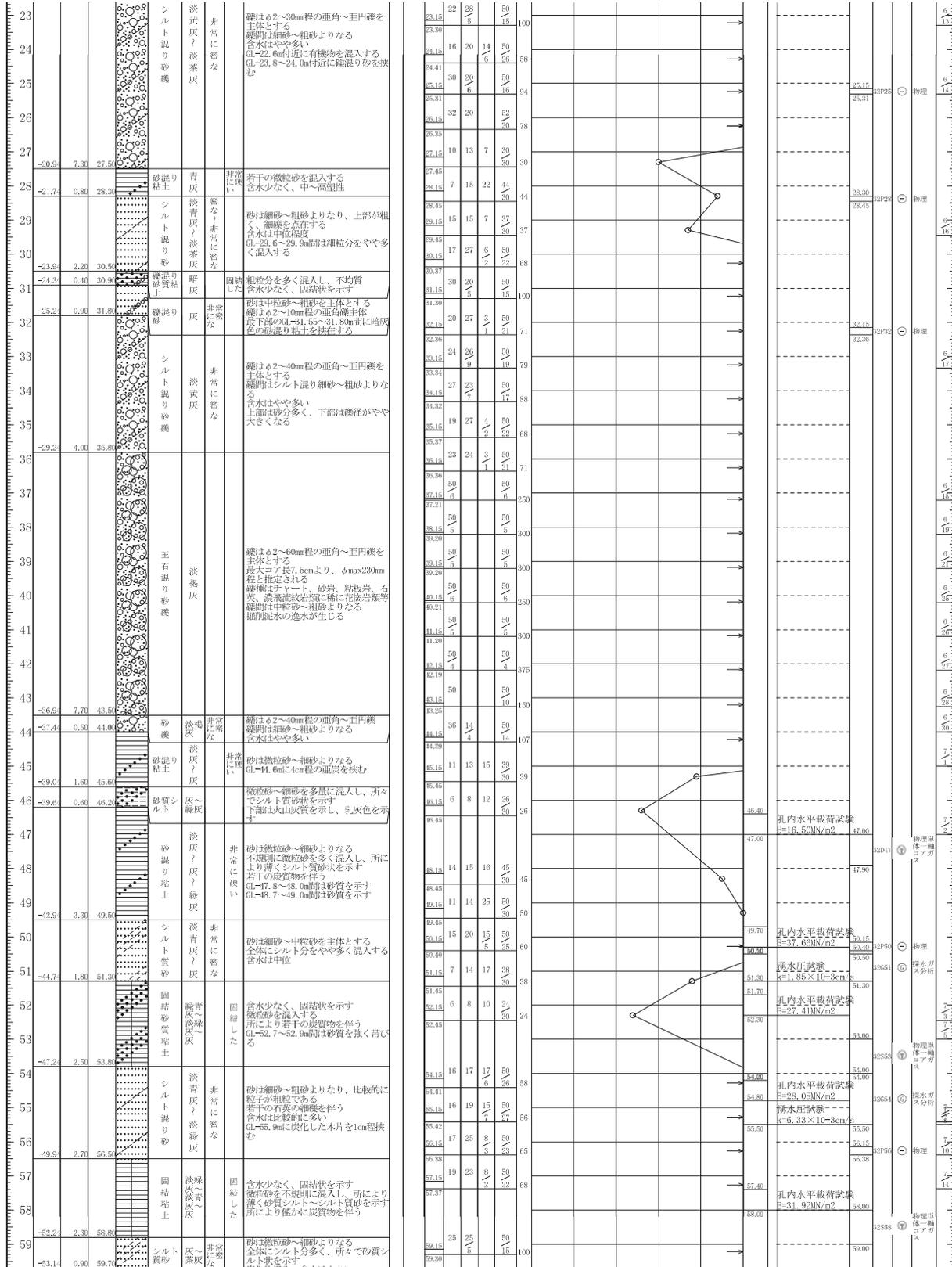
ボーリングNo																				
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

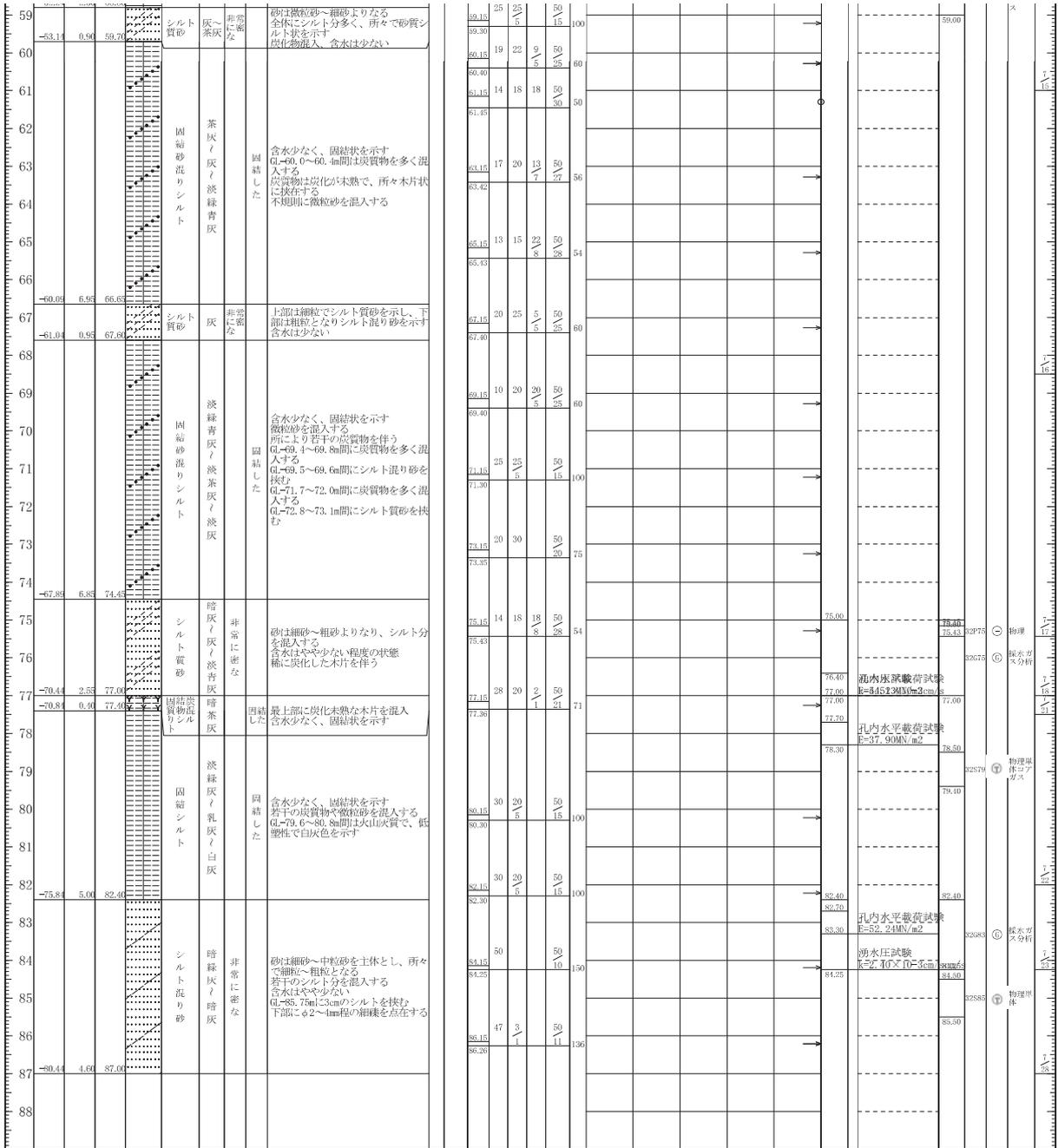
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置												北緯
発注機関	調査期間										東経		
調査業者名	主任技師					現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	H= 6.56m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	ハンマー 落下用具			ポンプ	
総掘進長	87.00m											エンジン	







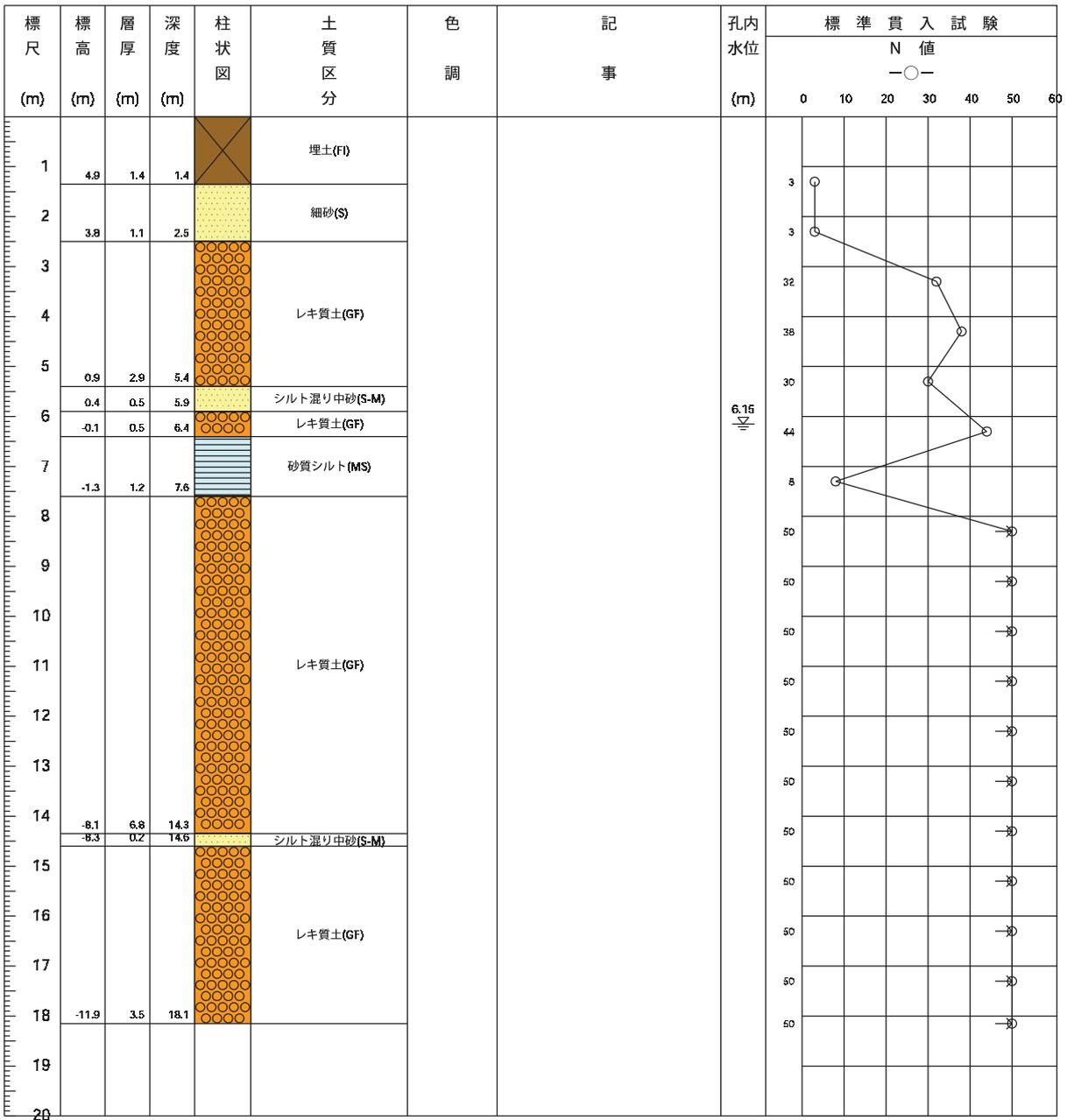
( JR-61 )

(参考61-1)

# ボーリング柱状図

参考61-1

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 6.29 m	総掘進長	18.15 m



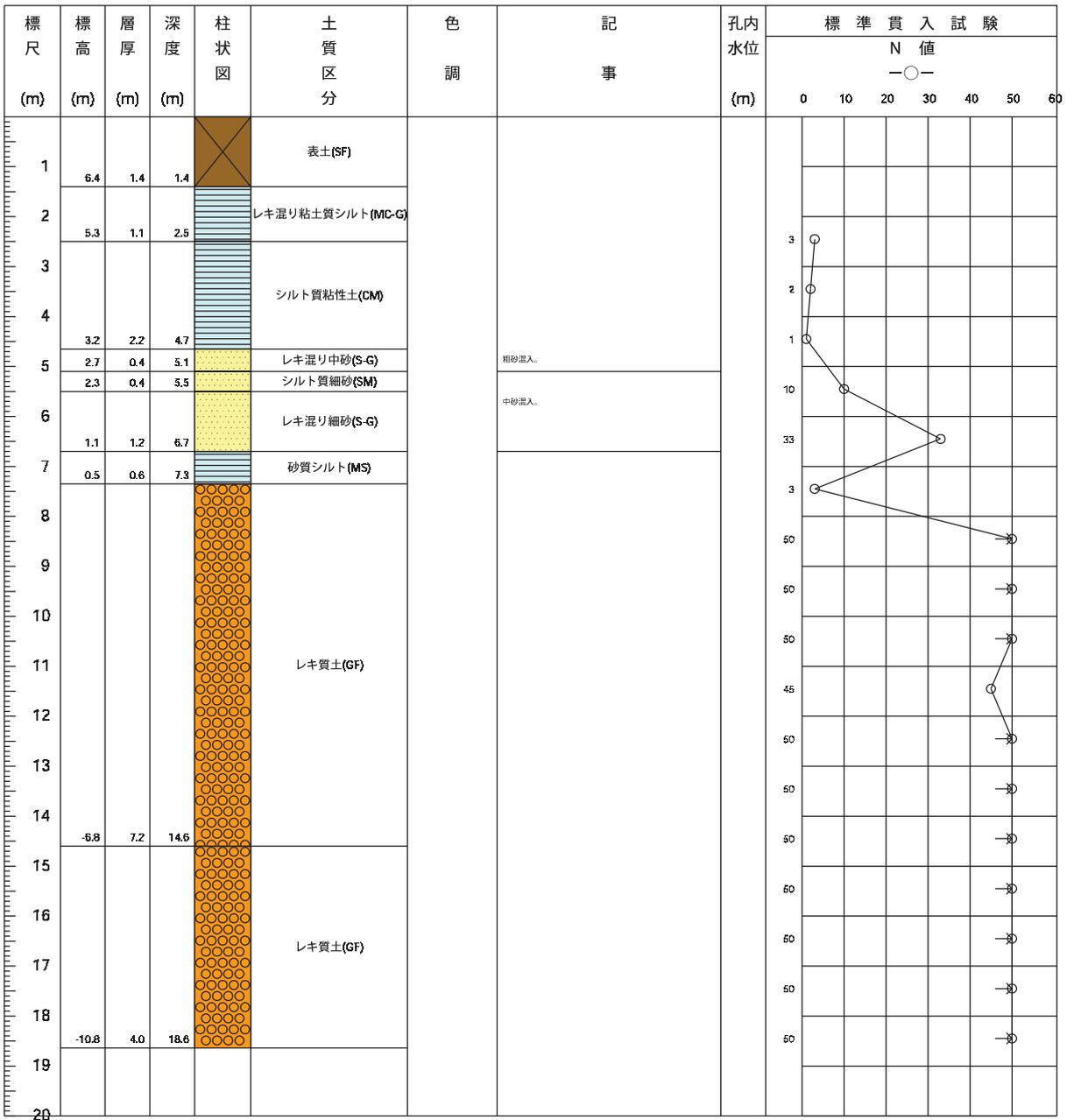
(参考61-1)

(参考61-2)

# ボーリング柱状図

参考61-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.84 m	総掘進長	18.64 m



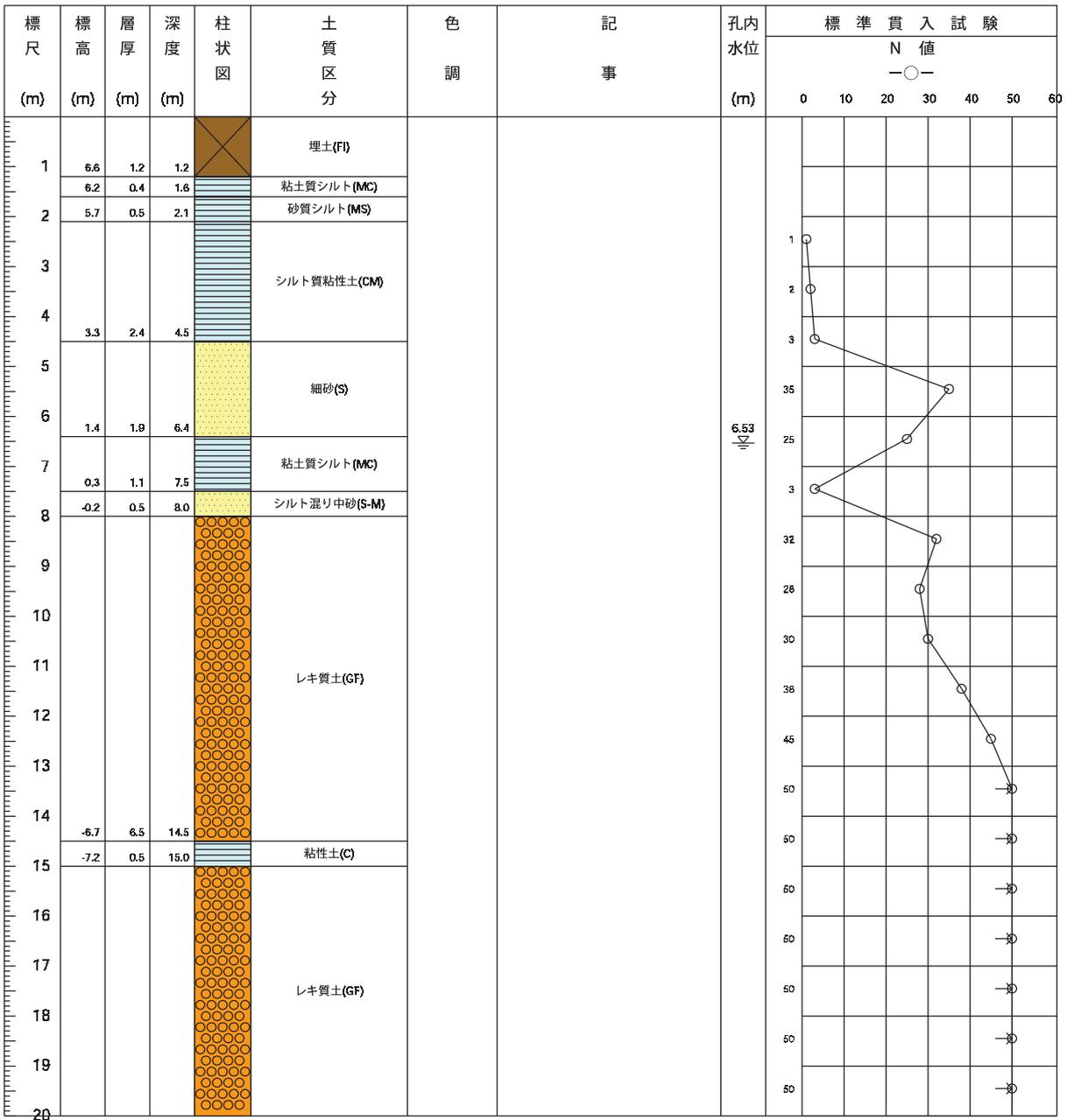
(参考61-2)

(参考61-3)

# ボーリング柱状図

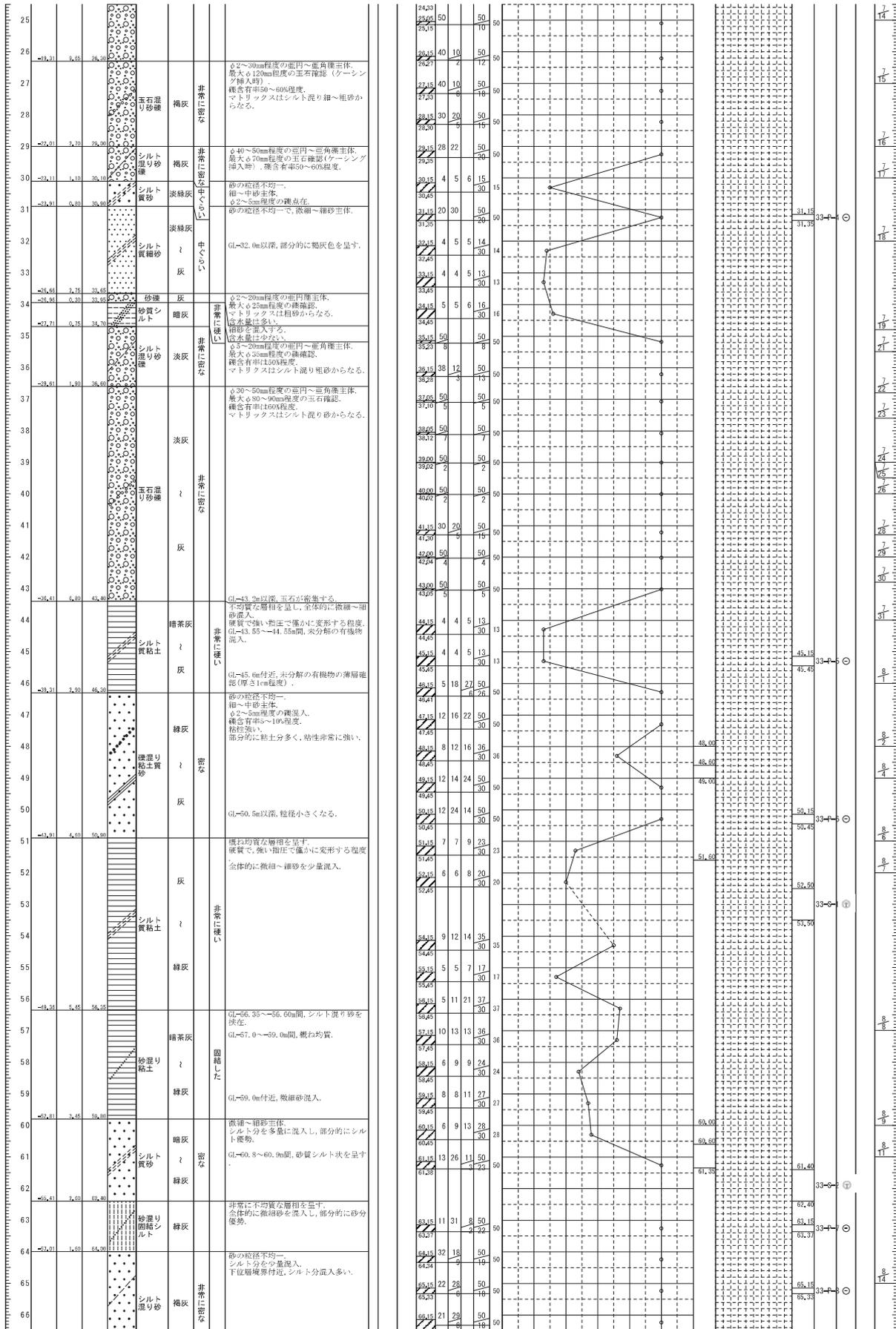
参考61-3

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.84 m	総掘進長	21.15 m











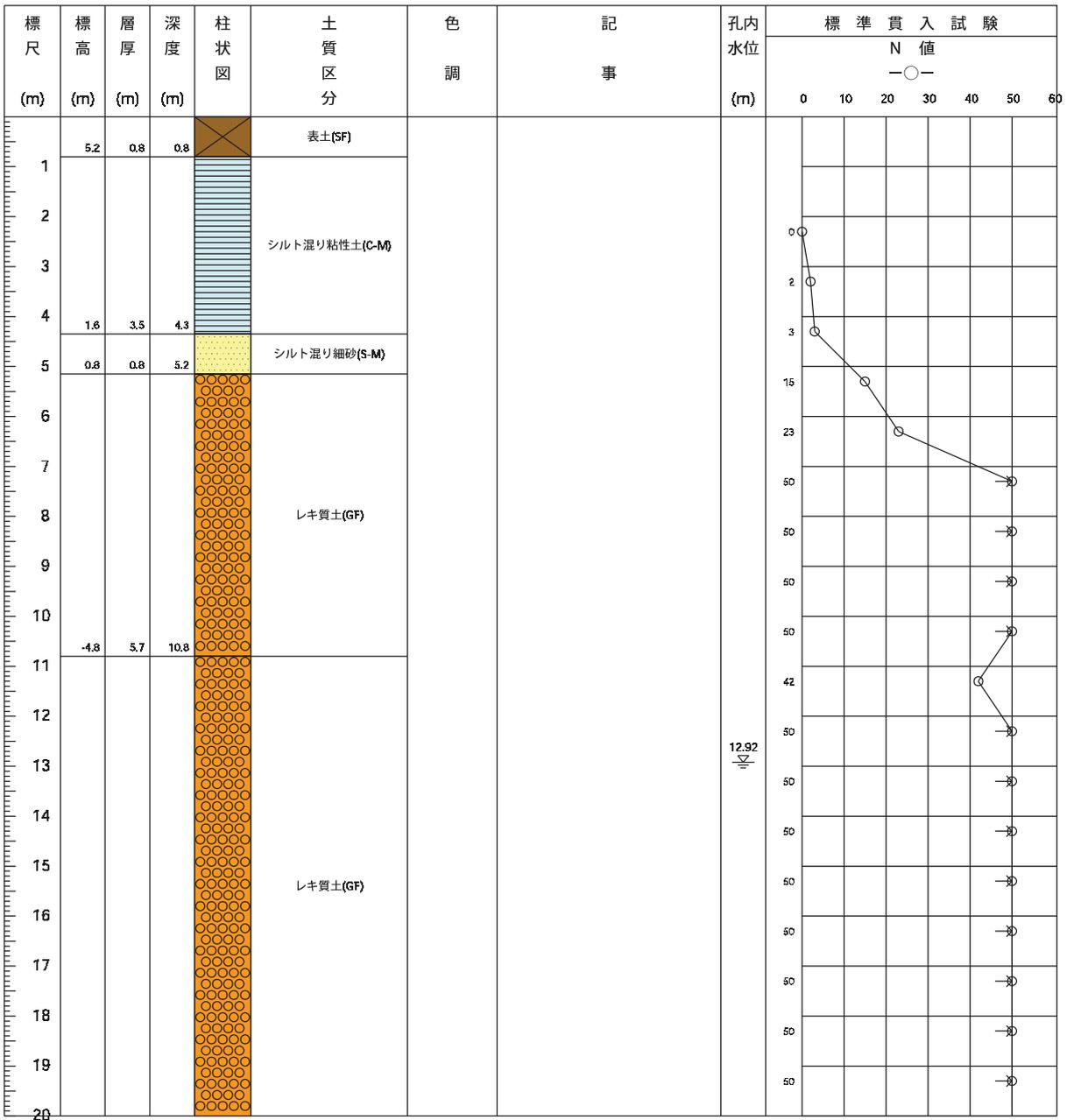
( JR-62 )

(参考62-1)

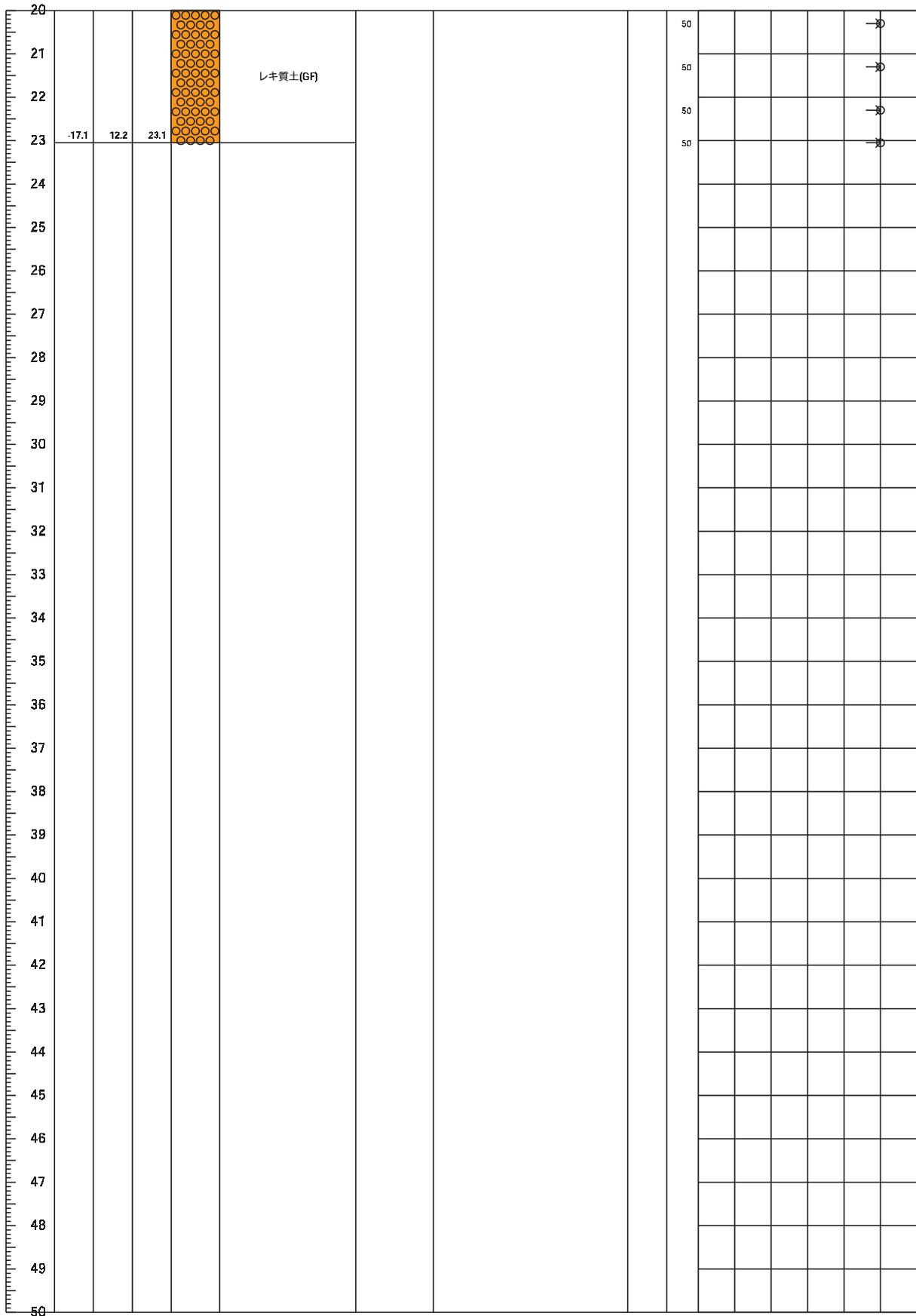
# ボーリング柱状図

参考62-1

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 5.97 m	総掘進長	23.05 m



(参考62-1)

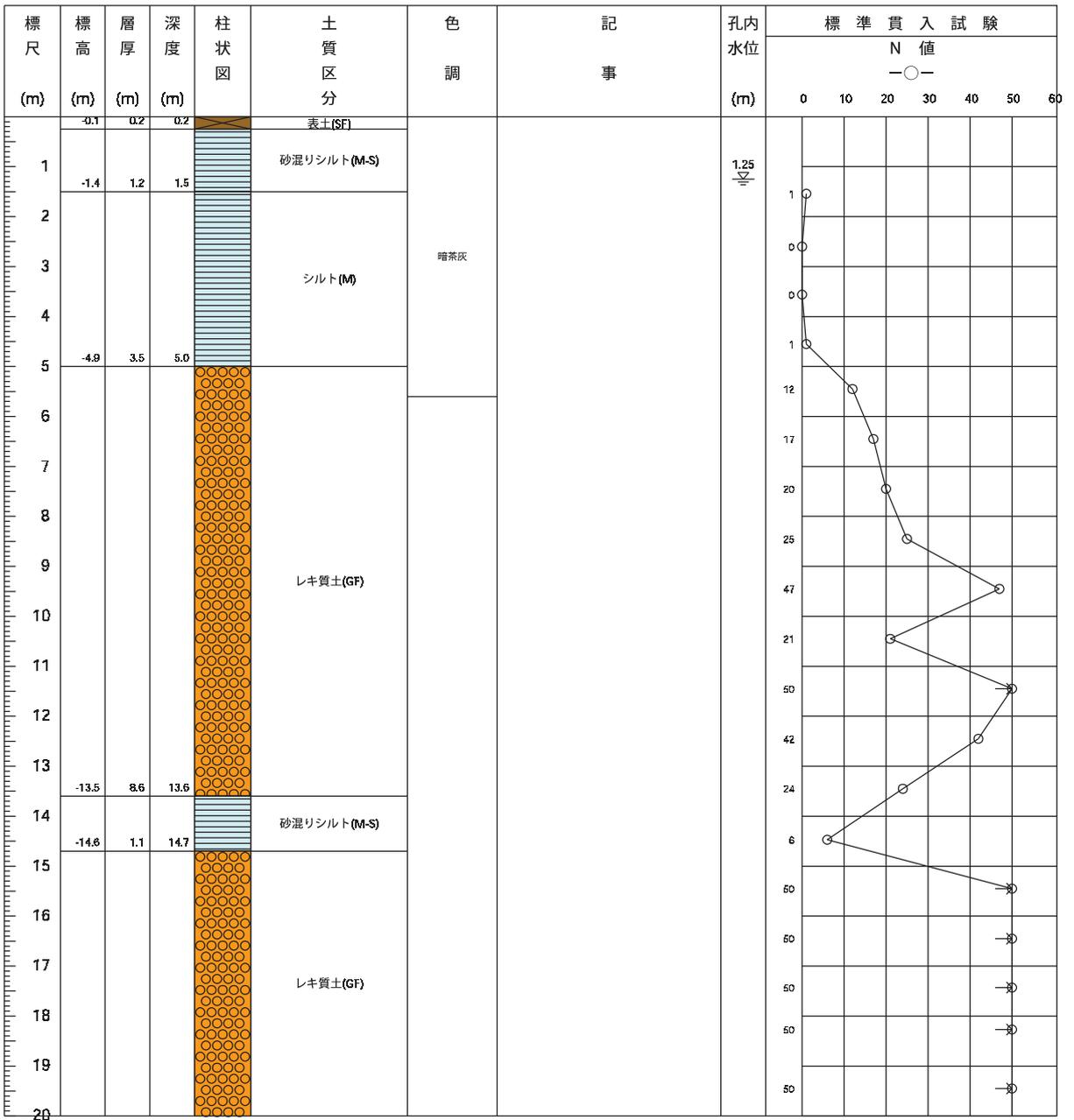


(参考62-2)

# ボーリング柱状図

参考62-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	5.80m*	総掘進長	20.45 m



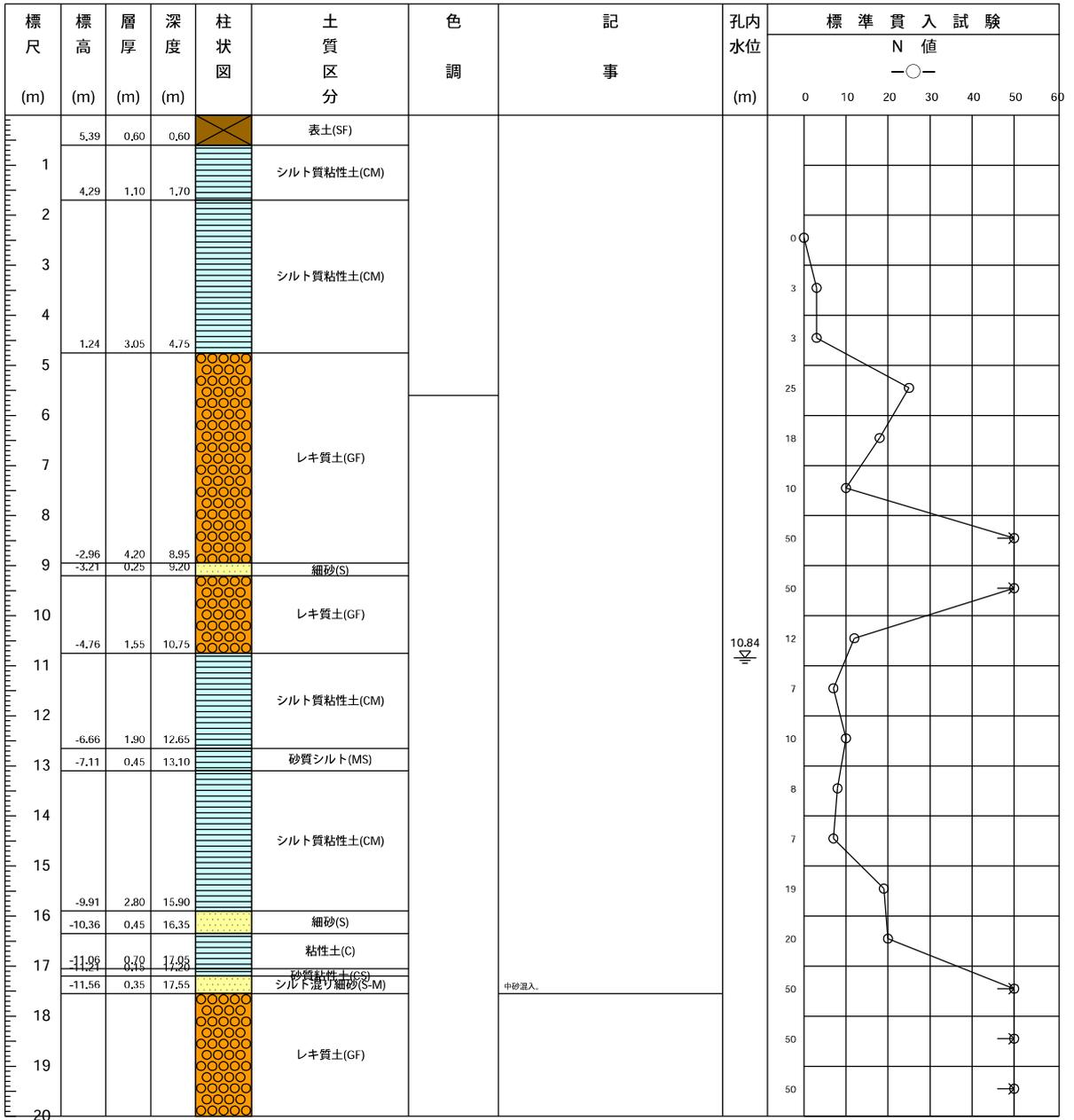


(参考62-3)

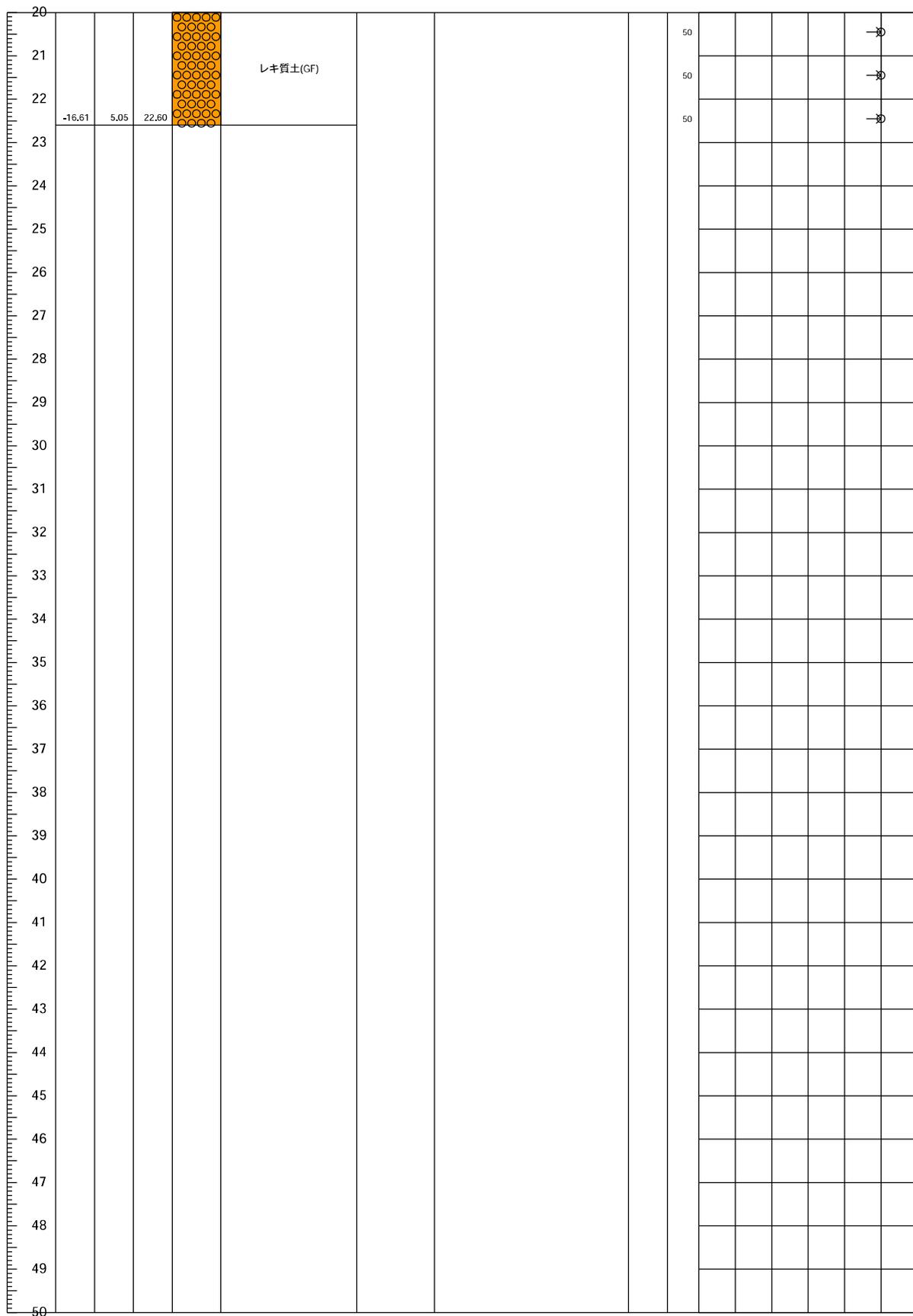
# ボーリング柱状図

参考62-3

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 5.99 m	総掘進長	22.6 m



(参考62-3)

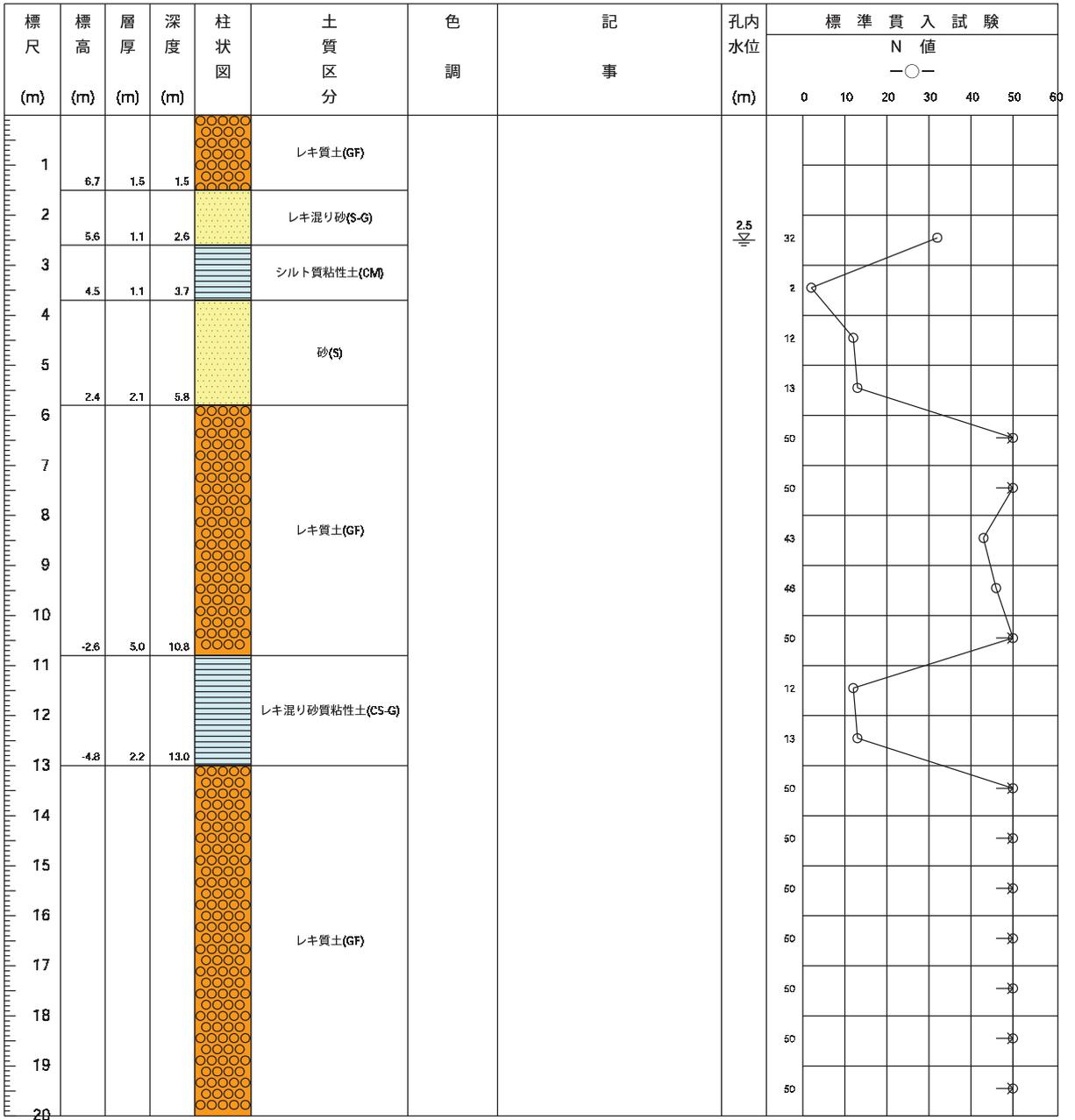


(参考62-4)

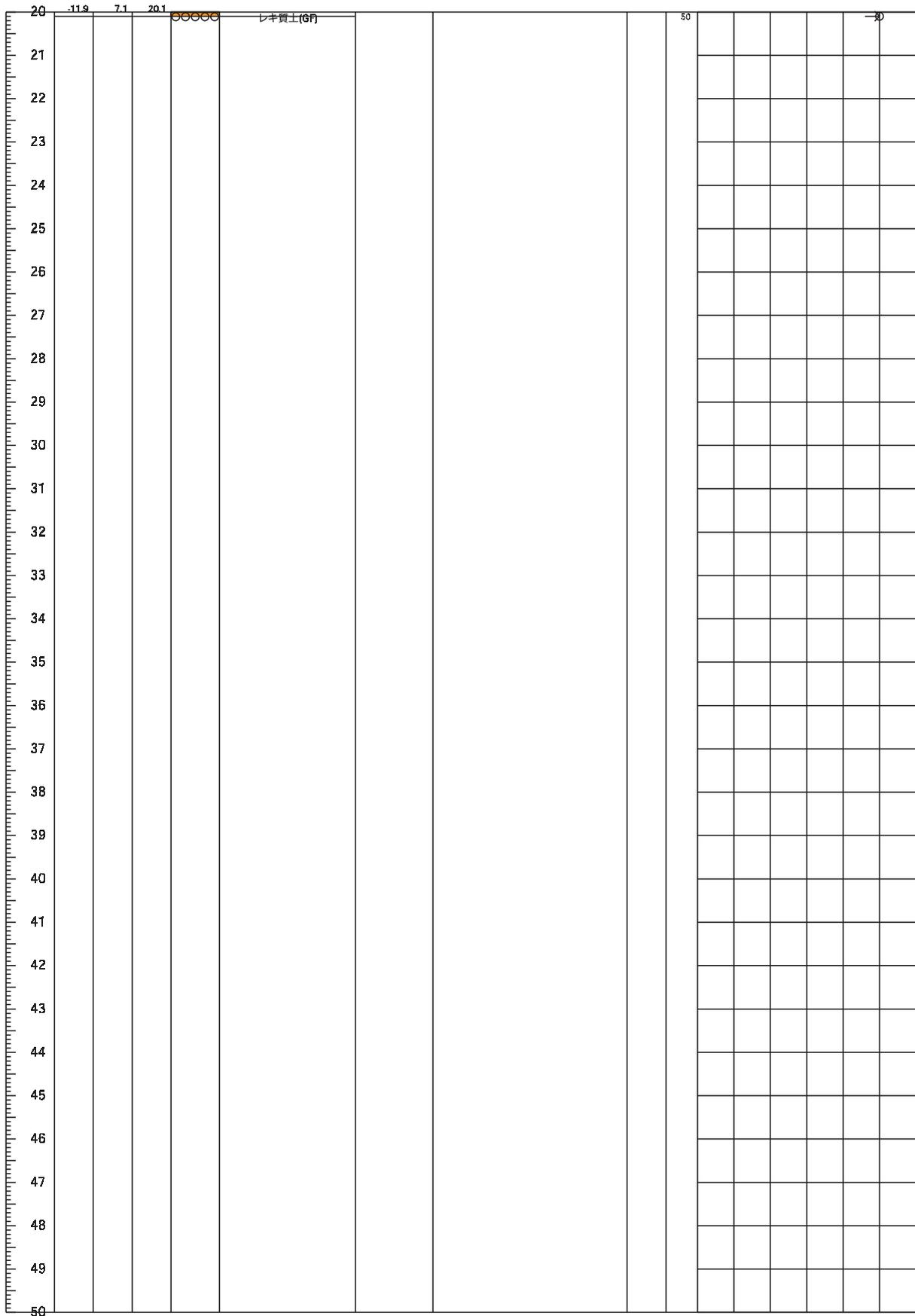
# ボーリング柱状図

参考62-4

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 8.2 m	総掘進長	20.1 m

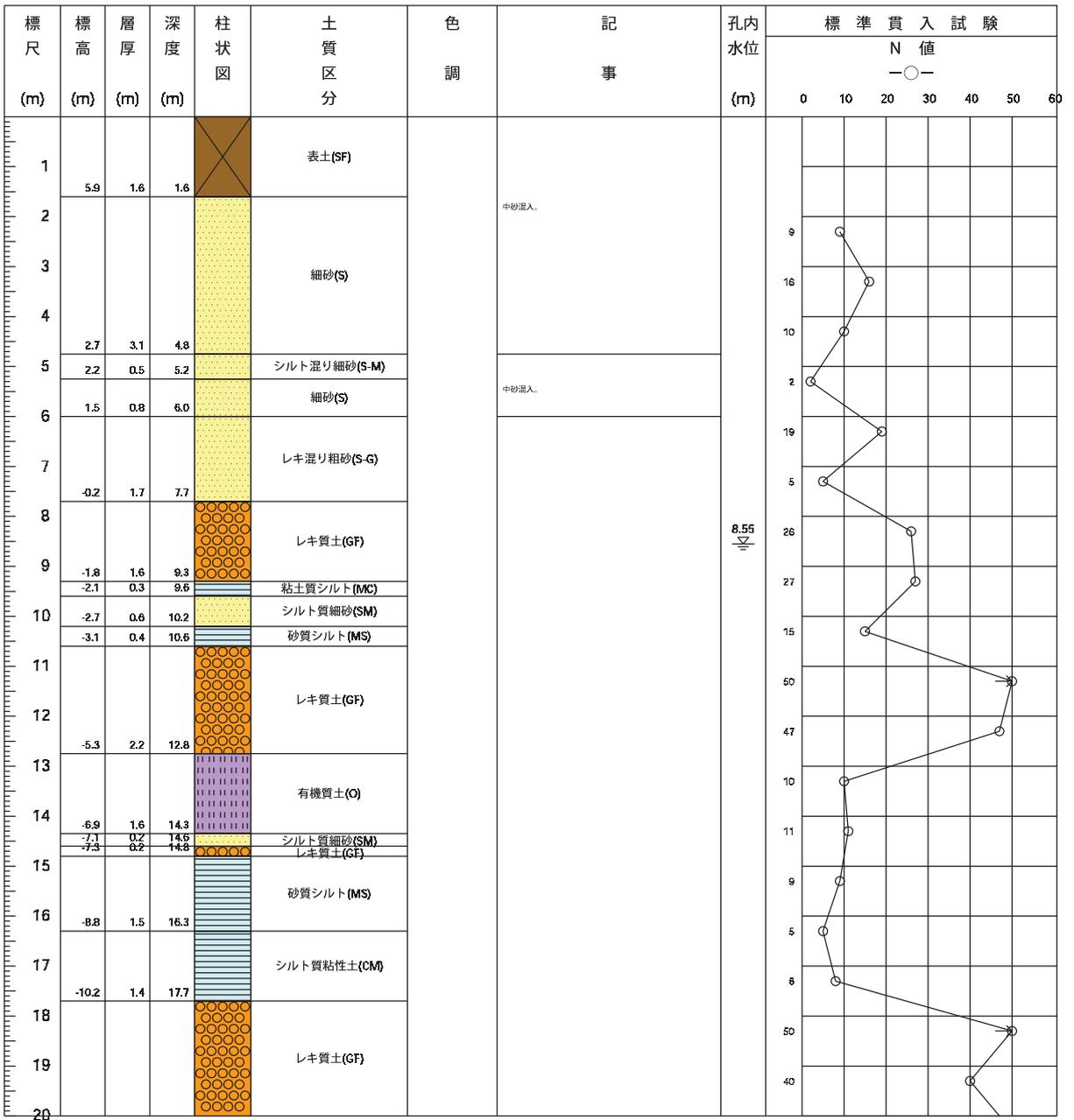


(参考62-4)

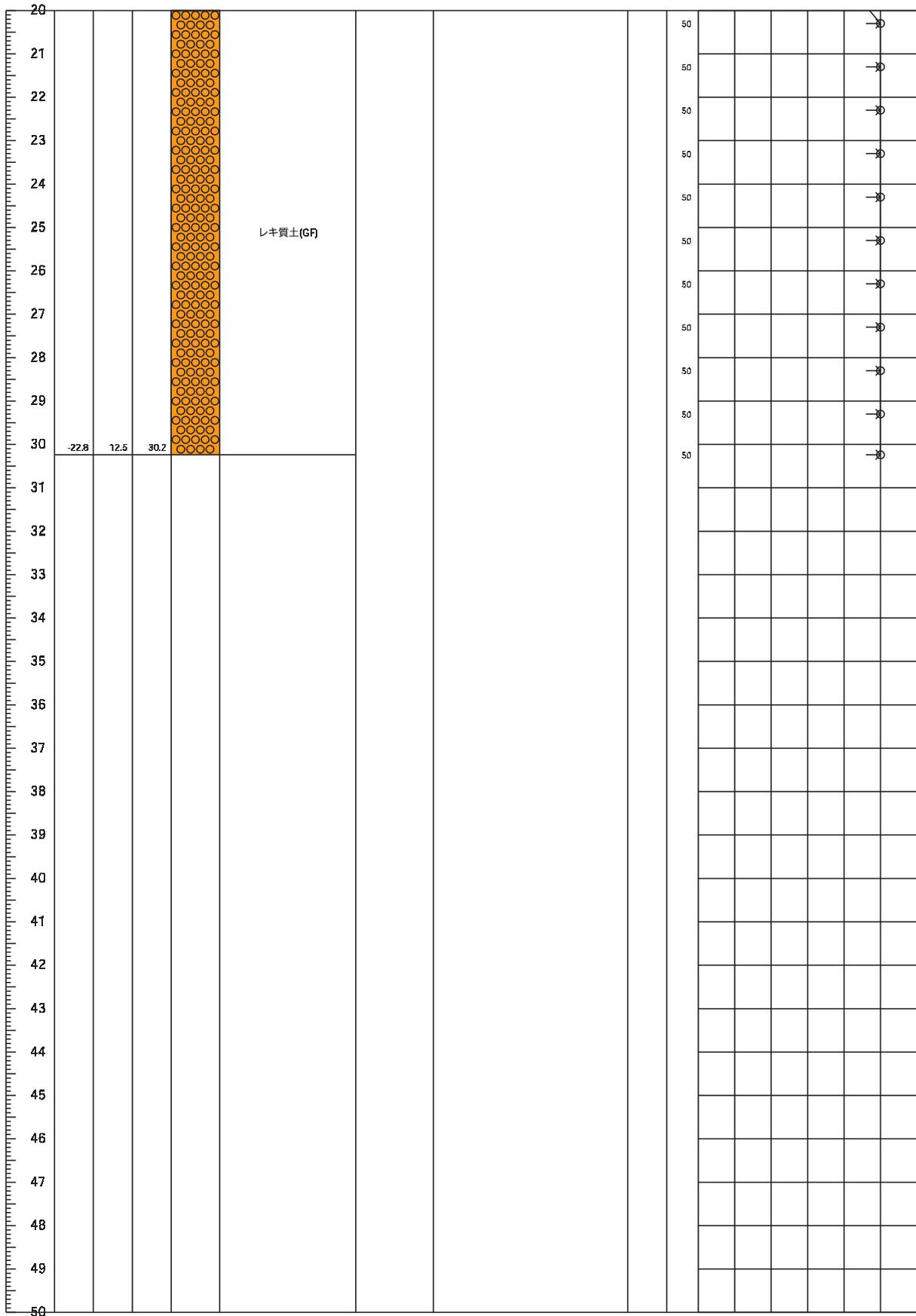


# ボーリング柱状図

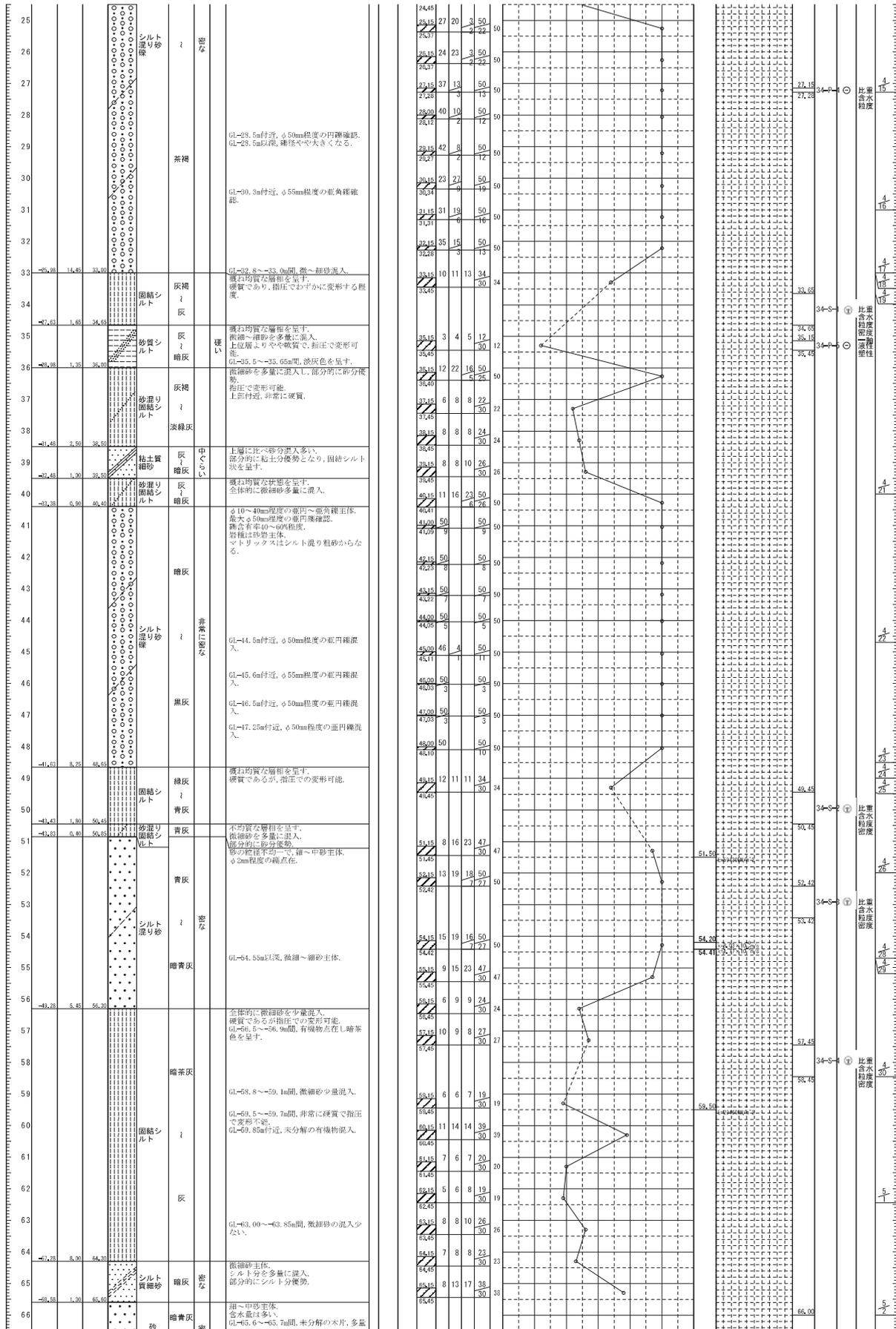
ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.48 m	総掘進長	30.24 m

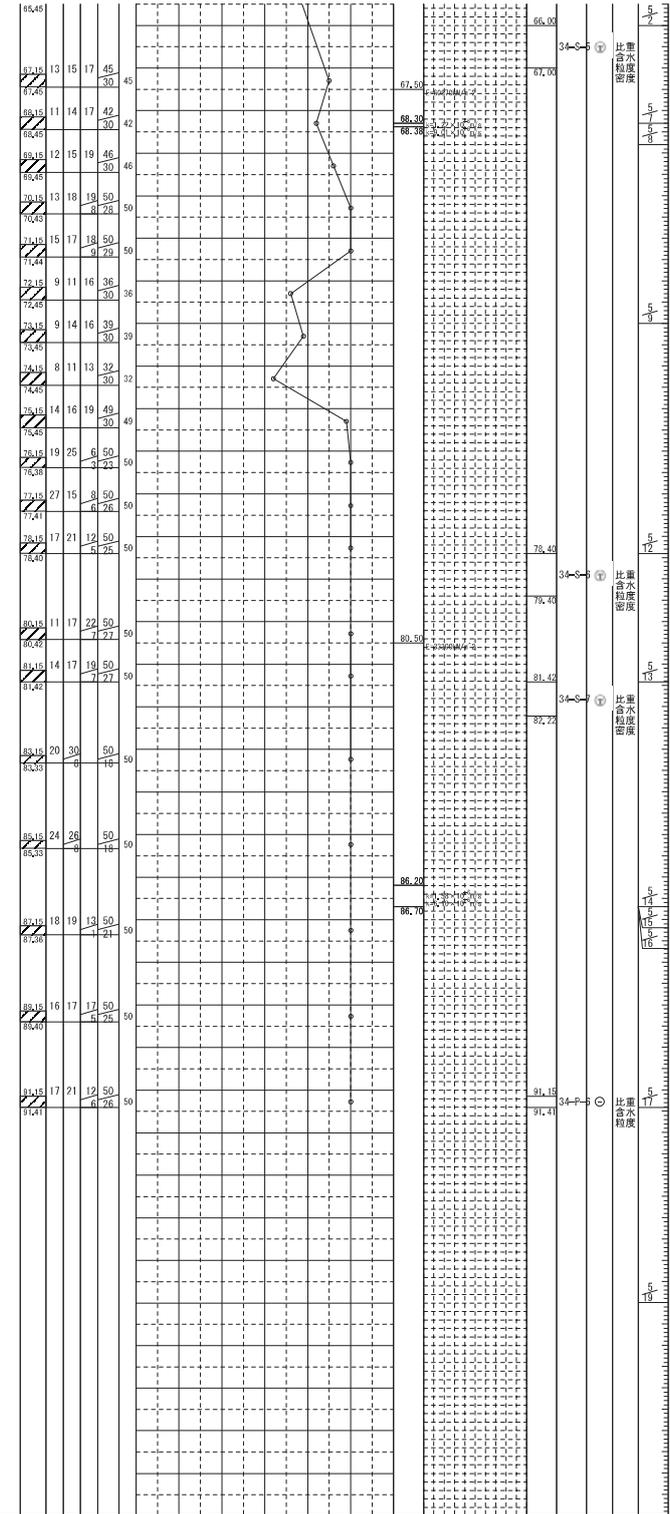
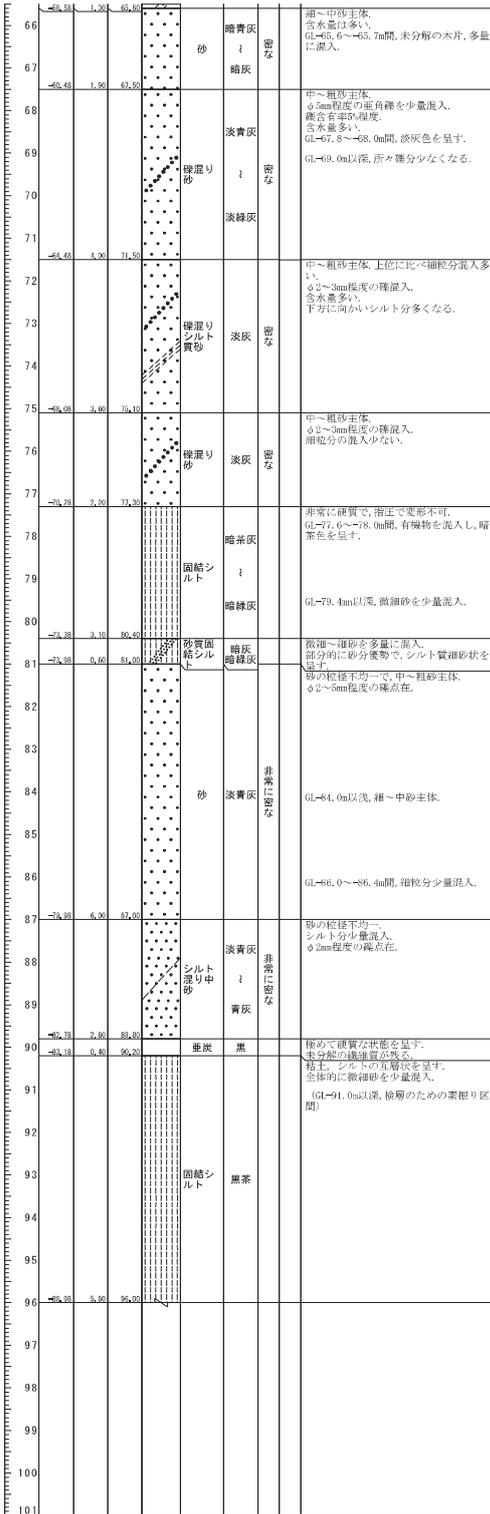


(参考62-5)









( JR-63 )



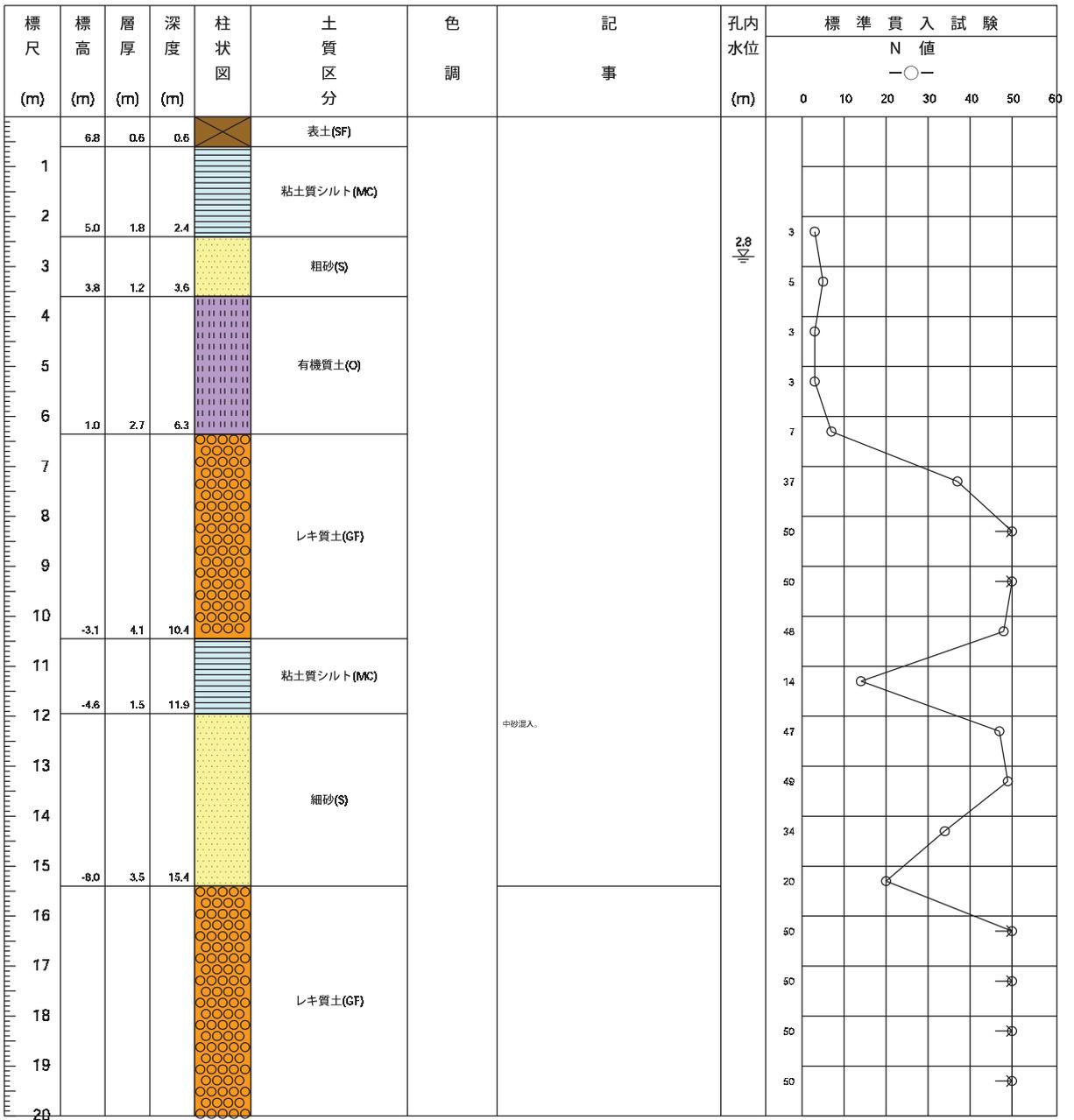
(参考63-1)

(参考63-2)

# ボーリング柱状図

参考63-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 7.36 m	総掘進長	20.23 m





ボーリング柱状図

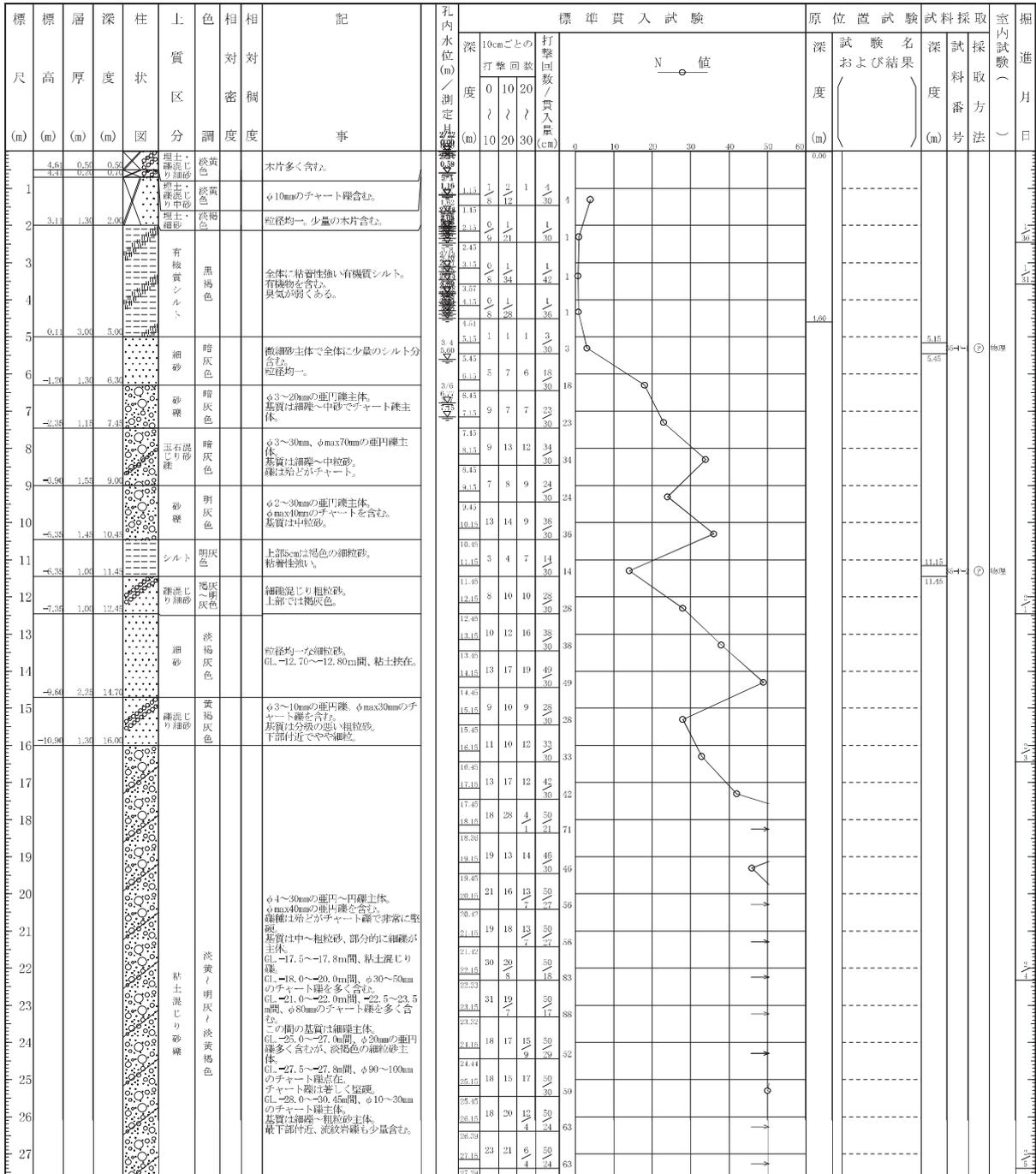
調査名

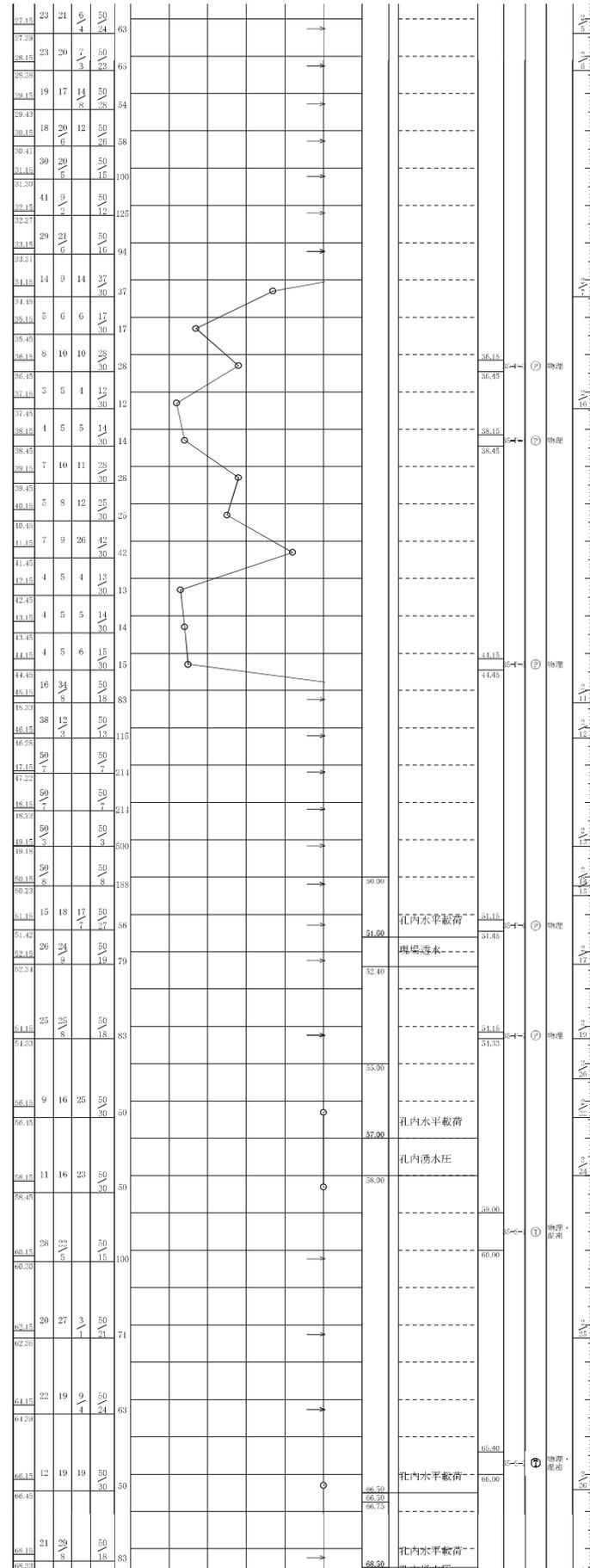
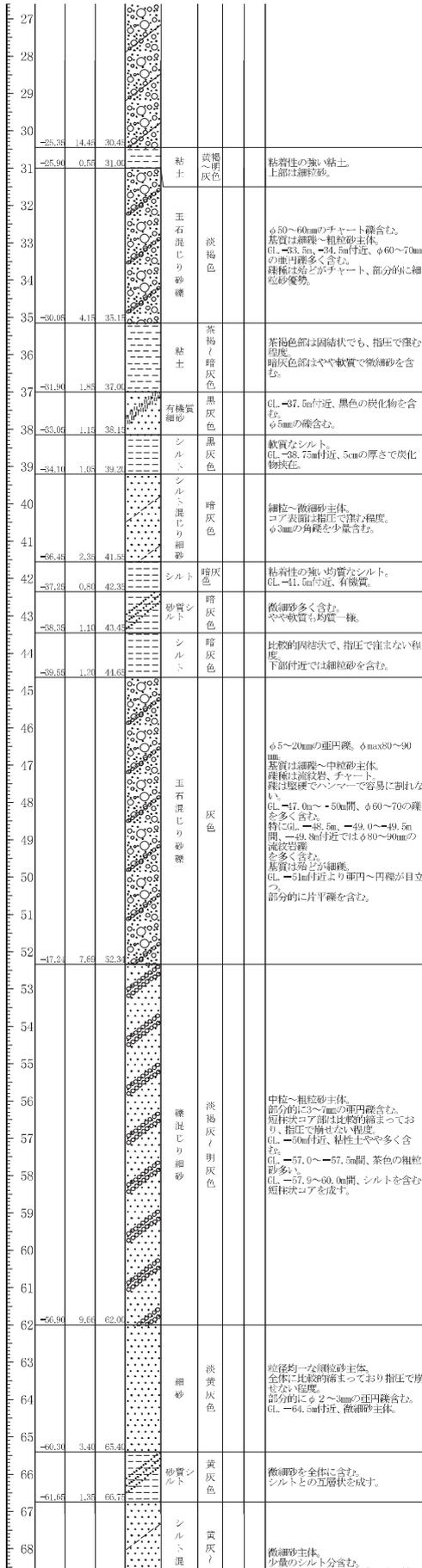
ボーリングNo																			
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

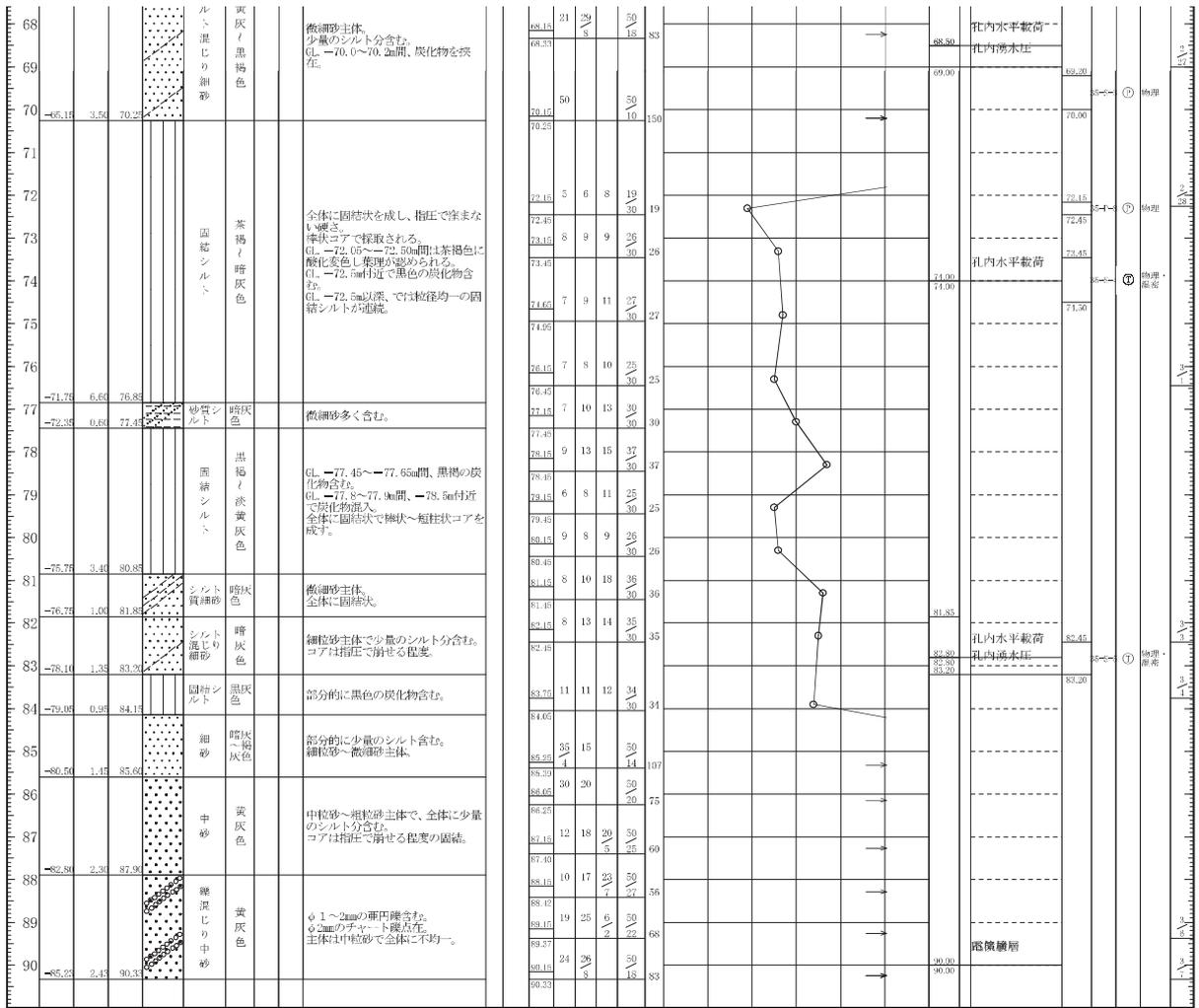
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	調査位置											北緯			
発注機関	調査期間											東経			
調査業者名	主任技師											現代場			
孔口標高	T.P +5.105m	角	180°上	90°	方	北 0°	東 90°	西 270°	南 180°	地盤勾配	鉛直	水平	使用機種	ハンマー落下用具	ボーリング責任者
総掘進長	90.33m	度	0°	0°	向	0°	90°	270°	180°	鉛直	90°	0°	エンジン	ポンプ	







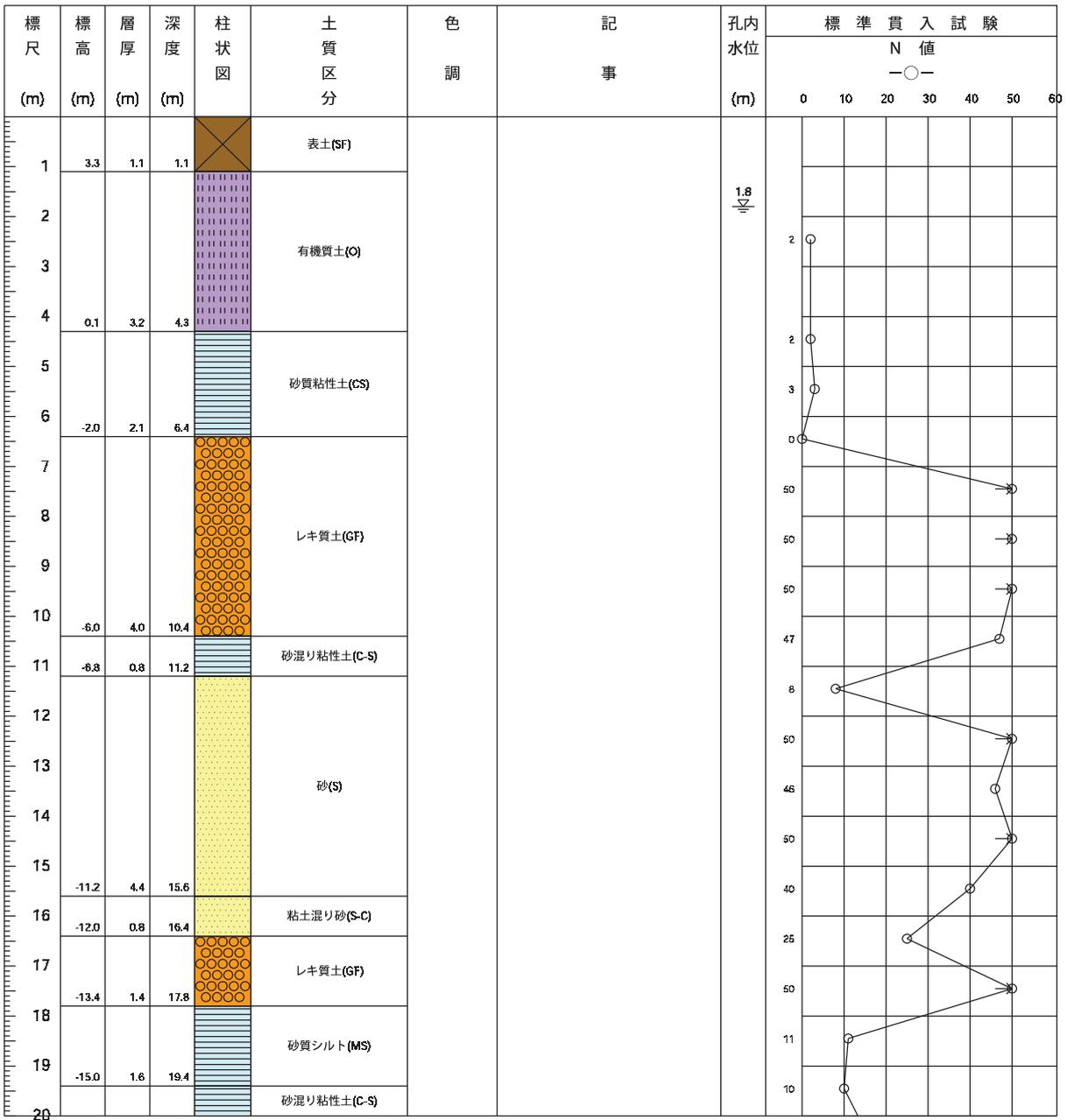
( JR-64 )

(参考64-1)

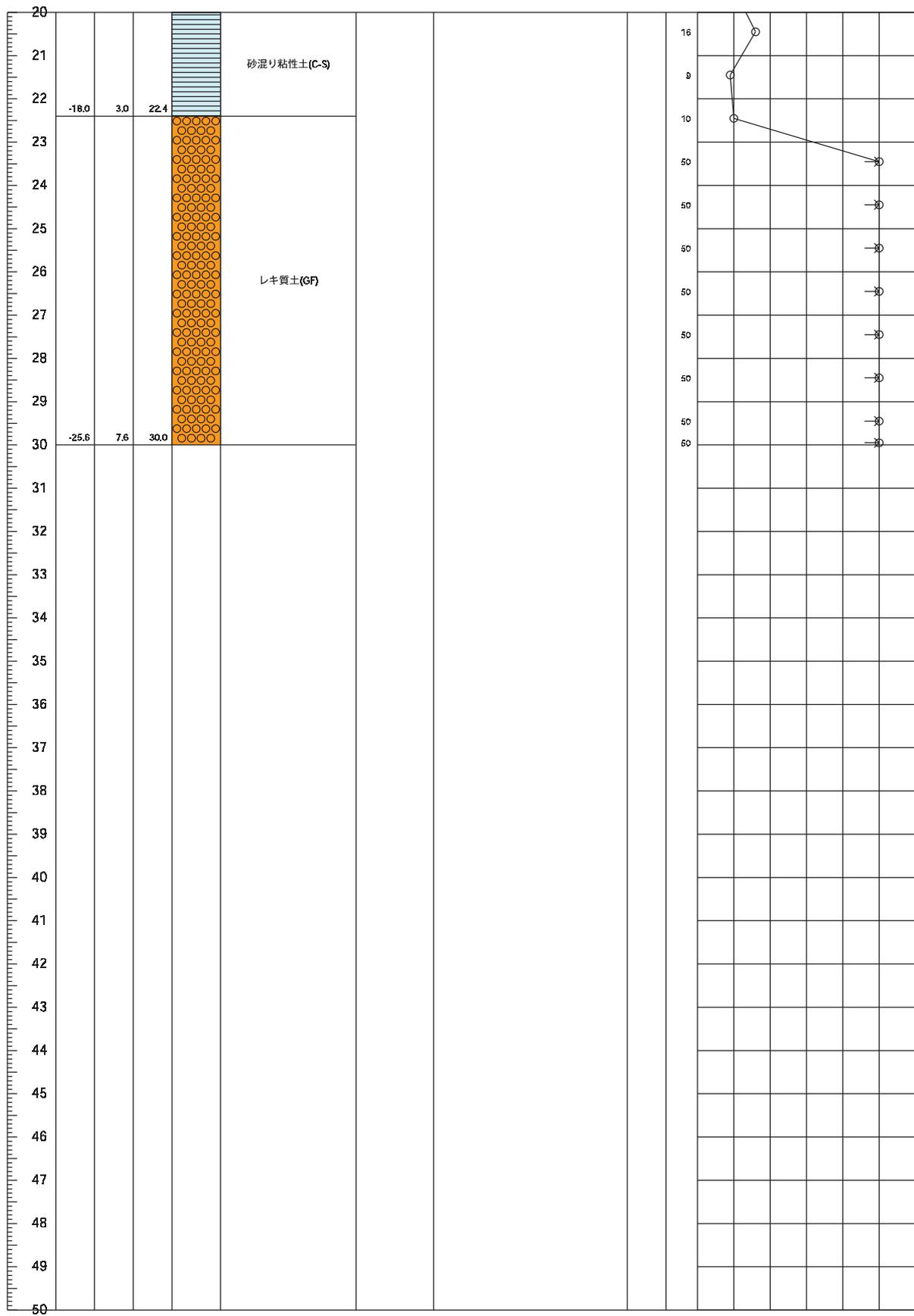
# ボーリング柱状図

参考64-1

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 4.39 m	総掘進長	30 m



(参考64-1)



(参考64-2)

参考64-2

ボーリング柱状図

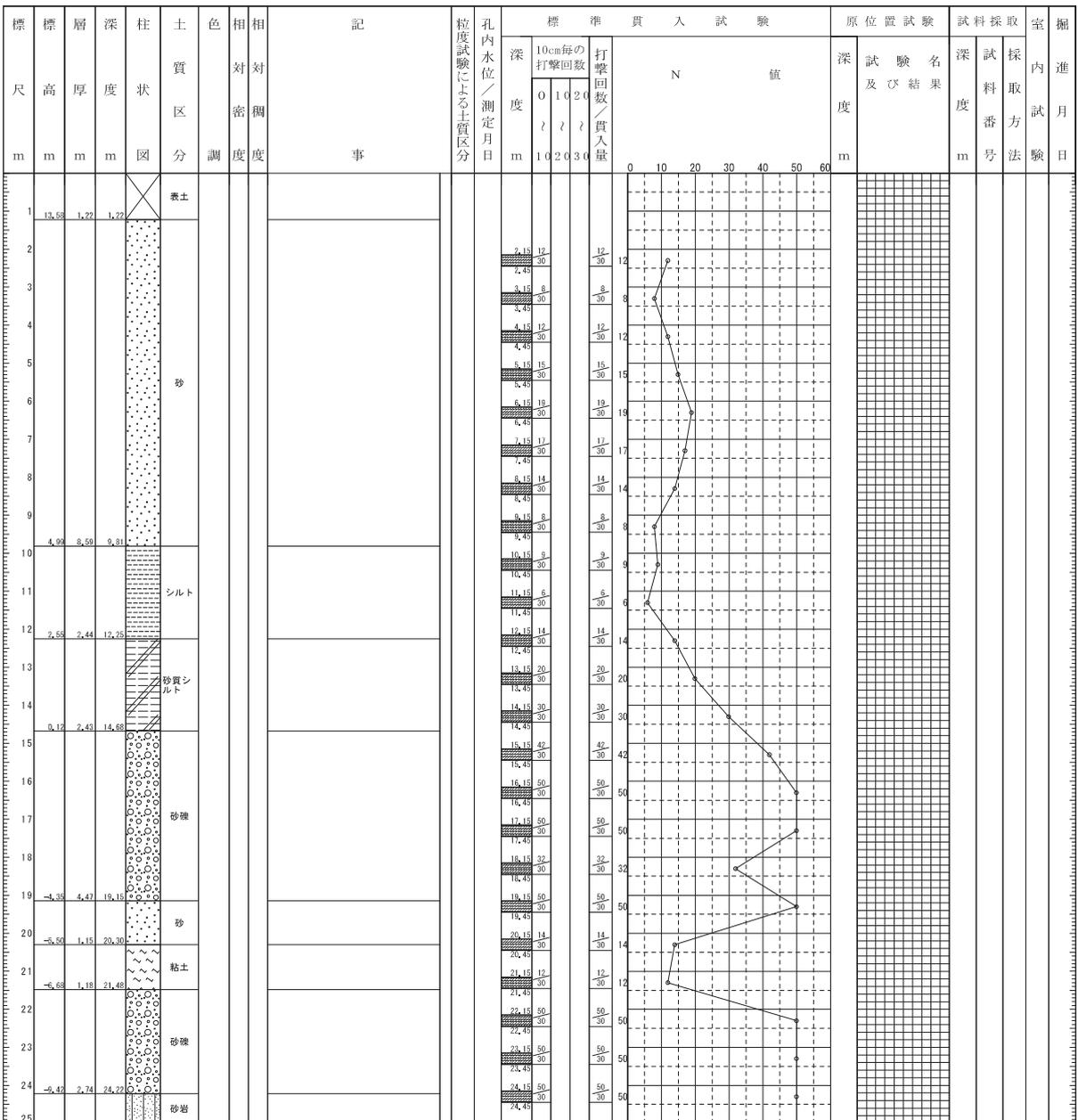
調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯		
発注機関	調査期間			東経		
調査業者名	主任技師		現代場 代理人	コ 定 者		ボーリ ン グ 責 任 者
孔口標高 TP 14.80m	角 180° 上下 0°	方 向 北0° 西180° 東90° 南	地盤 勾配 鉛直 90°	使用 機 種	ハンマ 落 下 用 具	
総掘進長 38.30m				試錐機 エンジン	ポンプ	





ボーリング柱状図

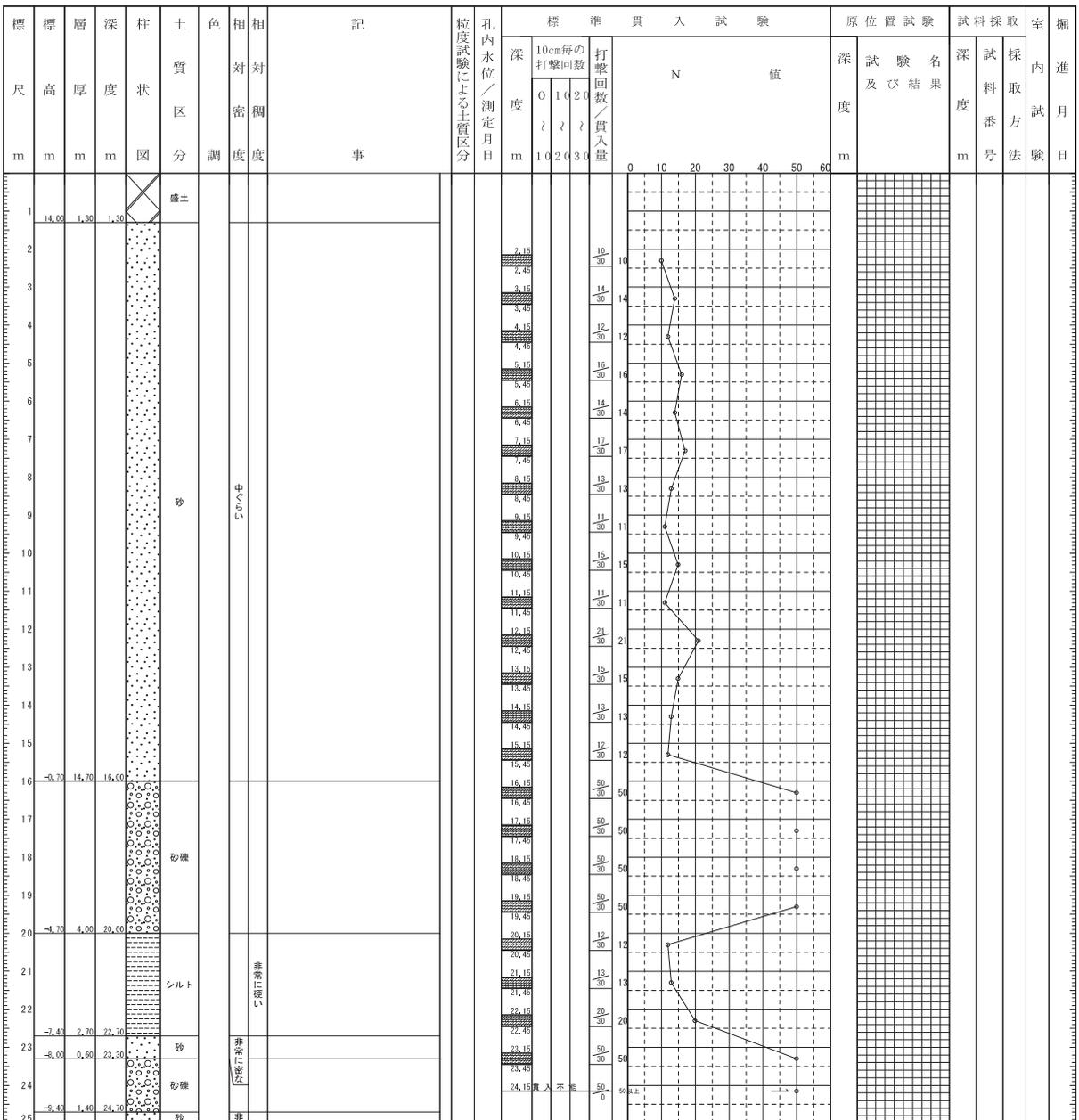
調査名

事業・工事名

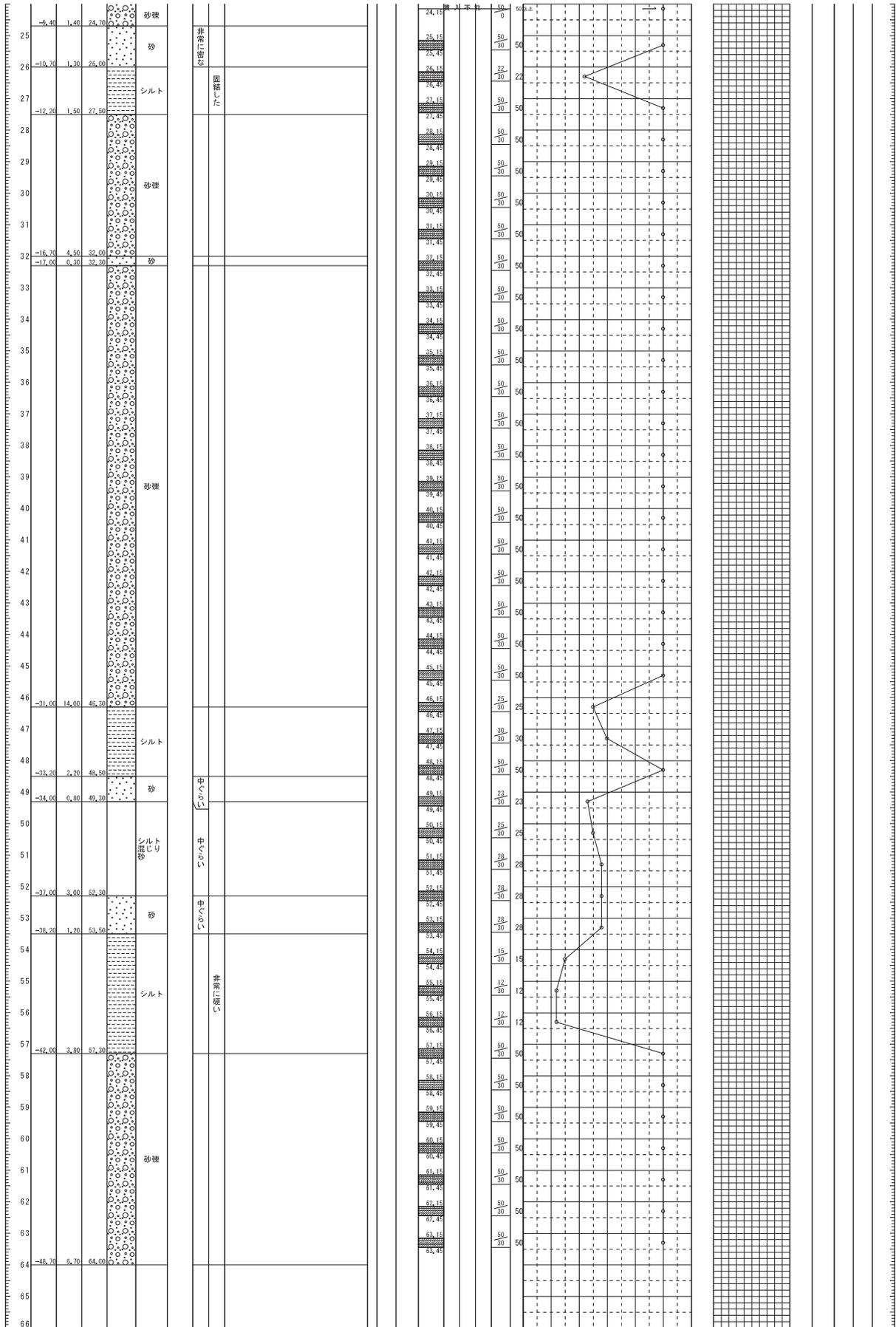
ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo.

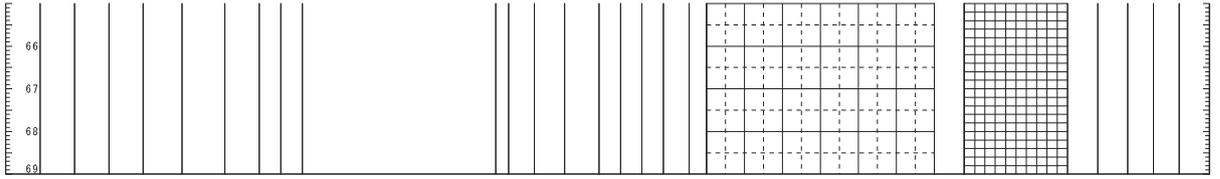
ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間		年月日～年月日		東経
調査業者名	主任技師		現代場 代理人	コ ア ア 定 者	ボーリ ン グ 責 任 者
孔口標高	TP 15.30m	角 180° 上下 0°	方 北 0° 西 180° 東 90° 南	地盤 勾配 鉛直 90° 水平 0°	使用 機 種 試錐機 エンジン
総掘進長	64.00m	ハンマ 落下 用具		ポン プ	



(参考64-3)



(参考64-3)

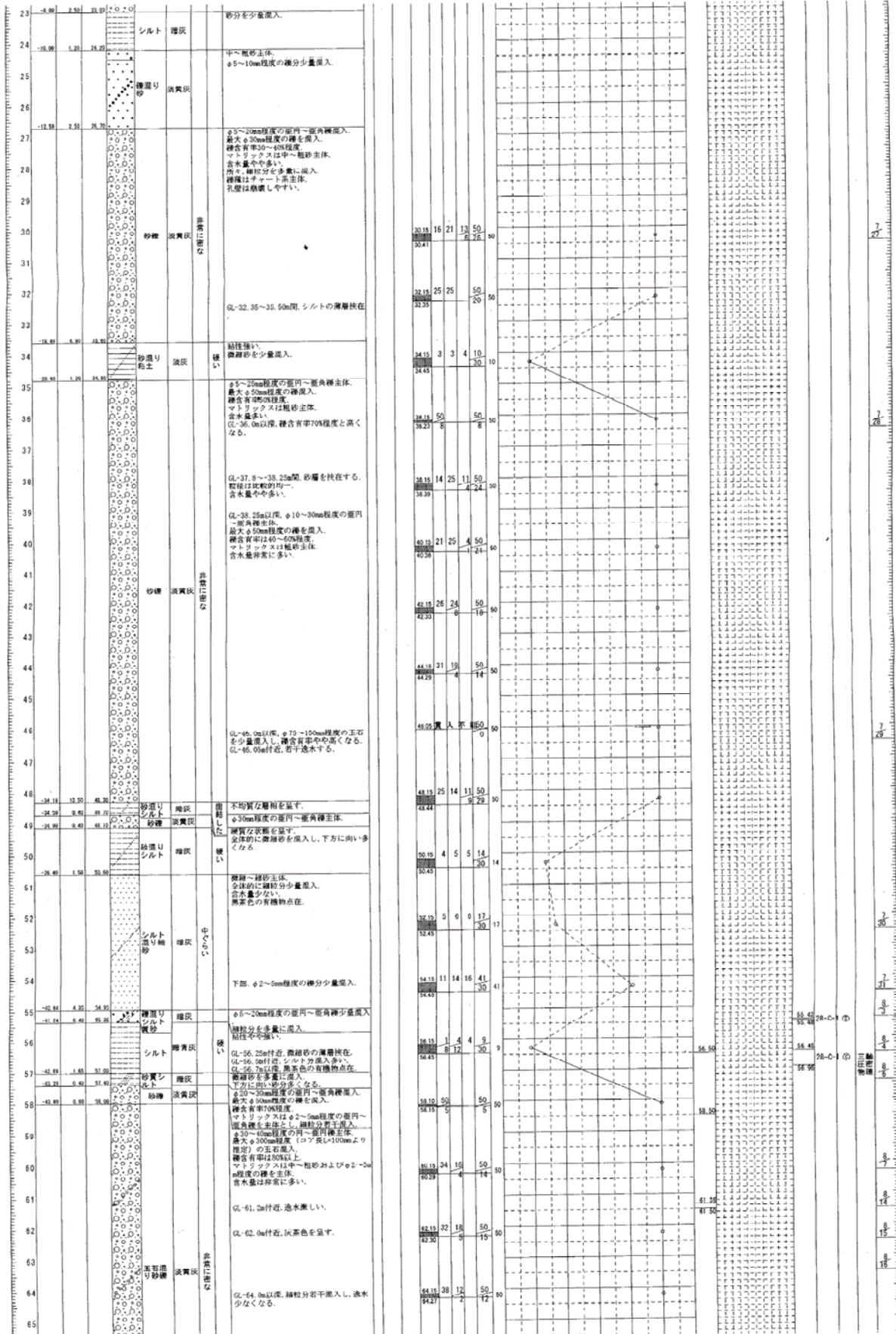


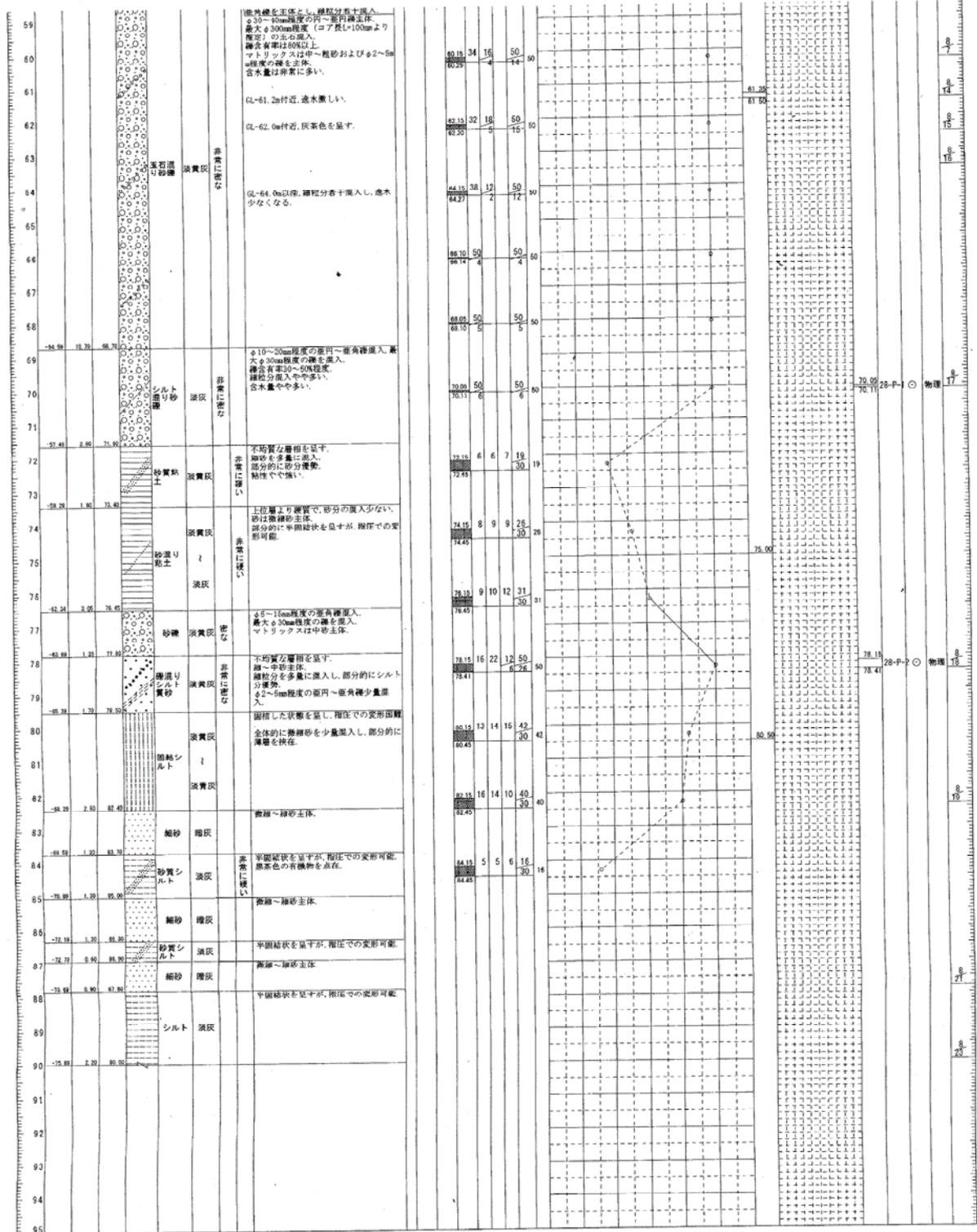
(参考64-3)

ボーリング柱状図

調査名		ボーリングNo.	
事業・工事名		シートNo.	
ボーリング名	調査位置	北緯	東経
発注機関	調査期間	東経	
調査業者名	主任技術者	専門技術者	コ定ア者
ボーリング責任者	試験機	ハンマ	ポンプ
孔口標高 TP 14.11m	角 180° 上下 90° 度	方 北 0° 東 90° 西 270° 南 180° 向	地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°
総掘進長 90.00m	使用機種 エンジン	ハンマ ポンプ	

標尺	層厚	柱状図	土質	相対密度	相対稠度	記号	地盤材料の工学的分類	標準貫入試験		原位置試験	試験採取	室内試験
								深	打撃回数/貫入量			
1	1.50	1.50	粘土(硬)	1.00	0.80	○	上部、リング内容が多量に混入。 φ50mm程度の面角混入。	01	02			
2	1.50	3.00	砂	0.80	0.60	○	(G1-2)~(30)間、ノンコア掘削区間のため、掘削記事は掘削状況等により推察される内容を記載。 細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
3	1.50	4.50	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
4	1.50	6.00	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
5	1.50	7.50	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
6	1.50	9.00	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
7	1.50	10.50	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
8	1.50	12.00	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
9	1.50	13.50	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
10	1.50	15.00	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
11	1.50	16.50	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
12	1.50	18.00	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
13	1.50	19.50	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
14	1.50	21.00	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
15	1.50	22.50	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
16	1.50	24.00	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
17	1.50	25.50	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
18	1.50	27.00	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
19	1.50	28.50	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
20	1.50	30.00	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
21	1.50	31.50	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
22	1.50	33.00	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
23	1.50	34.50	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
24	1.50	36.00	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			
25	1.50	37.50	シルト	0.80	0.60	○	細~中砂主体。 細砂少量混入。	01	02			

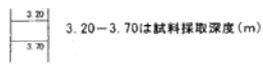




(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンブラーによる試料
- ② デニソンサンブラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンブラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアパックによる試料

2. 試料採取深度と採取比



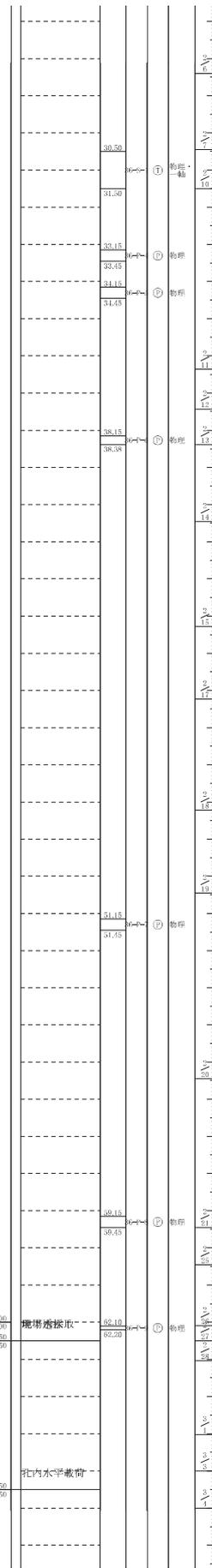
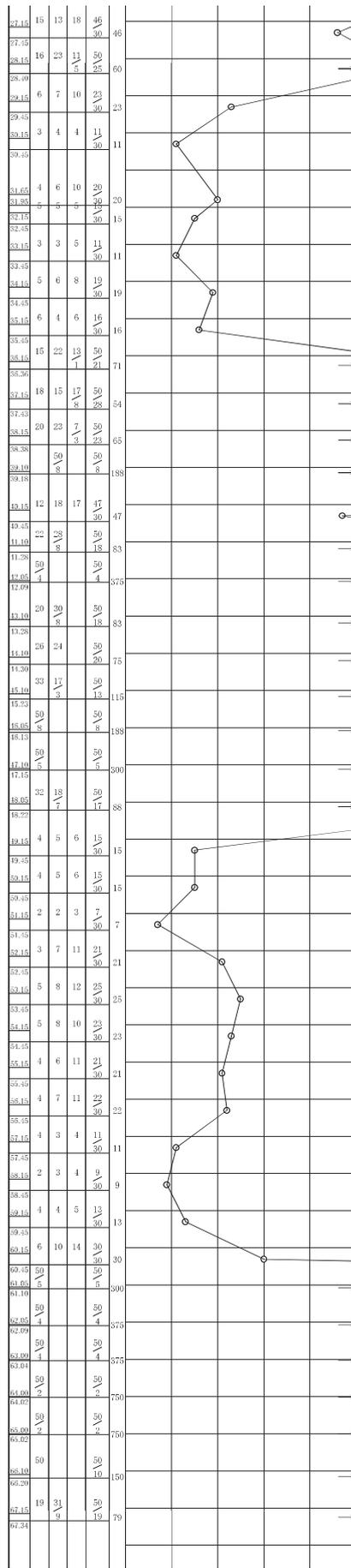
3. 原位置試験名の記号

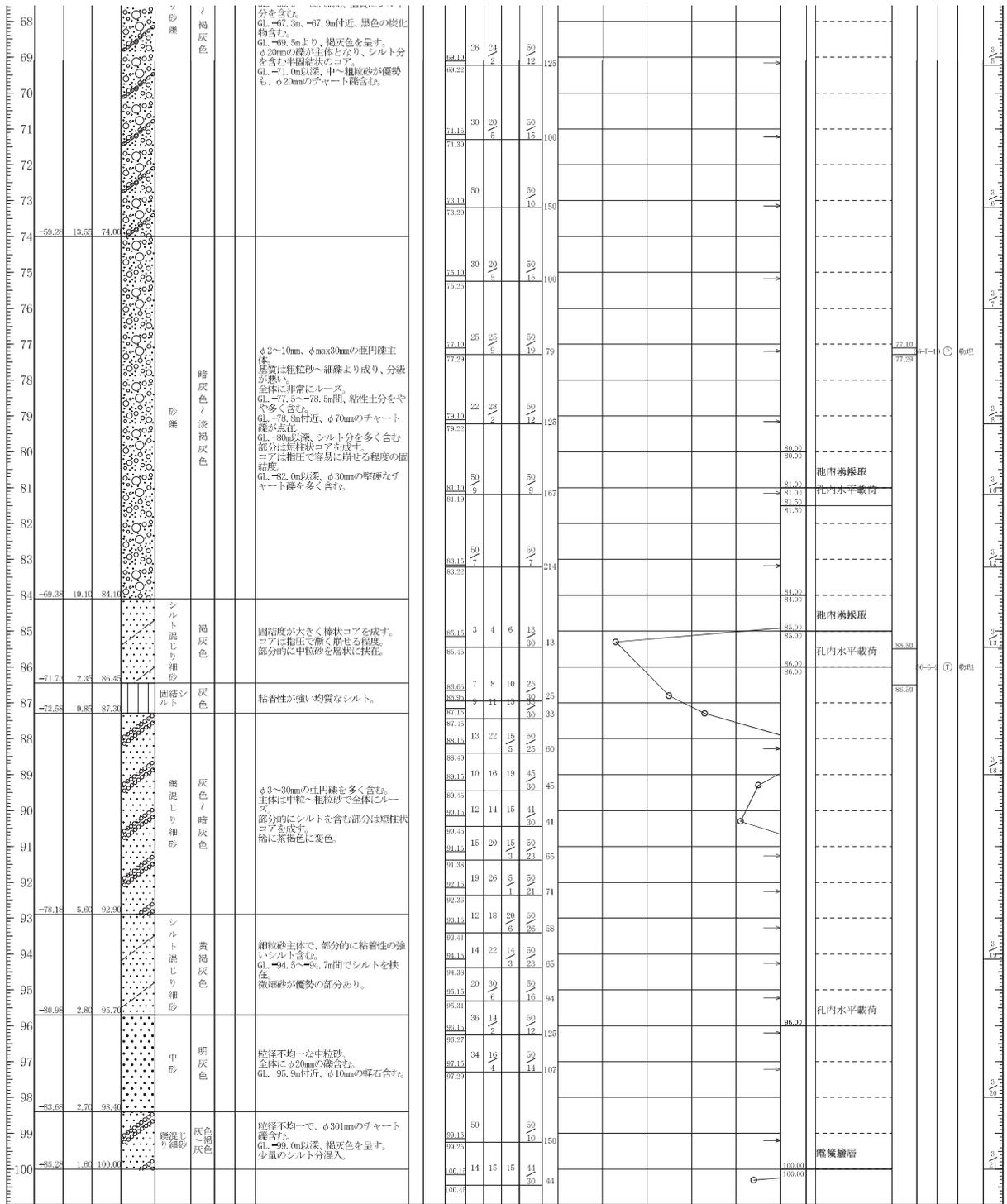
- Ⓔ 電気検層
- Ⓕ P波速度検層
- Ⓖ S波速度検層
- Ⓗ 相パルスシオンPS検層
- Ⓒ キョリハ-検層
- Ⓓ 密度検層
- Ⓖ 温度検層
- Ⓖ ルジオン試験
- Ⓖ 現場透水試験
- Ⓖ 孔内水平載荷試験

( JR-65 )



27					Gl.-26.5~26.7m間、砂分優勢。 Gl.-27.7~28.0m間、砂分優勢。	
28						
29	-14.15	5.67	28.9	細砂	茶灰色	上部60cmは茶色に酸化変色。 下部シルトを含む。
30	-14.98	0.80	29.7			
31				シルト	暗灰色	粘着性強く、やや固結状。 指圧では容易に歪まない程度。 均質一様。
32	-16.93	1.95	31.6	中砂	灰色	部分的に酸化変色。
33	-17.88	0.43	32.61	シルト	灰色	粘着性強い。
34	-18.73	0.83	33.4	砂混じりシルト	淡褐色	シルト分多く含む。 部分的に集理が見られる。
35	-20.58	1.83	35.3	中砂	淡褐色	粒径均一な細粒砂。 部分的に細粒を含む。 全体にルーズで指圧で崩せる。
36	-21.48	0.95	36.2	シルト	暗灰色	粘着性強く、固結状。 上部付近、炭化物を含む。
37	-22.2	0.80	37.0	シルト混じり砂	灰色	φ3~30mmの垂円礫主体。 粘着性の強いシルトを挟む。
38						
39						
40						
41						
42				砂礫	淡褐色 黄褐色	φ10~40mmの垂円礫主体で、φmax90mm。 礫は殆どがチャートで少量の流紋岩を含む。 礫は何れも堅硬でハンマー打撃で容易に割れない。 基質は粗粒砂~細粒砂主体であり不均一。 Gl.-38.8~39.3m間、φ60~80mmの垂円礫多い。 Gl.-42.1m付近、φ90mmのチャート礫の点存在。 Gl.-42.3~42.8m間、φ40mmの垂円礫主体。 Gl.-43.8~45.0m間、やや細粒。 Gl.-47.0~47.6m間、φ70mmの垂円チャート礫を含む。
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49	-34.23	11.93	48.9	シルト	茶褐色 明灰色	粘着性強く、やや固結状。 コアは指圧で強く押しつぶれる。 Gl.-49.2m付近、茶褐色。 Gl.-51.8m付近、少量の炭化物混じる。
50						
51						
52	-37.18	2.93	51.9			
53				シルト	暗灰色	全体に細粒砂~微細砂主体。 層状~ブロック状にシルトを含む。 コアは固結状を成す部分が多いが、何れも指圧で崩せる程度。 Gl.-57.0m以下でやや細粒砂が優勢。
54						
55						
56						
57	-42.53	5.33	57.2	シルト	暗灰色 明灰色	固結度が強く、コアは指圧で強く押しつぶれる程度。 粘着性中程度で部分的に細粒砂~微細砂をブロック状に含む。
58						
59	-45.08	2.53	59.8			
60	-45.73	0.63	60.4	細砂	暗灰色	粒径均一な細粒砂。 固結状を成す。
61						
62						
63						
64						
65						
66				玉石混じり砂礫	灰色 暗灰色 褐色	φ20~50mmの垂円礫、φmax100mm。 基質は中粒~粗粒砂主体。 礫は何れも堅硬な流紋岩、チャート主体。 礫は硬質でハンマー打撃で容易に割れない。 Gl.-63.0~63.5m間、φ40mmの礫主体。 Gl.-65.1m付近、φ10mmのチャート礫の点存在。 Gl.-66.0~69.0m間、基質にシルト分を含む。 Gl.-67.3m、φ7.9m付近、黒色の炭化物を含む。 Gl.-69.5m以下、粗粒砂を主体とする。
67						
68						





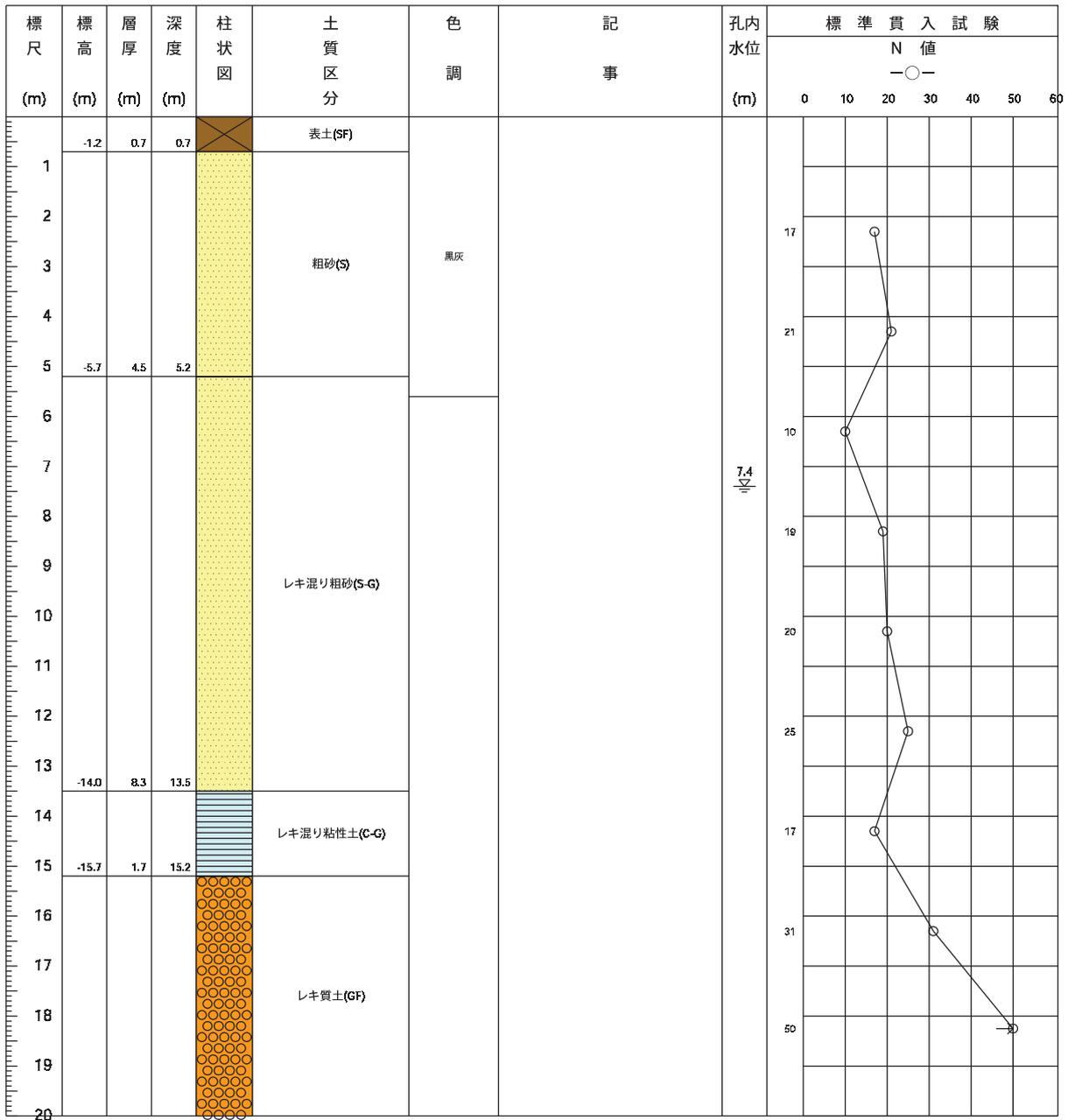
( JR-66 )

(参考66-1)

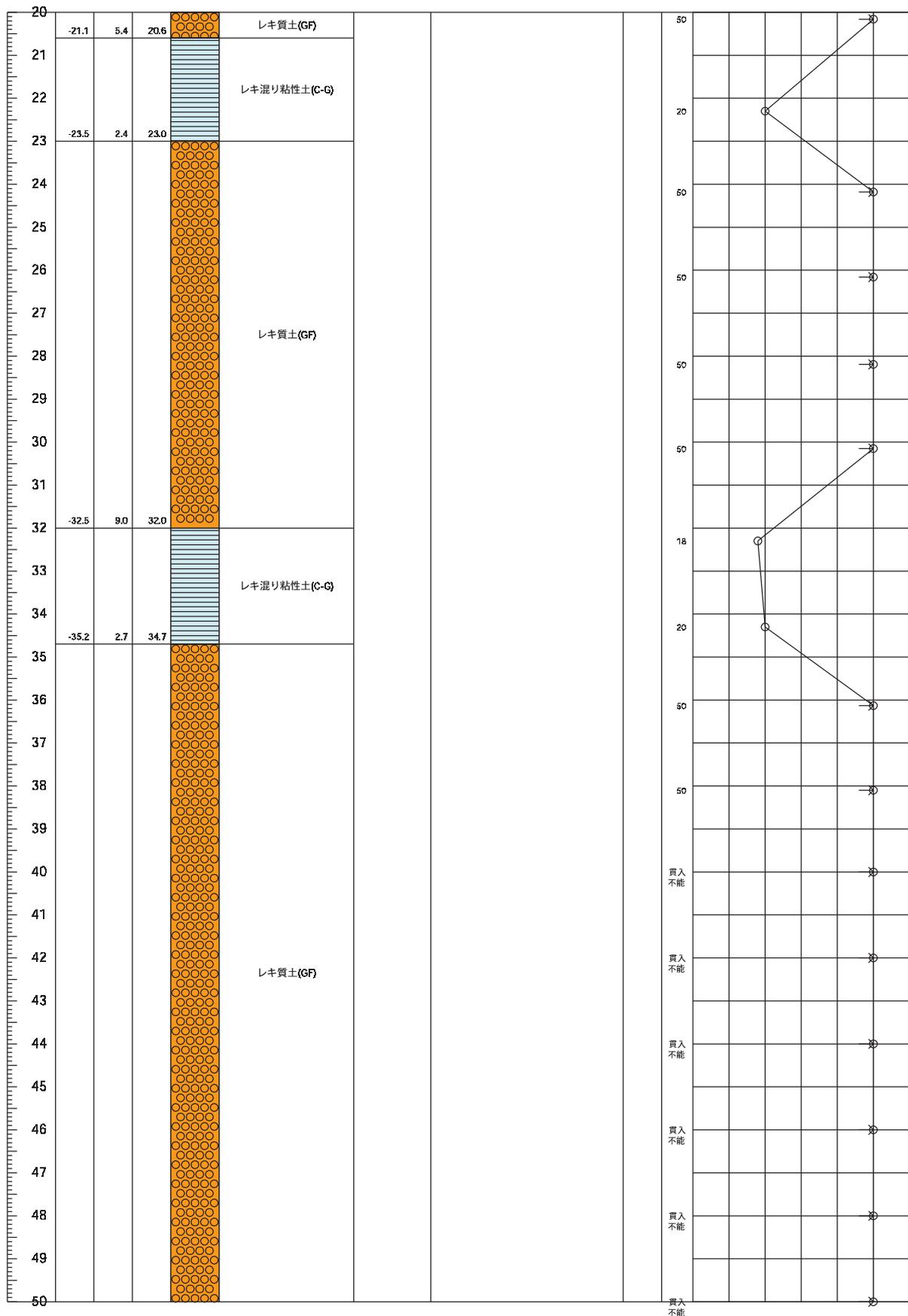
# ボーリング柱状図

参考66-1

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	14.70m*	総掘進長	50.4 m



(参考66-1)



( 参考66-1 )

50	-50.9	15.7	50.4	レキ質土(GF)															
51																			
52																			
53																			
54																			
55																			
56																			
57																			
58																			
59																			
60																			
61																			
62																			
63																			
64																			
65																			
66																			
67																			
68																			
69																			
70																			
71																			
72																			
73																			
74																			
75																			
76																			
77																			
78																			
79																			
80																			

※孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考66-1)

ボーリング柱状図

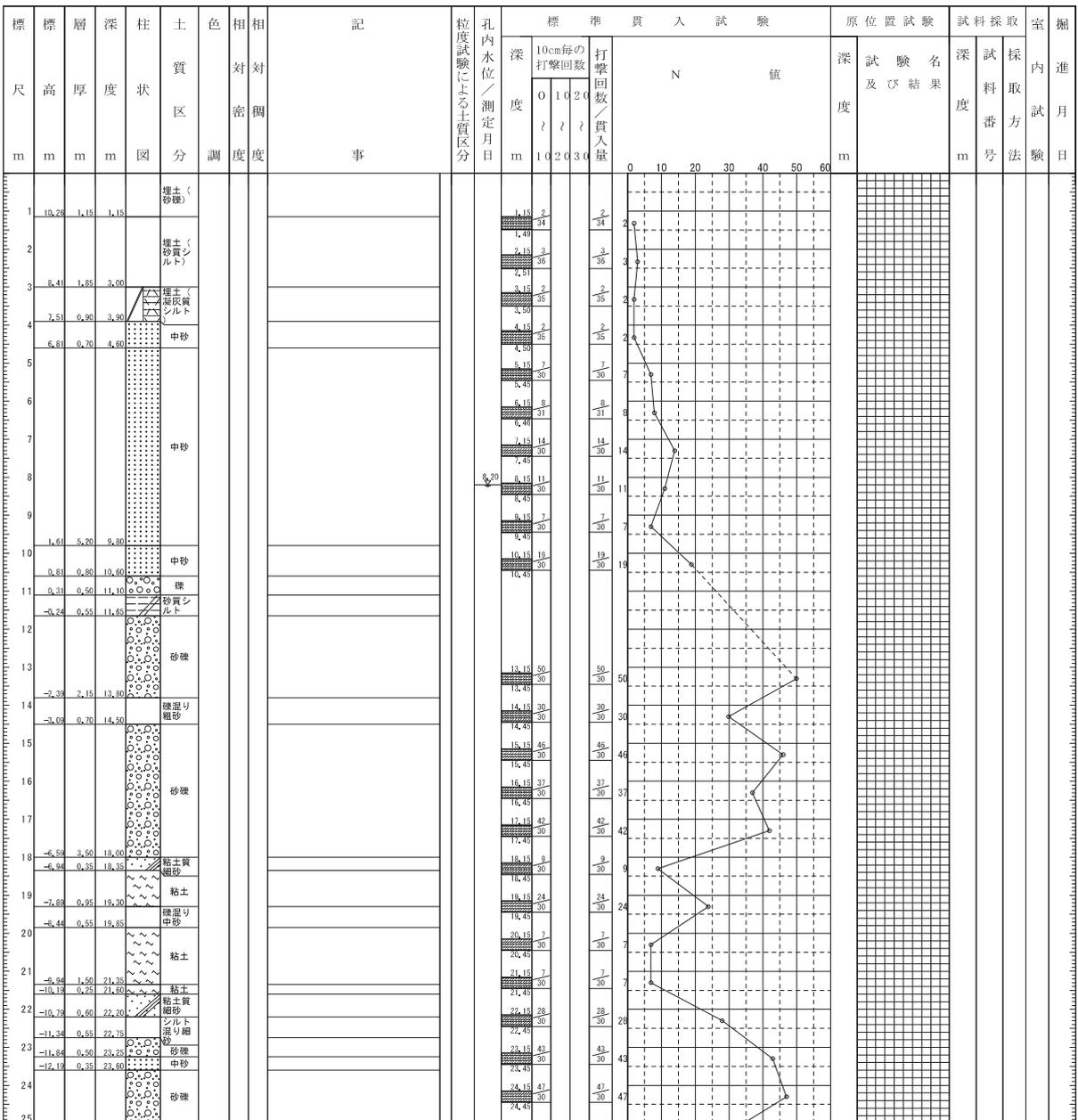
調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

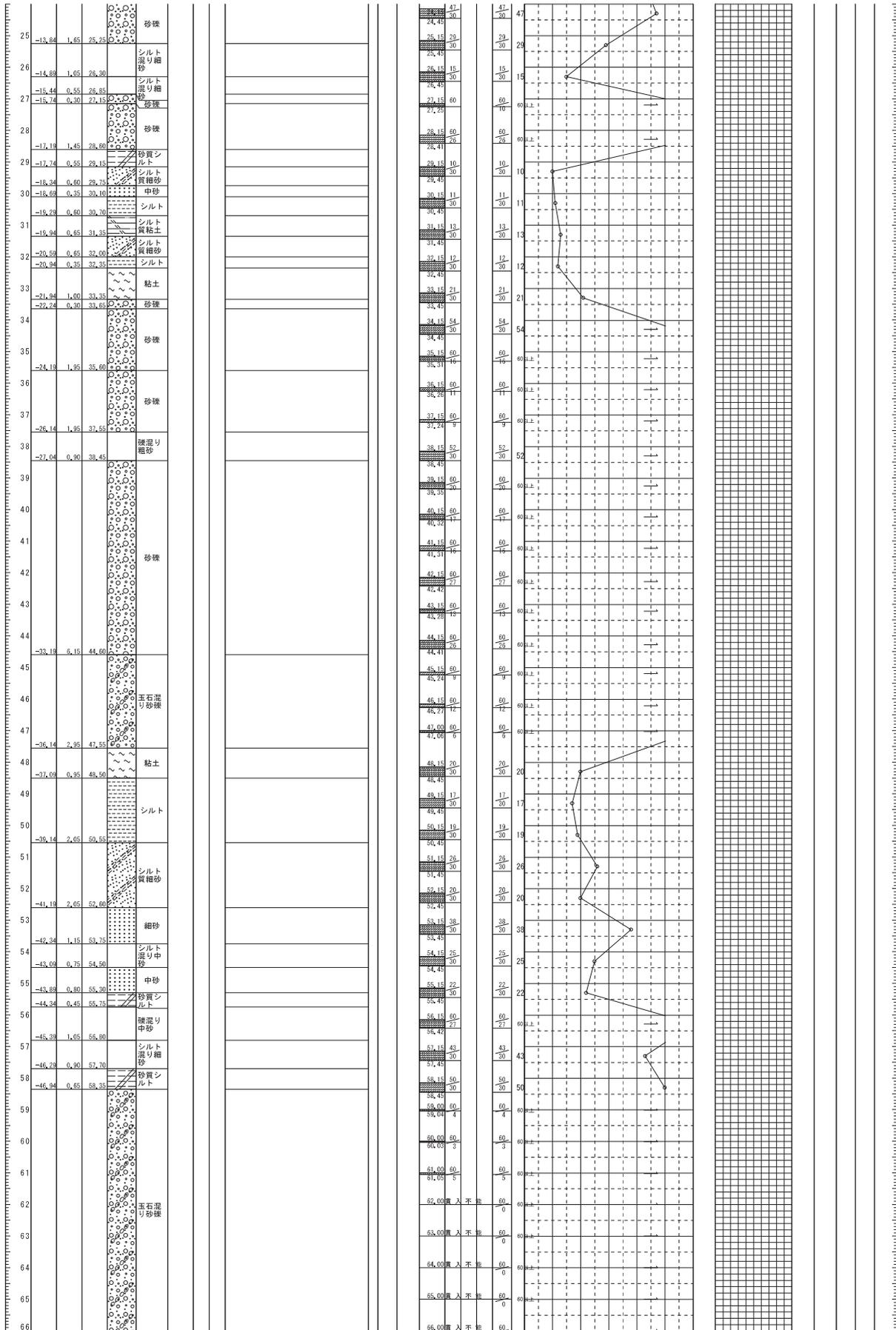
事業・工事名

シートNo.

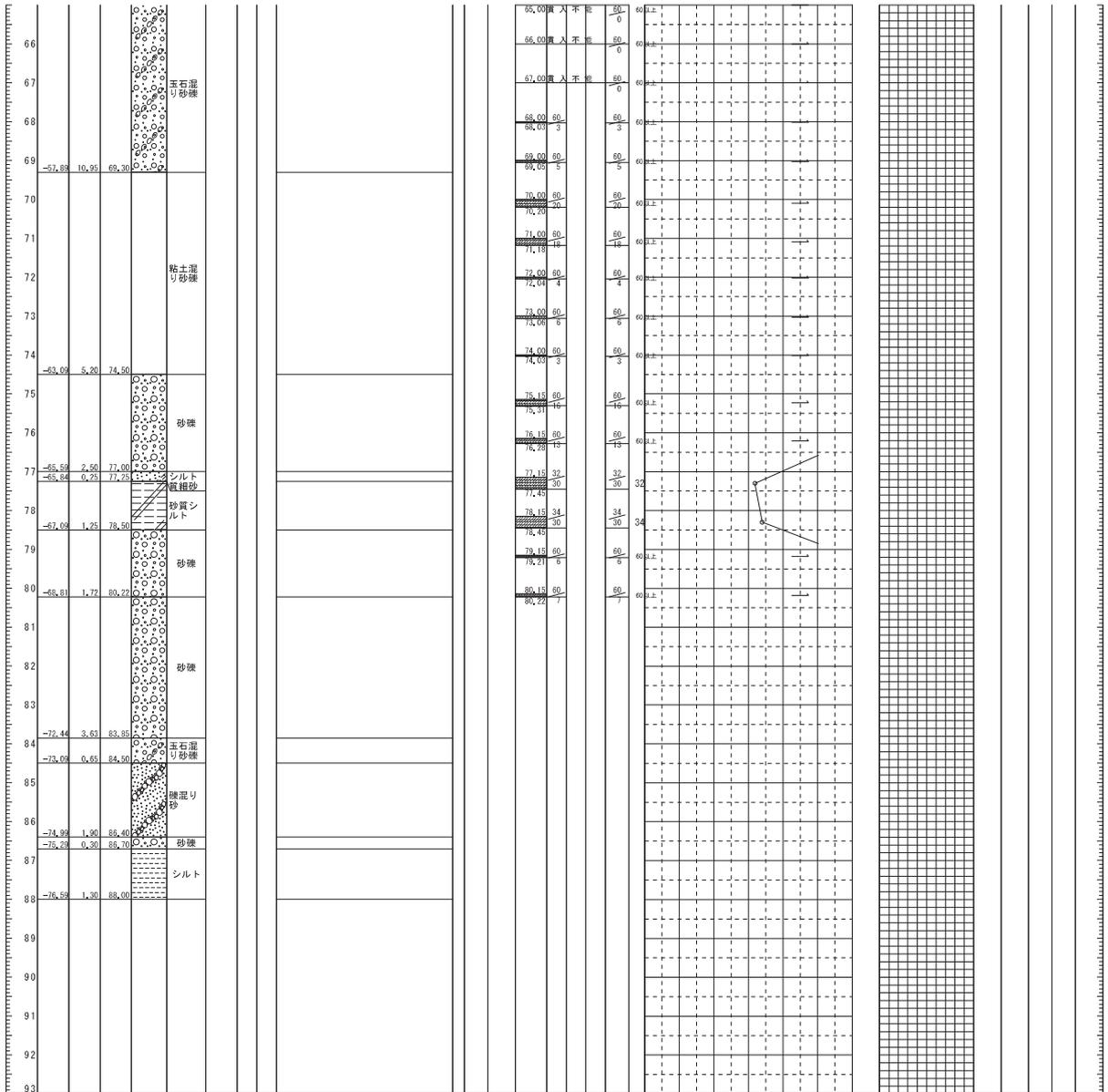
ボーリング名	調査位置				北緯				
発注機関	調査期間				東経				
調査業者名	主任技師			現代場 代理人		コ 鑑 定 者		ボーリ ン グ 責 任 者	
孔口標高	TP 11.41m	角	180° 上下 0°	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤 勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用 機種	ハンマ 落下 用具
総掘進長	88.00m	度						エンジン	ポンプ



(参考66-2)



(参考66-2)



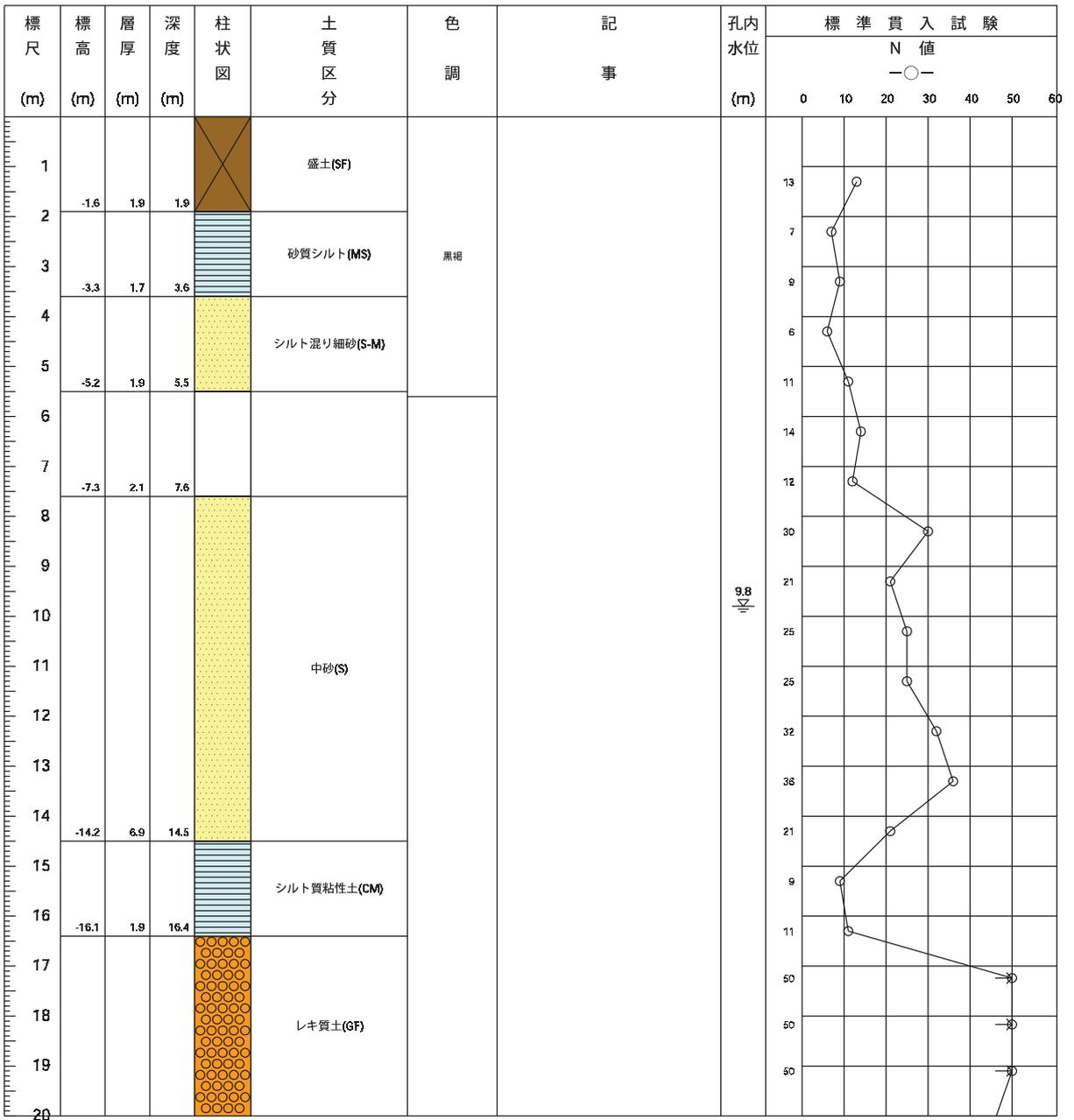
(参考66-2)

(参考66-3)

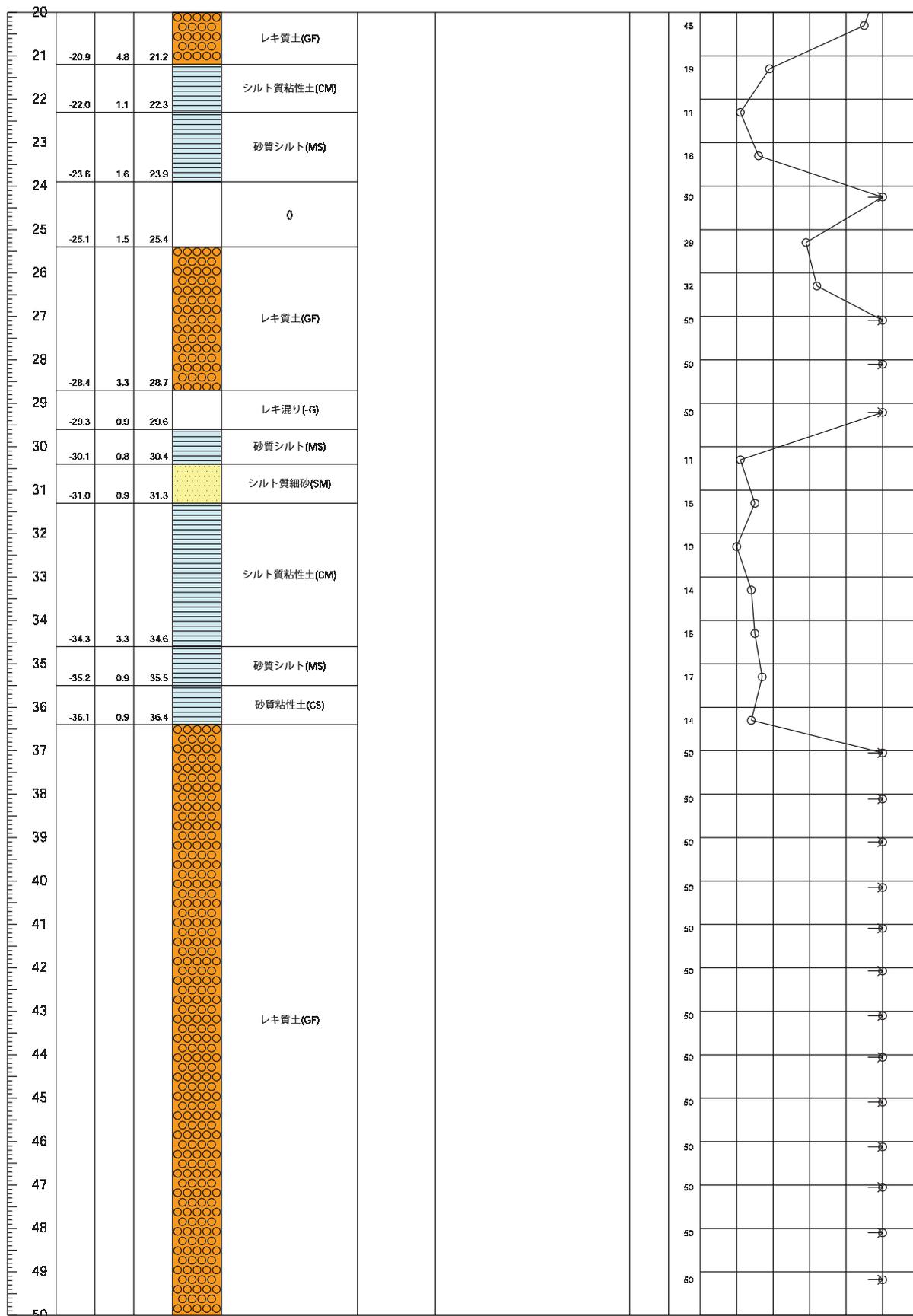
# ボーリング柱状図

参考66-3

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	12.80m*	総掘進長	50.05 m



(参考66-3)





(参考66-3)

ボーリング柱状図

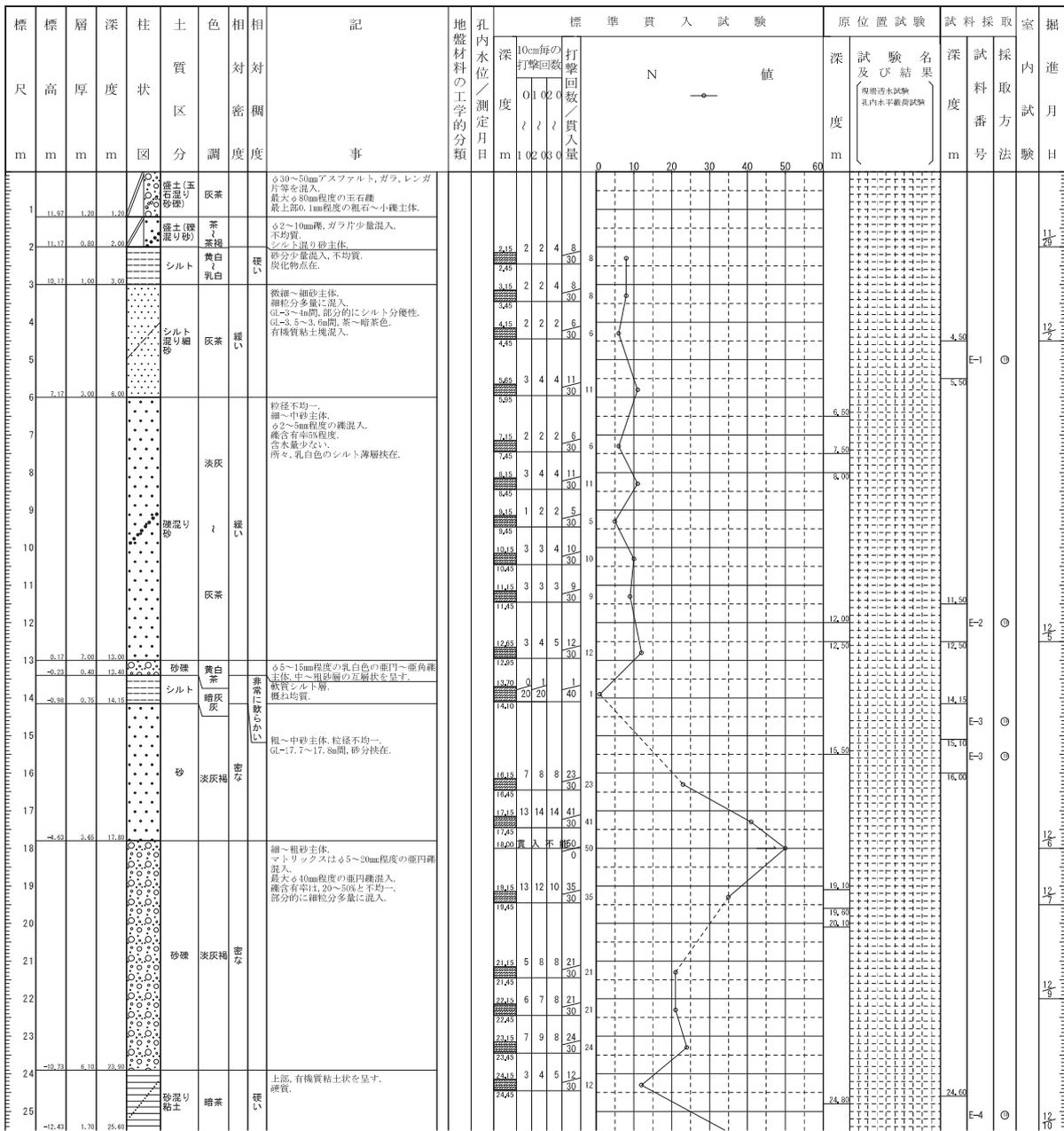
調査名

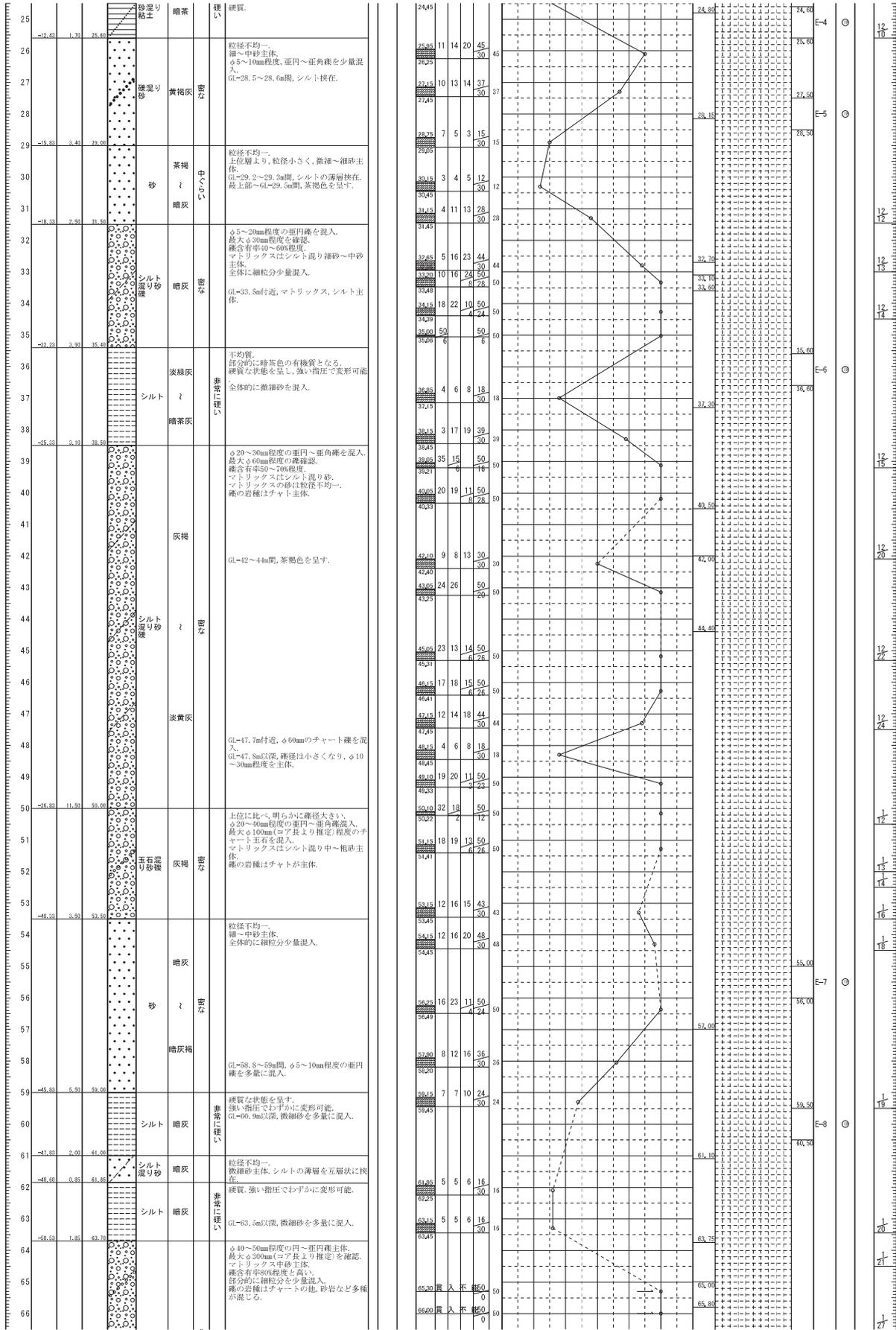
事業・工事名

ボーリングNo.

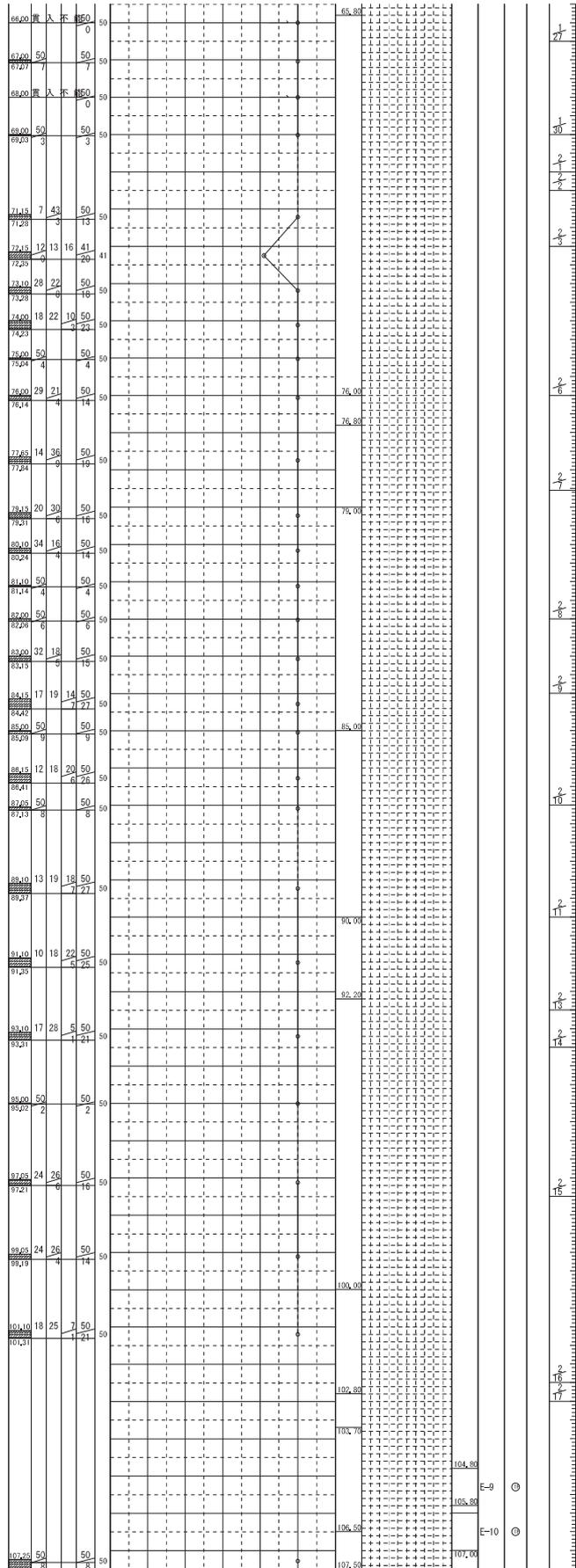
シートNo.

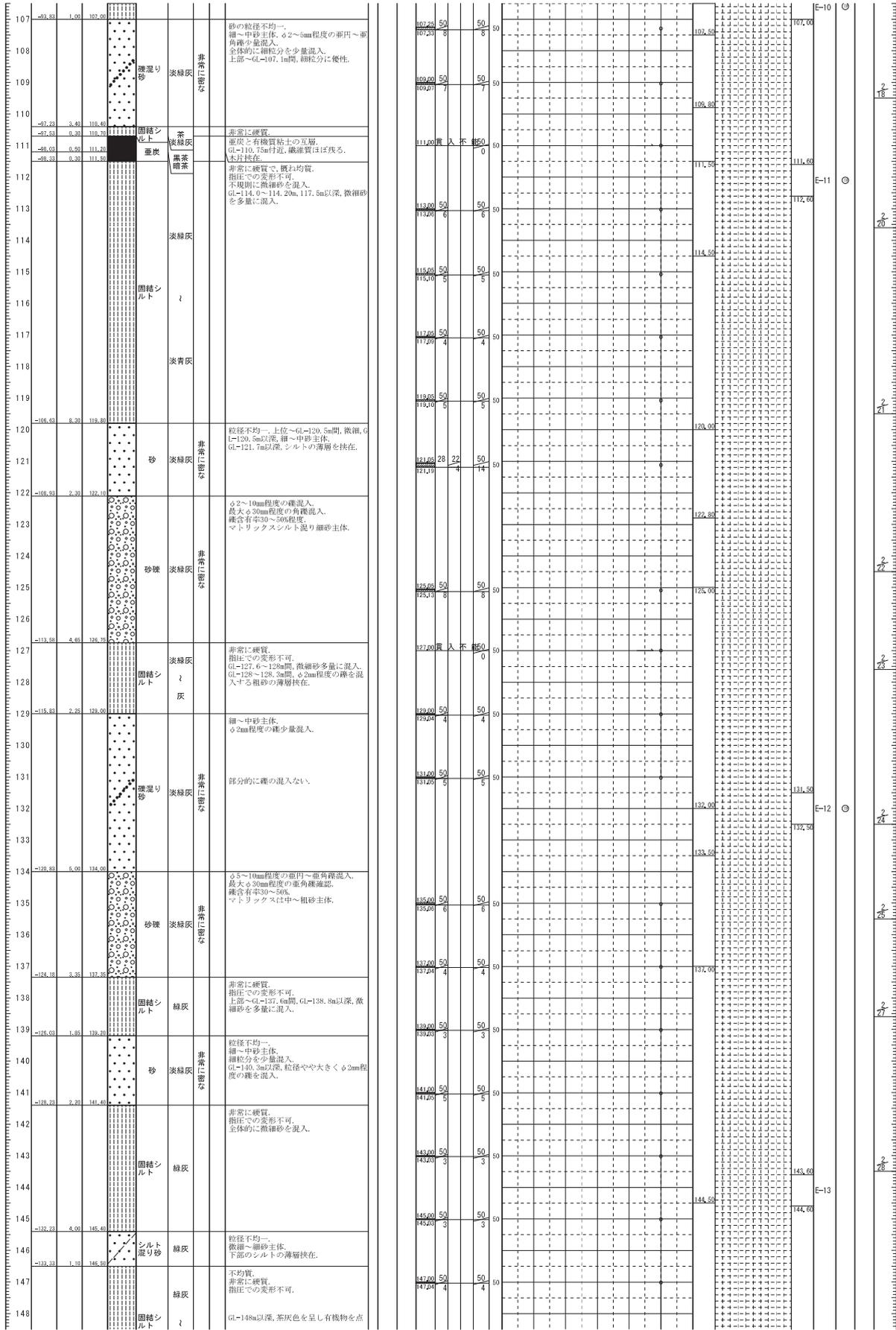
ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師	現場代理人	コ隆定者	ボーリング責任者
孔口標高 TP 13.17m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配 箱高 90°	使用機種 試錐機 エンジン
総掘進長 160.00m	ハンマー 落下用具 ポンプ			

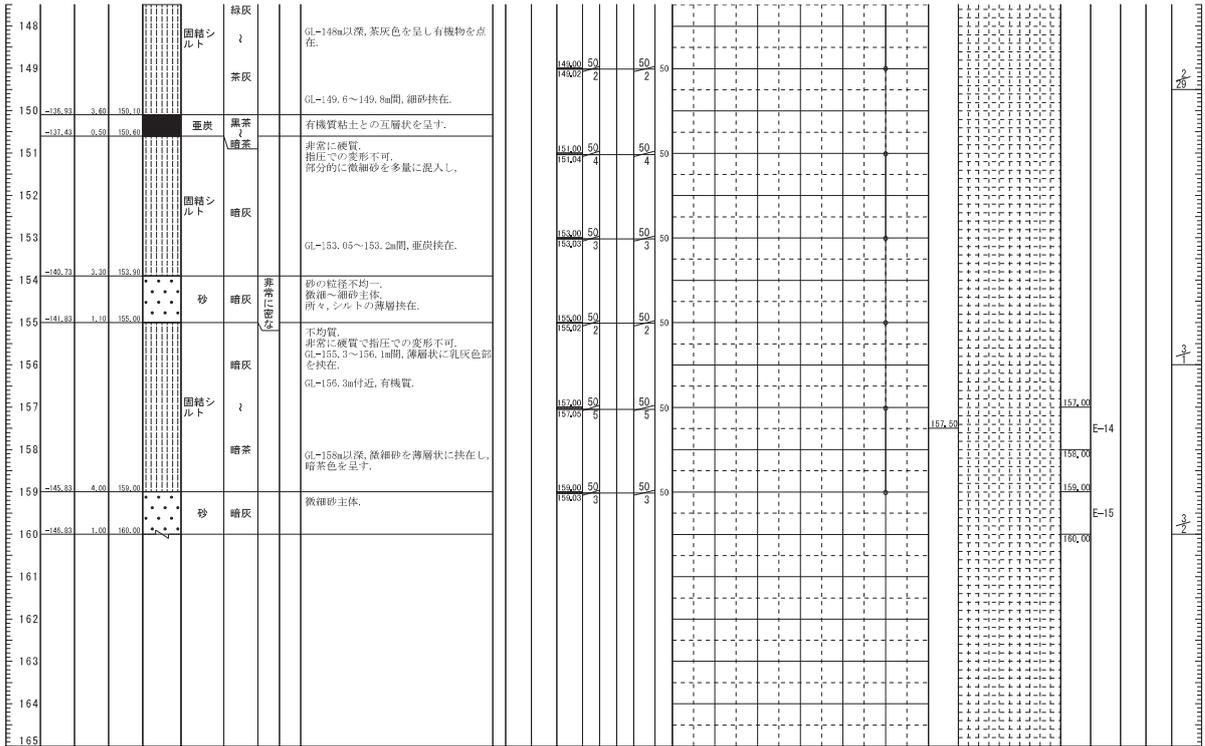




66			玉石混り砂礫	暗青灰	非常に密な		が混じる。
67							
68							
69							
70	-67.33	6.88	20.50				65~70.0~70.50m間、透水激しくセメントテングを行う。
71				灰褐	密な		上位層に比べて、粒径明らか小さい。層相が異なる。 φ10~20mm部間~垂角礫混入。最大φ70mm程度の礫確認。 マトリックスはシルト混り砂。 砂の粒径は不均一。 全体的に細粒分多量に混入。 部分的にφ5mm程度の風化岩を混入。 ハンマーで容易に破砕可能。
72							
73							
74							
75							
76				シルト混り砂礫	密な		
77							
78							
79				淡緑灰			
80							
81	-68.33	11.00	81.50				
82				砂礫	灰褐	非常に密な	上位層に比べて、細粒分の混入少ない。 φ20~30mm程度の部間~垂角礫混入。最大φ40mm程度の礫確認。 礫含有率40~50%程度。マトリックスは粗砂主体。
83	-70.26	1.93	83.40	固結シルト	淡灰		強い指圧で変形可能。 概ね均質。
84	-71.33	1.05	84.50	シルト混り砂	灰褐	非常に密な	粒径不均一。 細~中砂主体。 65~85.0~85.4m間、細粒分優性。
85	-72.33	1.00	85.50	砂礫	灰褐	非常に密な	φ5~20mm部間~垂角礫混入。 最大φ500mm垂角礫確認。 礫含有率40~50%程度。 マトリックス粗砂主体。最下部、細粒分を混入。
86							
87							
88							
89							
90	-75.83	6.50	90.00	固結シルト	灰		不均質、砂分少量混入。
91	-77.23	0.40	90.40	砂礫	灰褐		φ5~20mm程度、垂角礫混入。 最大φ40mm程度。部分的に細粒分を混入。 非常に不均質な状態を呈す。 礫層砂礫との互層状を呈す。
92	-78.53	0.80	91.80	固結シルト			
93	-80.43	1.80	93.60	シルト混り砂礫	灰	非常に密な	φ2~10mm程度の部間~垂角礫混入。 最大φ20mm程度を確認。 マトリックスはシルト混り中砂主体。
94	-81.28	0.85	94.40	固結シルト	淡灰		不均質。 部分的に微細砂の薄層挟在。
95							
96							
97				シルト混り砂礫	灰褐	非常に密な	φ5~30mm程度の礫混入。 最大φ500mm程度の垂角礫確認。 礫含有率40~70%と不均一。 マトリックスはシルト混り砂。
98							
99	-85.23	4.90	99.40				
100							
101				シルト混り砂礫	灰褐	非常に密な	
102							
103							
104	-90.53	4.40	103.80	固結シルト	灰		硬質。 指圧で変形可能。 下部、微細砂優性。
105	-92.83	1.20	105.00	シルト混り砂礫	緑灰		砂の粒径不均一。 微細~細砂主体。
106	-93.83	1.00	107.00	固結シルト			
107							砂の粒径不均一。







(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デニソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンプラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度 (m)
3.70	

3. 原位試験名の記号

- Ⓔ 電気検層
- Ⓕ P波速度検層
- Ⓖ S波速度検層
- Ⓗ サス・ソリッドPS検層
- Ⓖ キャリパー検層
- Ⓖ 密度検層
- Ⓖ 温度検層
- Ⓖ ルジオン試験
- Ⓖ 現場透水試験
- Ⓖ 孔内水平載荷試験

( JR-67 )

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

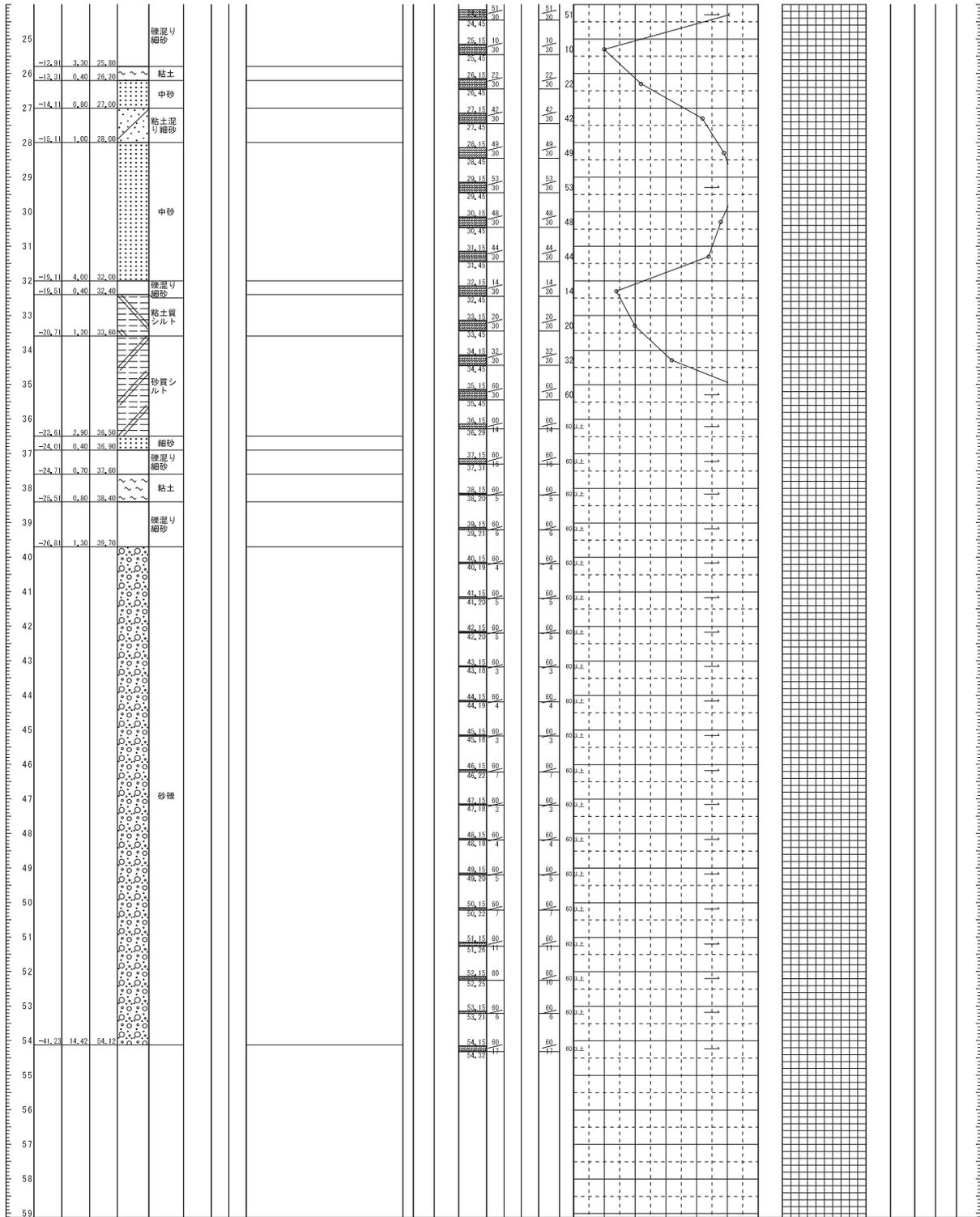
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師		現代場 代理人	コ 鑑 定 者	ボ ー リ ン グ 責 任 者
孔口標高 TP 12.89m	角 180° 上下 0°	方 北 0° 西 180° 東 90° 南	地盤 勾配 鉛直 90° 水平 0°	使用 機 種 試錐機 エンジン	ハンマ 落下用具 ポンプ
総掘進長 54.12m					

標尺 m	標高 m	層厚 m	深 m	柱状 図	土質 区分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 測定月日	標準貫入試験			N 値	原位置試験 深 度 m	試験名 及び結果	試料採取 深 度 m	採取 方法 番号	室 内 進 月 日
											深 度 m	10cm毎の 打撃回数 0 1 0 2 0	打撃回数 / 貫入量						
1					盛土(シルト混り細砂)						2.15 2.45	4 30	4 30						
2	10.28	2.60	2.60		盛土(シルト混り細砂)						2.45 3.15	26 30	26 30						
3	5.28	1.00	3.60		盛土(シルト混り細砂)						2.45 4.15	26 30	26 30						
4	3.02	1.20	4.80		細砂						4.15 4.45	10 30	10 30						
5	7.38	0.70	5.50		盛土(粘土)						6.15 6.45	11 30	11 30						
6					盛土(粘土)						7.15 7.45	15 30	15 30						
7					中砂						8.15 8.45	13 30	13 30						
8	4.18	3.20	8.70		中砂						9.15 9.45	22 30	22 30						
9					盛土(粘土)						10.15 10.45	32 30	32 30						
10					盛土(中砂)						11.15 11.45	28 30	28 30						
11	9.28	3.90	12.60		盛土(中砂)						12.15 12.45	35 30	35 30						
12					砂礫						13.15 13.45	19 30	19 30						
13	-1.21	1.50	14.10		砂礫						14.15 14.45	15 30	15 30						
14					中砂						15.15 15.33	60 16	50 16						
15	-2.51	1.30	15.40		中砂						16.15 16.29	60 14	60 14						
16					盛土(中砂)						17.15 17.28	60 19	60 19						
17					盛土(中砂)						18.15 18.26	60 14	60 14						
18					盛土(中砂)						19.15 19.29	60 15	60 15						
19					盛土(中砂)						20.15 20.21	60 21	60 21						
20					盛土(中砂)						21.15 21.35	60 20	60 20						
21					盛土(中砂)						22.15 22.34	60 19	60 19						
22	-4.31 -4.61	6.80 6.30	22.20 23.30		粘土質 細砂						23.15 23.31	60 16	60 16						
23					盛土(中砂)						24.15 24.45	51 30	51 30						
24					盛土(中砂)														
25																			

(参考67-1)

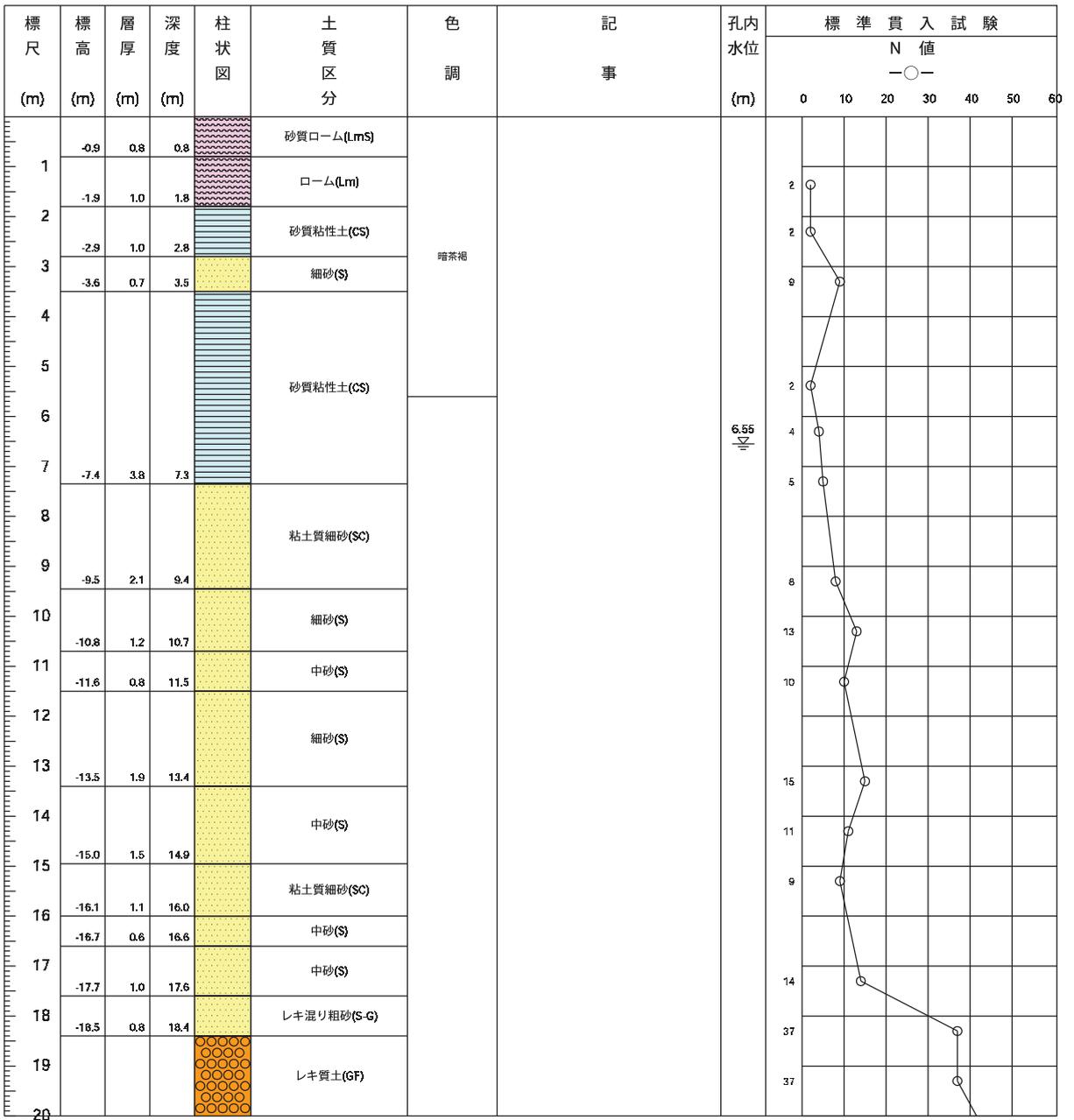


(参考67-2)

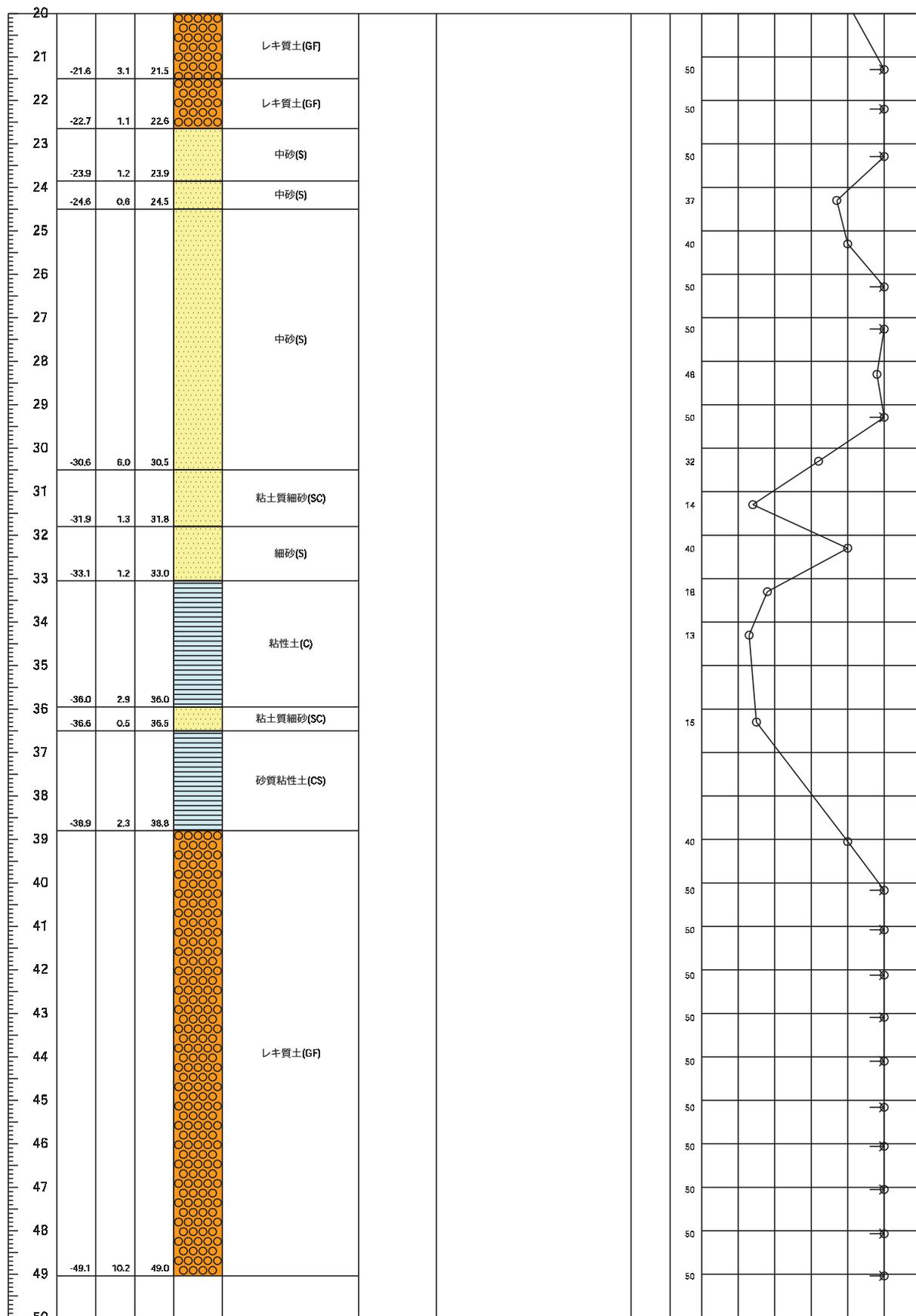
# ボーリング柱状図

参考67-2

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	12.90m <sup>※</sup>	総掘進長	49.04 m



(参考67-2)



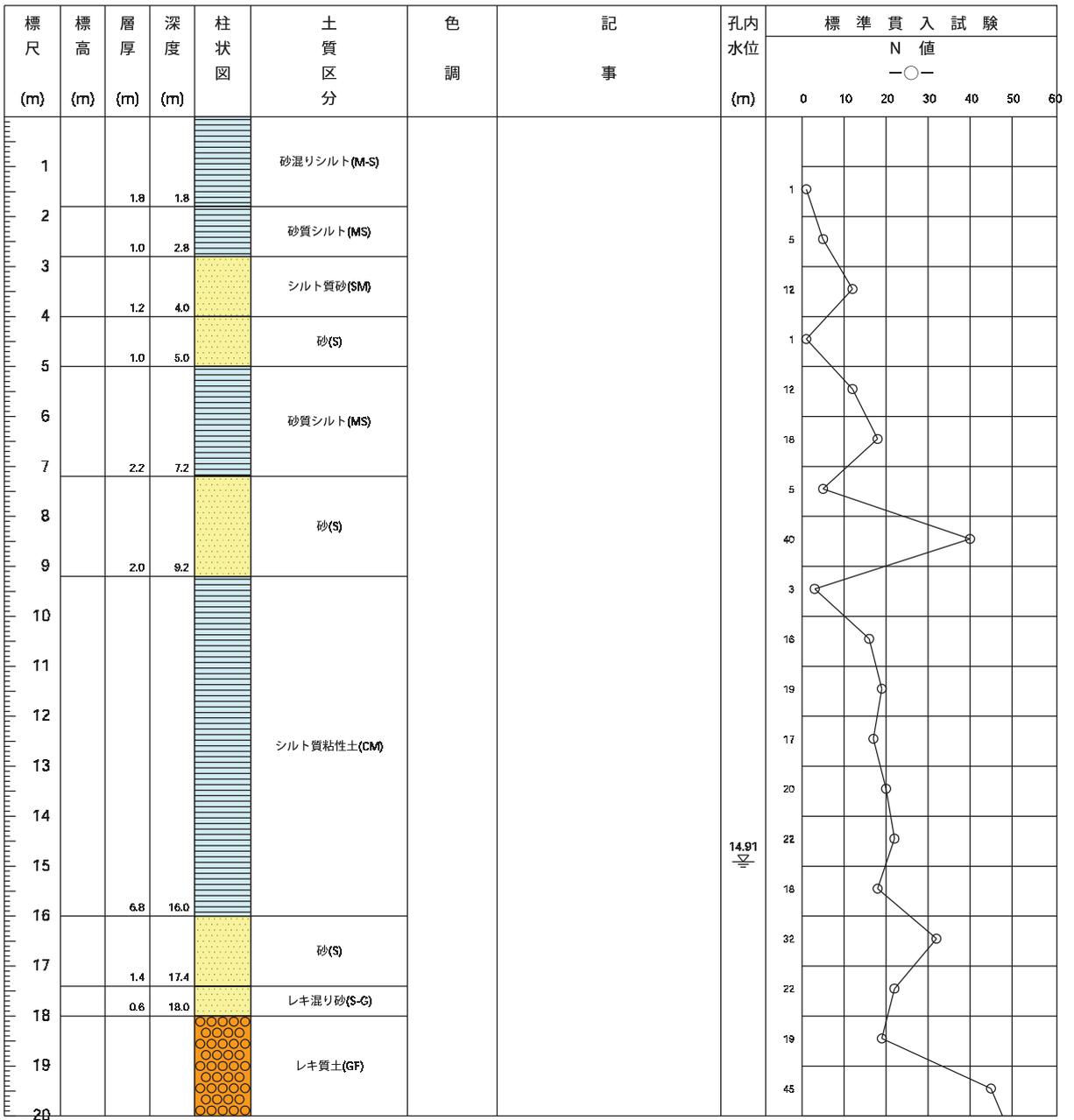
※孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

(参考67-3)

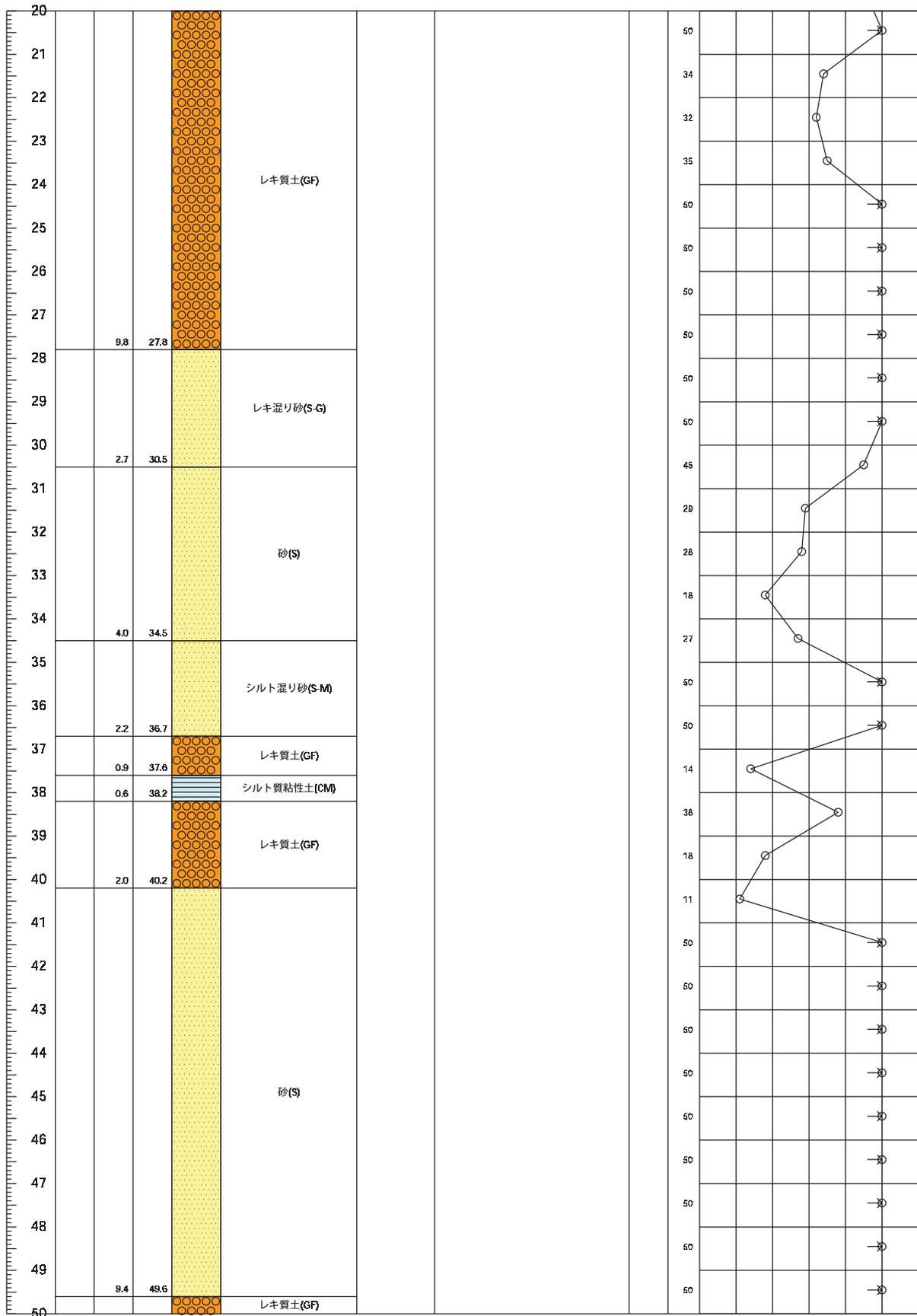
# ボーリング柱状図

参考67-3

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	13.50m*	総掘進長	50.5 m



(参考67-3)





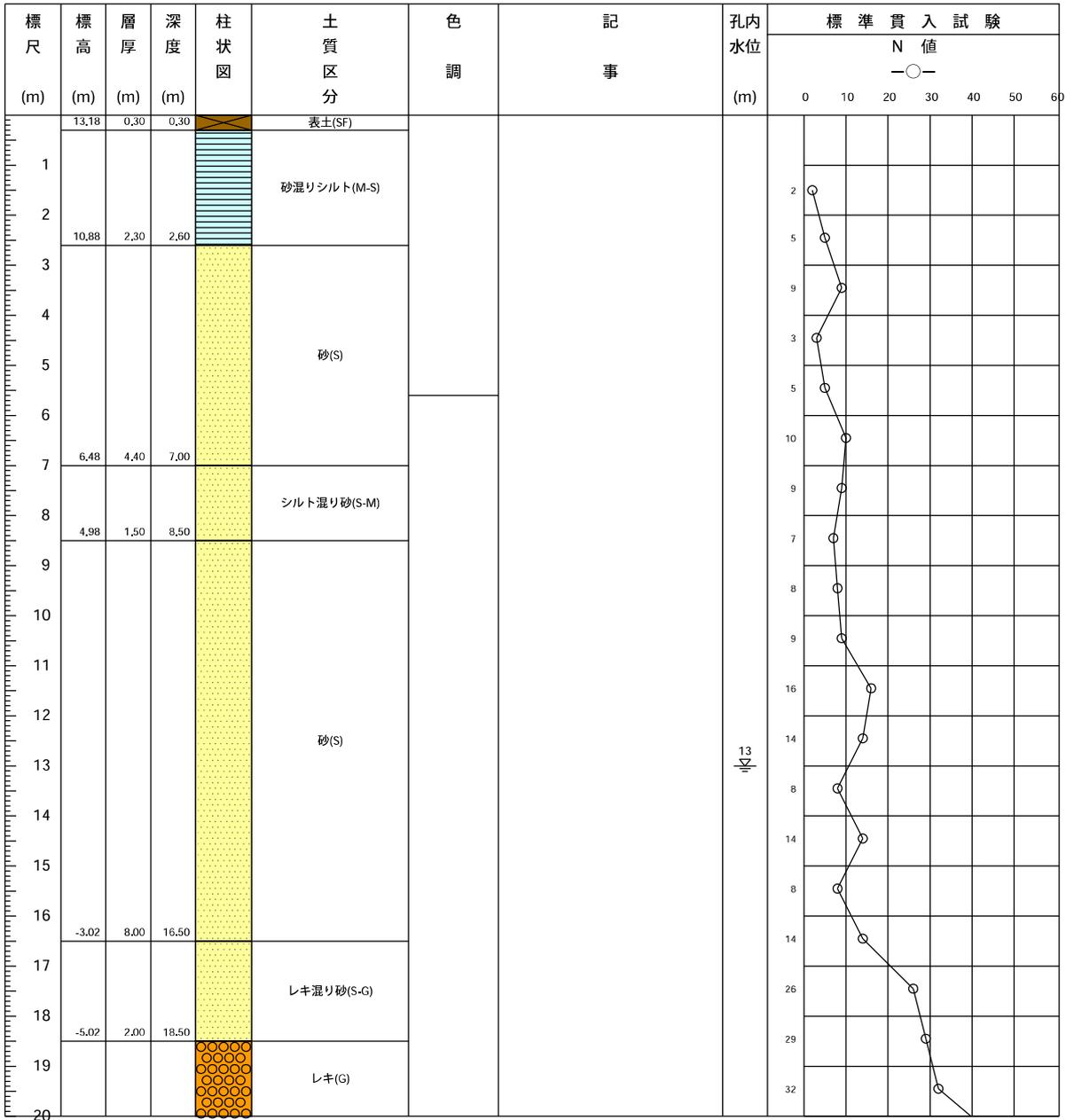
(参考67-3)

( 参考67-4 )

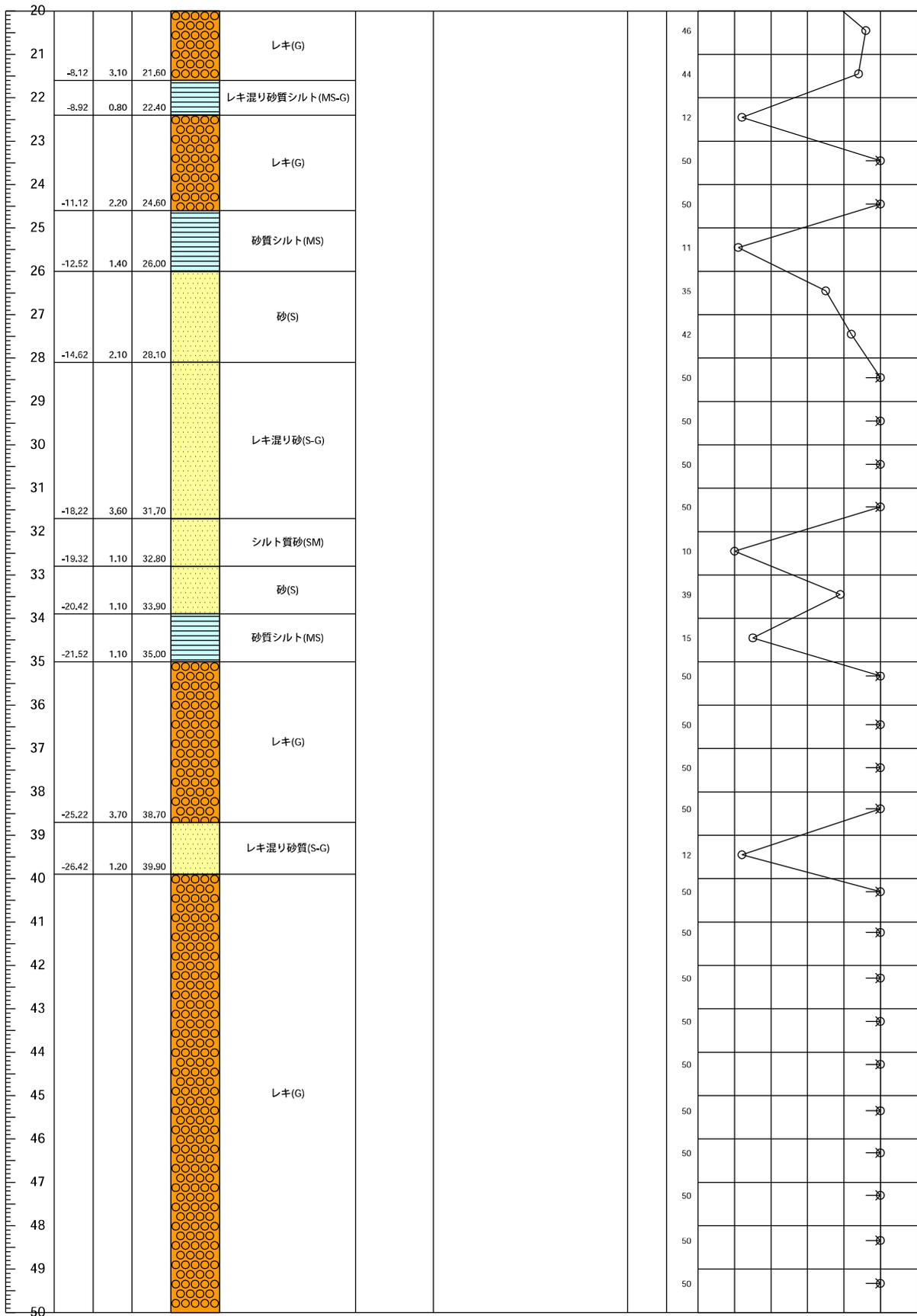
# ボーリング柱状図

参考67-4

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	T.P. 13.48 m	総掘進長	50.3 m



(参考67-4)





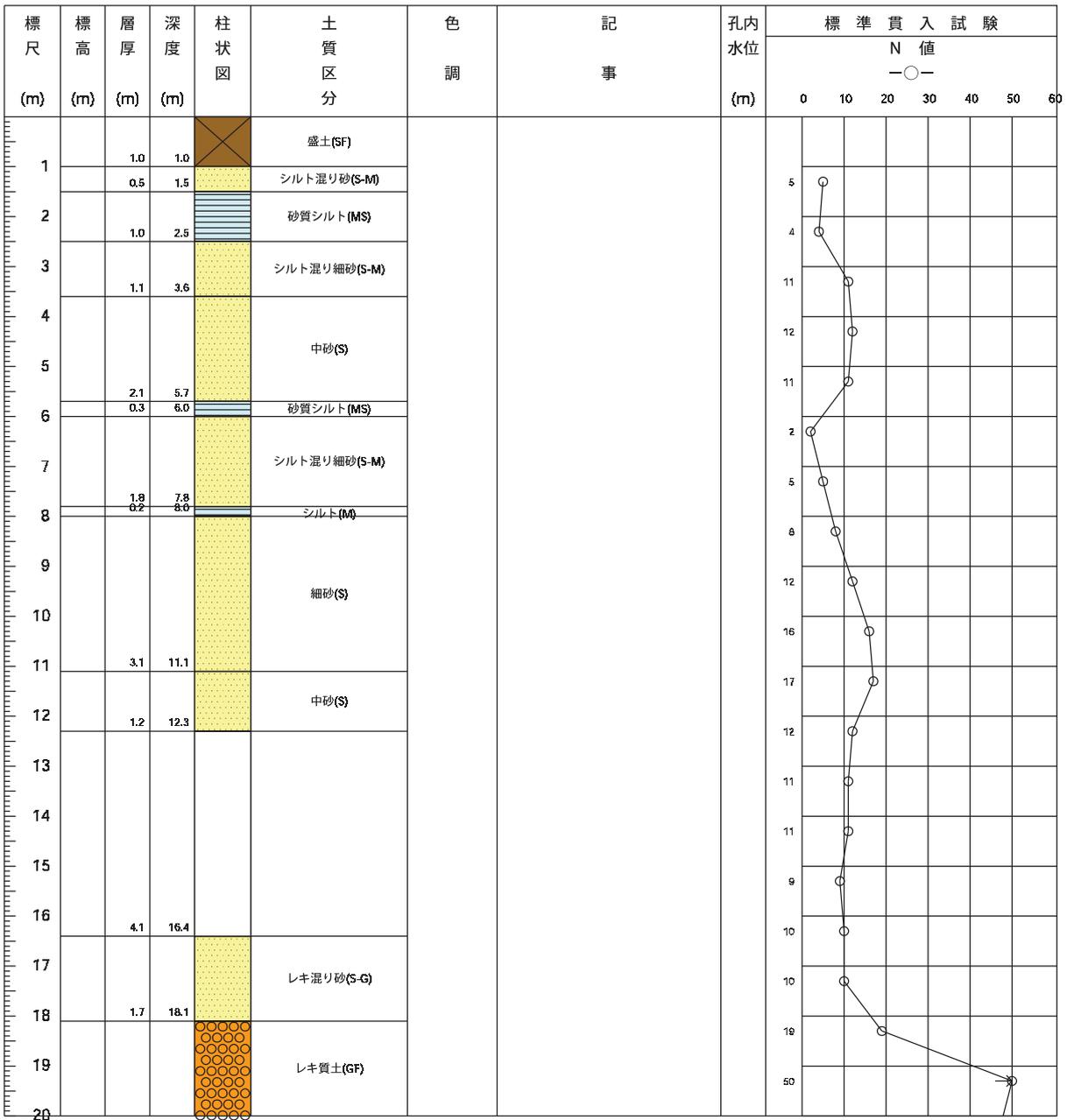
(参考67-4)

(参考67-5)

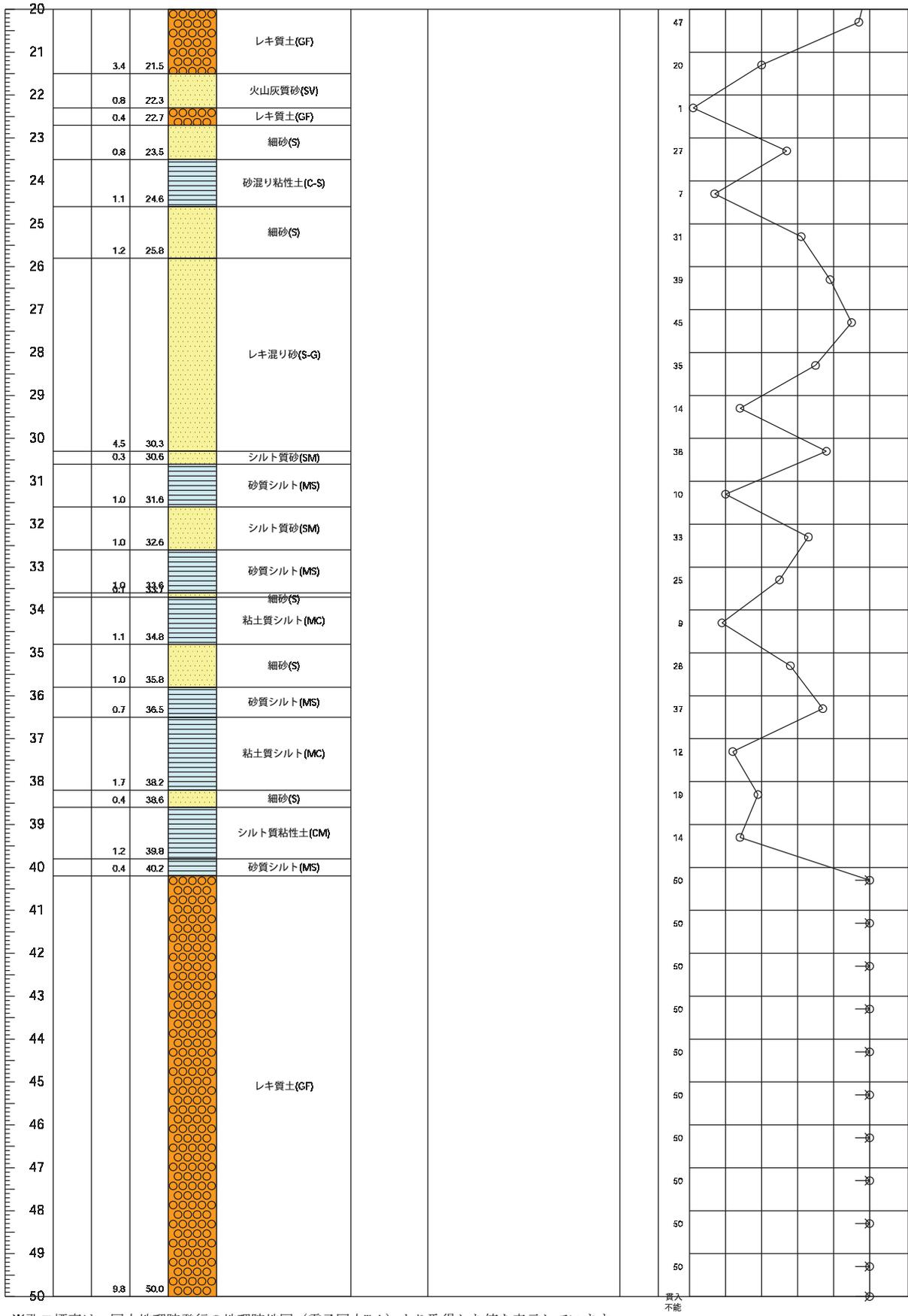
# ボーリング柱状図

参考67-5

ボーリングID		出典	
調査名			
事業・工事名			
調査位置			
北緯		東経	
調査期間			
孔口標高	12.90m <sup>※</sup>	総掘進長	50m



(参考67-5)



※孔口標高は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土Web）より取得した値を表示しています。

ボーリング柱状図

調査名

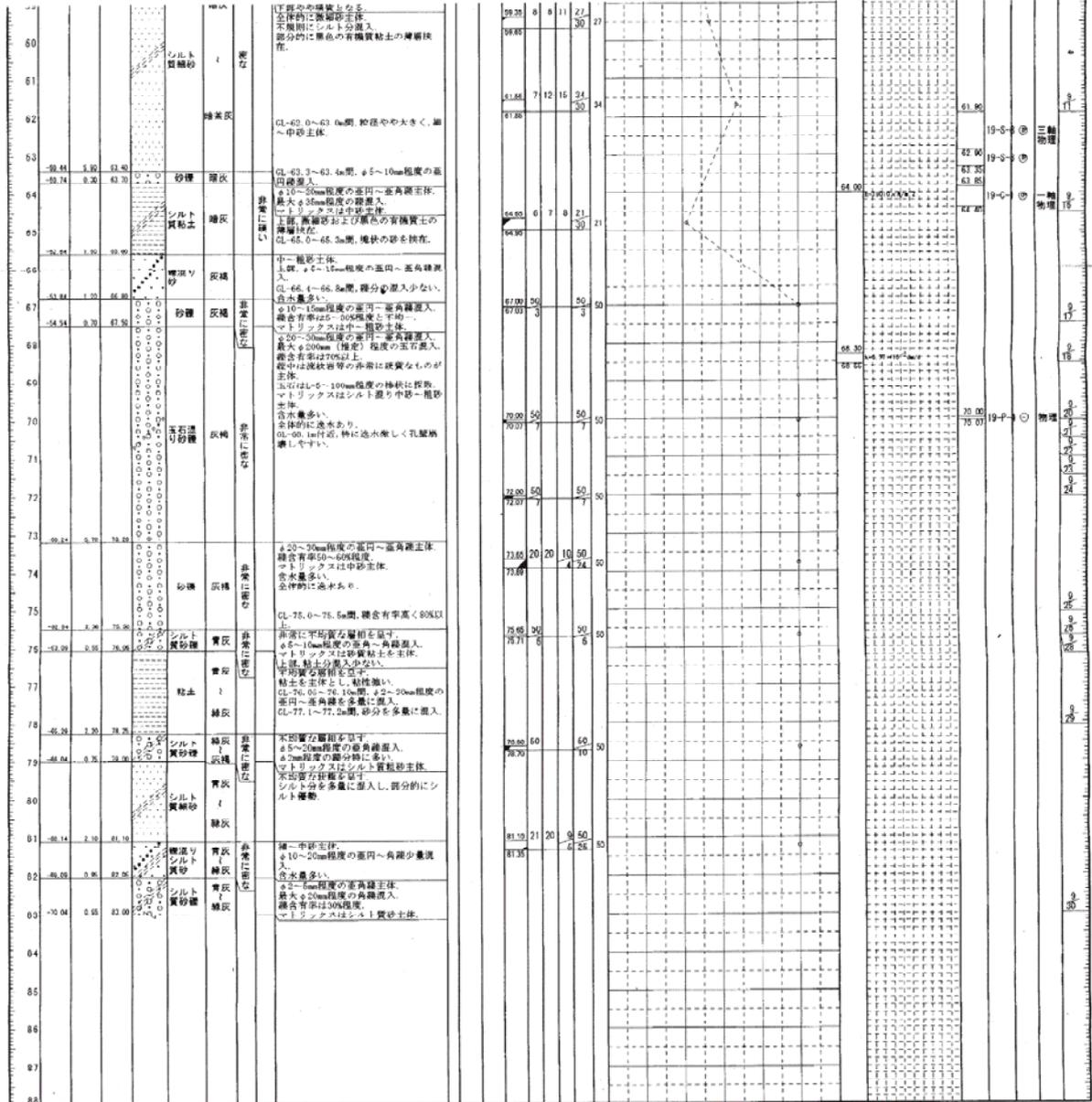
事業・工事名

ボーリングNo.	
シートNo.	

ボーリング名	調査位置	北緯
発注機関	調査期間	東経
調査業者名	主任技術者	専門技術者
孔口標高	TF	コ定者
総掘進長	13.96m	ボーリング責任者
角	100°	試錐機
方	90°	ハンマー
地盤勾配	90°	落下用具
傾斜	90°	ポンプ
方位	90°	エンジン
傾斜	90°	

標高	層厚	柱状	土質	相対	相対	記	孔内水位	標準貫入試験		原位置試験	試料採取	室内	進
								深	N値				
m	m	m	図	度	度	事	m	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	深	度	号	日
12.28	0.70	0.70	シルト質粘土	軟弱	軟弱	上部0.2mまでは砂礫主体。全体的にφ10~20mm程度の角礫混入。泥状に不均質。	9/25						
11.58	0.40	1.10	シルト質粘土	軟弱	軟弱	φ150~300mm程度の玉石混入。玉石は塊状形で非常に硬質。シルト分はシルト分を少量混入。砂分を不規則に混入。シルト等のクラスタ存在。	9/25						
11.18	0.26	1.36	シルト質粘土	軟弱	軟弱	φ200mm程度の礫および固結シルト片を混入。GL-2.0mまで砂分混入少ない。GL-2.0m付近、砂分混入多い。	9/25						
10.92	0.26	1.62	シルト質粘土	軟弱	軟弱	上部GL-3.4mまで砂分不均質。GL-3.7m付近、シルト分の混入が多い。	9/25						
10.66	0.26	1.88	シルト質粘土	軟弱	軟弱	GL-4.2m以降、シルト分の混入が少なくなる。	9/25						
10.40	0.26	2.14	砂	軟弱	軟弱	砂の粒径不均一。中〜粗砂主体。	9/25						
10.14	0.26	2.40	砂	軟弱	軟弱	概ね細砂を主体とする。GL-7.0~7.3m間、シルト分を若干混入。	9/25						
9.88	0.26	2.66	シルト	軟弱	軟弱	概ね均質な層相を呈す。	9/25						
9.62	0.26	2.92	シルト	軟弱	軟弱	シルト1分を不規則に混入する。	9/25						
9.36	0.26	3.18	シルト	軟弱	軟弱	砂の粒径不均一。中〜粗砂主体。	9/25						
9.10	0.26	3.44	砂	軟弱	軟弱	不均質な層相を呈す。GL-9.85~9.2m間、暗茶褐色の固結シルト混入。砂の粒径不均一。中〜粗砂主体。	9/25						
8.84	0.26	3.70	砂	軟弱	軟弱	不均質な層相を呈す。シルト分を不規則に混入する。	9/25						
8.58	0.26	3.96	シルト	軟弱	軟弱	GL-12.4~12.5m間、粗砂混入。下方に向かいシルト分混入が少なくなる。	9/25						
8.32	0.26	4.22	シルト	軟弱	軟弱	砂の粒径不均一。中〜粗砂主体。	9/25						
8.06	0.26	4.48	砂	軟弱	軟弱	概ね細砂主体。シルト分不規則に混入。	9/25						
7.80	0.26	4.74	砂	軟弱	軟弱	砂の粒径不均一。概ね中砂主体。φ200mm程度の固結シルト片混入。概含率40~150程度。マトリックスは粗砂主体。細砂分は少ない。含水率多い。	9/25						
7.54	0.26	5.00	砂	軟弱	軟弱	φ5~25mm程度の道門礫混入。最大φ300mm程度の礫を混入。概含率40~150程度。マトリックスは粗砂主体。細砂分は少ない。含水率多い。	9/25						
7.28	0.26	5.26	砂	軟弱	軟弱	粗砂〜粗砂主体。砂の粒径不均一。砂の混入を不均一。全体的にφ200mm程度の固結シルト片混入。概含率40~150程度。マトリックスは粗砂主体。細砂分は少ない。含水率多い。	9/25						
7.02	0.26	5.52	砂	軟弱	軟弱	不均質な層相を呈す。上部はシルト質不均質な状態を呈す。上部はシルト質不均質な状態を呈す。上部はシルト質不均質な状態を呈す。	9/25						
6.76	0.26	5.78	砂	軟弱	軟弱		9/25						
6.50	0.26	6.04	砂	軟弱	軟弱		9/25						
6.24	0.26	6.30	砂	軟弱	軟弱		9/25						
5.98	0.26	6.56	砂	軟弱	軟弱		9/25						
5.72	0.26	6.82	砂	軟弱	軟弱		9/25						
5.46	0.26	7.08	砂	軟弱	軟弱		9/25						
5.20	0.26	7.34	砂	軟弱	軟弱		9/25						
4.94	0.26	7.60	砂	軟弱	軟弱		9/25						
4.68	0.26	7.86	砂	軟弱	軟弱		9/25						
4.42	0.26	8.12	砂	軟弱	軟弱		9/25						
4.16	0.26	8.38	砂	軟弱	軟弱		9/25						
3.90	0.26	8.64	砂	軟弱	軟弱		9/25						
3.64	0.26	8.90	砂	軟弱	軟弱		9/25						
3.38	0.26	9.16	砂	軟弱	軟弱		9/25						
3.12	0.26	9.42	砂	軟弱	軟弱		9/25						
2.86	0.26	9.68	砂	軟弱	軟弱		9/25						
2.60	0.26	9.94	砂	軟弱	軟弱		9/25						
2.34	0.26	10.20	砂	軟弱	軟弱		9/25						
2.08	0.26	10.46	砂	軟弱	軟弱		9/25						
1.82	0.26	10.72	砂	軟弱	軟弱		9/25						
1.56	0.26	10.98	砂	軟弱	軟弱		9/25						
1.30	0.26	11.24	砂	軟弱	軟弱		9/25						
1.04	0.26	11.50	砂	軟弱	軟弱		9/25						
0.78	0.26	11.76	砂	軟弱	軟弱		9/25						
0.52	0.26	12.02	砂	軟弱	軟弱		9/25						
0.26	0.26	12.28	砂	軟弱	軟弱		9/25						

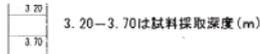




(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デニソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- ⑤ コア試料

2. 試料採取深度と採取比



3. 原位置試験名の記号

- Ⓔ 電気検層
- Ⓕ P波速度検層
- Ⓖ S波速度検層
- Ⓗ パス・ジョンPS検層
- Ⓖ キャリオン検層
- Ⓖ 密度検層
- Ⓖ 温度検層
- Ⓖ ルジオン試験
- Ⓖ 現場透水試験
- Ⓖ 孔内水平載荷試験

( JR-68 )

ボーリング柱状図

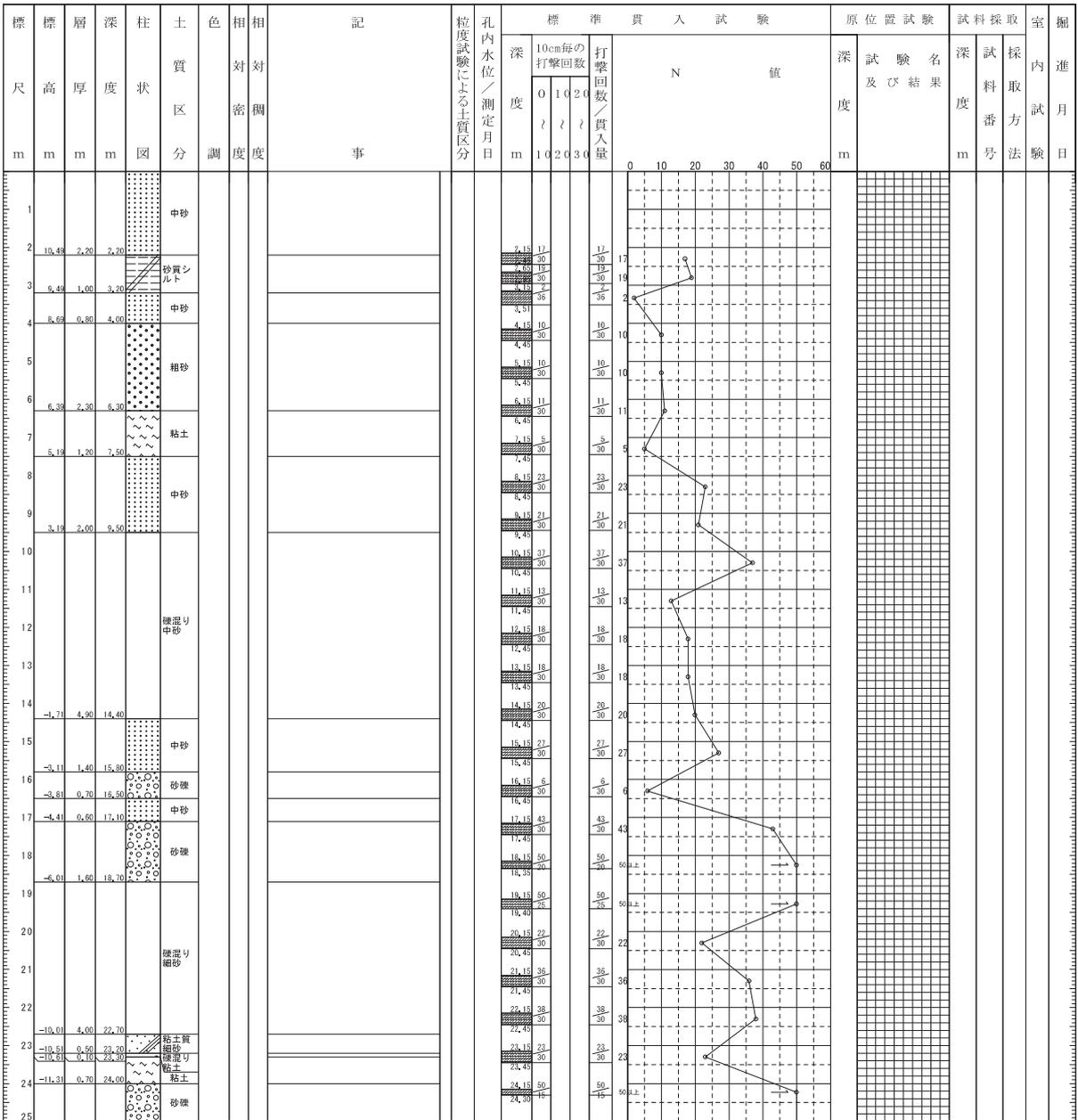
調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

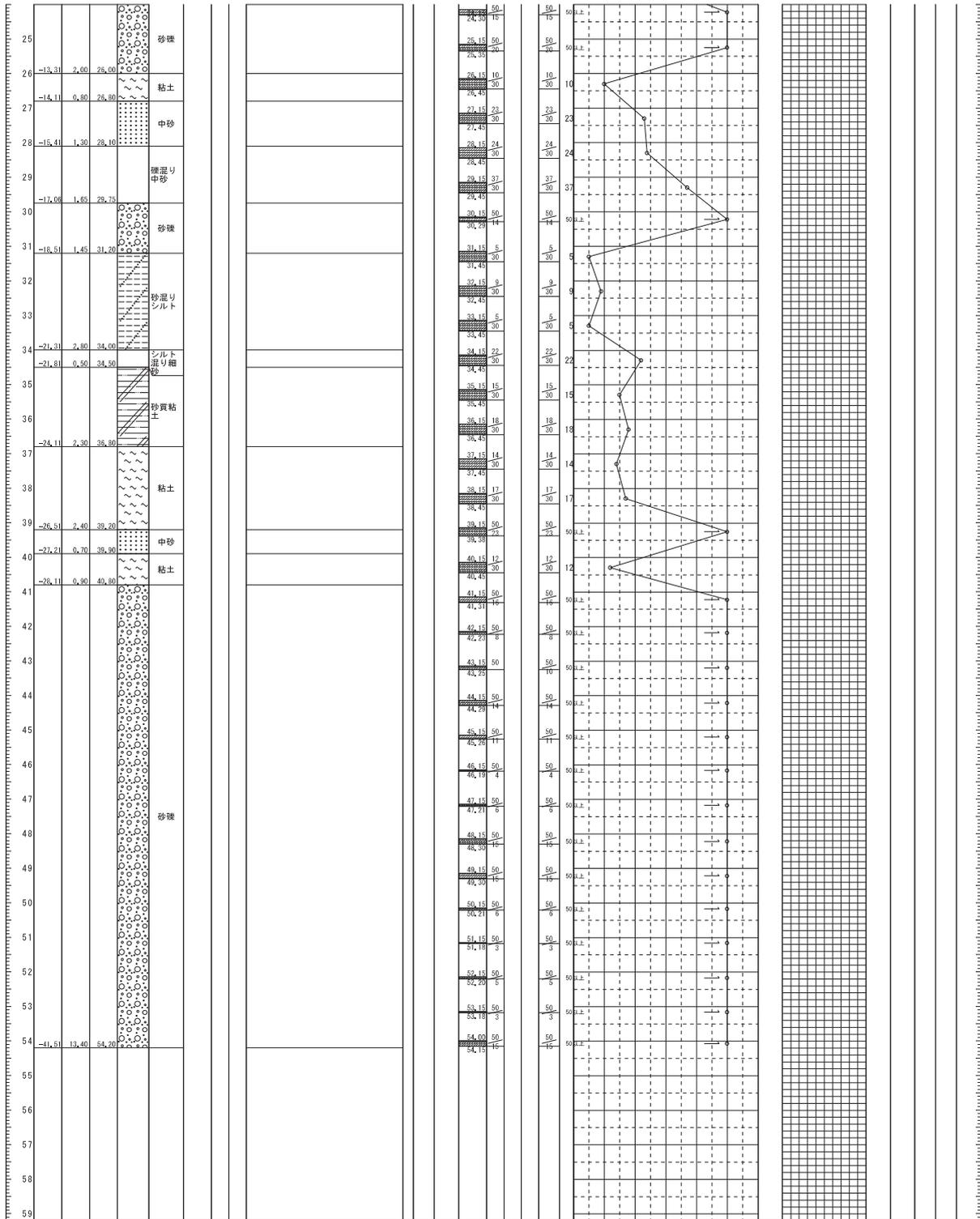
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コピ定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 12.69m	角 180° 上下 0°	方 北 0° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°	使用機種 試錐機 エンジン
総掘進長	54.20m	ハンマ落下用具 ポンプ			



(参考68-1)



ボーリング柱状図

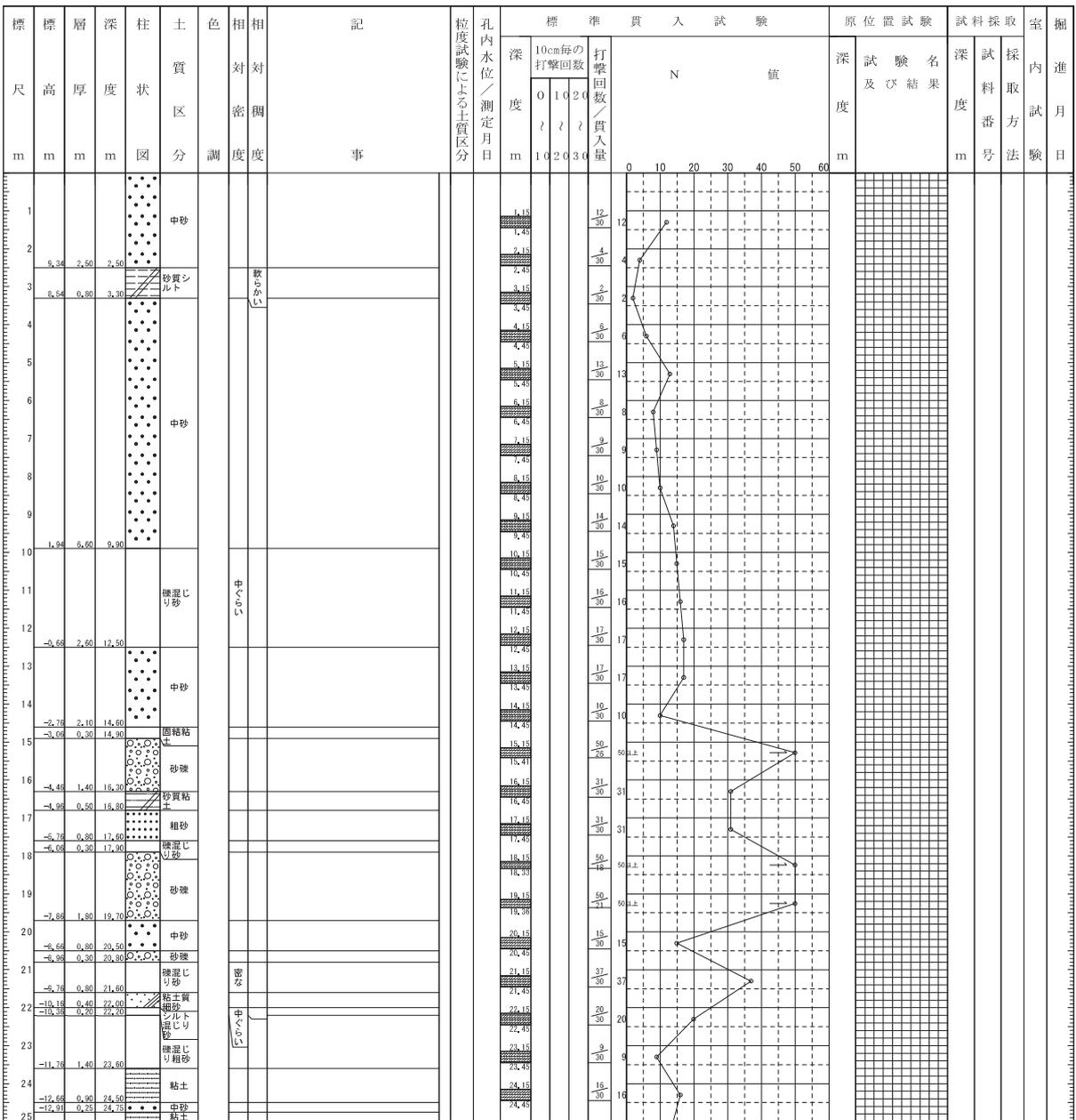
調査名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

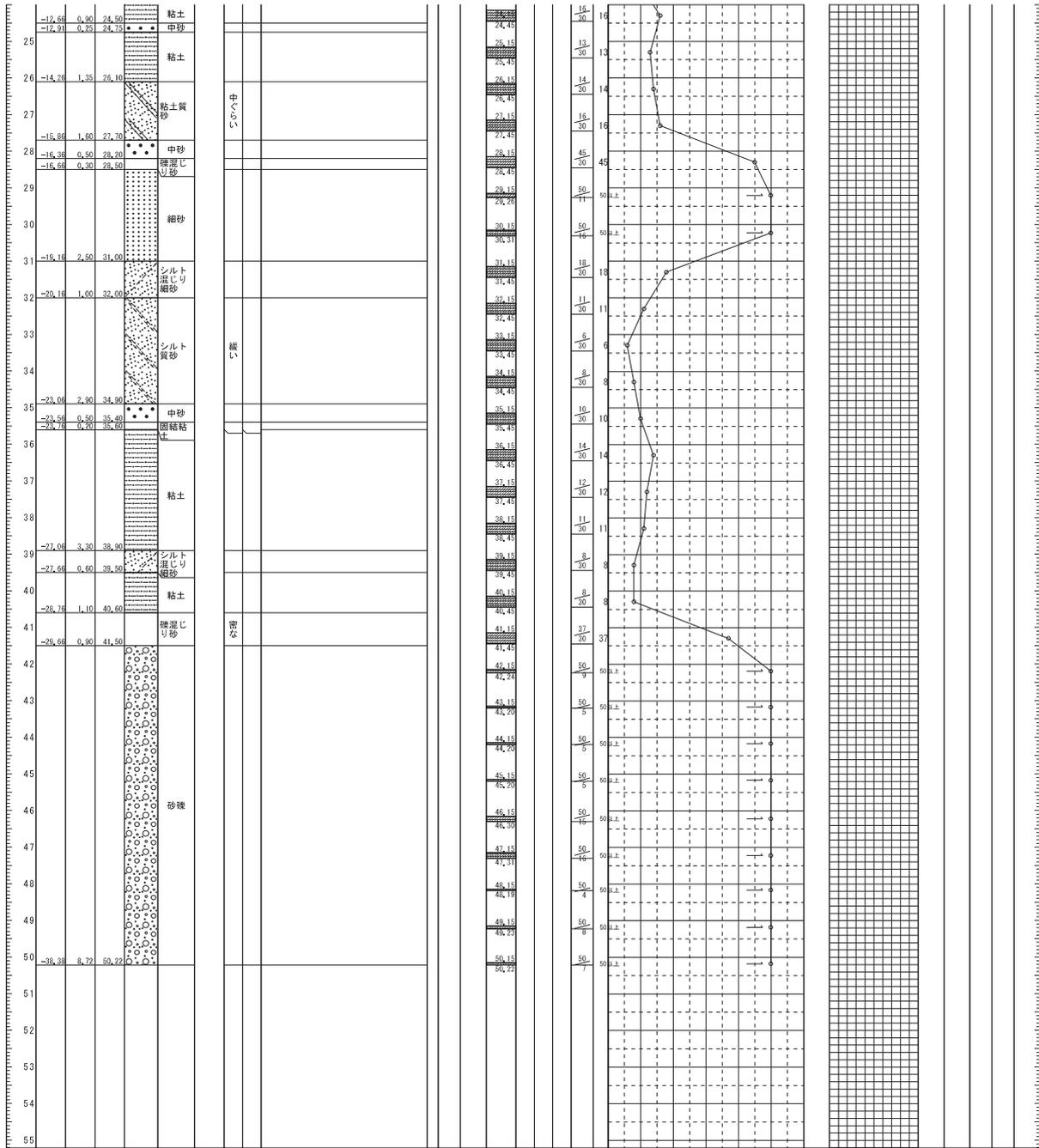
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調査位置				北緯				
発注機関	調査期間				東経				
調査業者名	主任技師			現代	場	コ	ア	ボー	
孔口標高	TP	角	180°	方	北	0°	地	使用	ハン
11.84m		上下	90°	向	北	0°	盤	機	マ
総掘進長	50.22m	度	0°	西	180°	南	勾	種	落
							配	エンジン	下
							鉛		用
							直		具
							90°		ポン
									プ



(参考68-2)



ボーリング柱状図

調査名 \_\_\_\_\_

事業・工事名 \_\_\_\_\_

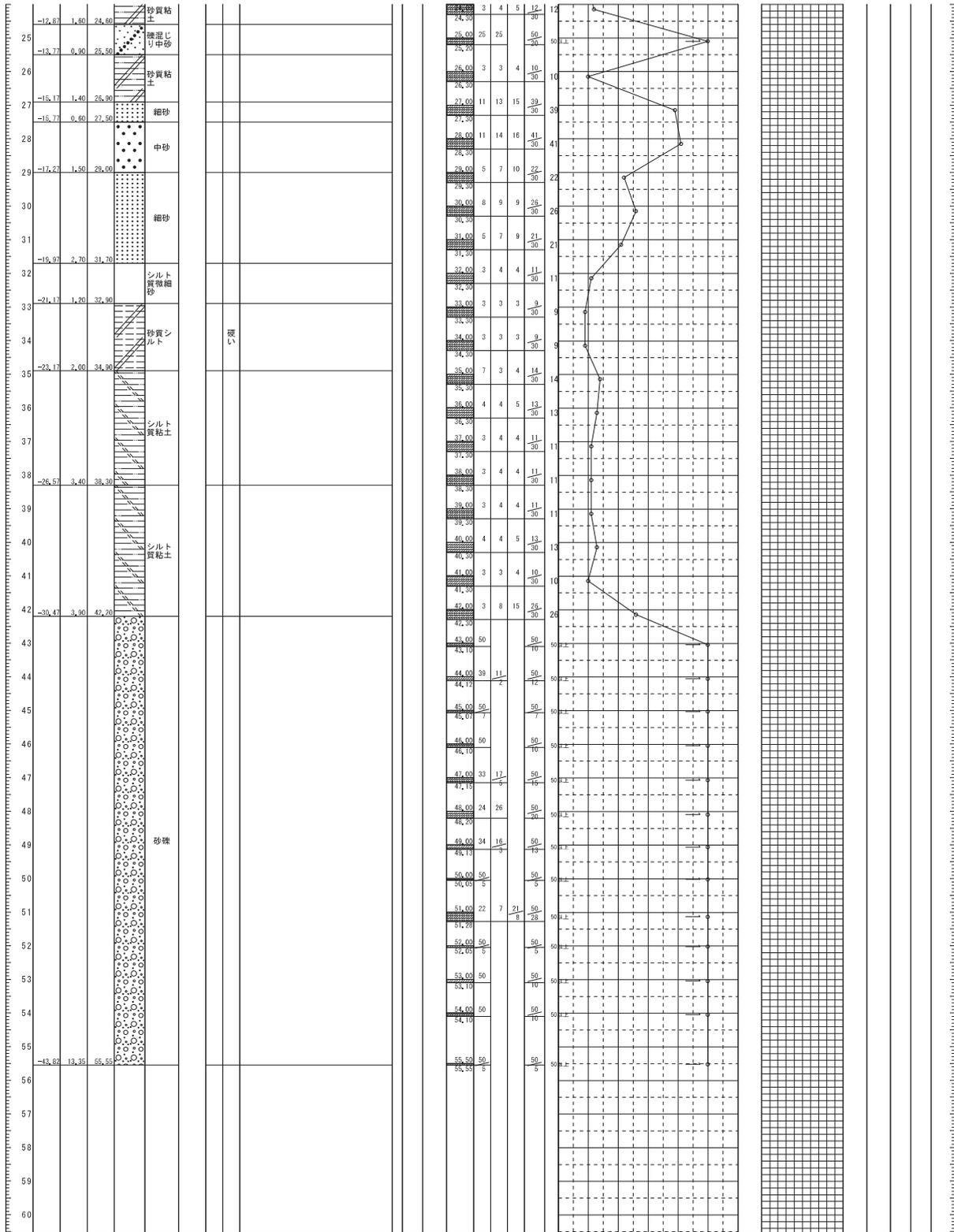
ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo. \_\_\_\_\_

ボーリング名	調査位置			北緯		
発注機関	調査期間			東経		
調査業者名	主任技師		現代場 代理人	コ 勘 定 者		ボーリング 責任者
孔口標高 TP 11.73m	角 180° 上 下 0°	方 北 0° 西 180° 南 東 90°	地盤 勾配 鉛直 90°	使用 機種 エンジン	ハンマ 落下 用具 ポンプ	
総掘進長 55.56m	度					

標尺 m	標高 m	層厚 m	深 m	柱状 図	土質 区分	色 調	相対 密度	相対 稠度	記 事	孔内水位 測定月日	標準貫入試験			N 値	原位置試験 深 度 m	試験名 及び結果	深 度 m	試料 番号	採取 方法	室内 試験	掘進 月日	
											深 度 m	10cm 毎の 打撃 回数	打撃 回数 / 貫入 量									
1	10.23	1.50	1.50		盛土						2.00	3	3	2	8							
2	9.43	0.80	2.30		細砂・中砂						2.80	1	1	2	4							
3	7.73	1.70	4.00		砂質シルト			中位			3.00	1	1	2	4							
4	6.93	0.80	4.80		細砂						3.30	3	2	2	7							
5											4.00	3	2	2	7							
6											4.30	1	2	1	4							
7											5.00	1	2	1	4							
8											5.30	1	2	1	4							
9											6.00	1	2	1	4							
10											6.30	2	3	3	8							
11											7.00	2	2	3	7							
12											7.30	2	2	3	7							
13											8.00	1	3	5	9							
14	-2.17	4.40	13.30		浮石混り細砂						8.30	4	4	5	13							
15	-3.27	1.10	15.00		粘土混り細砂						9.00	3	4	4	11							
16	-4.27	1.60	16.60		中砂						9.30	3	4	4	11							
17	-5.07	0.80	16.80		砂礫						10.00	3	4	4	11							
18	-6.17	1.10	17.30								10.30	3	4	4	11							
19											11.00	5	5	5	15							
20											11.30	2	1	5	8							
21	-6.87	3.70	21.60		強混り粗砂						12.00	4	5	5	14							
22											12.30	7	8	8	23							
23	-11.27	1.40	23.00		細砂						12.90	22	28		50							
24	-12.87	1.60	24.60		砂質粘土						13.30	10	11	11	32							
25											13.90	11	12	14	37							
											14.00	13	14	15	42							
											14.30	8	8	9	25							
											15.00	7	7	7	21							
											15.30	3	3	4	10							
											16.00	3	4	5	12							
											16.30	3	4	5	12							
											17.00	25	25	25	50							

(参考68-3)

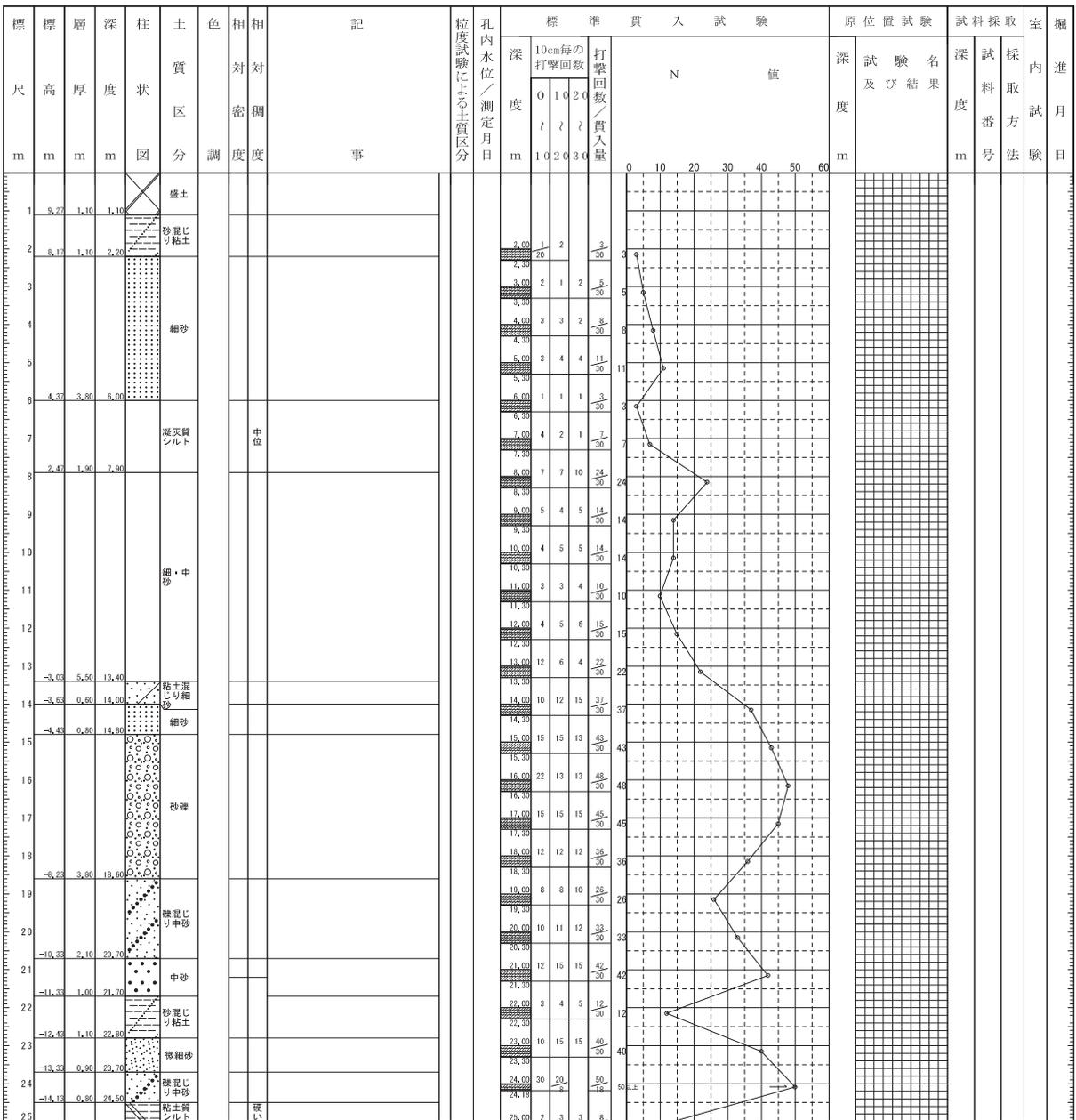


ボーリング柱状図

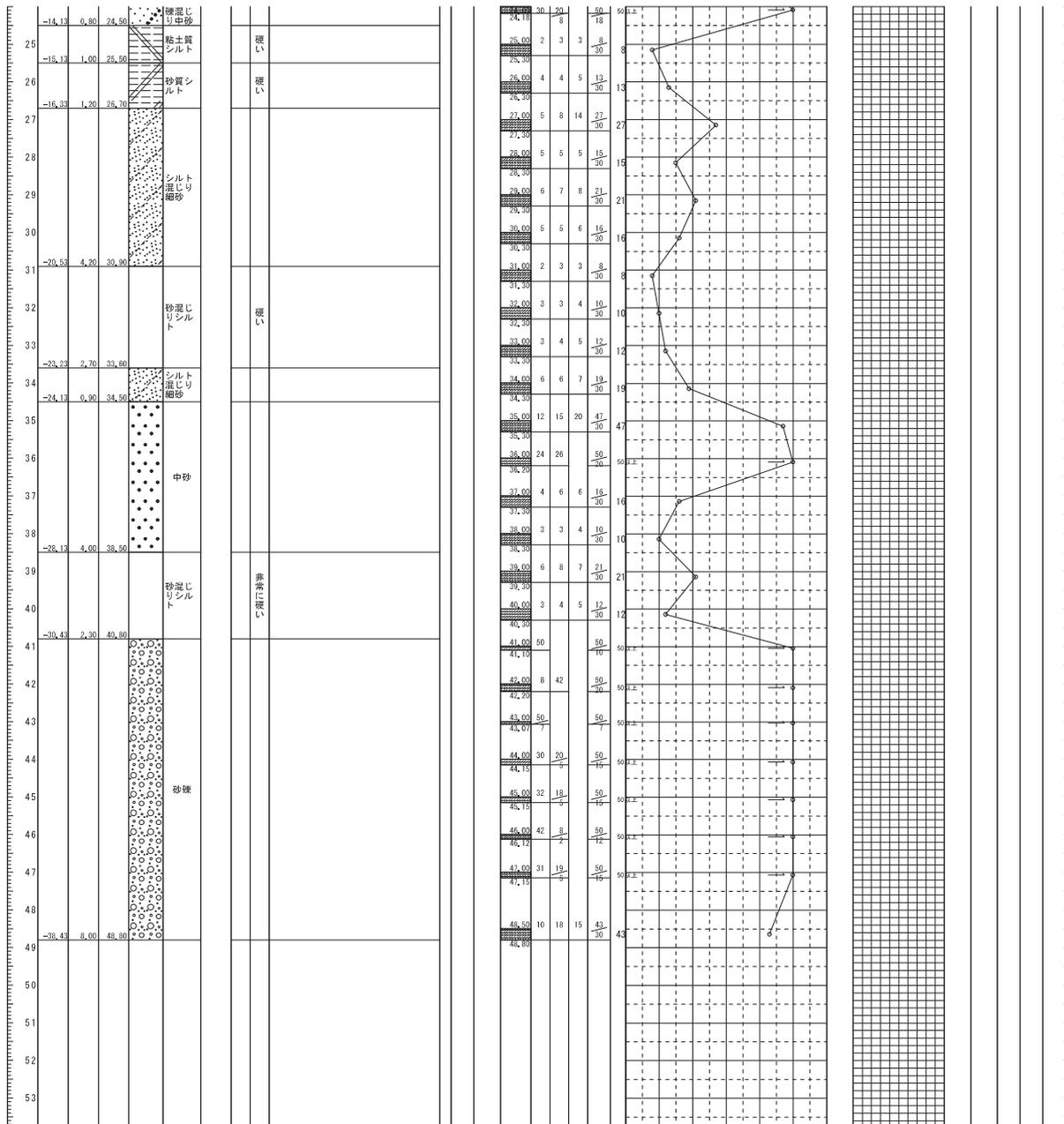
調査名 \_\_\_\_\_  
 事業・工事名 \_\_\_\_\_

ボーリングNo. \_\_\_\_\_  
 シートNo. \_\_\_\_\_

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師		現代場 代理人	コ 掘 定 者	ボ ー リ ン グ 責 任 者
孔口標高	10.37m	角 180° 上 下 0°	方 北 0° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°	使用 機 種 試錐機 エンジン
総掘進長	48.80m	ハンマ 落下用具		ポンプ	



(参考68-4)



ボーリング柱状図

調査名

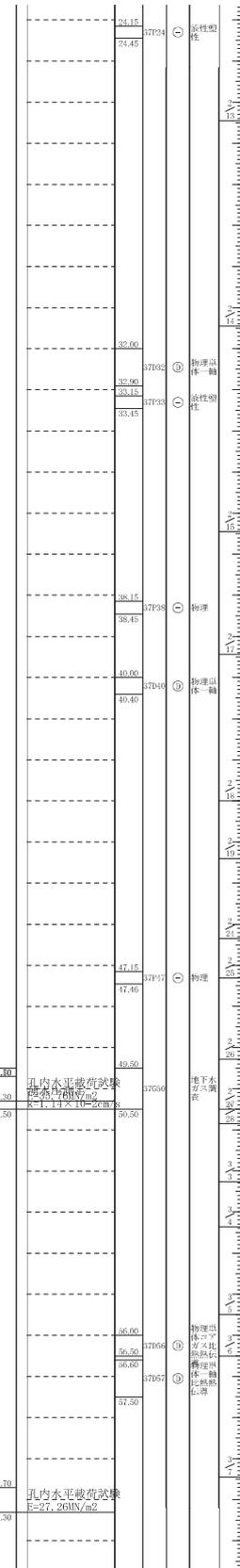
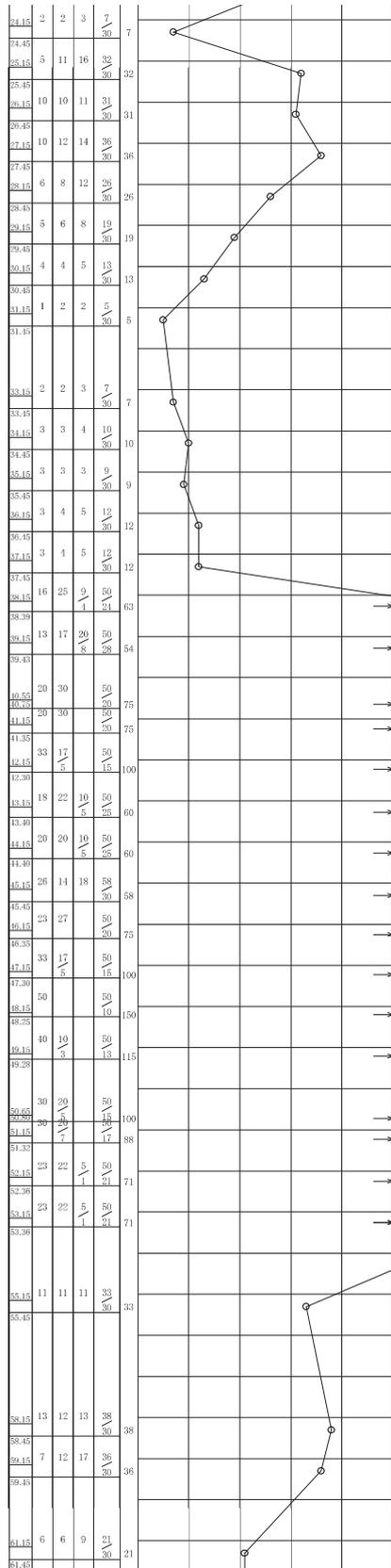
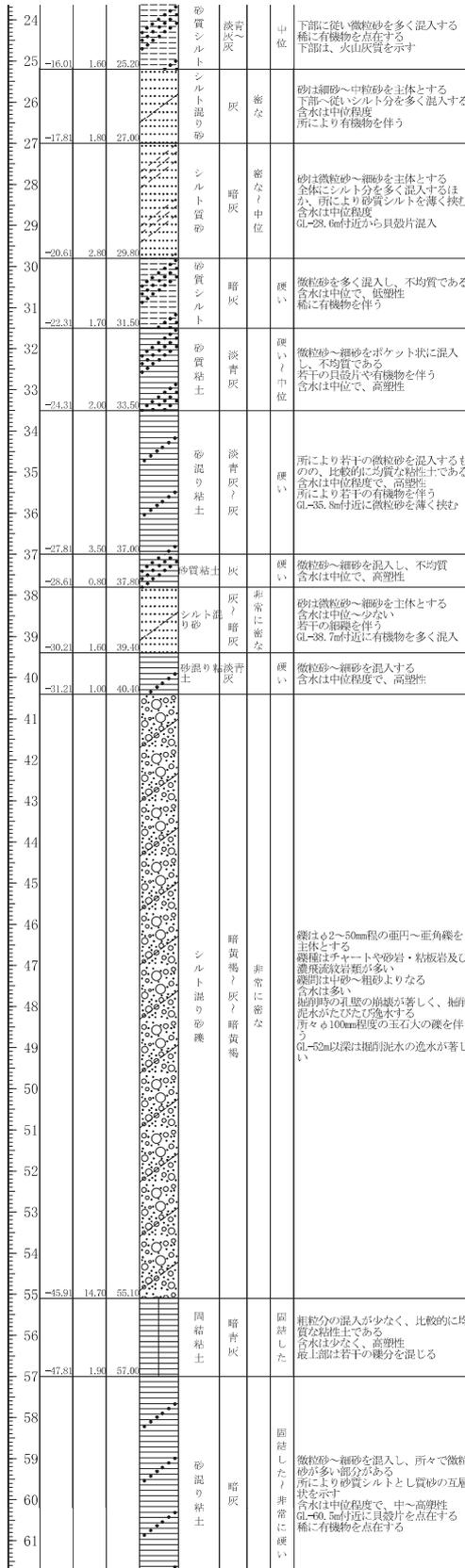
ボーリングNo

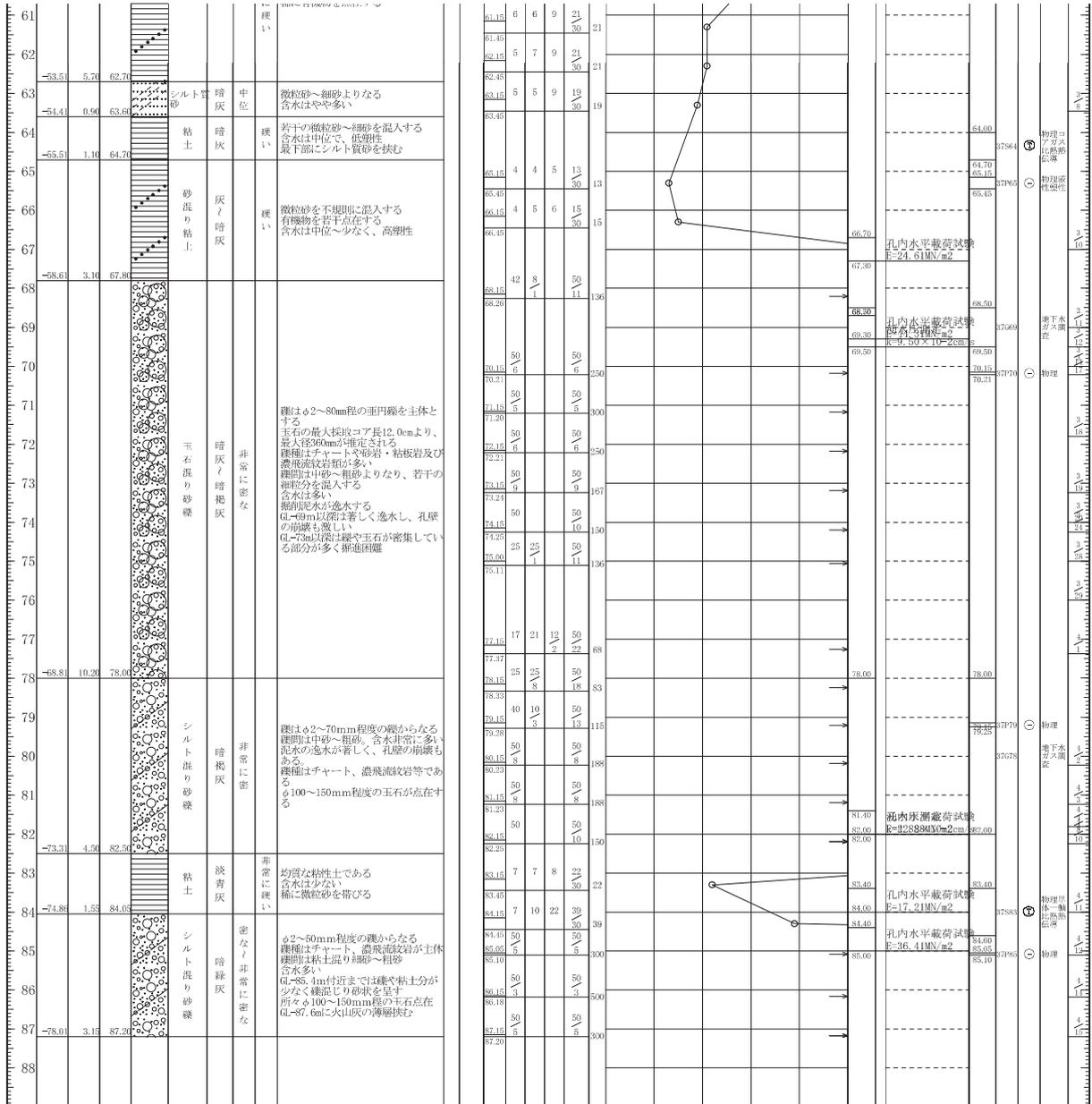
事業・工事名

シートNo

ボーリング名、調査位置、発注機関、調査期間、調査業者名、主任技師、現場代理人、コア鑑定者、ボーリング責任者、孔口標高、角、方、地盤勾配、使用機種、エンジン、ハンマー落下用具、ポンプ

ボーリング柱状図表: 標高、層厚、柱状図、土質区分、相対密度、相対稠度、記述、標準貫入試験、原位置試験、採取番号、室内試験、掘進月日





( JR-69 )

ボーリング柱状図

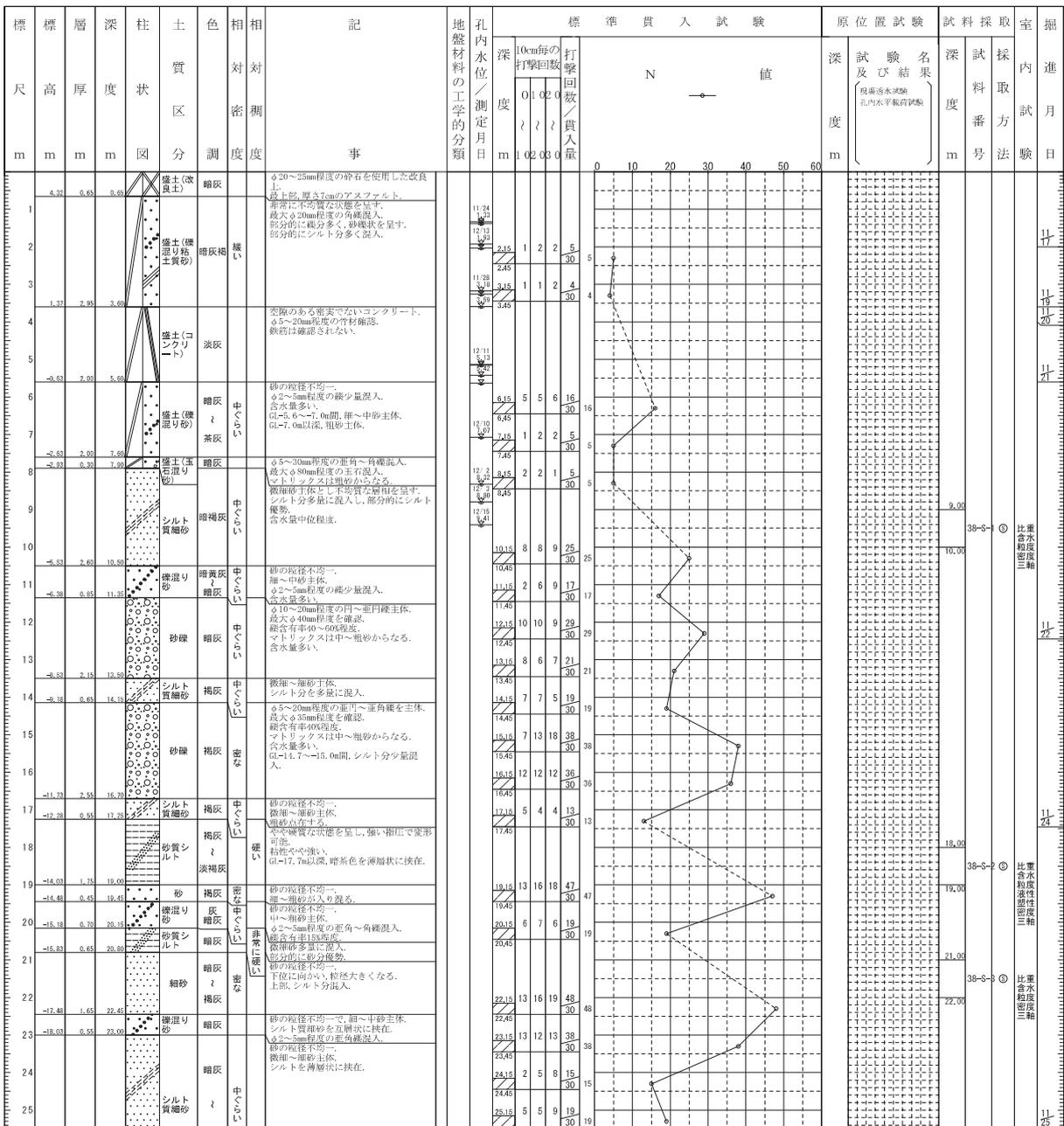
調査名

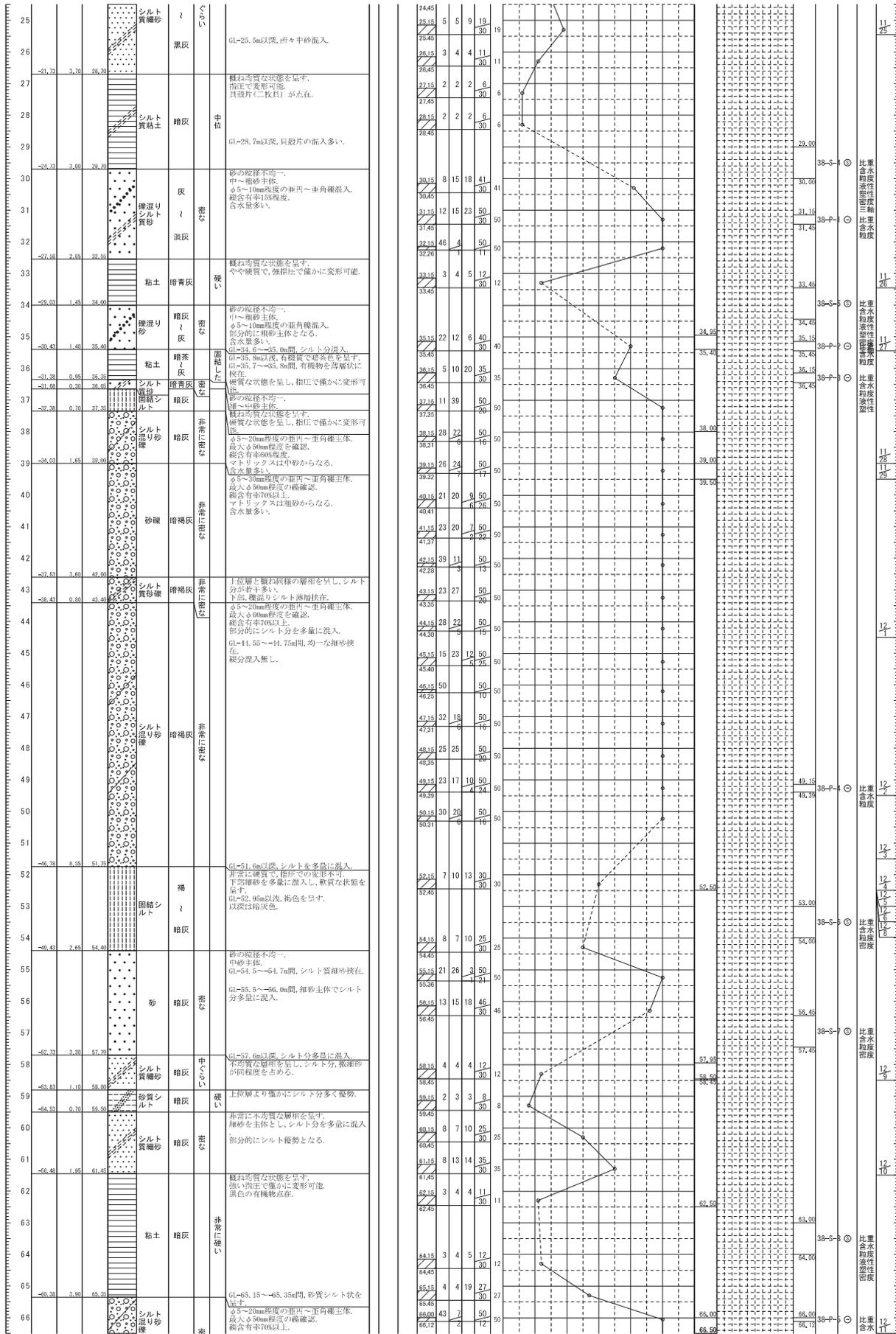
事業・工事名

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

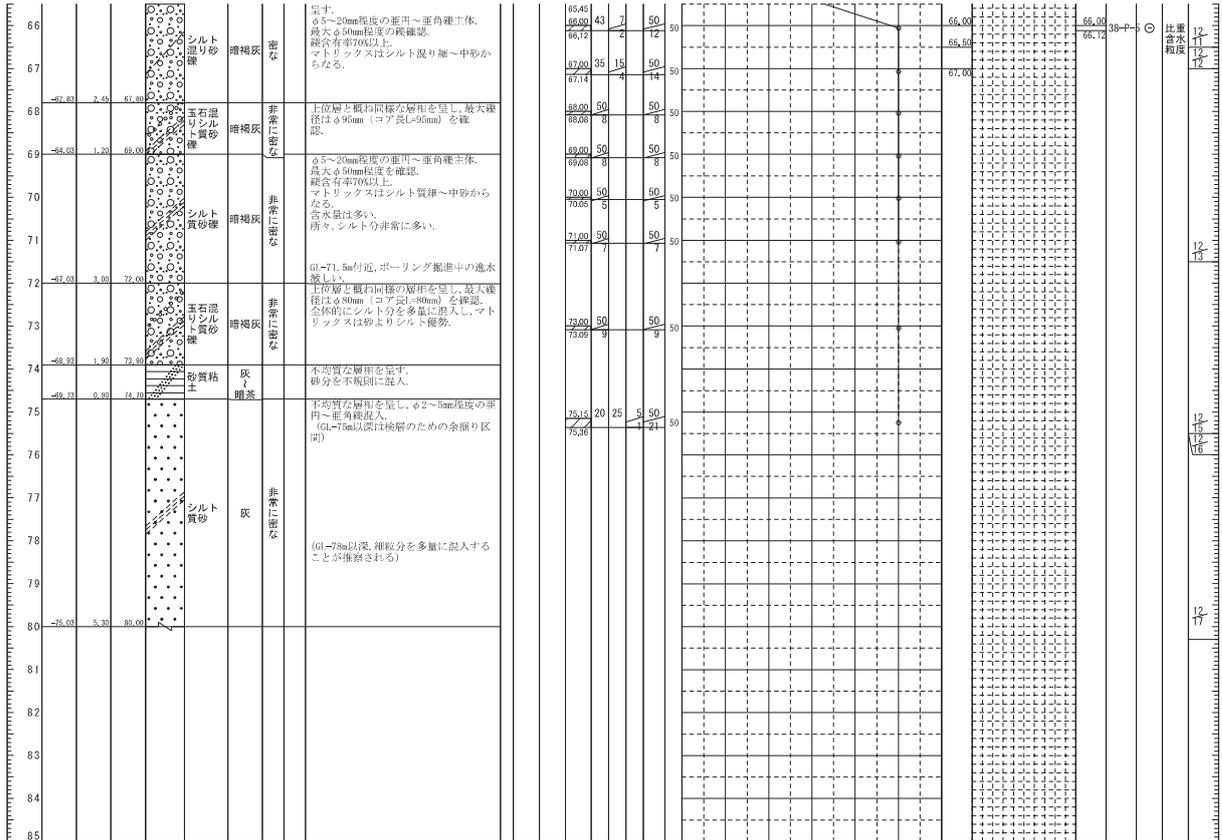
シートNo.

ボーリング名	調査位置				北緯				
発注機関	調査期間				東経				
調査業者名	主任技師				現代理人		コアア		ボーリング責任者
孔口標高	T P 4.97m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 東 90° 南 180°	地盤勾配 水平0° 鉛直90°	使用機種	ハンマー 落下用具		ポンプ	
総掘進長	80.00m				試錐機	エンジン			





(JR-70)



(注) 1. 試料採取方法の記号

- Ⓧ シンワールサンプラーによる試料
- Ⓧ デニソンサンプラーによる試料
- Ⓧ 貫入試験器による試料
- Ⓧ サンドサンプラーによる試料
- Ⓧ コア試料
- Ⓧ コアパックによる試料
- Ⓧ リジットサンプラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20—3.70は試料採取深度(m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

- Ⓧ 電気検層
- Ⓧ P波速度検層
- Ⓧ S波速度検層
- Ⓧ サスペンション検層
- Ⓧ キャリパー検層
- Ⓧ 密度検層
- Ⓧ 温度検層
- Ⓧ ルジオン試験
- Ⓧ 現場透水試験
- Ⓧ 孔内水平載荷試験

( JR-70 )

ボーリング柱状図

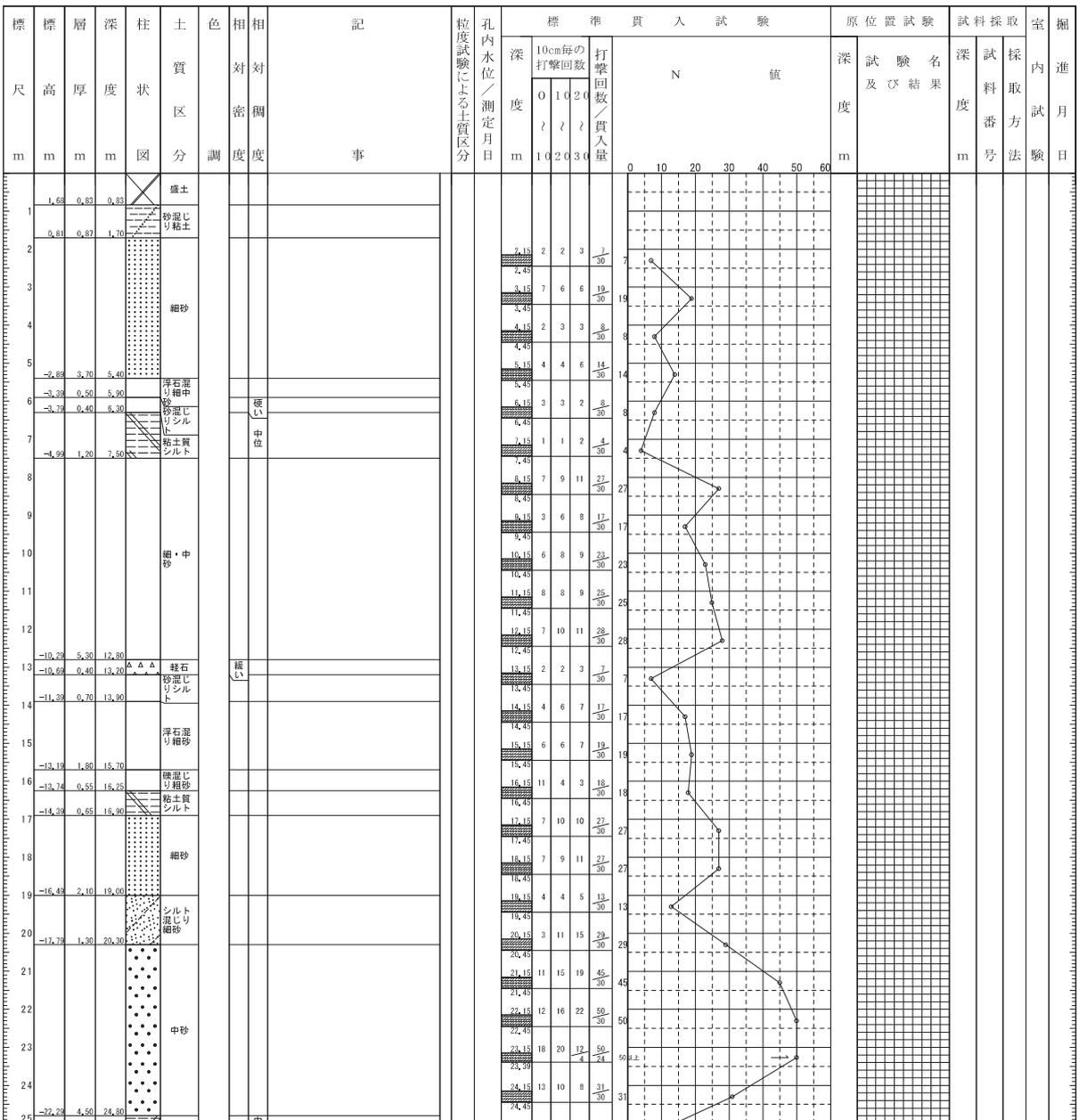
調査名

事業・工事名

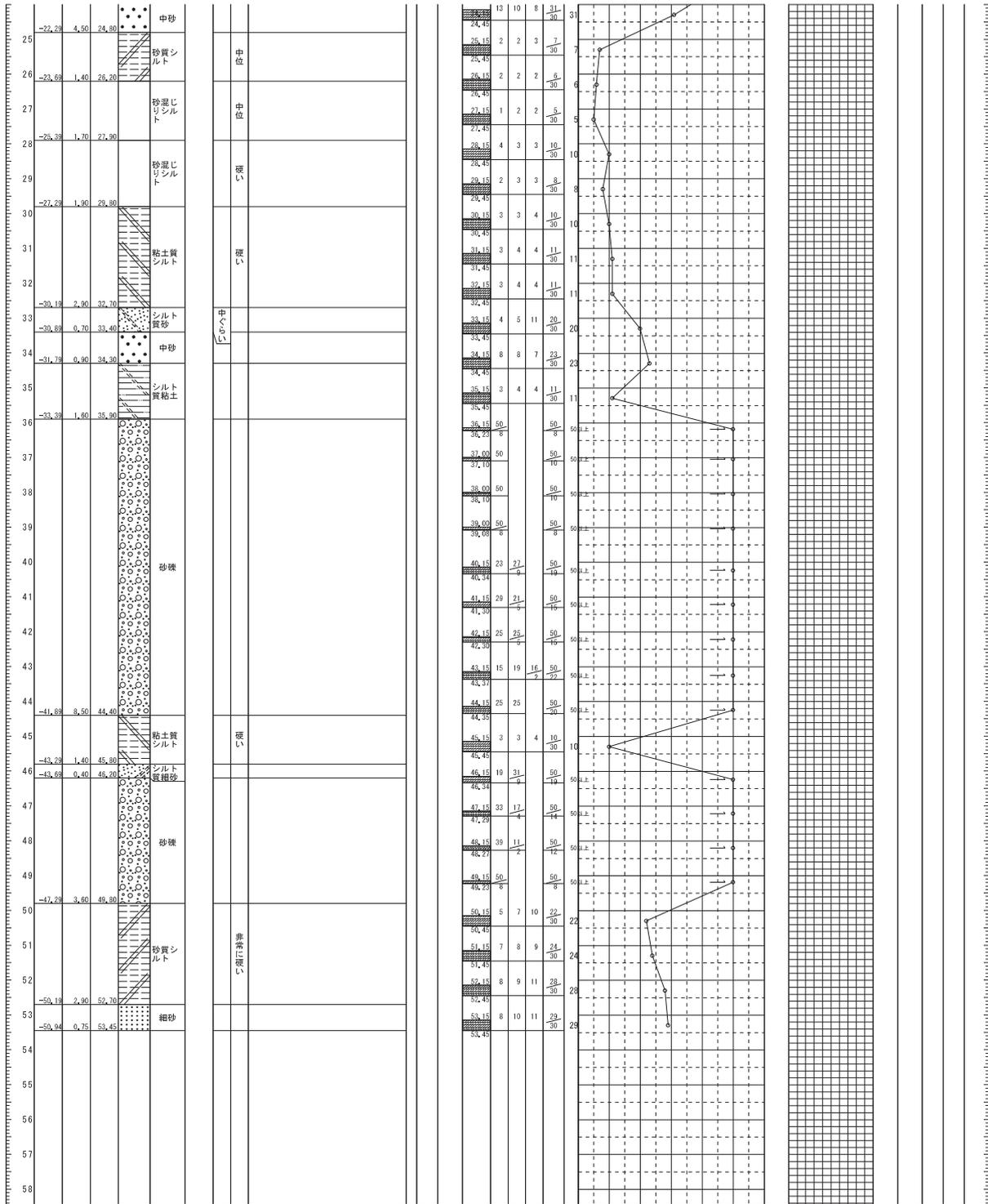
ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師		現代場 代理人	コ 掘 定 者	ボーリ ン グ 責 任 者
孔口標高	2.51m	角 180° 上下 0°	方 北 0° 西 180° 東 90° 南	地盤 勾配 鉛直 90°	使用 機 種
総掘進長	53.45m	度	向	試錐機 エンジン	ハンマ 落下 用具 ポンプ



(参考70-1)



ボーリング柱状図

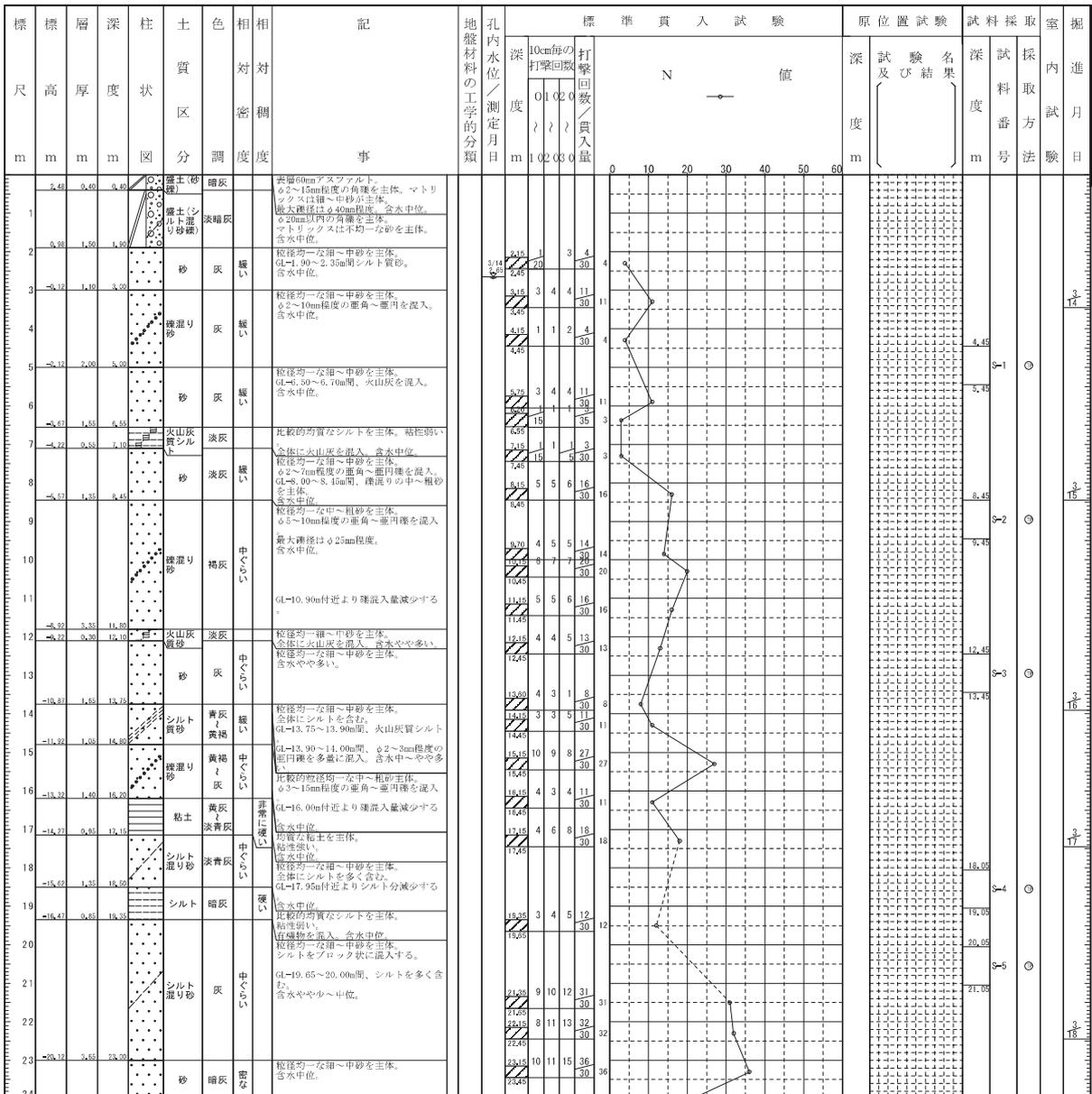
調査名

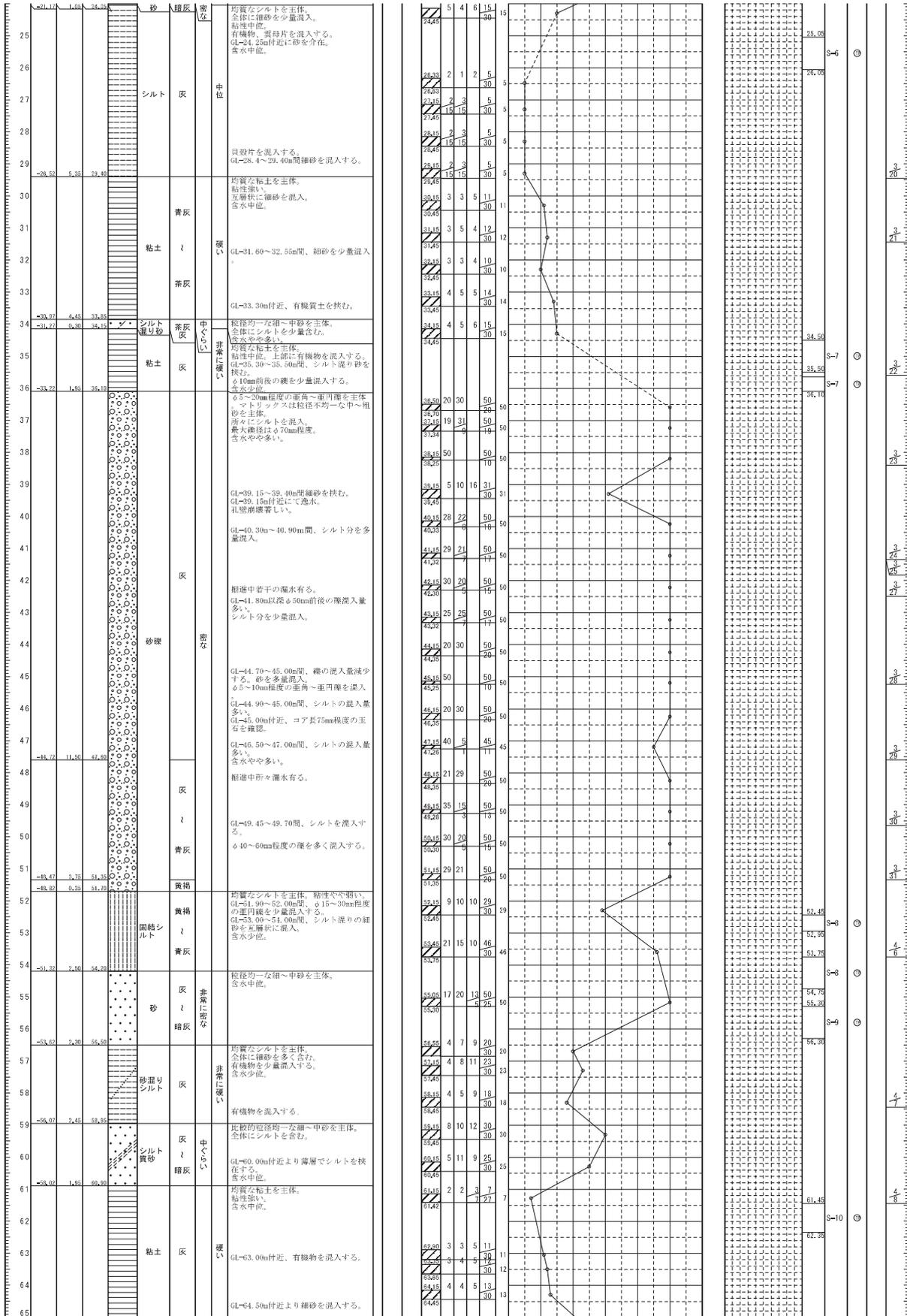
事業・工事名

ボーリングNo.

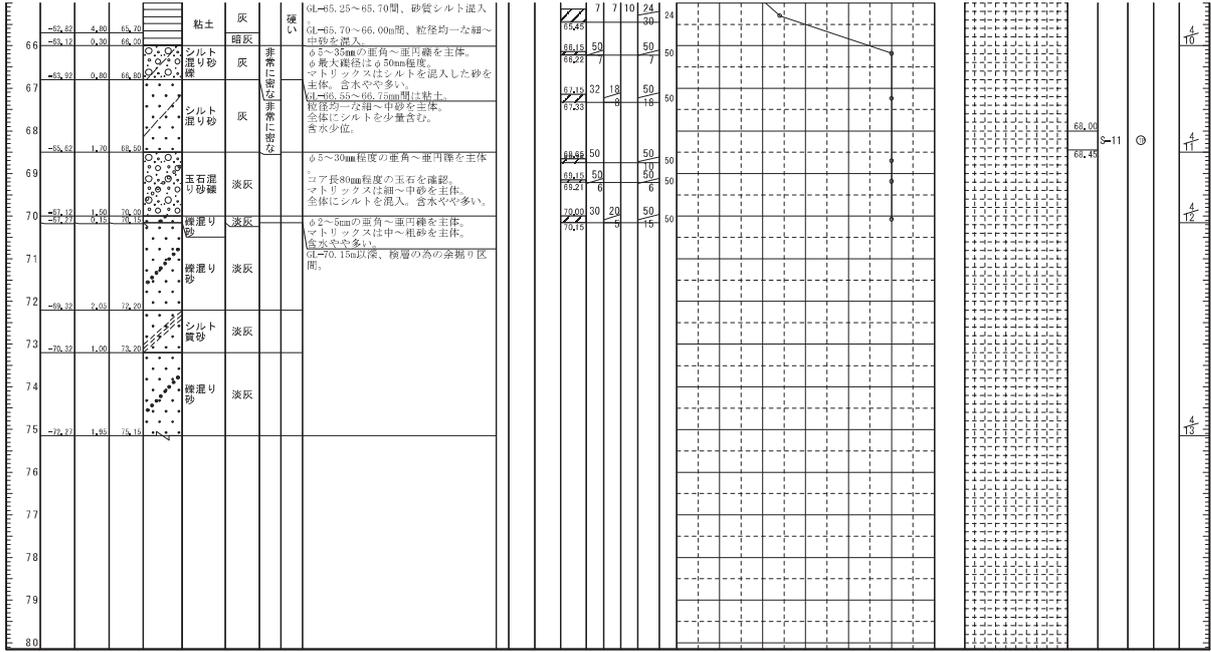
シートNo.

Header information table including borehole name, location, date, and personnel details.





(JR-71)

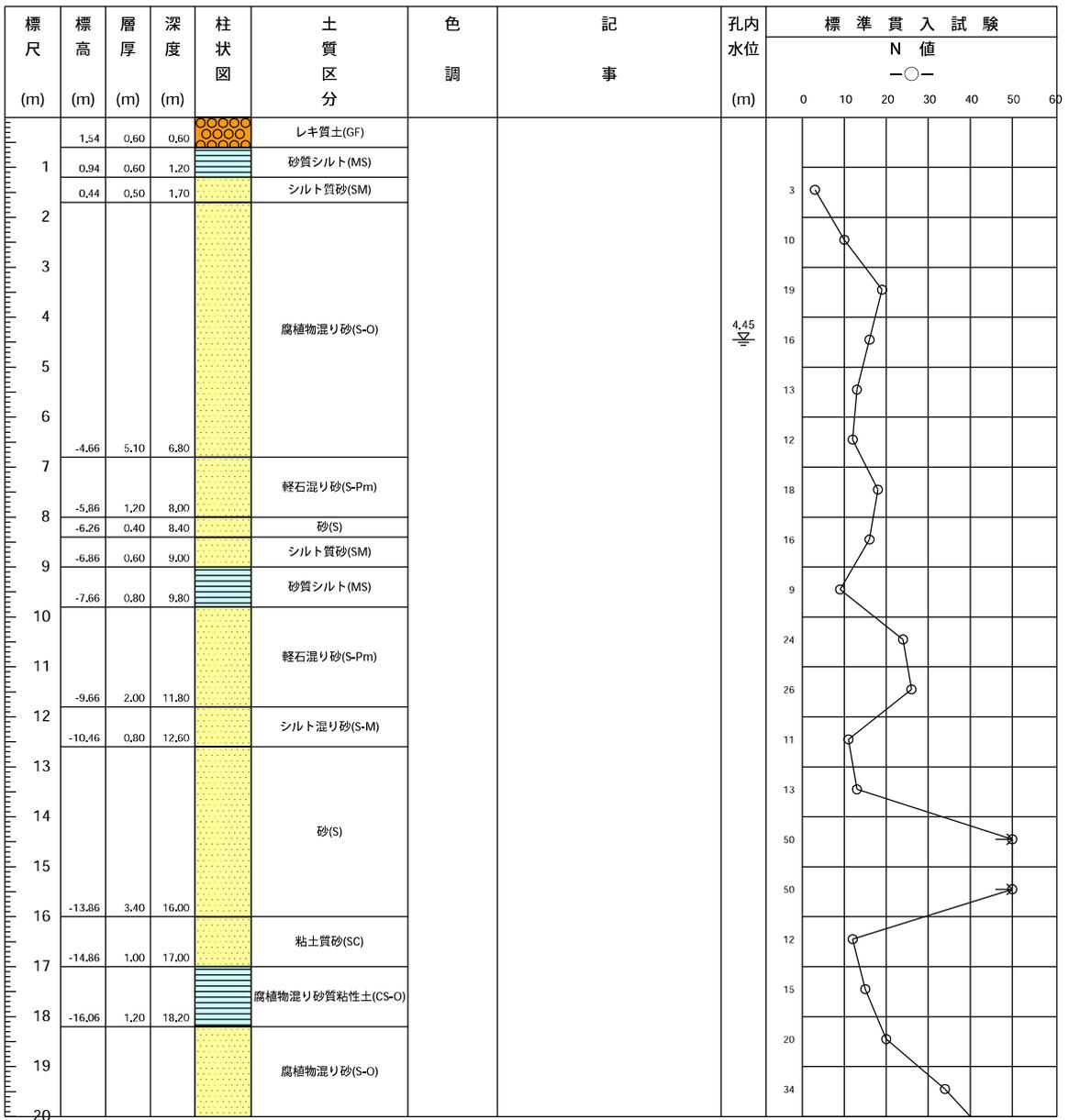


( JR-71 )

(参考71-1)

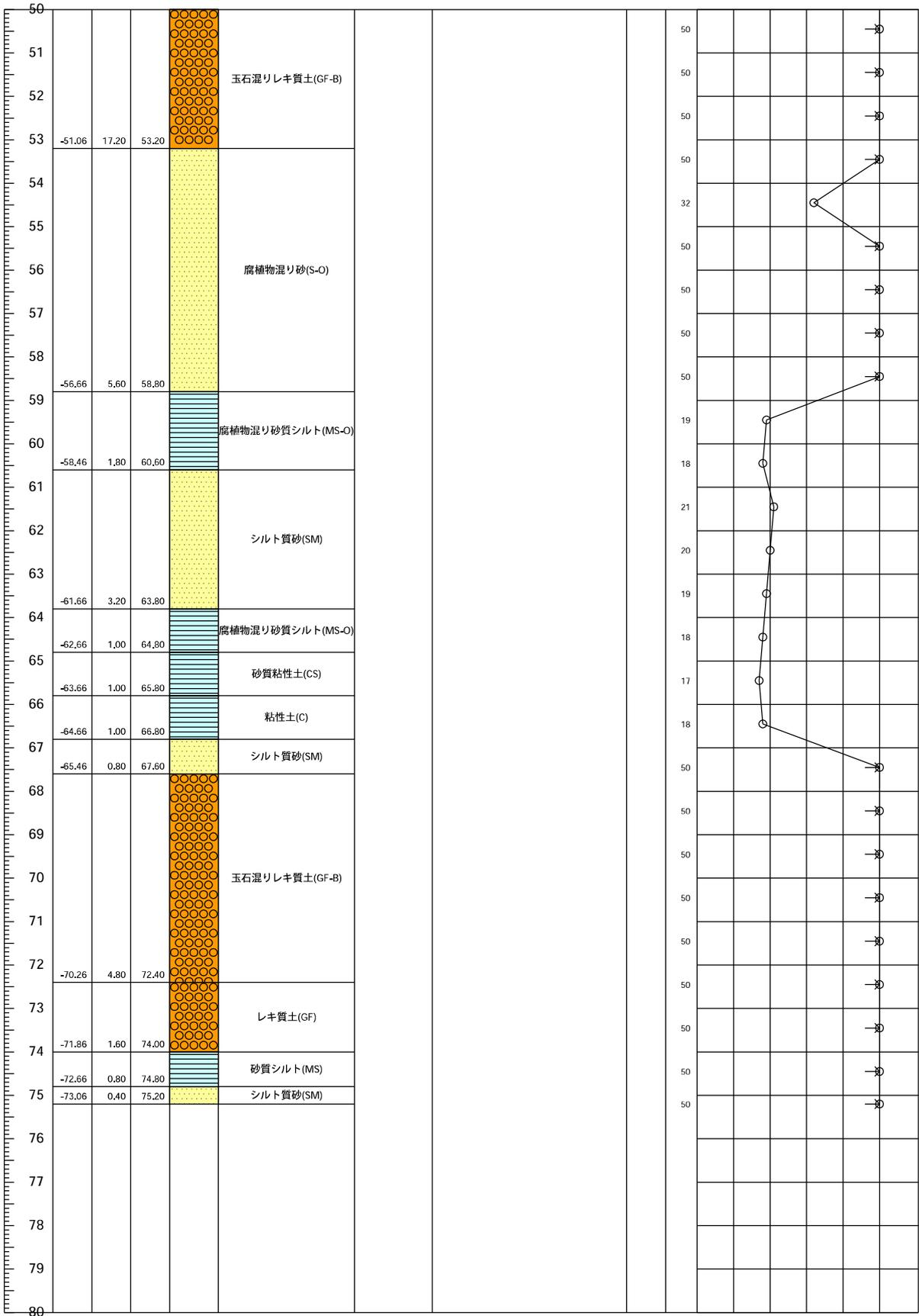
ボーリング柱状図 参考71-1

ボーリングID	出典	
調査名		
事業・工事名		
調査位置		
北緯	東経	
調査期間		
孔口標高	T.P. 2.14 m	総掘進長 75.2 m



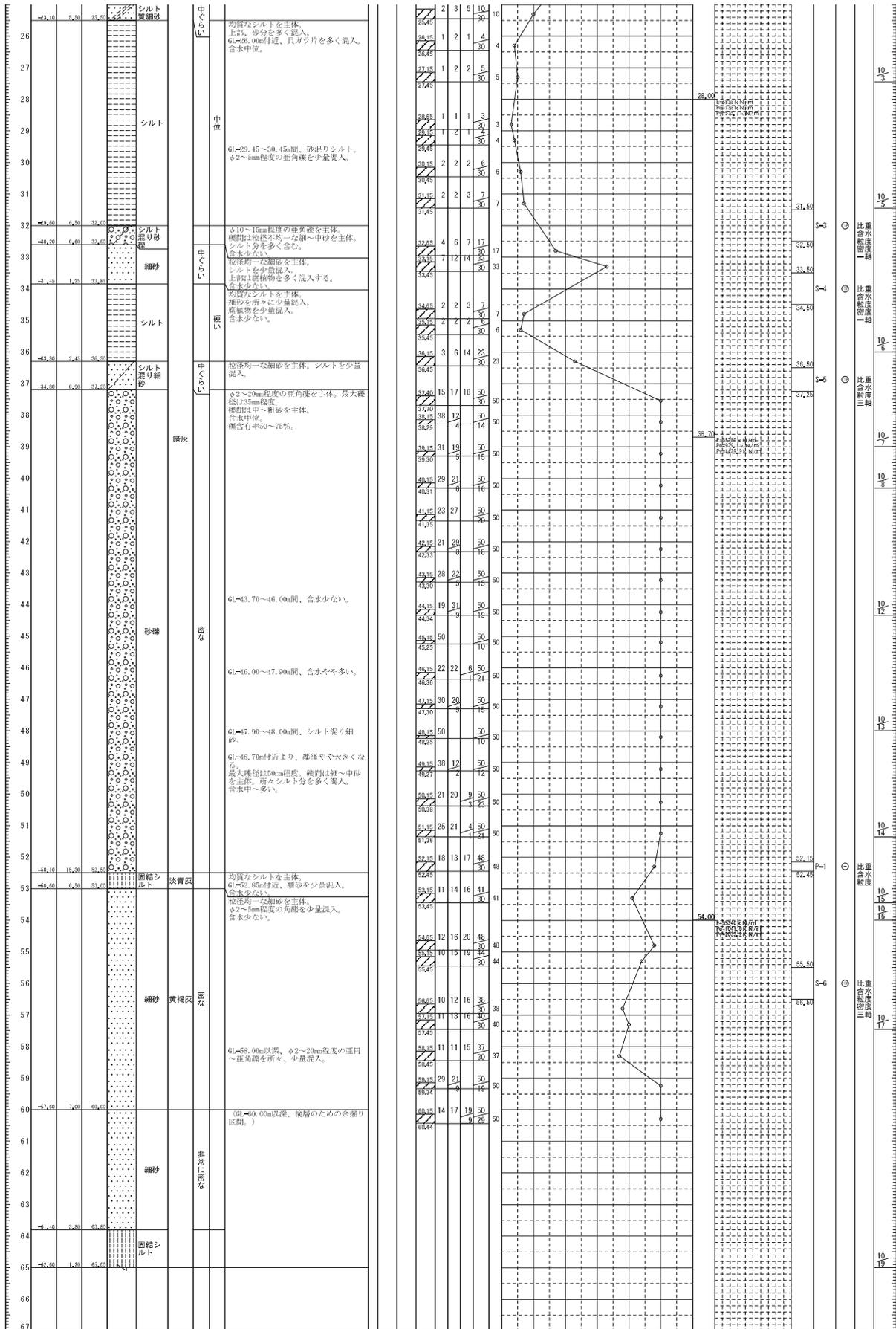


(参考71-1)

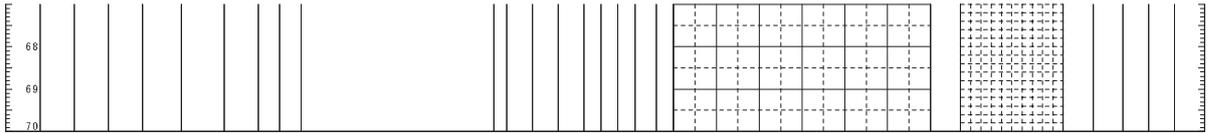


(参考71-1)





( JR-72 )



(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンブラーによる試料
- ② デニソンサンブラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンブラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンブラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20—3.70は試料採取深度(m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

- ⑧ 電気検層
- ⑨ P波速度検層
- ⑩ S波速度検層
- ⑪ ガスベリシオンPS検層
- ⑫ キャリハート検層
- ⑬ 密度検層
- ⑭ 温度検層
- ⑮ ルジオン試験
- ⑯ 現場透水試験
- ⑰ 孔内水平載荷試験

( JR-72 )

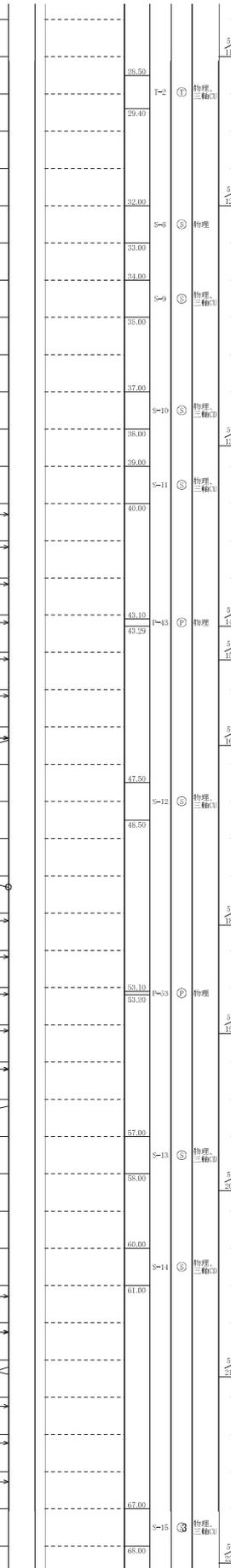
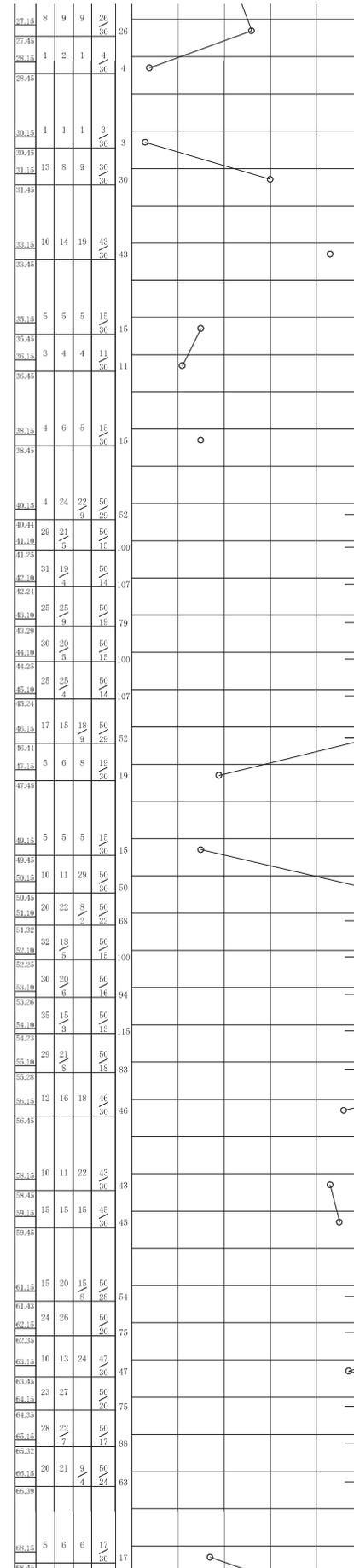


27	-25.60	1.80	27.80	シルト混じり細砂	暗灰	ぐらぐらい	上部にシルトを混入する。腐植物、所々に少量混入。砂は比較的一様な細砂主体。
28				シルト	暗灰	硬いかい	上部若干の細砂分混入。全体に比較的一様な粘性中、つぶ状の貝殻片混入。GI=30mでは貝殻片、多量混入。下部砂分混じる。
29							
30							
31	-28.70	3.10	30.50	雑混じり砂	暗灰	密な	貝殻片混入し砂は中砂。含水やや多くφ2~5mm(max. 10mm)程度の礫混入。
32	-30.00	1.30	32.20	雑混じり砂質シルト	暗灰	密な	シルト主体、不均一な礫混り中砂をブロック状に混入。φ5~10mm(max. 30mm)程度の歪角礫混入。貝ガラ片を混入。
33	-31.30	1.30	33.50	砂質シルト	暗灰		全体に細砂を混入する。粘付は中位。含水少なめ。全体に比較的一様な。
34	-32.80	1.50	35.00	シルト	淡青灰	硬いかい	若干の細砂を混入する。含水少なめ。やや固結状である。所々にレイプ状に細砂を挟む。
35							
36	-34.70	1.90	36.90	シルト	淡青灰	中ぐらぐらい	腐植物混入し砂は中~細砂。上部やや粒子不均一でシルト分不均一に混入する。下部シルト分やや多い。
37	-36.15	1.45	38.35	シルト質砂	暗灰	中ぐらぐらい	腐植物混入する。粘性中位。
38	-37.10	0.95	39.30	シルト	暗黄灰	固結した	全体に不均一、中砂を混入し礫部分的に多く混入する。
39	-38.15	1.05	40.30	雑混じり砂質シルト	暗黄灰	固結した	全体に不均一、中砂を混入し礫部分的に多く混入する。
40	-38.15	1.05	40.30	雑混じり砂質シルト	暗黄灰	固結した	全体に不均一、中砂を混入し礫部分的に多く混入する。
41				砂	灰	非常に密な	砂は中~粗砂主体。φ10~50mm(max. 70mm)程度の歪角礫主体。全体に密である。含水やや多い。GI=12~43m、若干泥透水みられた。GI=43m、300L~400L泥透水する。砂は粗砂主体。含水やや多い。
42				砂	灰	非常に密な	砂は中~粗砂主体。φ10~50mm(max. 70mm)程度の歪角礫主体。全体に密である。含水やや多い。GI=12~43m、若干泥透水みられた。GI=43m、300L~400L泥透水する。砂は粗砂主体。含水やや多い。
43				砂	灰	非常に密な	砂は中~粗砂主体。φ10~50mm(max. 70mm)程度の歪角礫主体。全体に密である。含水やや多い。GI=12~43m、若干泥透水みられた。GI=43m、300L~400L泥透水する。砂は粗砂主体。含水やや多い。
44	-41.40	3.25	43.60	粘土質砂	青灰	非常に密な	粘土主体でφ5mm~3mm程度の礫を混入する。
45	-41.70	0.30	43.90	粘土質砂	青灰	非常に密な	粘土主体でφ5mm~3mm程度の礫を混入する。
46				砂	淡灰	非常に密な	砂は粗砂主体。φ10~50mm(max. 70mm)程度の歪角礫主体。GI=45.00~46m間で粘土分混入する。GI=46mより泥透水著しい。500L程度。礫はφ10~MAX60mm。
47	-44.90	3.20	47.10	シルト	黄褐	非常に硬い	上部色調不均一。若干の細砂分混入し、やや固結状。中層は青灰色で比較的一様な粘性中位。下部やや砂分混入。やや黄褐色混じる。
48				シルト	緑灰	非常に硬い	上部色調不均一。若干の細砂分混入し、やや固結状。中層は青灰色で比較的一様な粘性中位。下部やや砂分混入。やや黄褐色混じる。
49				シルト	青灰	非常に硬い	上部色調不均一。若干の細砂分混入し、やや固結状。中層は青灰色で比較的一様な粘性中位。下部やや砂分混入。やや黄褐色混じる。
50	-47.80	2.90	50.00	砂質シルト	緑灰	固結した	固結状。下部に向って砂草越す。
51	-48.30	0.50	50.50	砂質シルト	緑灰	固結した	固結状。下部に向って砂草越す。
52				砂	淡灰	非常に密な	φ10~50mm(max. 70mm)程度の歪角礫主体。ブロックスは不均一な粗砂主体。全体に密で含水中~多め。GI=62.5m付近、少量の泥透水あり。
53				砂	淡灰	非常に密な	φ10~50mm(max. 70mm)程度の歪角礫主体。ブロックスは不均一な粗砂主体。全体に密で含水中~多め。GI=62.5m付近、少量の泥透水あり。
54				砂	淡灰	非常に密な	φ10~50mm(max. 70mm)程度の歪角礫主体。ブロックスは不均一な粗砂主体。全体に密で含水中~多め。GI=62.5m付近、少量の泥透水あり。
55				砂	淡灰	非常に密な	φ10~50mm(max. 70mm)程度の歪角礫主体。ブロックスは不均一な粗砂主体。全体に密で含水中~多め。GI=62.5m付近、少量の泥透水あり。
56	-53.85	5.53	56.00	砂	黄褐	密な	上部φ2mm程度の細礫混在。砂は中砂主体。含水中位。GI=57mよりサンプリング中、所々に雑音を確認する。
57				砂	緑灰	密な	上部φ2mm程度の細礫混在。砂は中砂主体。含水中位。GI=57mよりサンプリング中、所々に雑音を確認する。
58	-56.30	2.45	58.50	雑混じり砂	暗灰	密な	不均一な中~粗砂主体。φ2~5mm(max. 15mm)程度の礫を混入する。含水やや多め。礫の混入は不均一である。
59				雑混じり砂	暗灰	密な	不均一な中~粗砂主体。φ2~5mm(max. 15mm)程度の礫を混入する。含水やや多め。礫の混入は不均一である。
60				雑混じり砂	暗灰	密な	不均一な中~粗砂主体。φ2~5mm(max. 15mm)程度の礫を混入する。含水やや多め。礫の混入は不均一である。
61	-59.30	3.00	61.50	雑混じり砂	暗灰	密な	不均一な中~粗砂主体。φ2~5mm(max. 15mm)程度の礫を混入する。含水やや多め。礫の混入は不均一である。
62				雑混じり砂	暗灰	密な	不均一な中~粗砂主体。φ2~5mm(max. 15mm)程度の礫を混入する。含水やや多め。礫の混入は不均一である。
63				中砂	暗灰	非常に密な	少量の礫φ2mm~3mm程の物を点在。砂は中砂。含水中位。細粒中、雑音はばらばらに確認する。下部では礫の混入なくなり砂は比較的一様な中砂となる。比較的密である。含水中位。
64				中砂	暗灰	非常に密な	少量の礫φ2mm~3mm程の物を点在。砂は中砂。含水中位。細粒中、雑音はばらばらに確認する。下部では礫の混入なくなり砂は比較的一様な中砂となる。比較的密である。含水中位。
65				中砂	暗灰	非常に密な	少量の礫φ2mm~3mm程の物を点在。砂は中砂。含水中位。細粒中、雑音はばらばらに確認する。下部では礫の混入なくなり砂は比較的一様な中砂となる。比較的密である。含水中位。
66	-64.20	4.90	66.40	シルト	緑灰	硬いかい	上部、緑灰色。細砂少量混入する。15cm程度、以深比較的一様な。少量ブロック状に砂混入。腐植物少量混入。含水少ない。
67				シルト	暗灰	硬いかい	上部、緑灰色。細砂少量混入する。15cm程度、以深比較的一様な。少量ブロック状に砂混入。腐植物少量混入。含水少ない。
68				シルト	暗灰	硬いかい	上部、緑灰色。細砂少量混入する。15cm程度、以深比較的一様な。少量ブロック状に砂混入。腐植物少量混入。含水少ない。

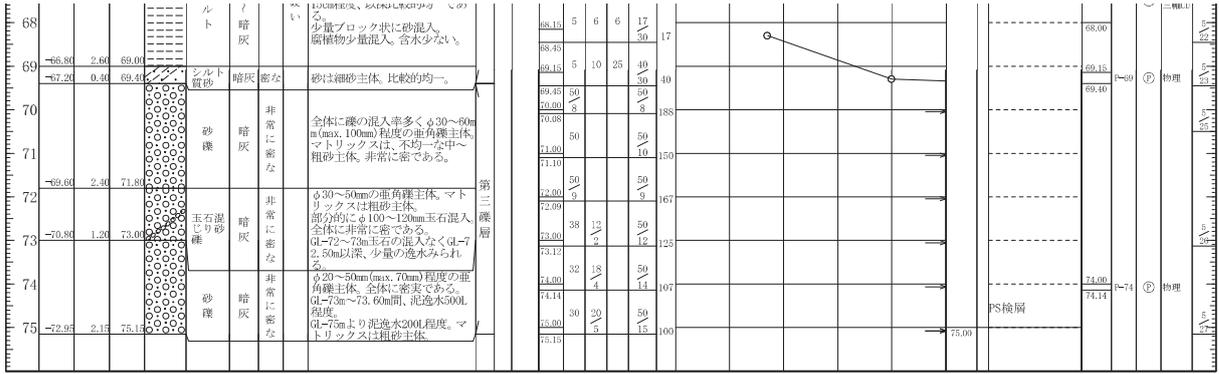
熱田層下部

第二層層

海部層層

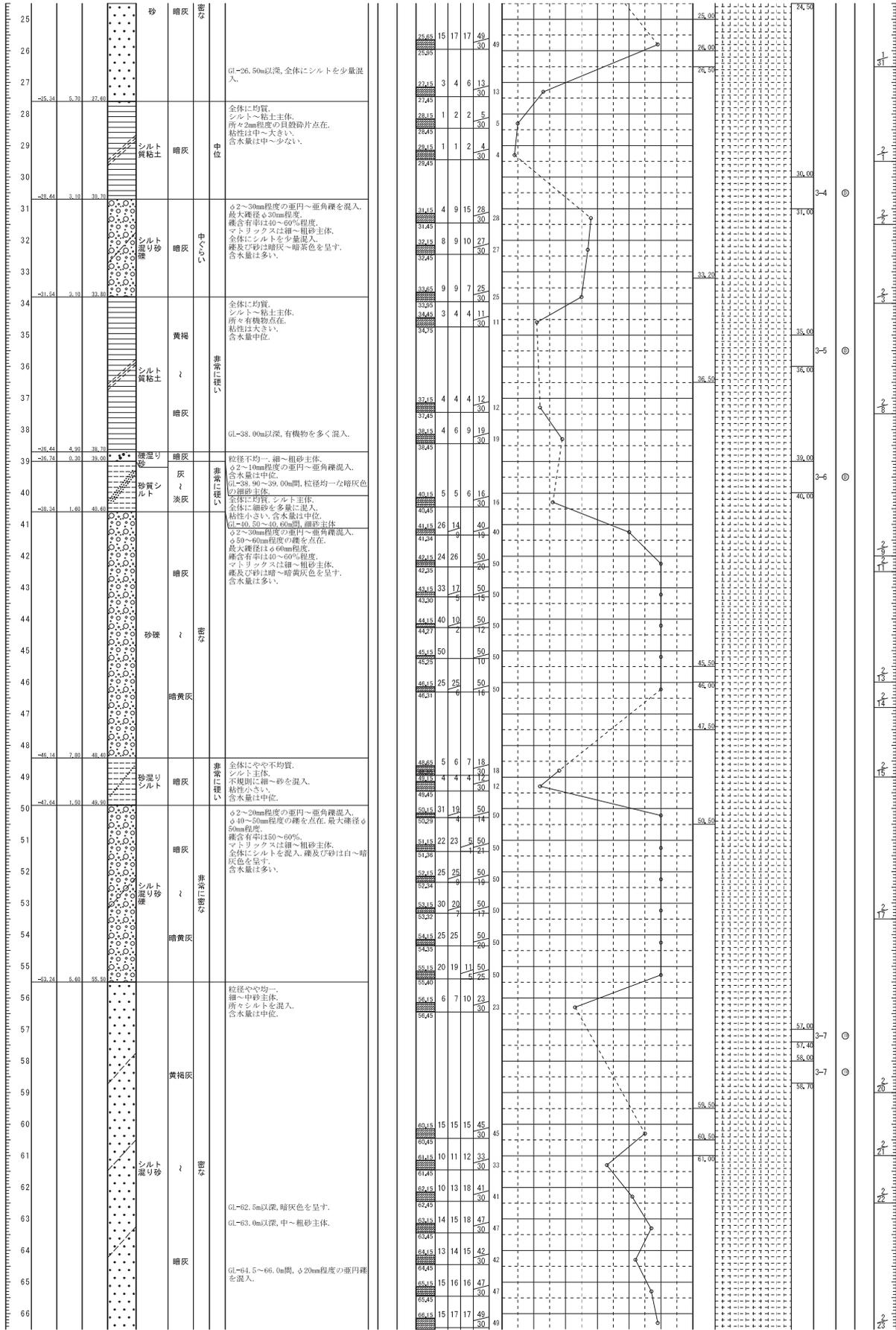


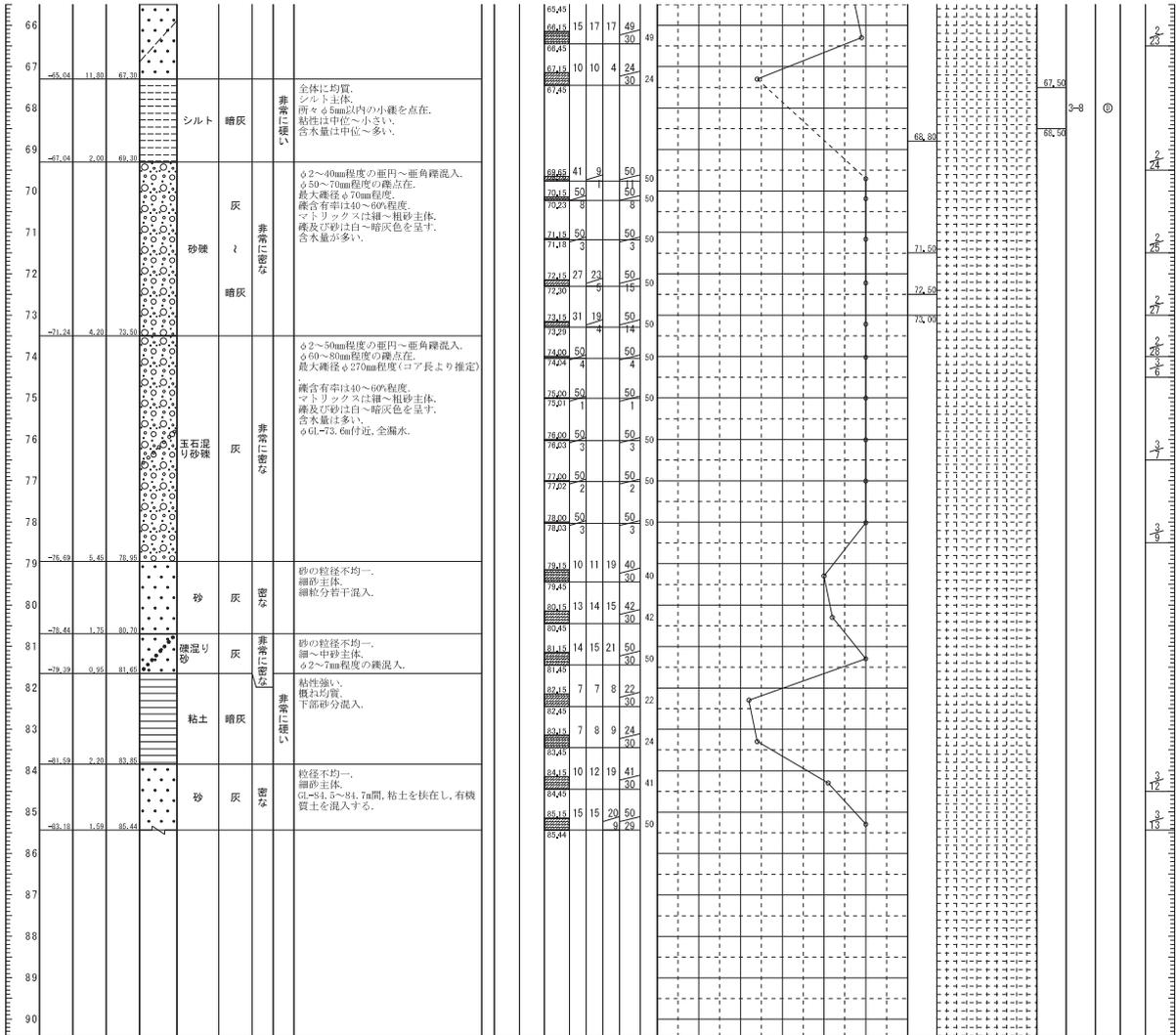
(JR-73)



(JR-73)







(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンブラーによる試料
- ② デニソンサンブラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンブラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンブラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

- ⑧ 電気検層
- ⑨ P波速度検層
- ⑩ S波速度検層
- ⑪ サクソソフンPS検層
- ⑫ キャリハ-検層
- ⑬ 密度検層
- ⑭ 温度検層
- ⑮ ルジオン試験
- ⑯ 現場透水試験
- ⑰ 孔内水平載荷試験

( JR-74 )

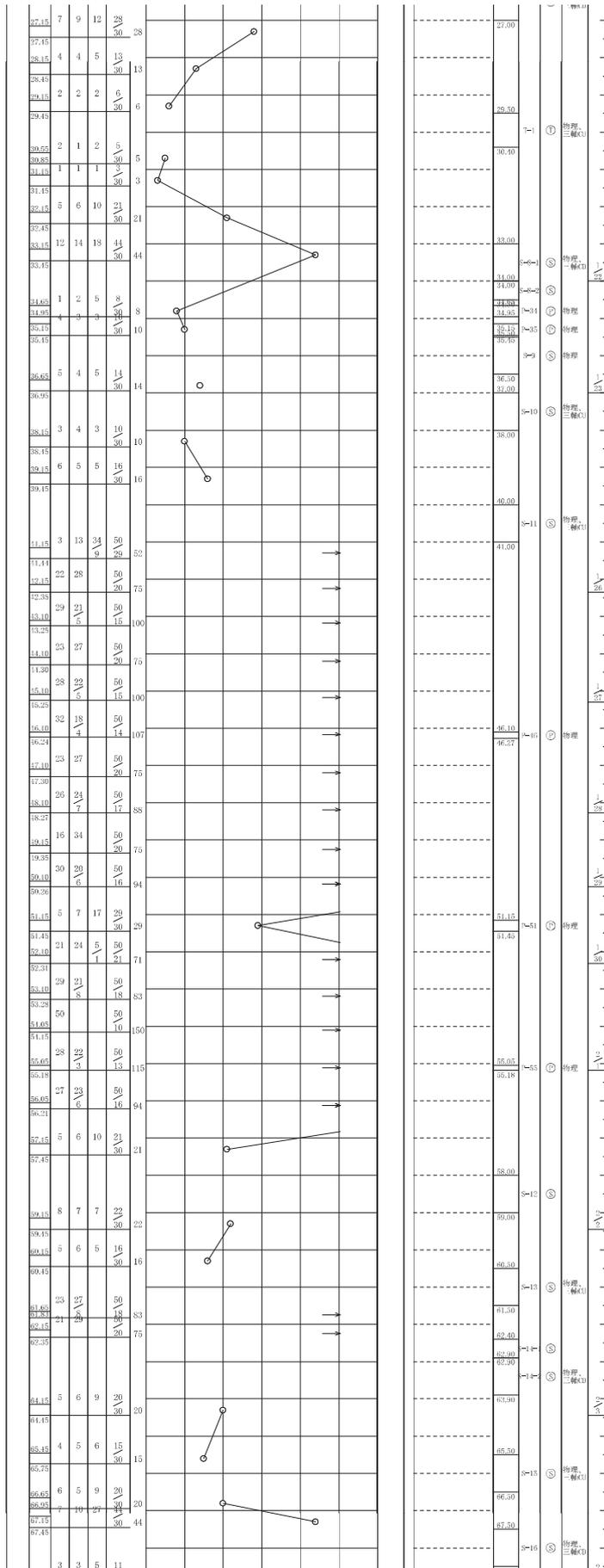


27	-25.83	5.88	27.30	シルト質 細砂	暗灰	中位	不均一な細砂主体で全体にシルト分を混入。
28	-26.42	0.60	28.30	シルト質 砂	暗灰		不均一なシルト主体で粘着性が高い。全体に細砂を混入。
29	-26.92	0.50	29.00	シルト	暗灰	散らかい 中位	不均一なシルト主体。下位に向かって若干均一となる。貝殻片を混入し、局所的に多量に混入。上下部付近で細砂を不規則に混入。
30				シルト	暗灰		
31				シルト	暗灰		
32	-30.02	3.10	32.10	シルト質 細砂	暗灰	中位	不均一な中～粗砂主体。貝殻片・貝殻片を混入し、局所的に多量に混入。
33	-31.12	1.10	33.30	雑混じり 砂	暗灰		不均一な中～粗砂主体。 φ2~5mm(max, 10mm)程度の礫を混入し局所的に多量混入。含水量が多い。
34	-32.83	0.60	34.20	シルト	暗青	中位	不均一なシルト主体。細砂・腐植物を若干混入。
35	-32.83	0.60	34.20	シルト	暗青	中位	不均一なシルト主体。シルトの薄層を互層状に挟む。腐植物を少量混入。局所的にシルト分が卓越し、砂質シルト状を呈す。
36	-33.72	0.90	35.80	シルト質 細砂	暗灰	緩い	
37				シルト	暗灰	暗青	
38				シルト	暗灰	暗青	
39				シルト	暗灰	暗青	
40				シルト	暗灰	暗青	
41	-39.32	5.60	41.40	シルト	暗灰	暗青	
42				砂	暗灰	非常に密な	
43				砂	暗灰	非常に密な	
44				砂	暗灰	非常に密な	
45				砂	暗灰	非常に密な	
46				砂	暗灰	非常に密な	
47				砂	暗灰	非常に密な	
48				砂	暗灰	非常に密な	
49	-46.72	7.40	48.20	粘土混じり 砂	灰	密な	φ10~30mm(max, 60mm)程度の礫円礫主体。全体に粘土分を混入。
50	-47.12	0.40	49.20	砂	灰	非常に密な	φ10~50mm(max, 70mm)程度の礫円礫主体。マトリックスは不均一な中～粗砂主体。全体に良く密まっている。含水量は中位程度。GL-44.7m付近、30cm程度の層厚でシルト分を多く混入。上部で若干の逸水発生。GL-46.0m付近、若干の逸水発生。GL-47.5m付近、100L程度の逸水発生。GL-48.0~48.8m間、逸水著しい(250~300L)。
51	-48.77	1.65	50.20	砂	灰	非常に密な	φ10~50mm(max, 70mm)程度の礫円礫主体。マトリックスは不均一な中～粗砂主体。全体に良く密まっている。含水量は中位程度。上部に青灰色のシルト質砂を混入。GL-53.5m以深、φ60~70mm程度の玉石を多量に混入。
52	-49.53	0.75	51.60	シルト質 細砂	青灰	中位	不均一な中砂主体で全体にシルト分を混入。下部は砂が卓越する。
53				砂	灰	非常に密な	
54				砂	灰	非常に密な	
55				砂	灰	非常に密な	
56				砂	灰	非常に密な	
57	-54.77	5.25	56.20	シルト	青灰	非常に硬い	不均一なシルト主体で固結化が進行。上部は緑灰色を呈す。下部にφ2mm程度の細礫層を挟む。
58	-55.32	0.53	57.40	シルト	暗青	非常に硬い	
59				砂質シルト	暗青	非常に硬い	不均一なシルト主体で固結化が進行。細砂の薄層を互層状に挟む。GL-59.0m以深、砂分の混入は少ない。粘着力は中位程度。
60				砂質シルト	暗青	非常に硬い	
61	-59.42	4.10	61.50	シルト	暗灰	非常に密な	不均一な中砂主体。全体にシルト分を混入する。不規則に腐植物・貝殻片を混入する。含水量は中位程度。上部は細砂が卓越する。下部はシルト分を多く混入する。
62				シルト	暗灰	非常に密な	
63				シルト	暗灰	非常に密な	
64	-61.82	2.40	63.80	砂混じり 細砂	暗灰	非常に密な	不均一なシルト主体で固結化が進行。不規則に細砂を少量混入する。貝殻片を少量混入。粘着性は中位程度。
65				砂混じり シルト	暗灰	非常に硬い	
66				シルト	暗灰	非常に密な	
67	-64.92	3.10	67.00	細砂	暗灰	非常に密な	不均一な細砂主体。下部で不規則にシルト分を少量混入する。含水量は少ない。
68	-66.42	1.50	68.50	細砂	暗灰	非常に密な	

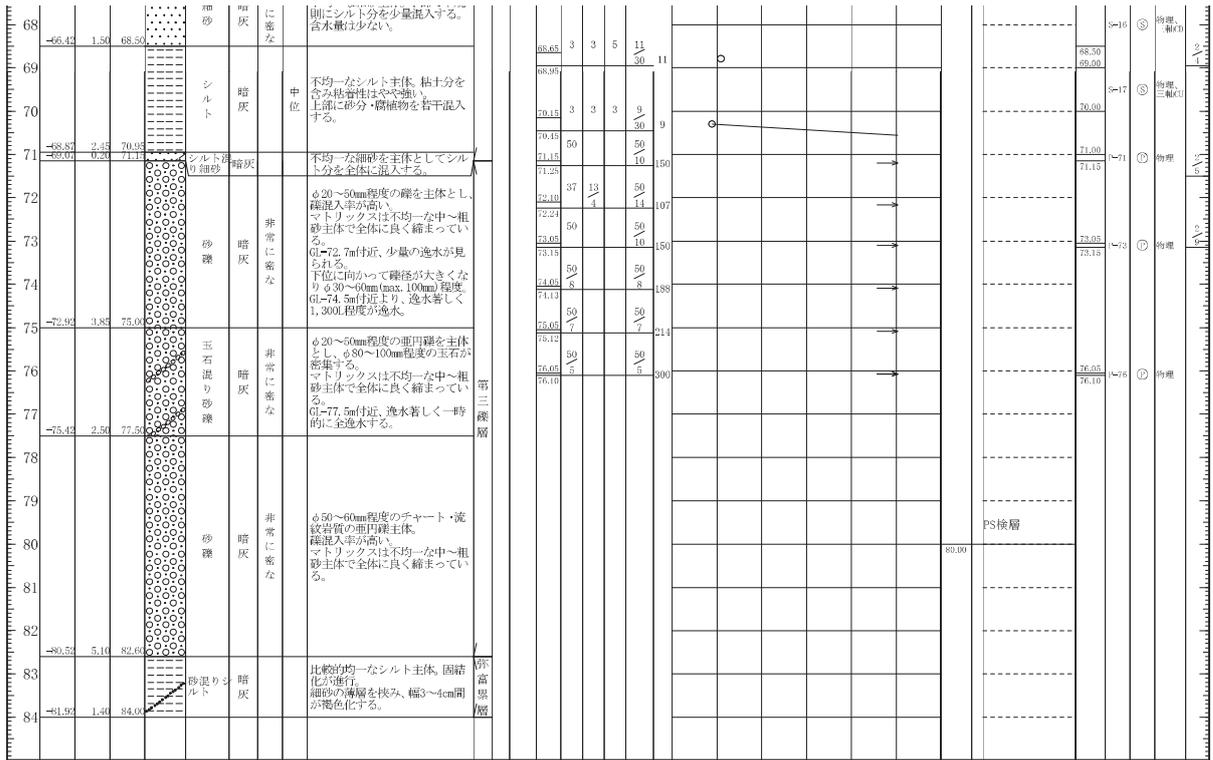
熱田層下部

第二礫層

海部累層



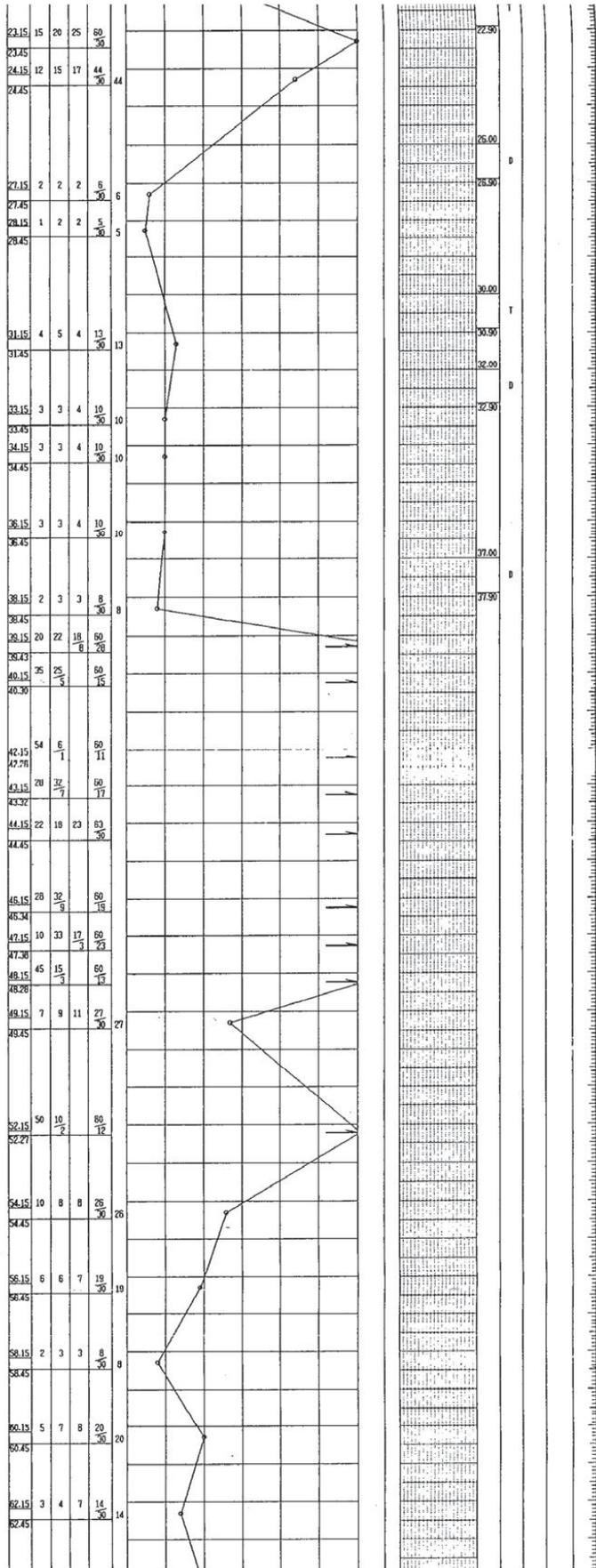
(JR-75)



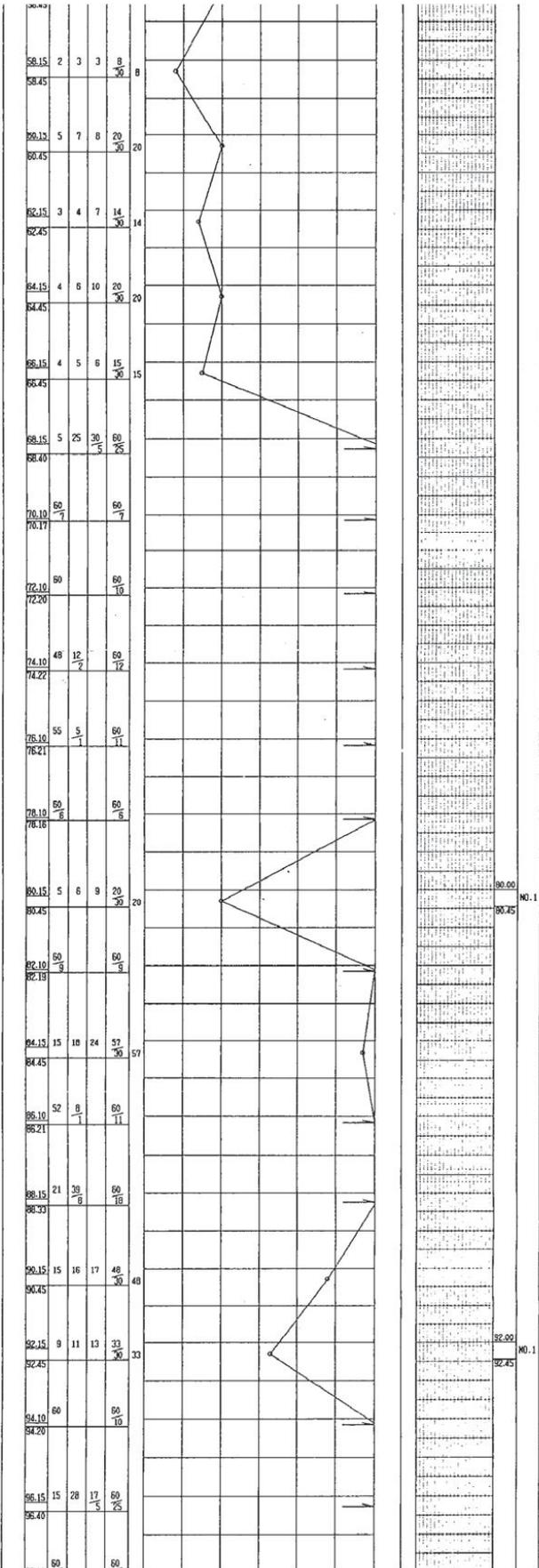
(JR-75)

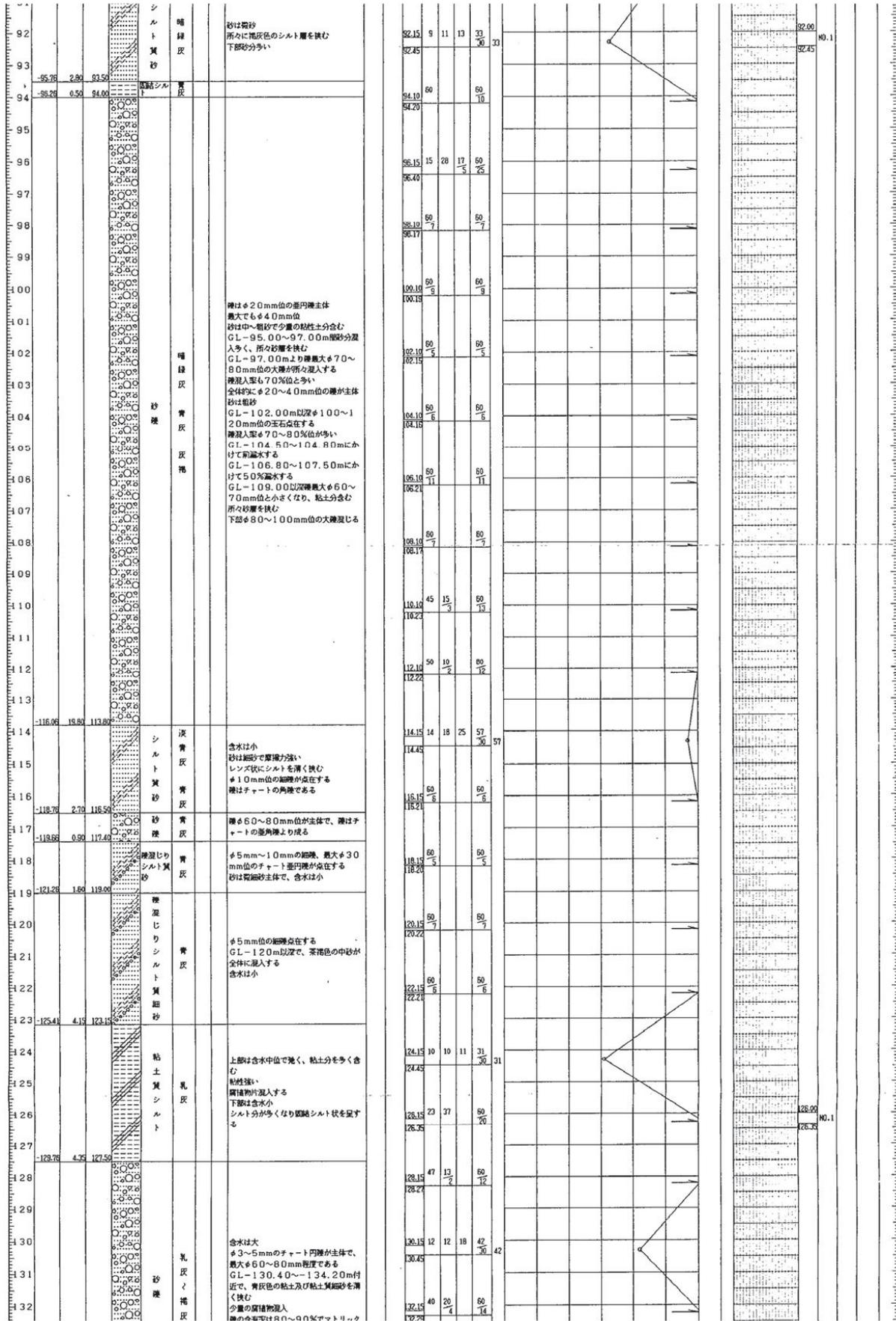


2.3	-24.78	1.90	22.50	砂	暗灰	全体的に中砂混じる GL-2.3.5.0m以深粒子均一となる GL-2.5.0.0m以深全体的にシルト 分含む
2.4				細砂	暗灰	
2.5						
2.6	-28.06	3.30	25.80	砂混じり シルト	暗灰	砂は細砂 貝殻片混入する 地層は全体的に均質である
2.7	-28.26	1.30	27.00			
2.8				シルト	暗灰	地層は全体的に均質である 貝殻片混入
2.9						
3.0	-32.26	3.00	30.00	シルト質 砂	暗灰	上部貝殻片混入 砂は細砂 所々φ2~5mmの小礫混じる
3.1	-33.26	1.00	31.00	シルト	暗灰	GL-3.1.7.0m付近まで半固結状で ある 均質な地層である
3.2	-34.76	1.50	32.50	砂質シルト	暗灰	砂は細砂である
3.3	-35.26	0.50	33.00	シルト	暗灰	均質な地層である 僅少量の腐植物混入
3.4	-37.06	1.00	34.00	シルト	暗灰	砂は細砂である
3.5	-38.16	1.10	35.50	シルト	暗灰	均質な地層で腐植物少量混入
3.6	-38.96	0.90	36.70	シルト質 砂	暗灰	砂は細砂 腐植物混入する
3.7	-39.76	0.90	37.50	シルト	暗灰	均質な地層で僅少量の腐植物混入
3.8	-40.86	1.10	38.60	砂	暗灰	礫φ2~3.0mm位 最大φ5.0mm程度 全体的にφ2.0mm位の雲母主体 砂は中~粗砂
3.9				砂	暗灰	
4.0				砂	暗灰	
4.1	-43.26	2.40	41.00	砂混じり シルト	暗灰	礫はφ1.0mm位
4.2	-44.26	0.20	41.20			
4.3				砂	暗灰	礫φ2~4.0mm位 全体的にφ1.0~2.0mm位の物が主体 最大φ5.0~6.0mm位 礫の混入率6.0~7.0%程度 砂は粗砂が主体 礫は雲母主体が混入に多い 角礫も混入する GL-4.4.0.0~4.4.5.0mにかけて 少量の漏水有り GL-4.6.5.0~4.7.5.0mにかけて 粗砂分混入多い
4.4				砂	暗灰	
4.5				砂	暗灰	
4.6				砂	暗灰	
4.7				砂	暗灰	
4.8				砂	暗灰	
4.9	-51.06	7.60	48.90	シルト質 砂	暗灰	砂は細砂 所々シルト層を挟む
5.0	-51.96	0.90	49.70	砂質 シルト	暗灰	GL-5.0m常時振動測定
5.1	-53.16	1.20	50.90	砂	暗灰	礫φ2~4.0mm位 砂は粗砂が主体 礫は雲母主体である 混入率6.0%程度 GL-5.2.5.0~5.3.5.0mにかけて 漏水する 所々φ1.0mm位の大礫混じる 下部少量の粘性土分含む
5.2				砂	暗灰	
5.3				砂	暗灰	
5.4	-56.36	3.20	54.10	シルト	暗灰	半固結状である
5.5	-56.86	0.50	54.60	砂混じり シルト	暗灰	砂は細砂 僅少量の腐植物混入 所々シルト質砂を挟む 地層は比較的均質である
5.6				シルト	暗灰	
5.7	-59.26	2.40	57.00	シルト	暗灰	地層はやや不均質 腐植物少量混入する
5.8	-51.06	1.00	58.90	シルト	暗灰	
5.9				シルト	暗灰	
6.0				シルト 混じり 砂	暗灰	砂は粒子均一な細砂 貝殻片少量混入 GL-6.1.0.0m以深φ5mm位の小 礫混じる
6.1	-64.06	3.00	61.80	シルト	暗灰	
6.2				シルト	暗灰	地層は均質で僅少量の腐植物混入 粗砂を所々レンズ状に挟む
6.3	-65.76	1.70	63.50	シルト	暗灰	



57	-58.25	2.40	57.00	シルト	暗青灰	地層はやや不均質 腐植物少量混入する
58	-51.00	1.80	58.00	シルト	暗青灰	砂は粒子均一な細砂 貝殻片少量混入 GL-61.00m以深φ5mm位の小 礫混じる
59	-54.05	2.00	61.80	シルト	暗青灰	地層は均質で極少量の腐植物混入 腐植物を所々レンズ状に挟む
60	-55.75	1.70	63.50	シルト	暗青灰	砂は粒子均一な細砂 腐植物少量混入
61	-57.70	2.00	65.50	砂質シルト	暗青灰	砂は細砂 腐植物少量混入
62	-70.50	2.80	68.30	砂	暗青灰	層φ2~50mm位 混入率70~80% 最大φ100~150mmの玉石混じる 砂は粗砂 GL-74.00m以深最大φ70~ 80mm位 GL-77.00~77.50m間漏水す る GL-79.00~79.50m間漏水す る
63	-82.05	11.50	79.80	砂質シルト	青灰	砂は細砂 半硬状である GL-80.50~81.00mにかけシ ルト質砂状を呈する
64	-83.95	1.90	81.70	細砂	暗青灰	全体が中に砂混じる 浮石少量混入する GL-82.70~83.50mにかけ てφ5~10mmの小礫混じる
65	-86.95	2.90	84.60	砂	暗青灰 暗緑灰	層φ2~40mm位が主体 最大φ70~80mm位の大礫混じる 砂は粗砂 混入率50~60%程度 87.50m以深は砂分混入多く、礫最 大φ50mm位と小さくなる
66	-91.55	4.80	89.40	凝り砂	暗青灰	砂は中~粗砂 層はφ5~10mm位の小礫 青灰色のシルトを挟む
67	-92.95	1.30	90.70	シルト	暗緑灰	砂は粗砂 所々に褐色色のシルト層を挟む 下部砂分多い
68	-95.75	2.80	93.50	シルト	暗青灰	
69	-95.70	0.50	94.00	シルト	暗青灰	
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						





ボーリング柱状図

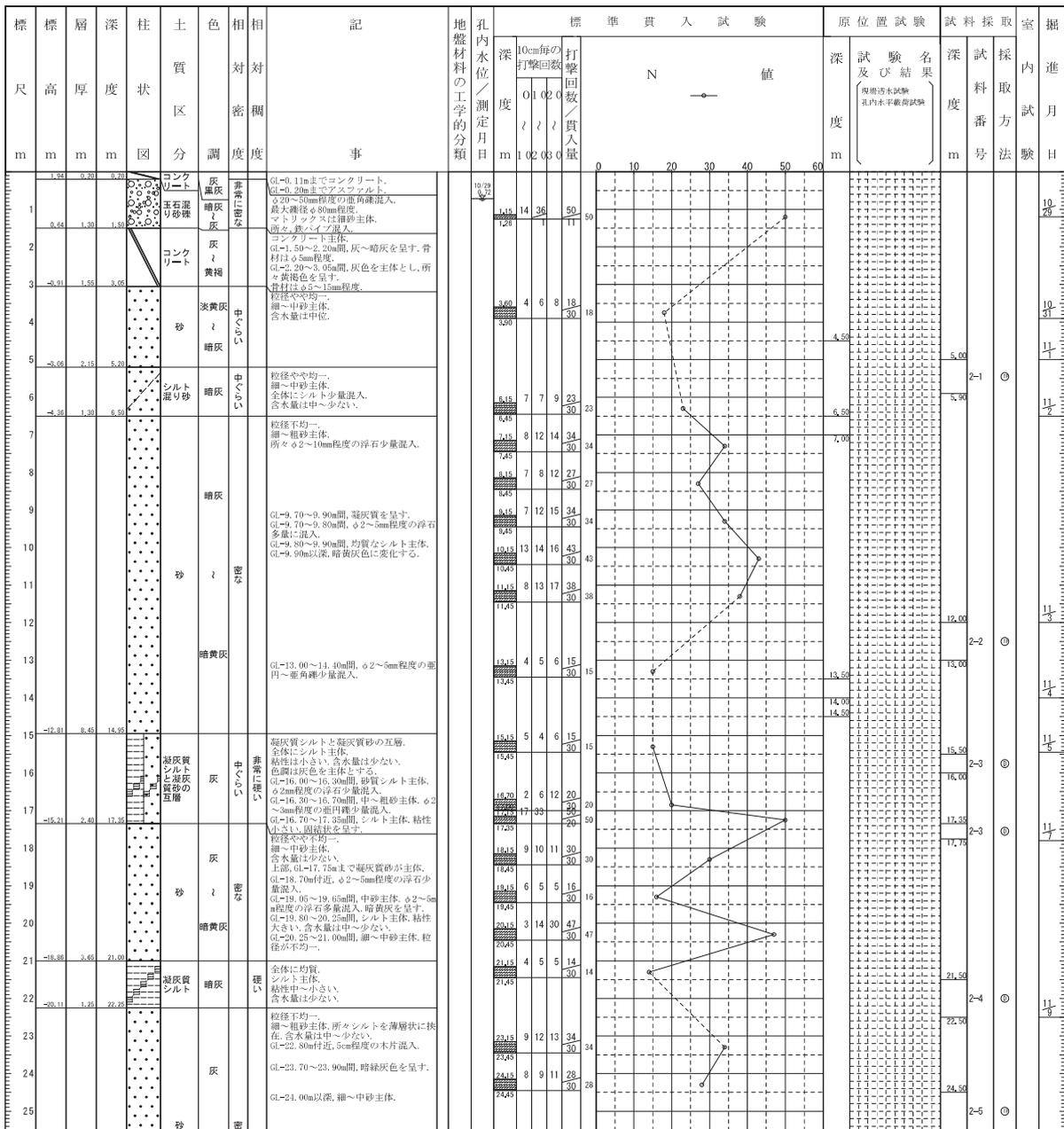
調査名

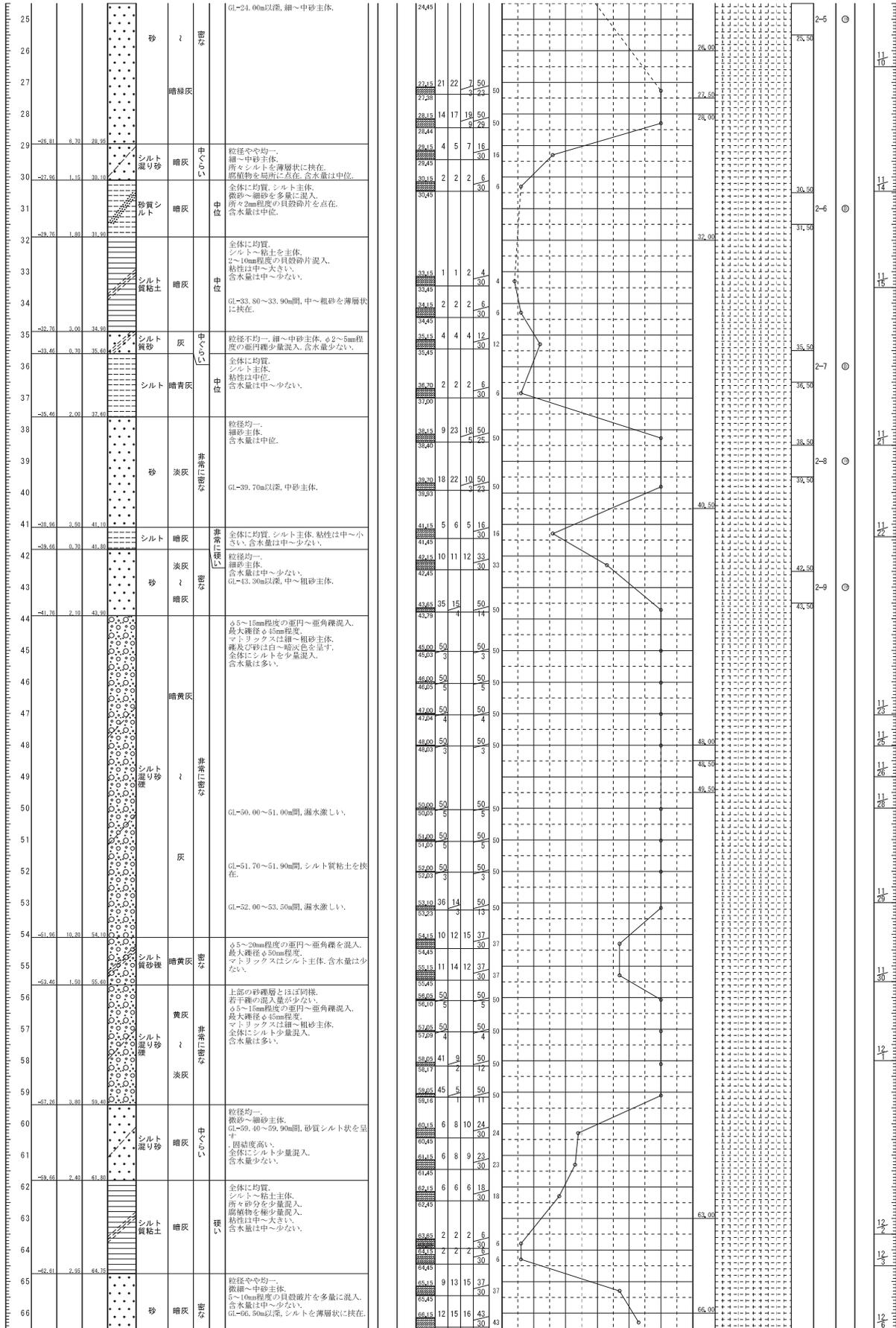
事業・工事名

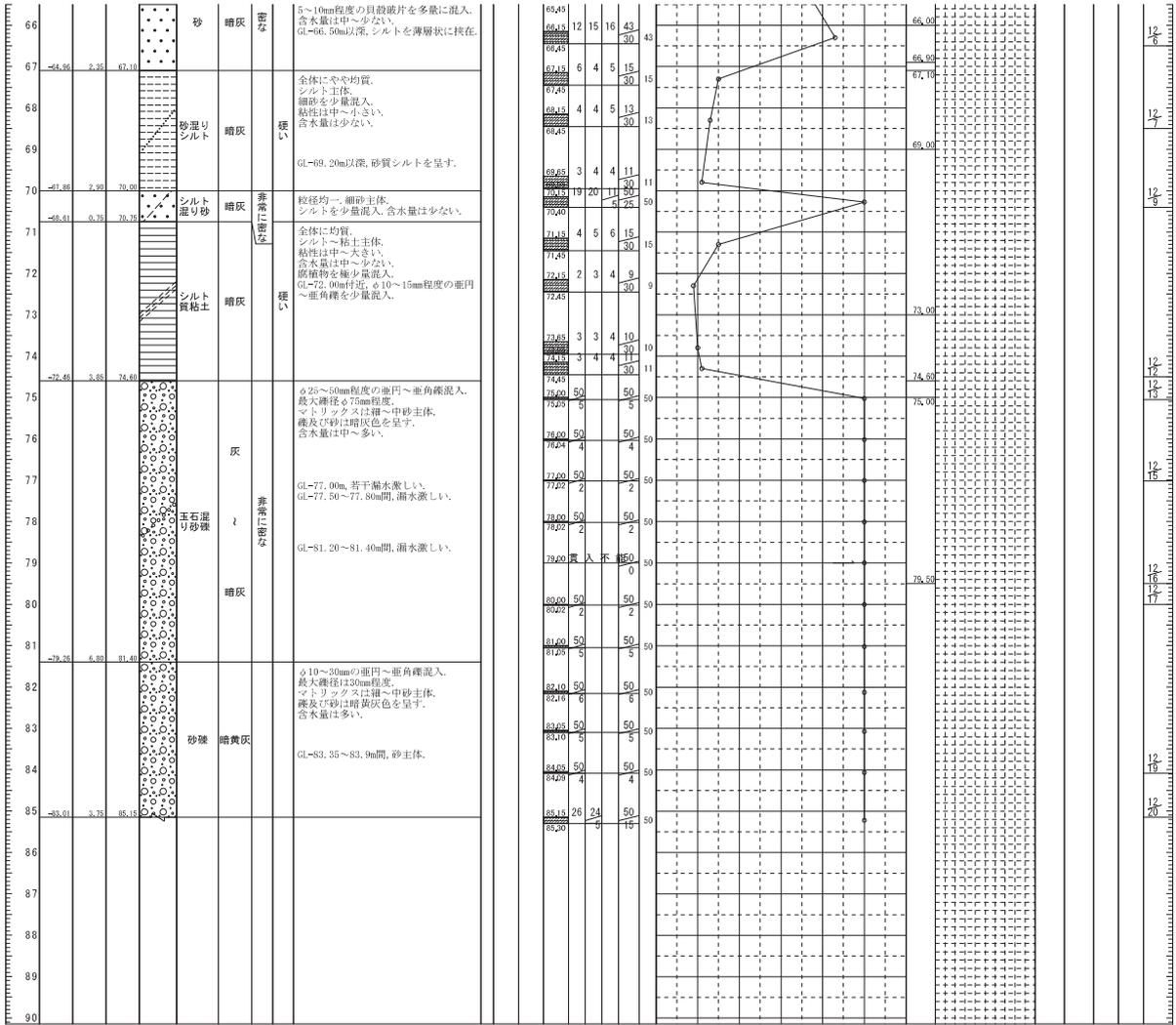
ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯
発注機関	調査期間			東経
調査業者名	主任技師	現場代理人	コ隆定者	ボーリング責任者
孔口標高 TP 2.14m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°	使用機種 試錐機 エンジン
総掘進長 85.15m				ハンマー 落下用具 ポンプ







(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デンソンスンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンプラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

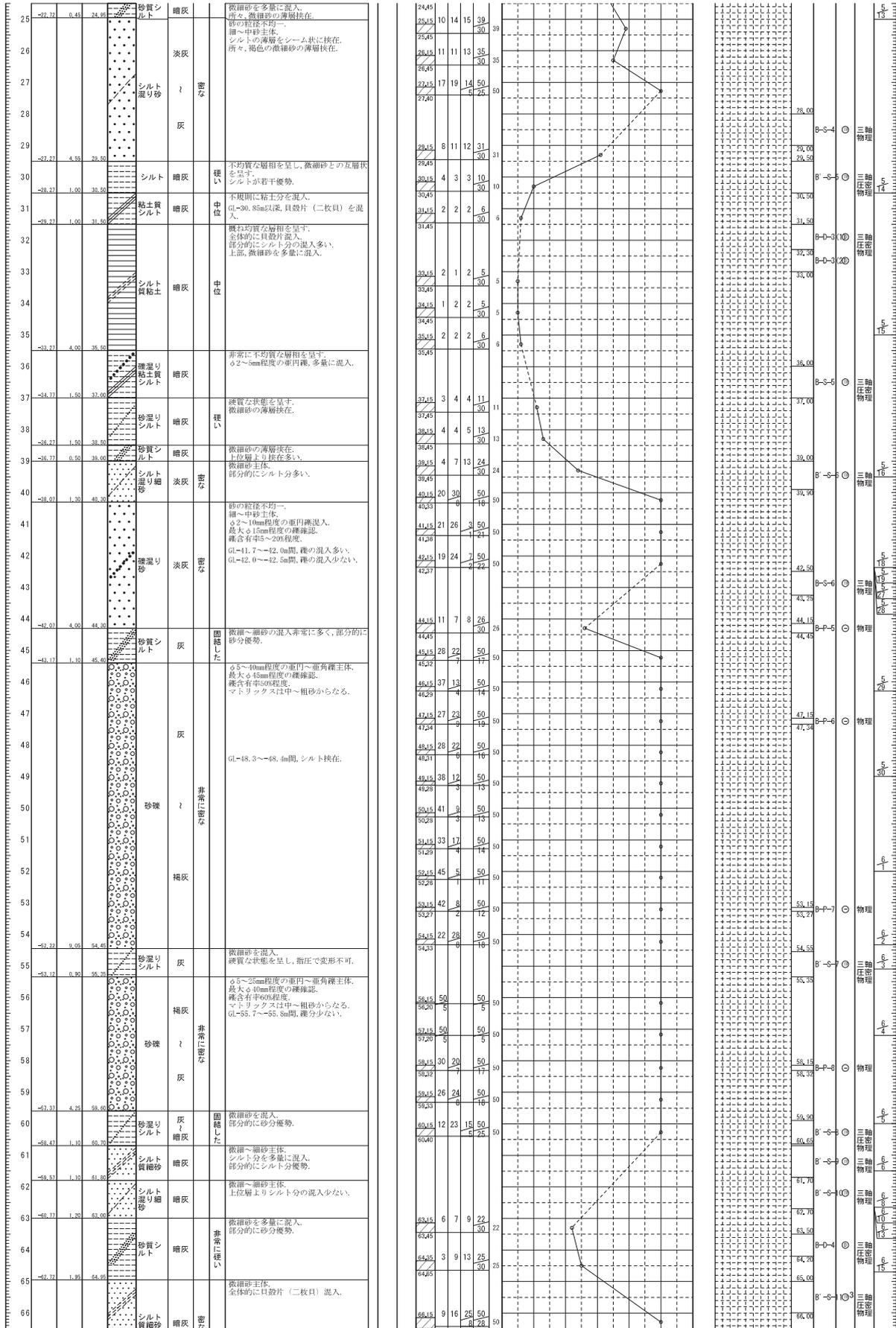
3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

- Ⓔ 電気検層
- Ⓕ P波速度検層
- Ⓖ S波速度検層
- Ⓗ サス'ンジョンPS検層
- Ⓖ キャリハ-検層
- Ⓖ 密度検層
- Ⓖ 温度検層
- Ⓖ ルジオン試験
- Ⓖ 現場透水試験
- Ⓖ 孔内水平載荷試験

(JR-77)

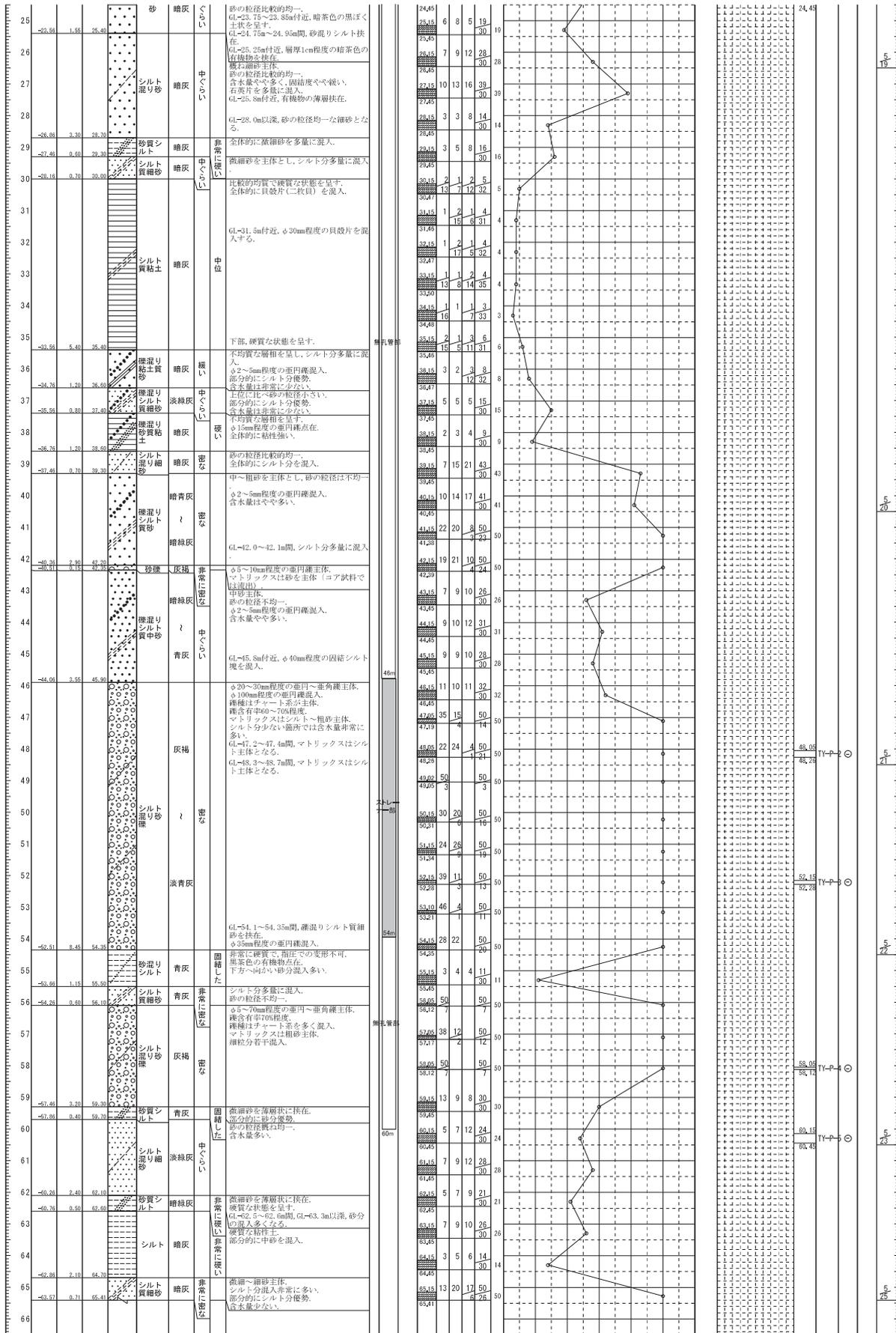




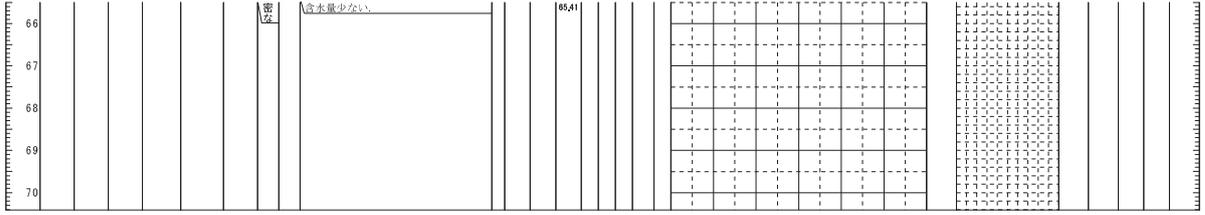


( JR-78 )





( JR-79 )



(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンプラーによる試料
- ② デニソンサンプラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンプラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンプラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	

3. 原位置試験名の記号

- Ⓔ 電気検層
- Ⓕ P波速度検層
- Ⓖ S波速度検層
- Ⓗ ガンマノンPS検層
- Ⓒ キャリバー検層
- Ⓓ 密度検層
- ⓪ 温度検層
- Ⓛ ルジオン試験
- Ⓚ 現場透水試験
- Ⓚ 孔内水平載荷試験

( JR-79 )

ボーリング柱状図

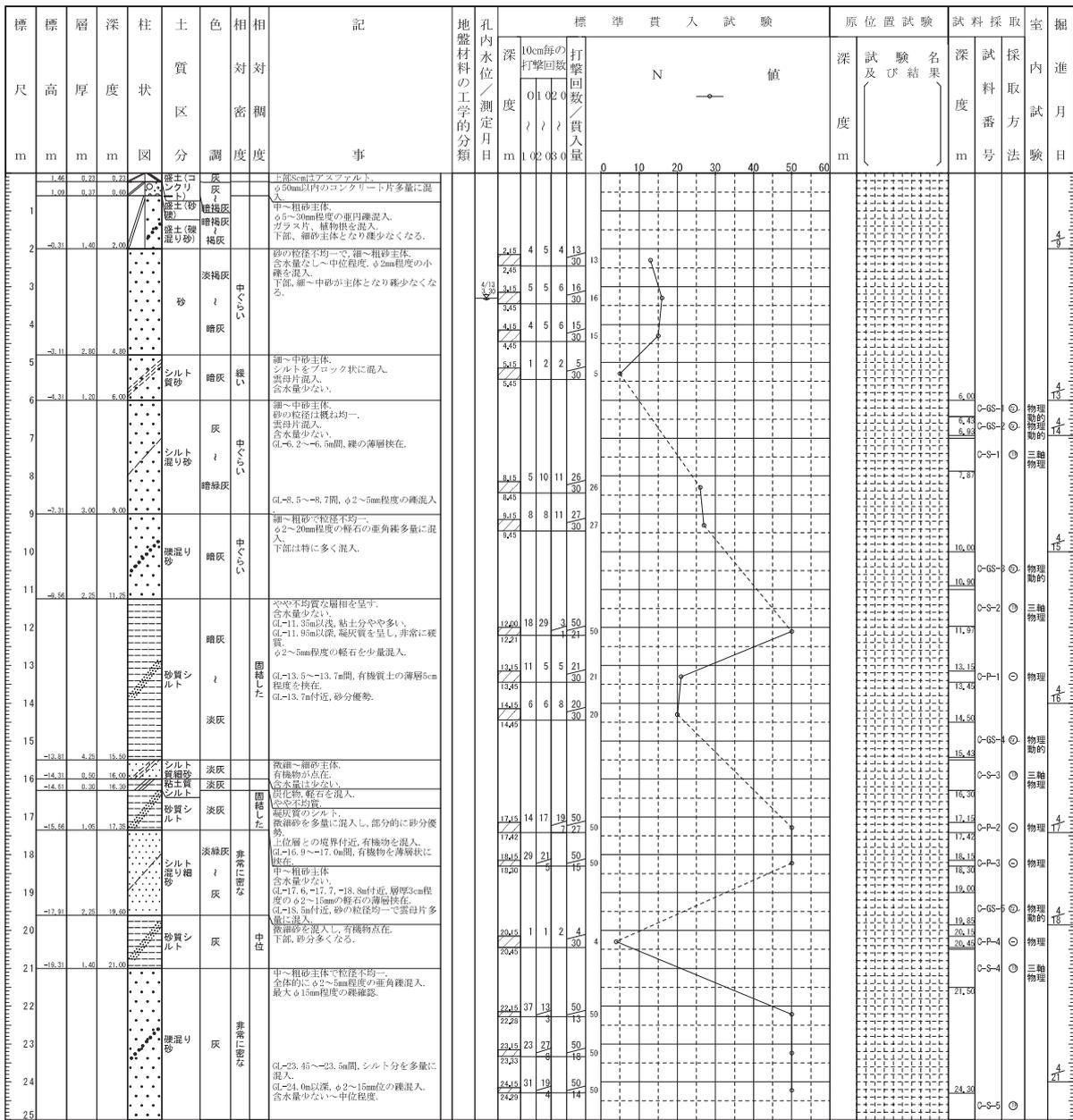
調査名

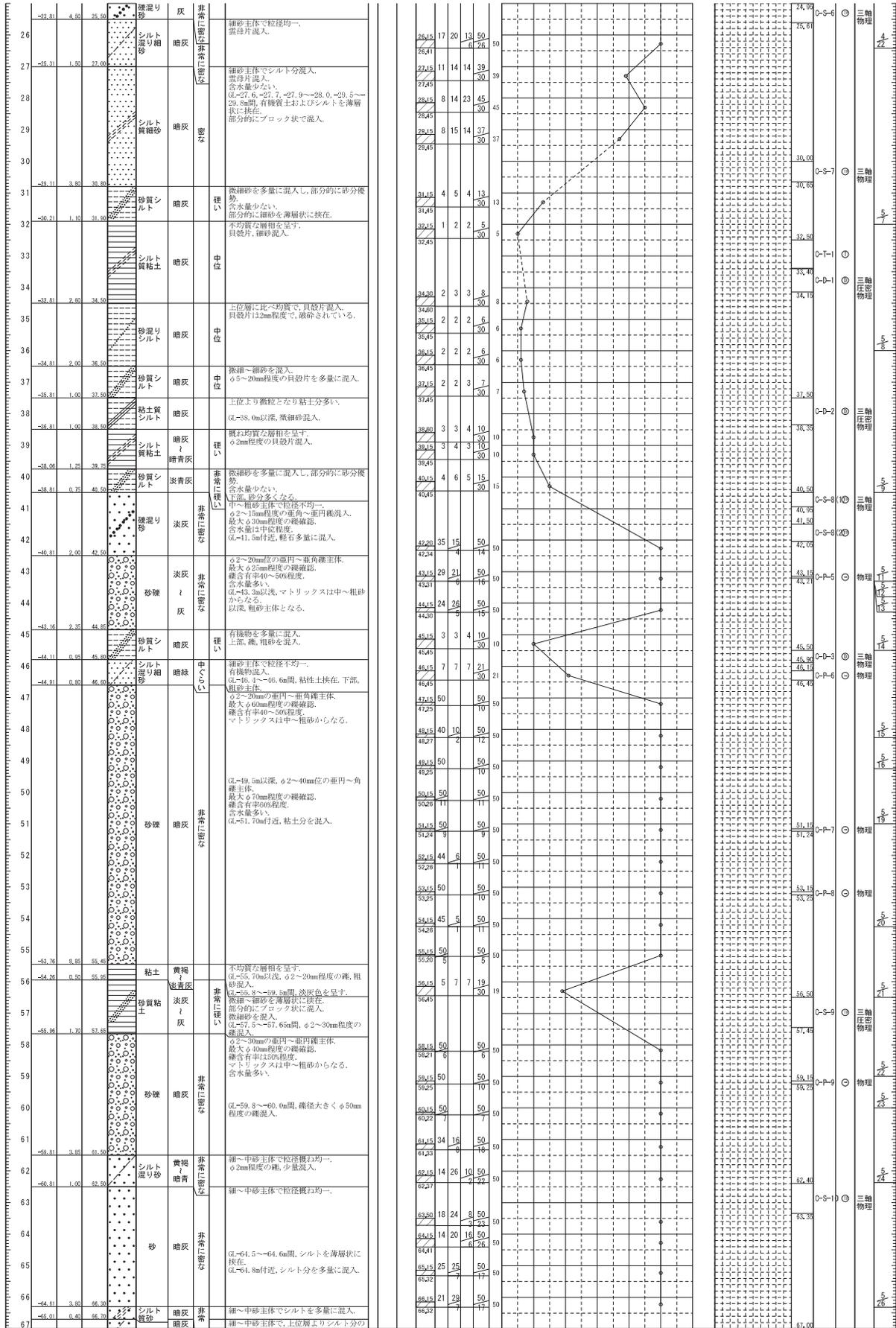
事業・工事名

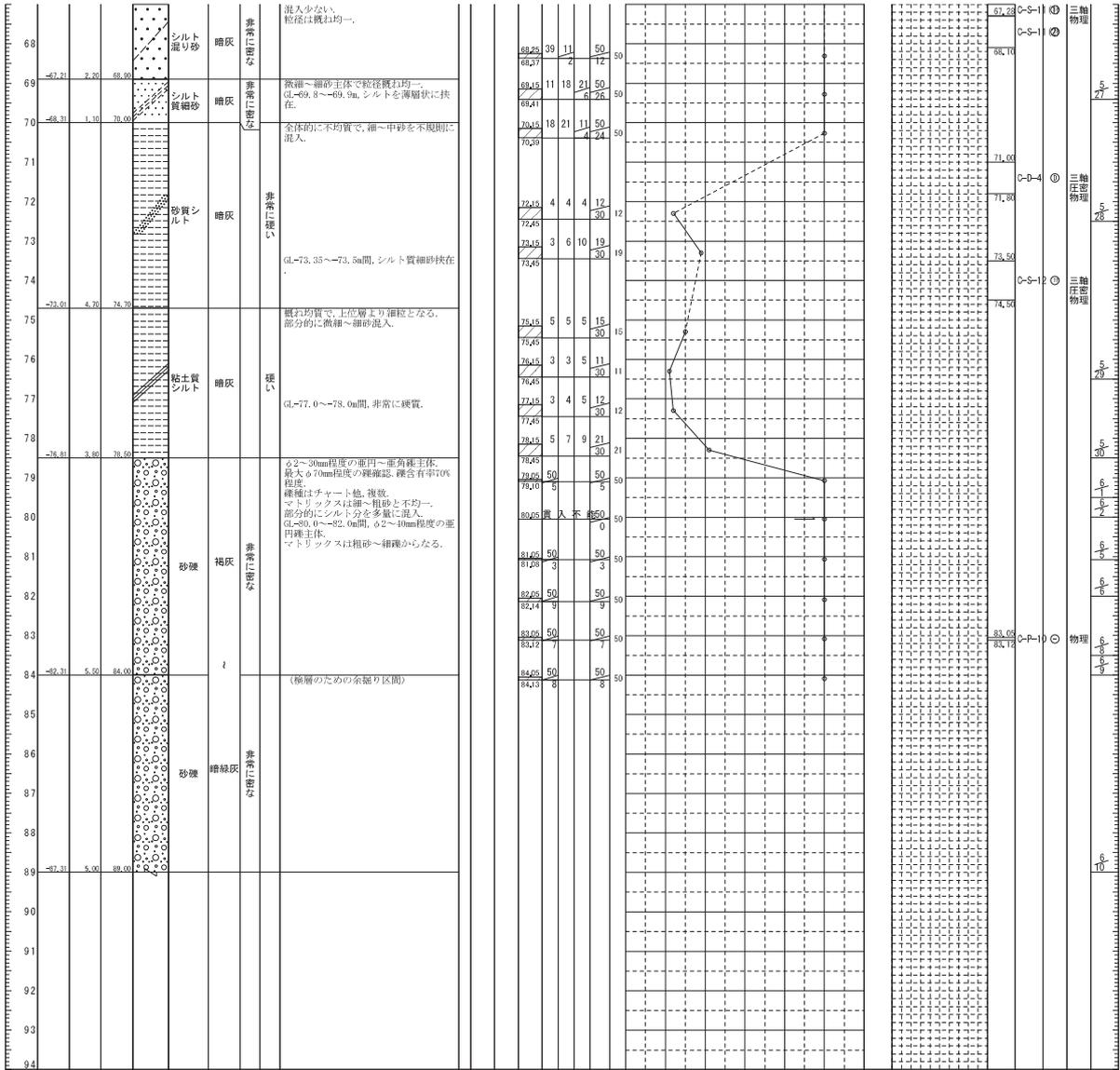
ボーリングNo.

シートNo.

Header information table including borehole name, location, date, and personnel details.

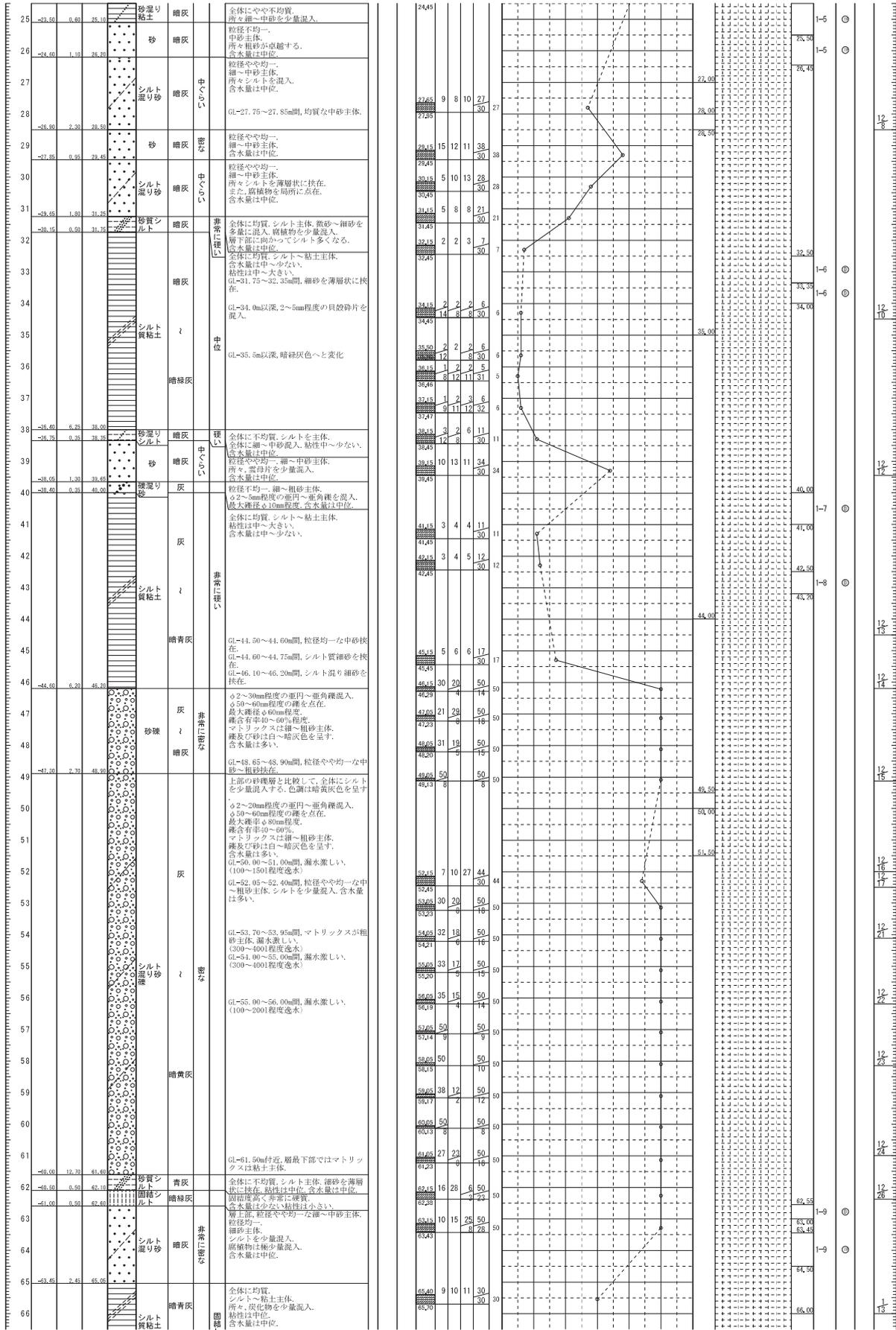


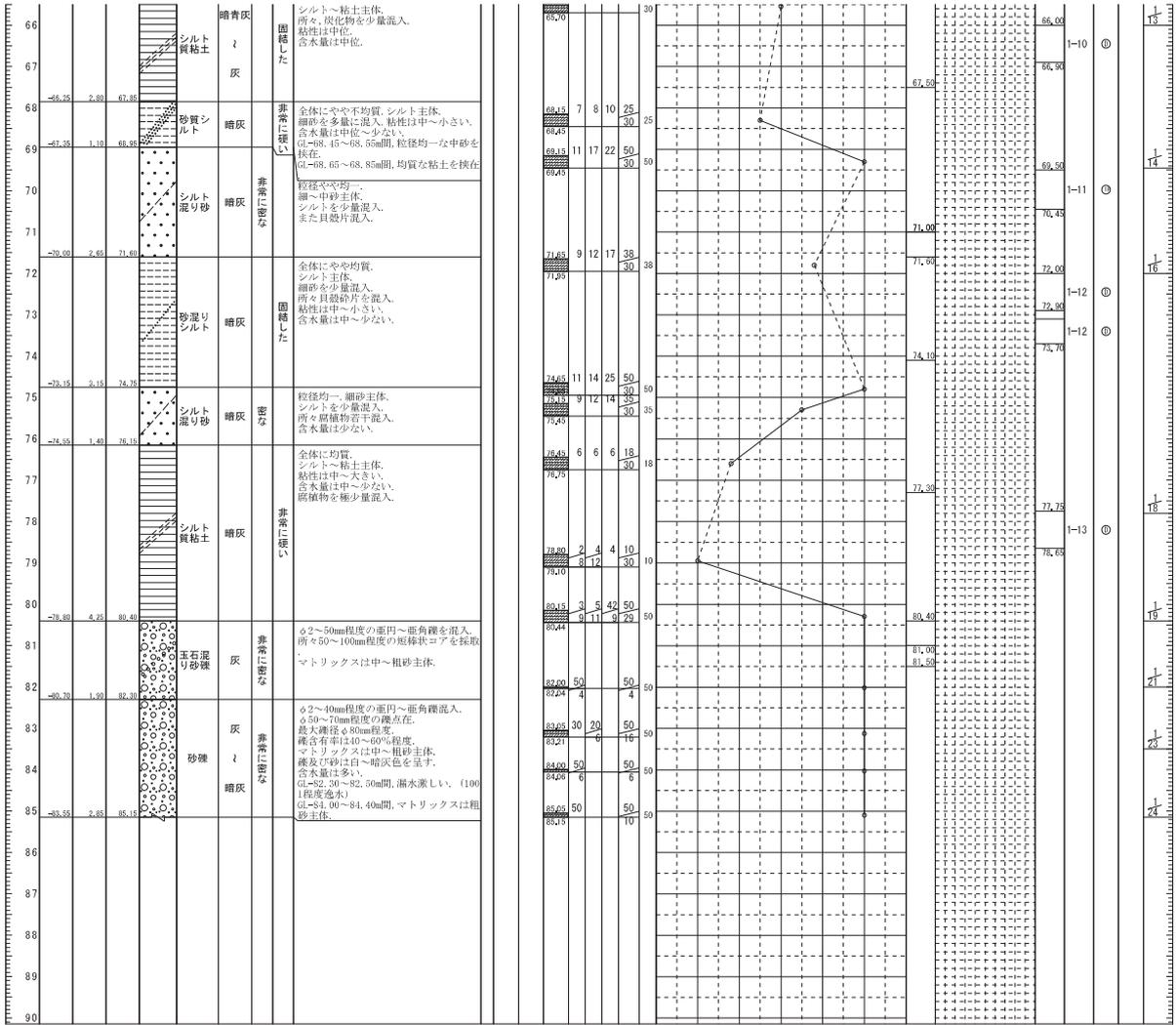




( JR-80 )







(注) 1. 試料採取方法の記号

- ① シンウォールサンブラーによる試料
- ② デンソンサンブラーによる試料
- ③ 貫入試験器による試料
- ④ サンドサンブラーによる試料
- ⑤ コア試料
- ⑥ コアバックによる試料
- ⑦ リジットサンブラーによる試料

2. 試料採取深度と採取比

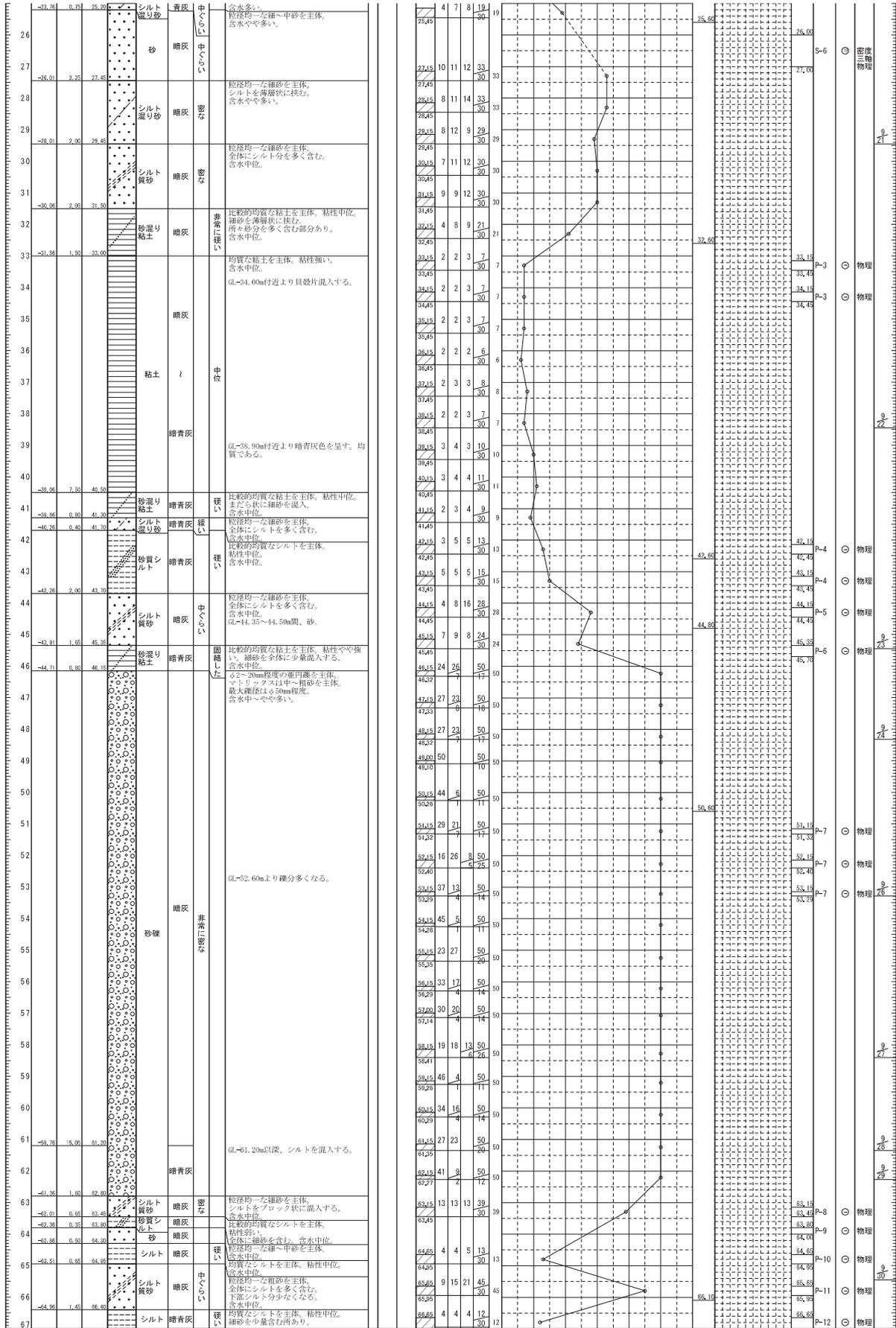
3.20	3.20-3.70は試料採取深度(m)
3.70	

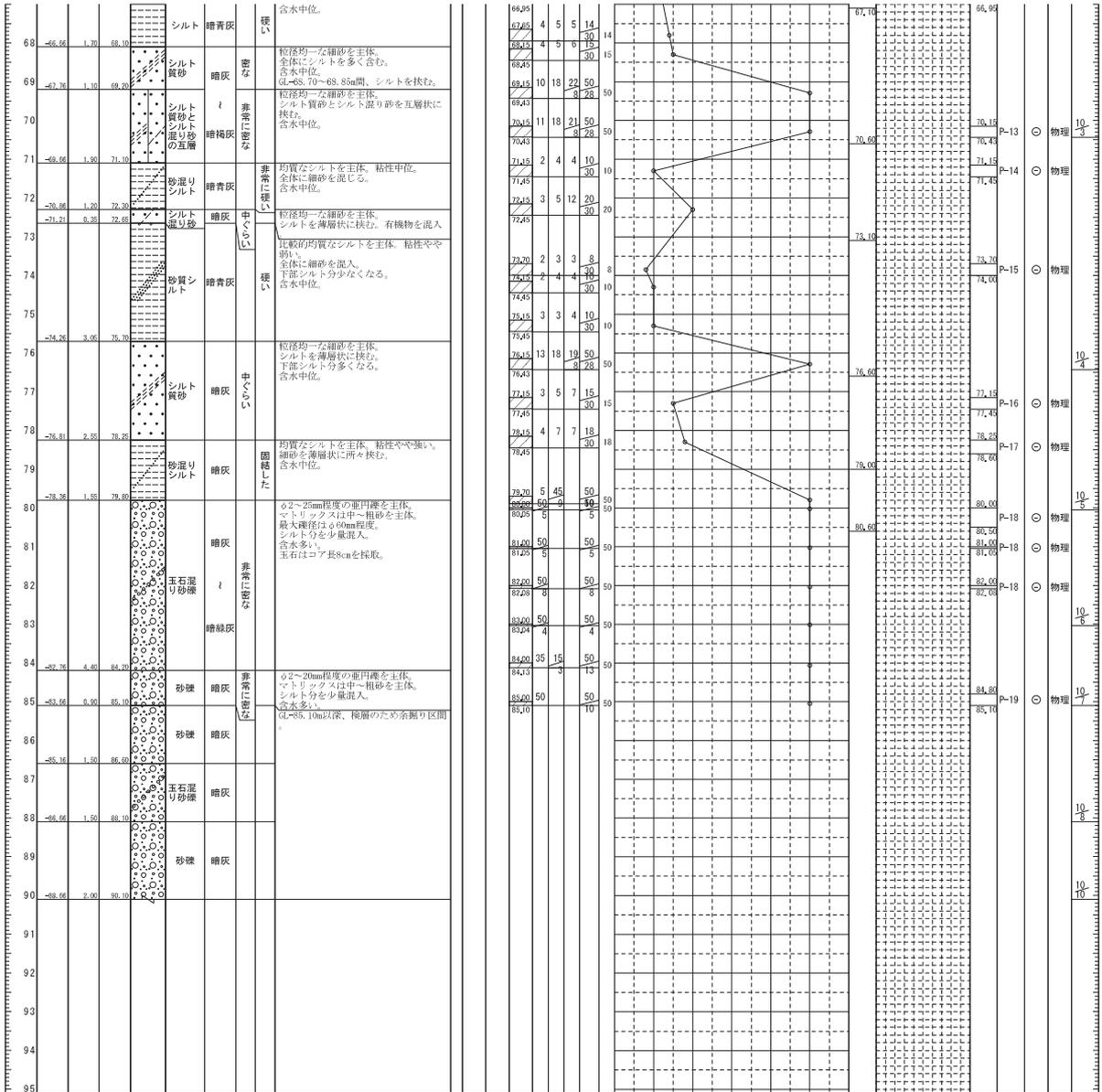
3. 原位置試験名の記号

- ⑧ 電気検層
- ⑨ P波速度検層
- ⑩ S波速度検層
- ⑪ サス'ンジョンPS検層
- ⑫ キャリハ-検層
- ⑬ 密度検層
- ⑭ 温度検層
- ⑮ ルジオン試験
- ⑯ 現場透水試験
- ⑰ 孔内水平載荷試験

( JR-81 )

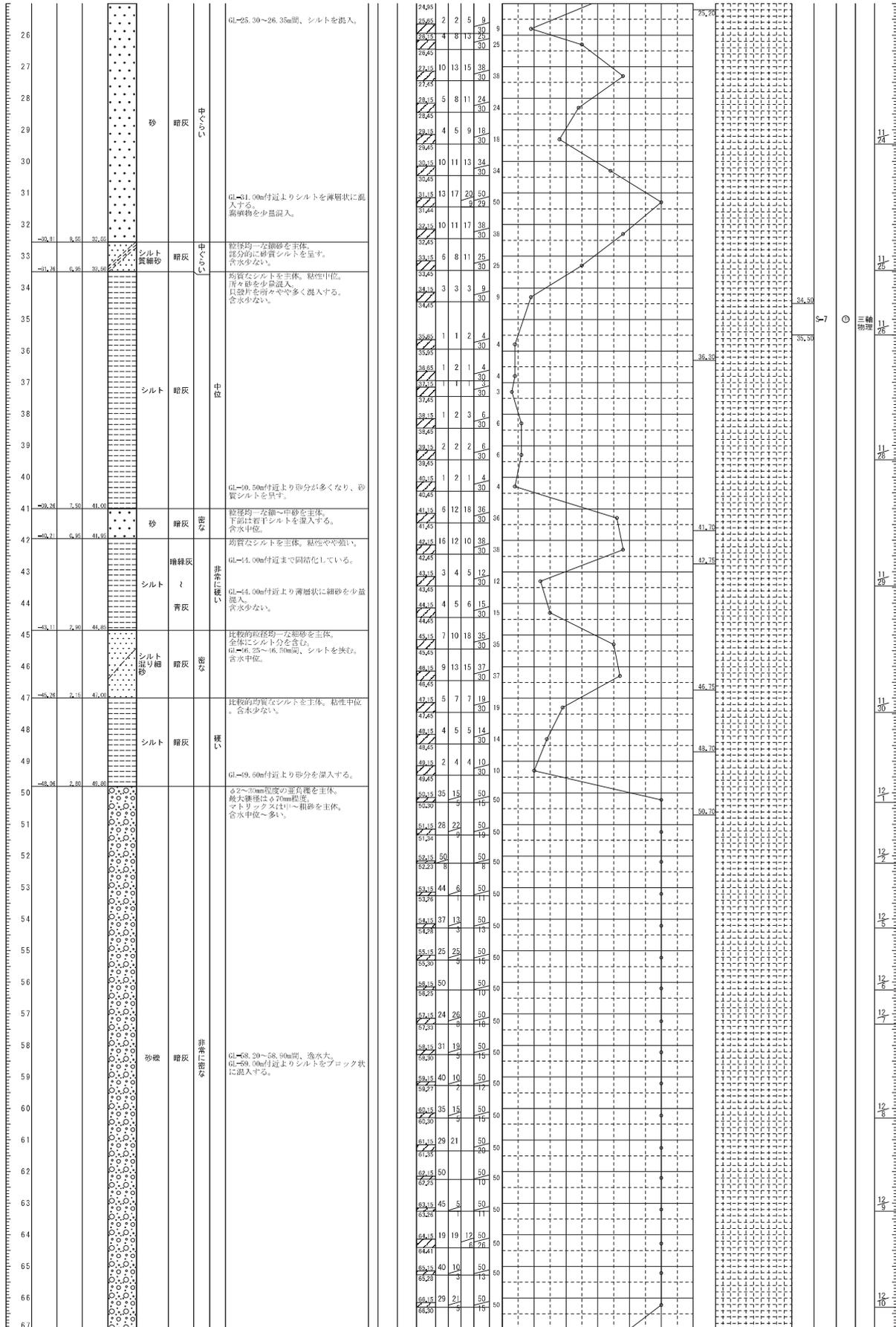




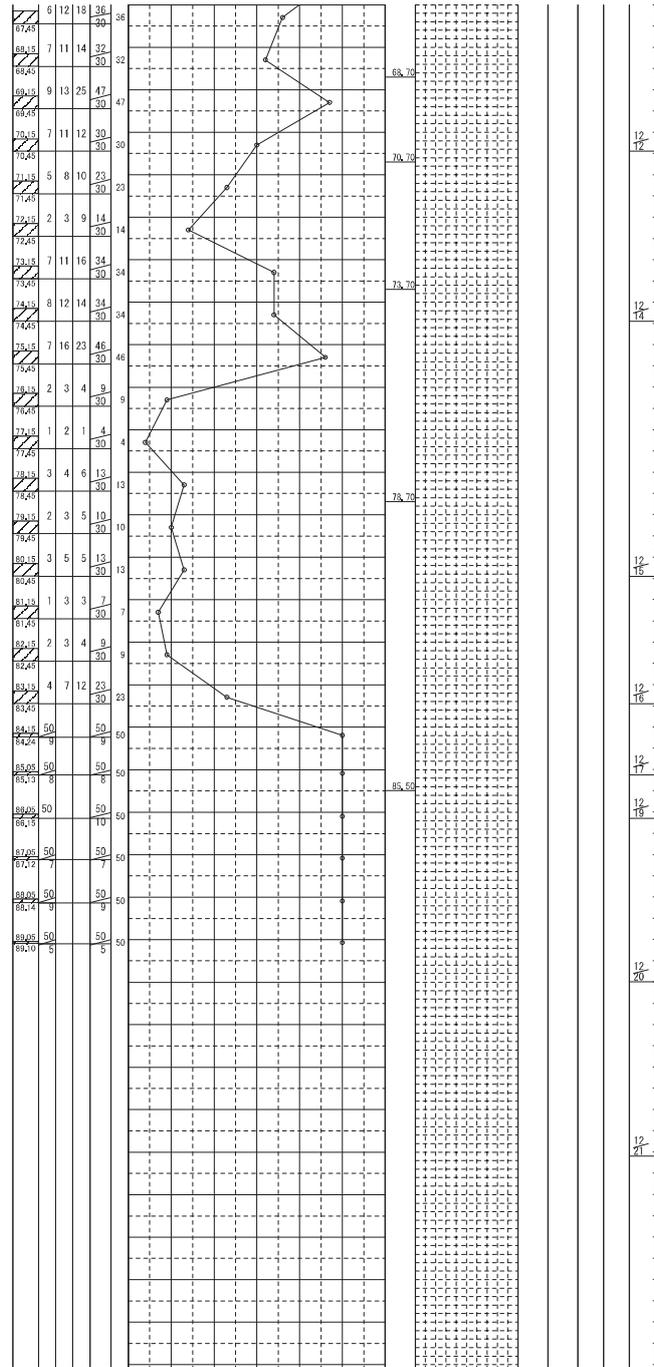


( JR-82 )



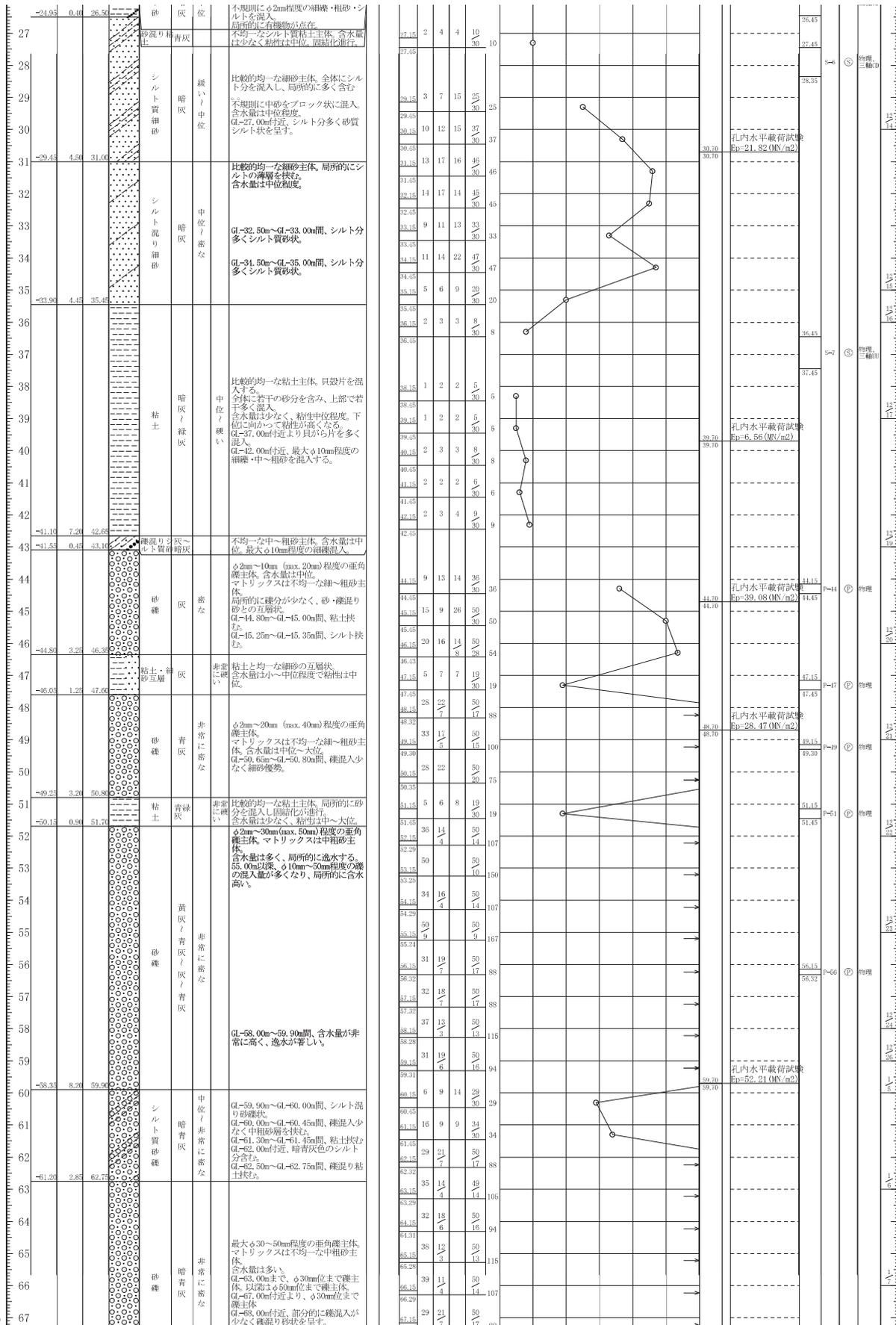


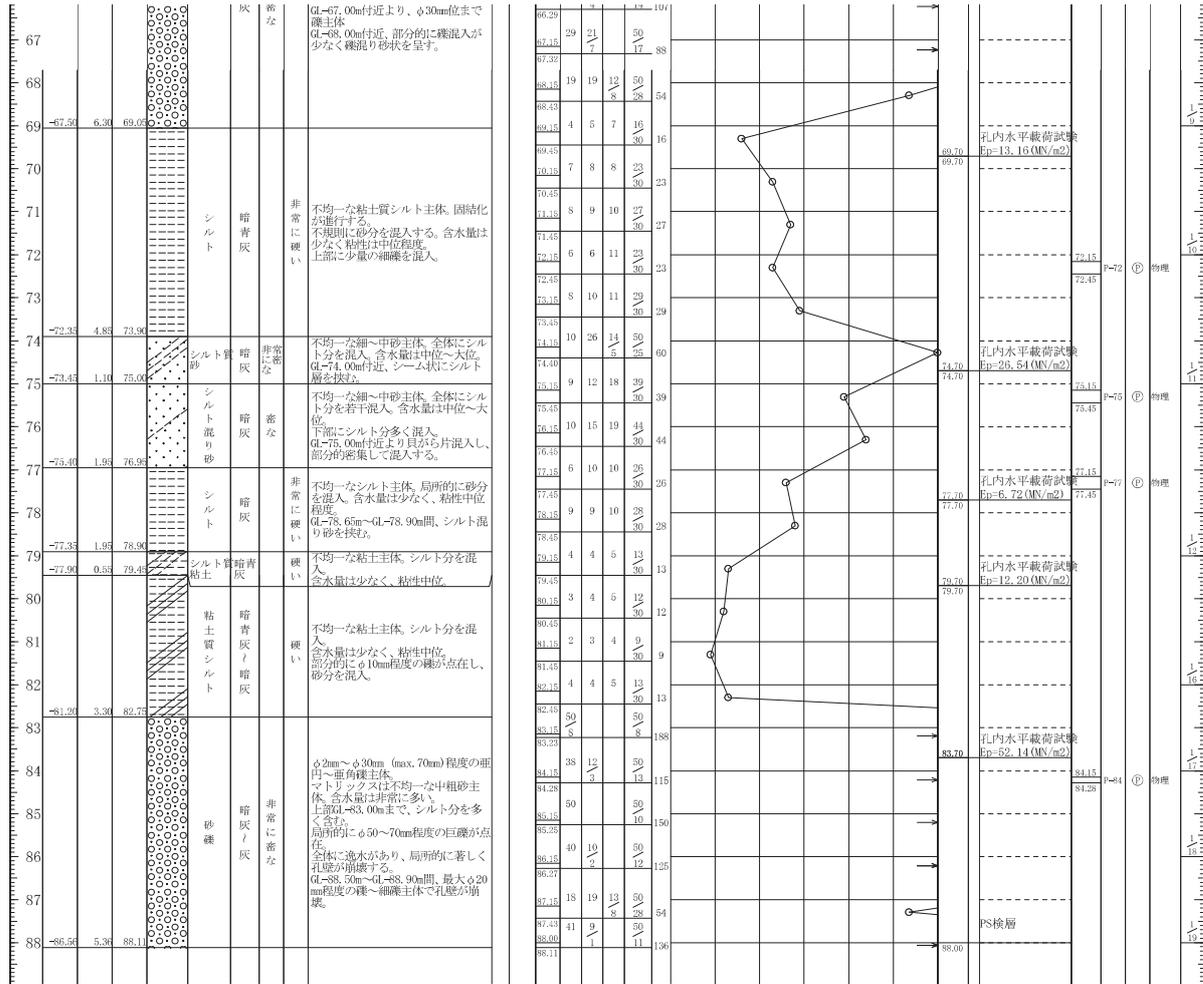
6.8	-66.71	11.24	67.00	砂礫	暗灰	非常な層に属する	高径約1.5m～中砂を主体、含水やや多い。
6.9	-67.36	9.45	68.50	砂	暗灰		
7.0	-66.71	6.90	70.40	シルト	青灰	非常に硬い	均質なシルトを主体、粘性中位、固結化している。含水少ない。
7.1				シルト	暗灰		
7.2	-70.81	1.80	72.35	シルト混り砂	暗灰	通常の粒径約1.5m～中砂を主体、全体はシルトをブロック状に混入する。有機物を少量混入する。GI-73.50m付近から貝殻片を混入する。下部はシルト分の混入が多く、シルト質砂を呈す。	
7.3							
7.4							
7.5							
7.6	-73.86	3.20	75.66		暗灰		均質なシルトを主体、粘性中位、GI-73.50～76.00m間、細砂を薄層状に混入する。珪石に有機物を混入する。含水少ない。
7.7							
7.8							GI-78.00～79.00m間は若干、細砂を混入。
7.9							
8.0	-78.71	4.90	80.40	シルト	青灰	硬い	
8.1							
8.2							
8.3	-81.21	2.50	82.95	砂質シルト	暗灰	非常に硬い	不均質なシルトを主体、粘性強い。細砂を全体に多く含む。含水中位。
8.4	-81.86	0.60	83.40				φ5～10mm程度の並目～並角礫を主体、最大粒径はφ40mm程度。マトリックスは中砂～粗砂を主体、玉石はコア長で最大140mm程度を確認。含水中位。GI-86.50m付近、過水大。
8.5							
8.6							
8.7							
8.8	-86.36	4.90	86.00	砂礫	暗灰	非常に硬い	φ5～30mm程度の並目～並角礫を主体、最大粒径はφ45mm程度。マトリックスは中砂～粗砂を主体、全体にシルト分を含む。含水多い。GI-88.10m以深、検層のための余剰り区間。
8.9	-87.36	1.10	88.10	砂礫	暗灰		GI-90.50m付近、過水大。
9.0							
9.1							
9.2	-90.86	3.50	92.60	砂礫	暗灰		GI-92.00m付近、過水大。
9.3							
9.4	-95.36	1.50	94.10	固結シルト	暗灰		
9.5							
9.6							
9.7							
9.8							
9.9							



( JR-83 )







( JR-84 )

ボーリング柱状図

調査名

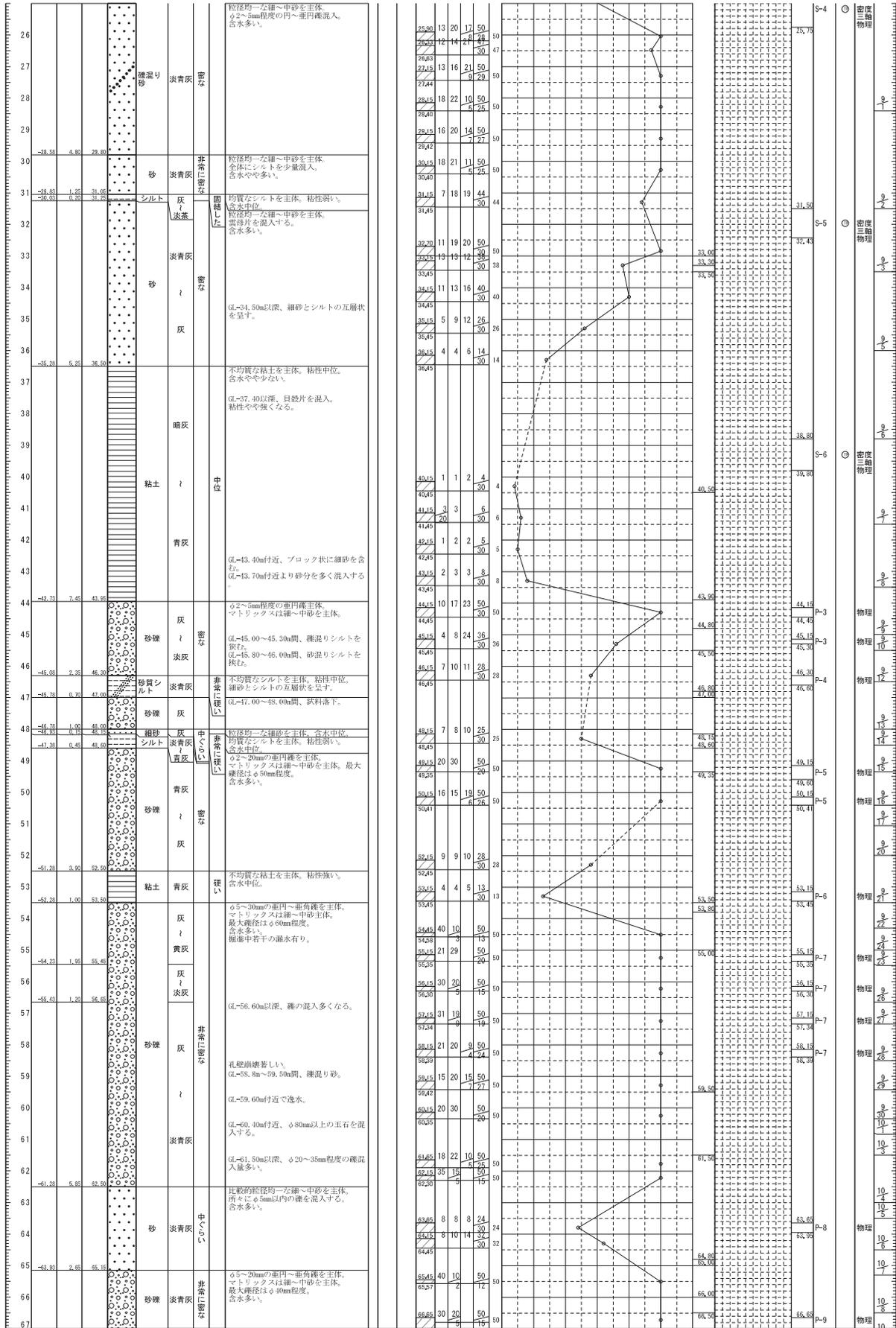
事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	調査位置			北緯	
発注機関	調査期間			東経	
調査業者名	主任技師		現場代理人	ボーリング責任者	
孔口標高	角	方	地盤勾配	使用機種	ハンマー
総掘進長	度	向	配	エンジン	ポンプ

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	記	地盤材料の工学的分類	標準貫入試験			原位置試験	試験及び結果	採取番号	採取方法	室内試験	掘進月日
												深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量						
0.00	0.70	0.70	0.70		黒	漆茶				表層0.1mまでアスファルト。φ5~30mm程度の塊状土。		0								
0.70	0.70	0.70	0.70		漆茶					比較的粘り強い中砂を主体。粘土を伴う。		1	1	1	3					
1.40	0.60	1.30	1.30		灰					下部粘り強い粘土を主体。粘性及び強い。全体に砂を含む。		2	1	1	3					
2.00	0.60	1.90	1.90		灰					比較的粘り強い粘中砂を主体。φ5mm以内の礫を含む所あり。含水多い。		3	1	1	3					
2.60	0.60	2.50	2.50		灰					GL-3.00mよりシルト分若干混入。		4	1	1	4					
3.20	0.60	3.10	3.10		砂							5	1	1	3					
3.80	0.60	3.70	3.70		暗灰					GL-5.50m~6.00m間、砂質シルト。		6	1	1	3					
4.40	0.60	4.30	4.30		暗灰							7	1	1	3					
5.00	0.60	4.90	4.90		暗灰					比較的粘り強い粘中砂を主体。φ5mm以内の礫を含む所あり。含水多い。		8	1	3	7					
5.60	0.60	5.50	5.50		暗灰							9	2	3	8					
6.20	0.60	6.10	6.10		砂							10	2	3	8					
6.80	0.60	6.70	6.70		灰							11	2	4	11					
7.40	0.60	7.30	7.30		乳灰					粘り強い粘中砂を主体。火山灰質土。含水少ない。		12	6	4	14					
8.00	0.60	7.90	7.90		乳灰					比較的粘り強い粘中砂を主体。粘土を伴う。火山灰質である。全体に細砂を含む。含水中~少ない。		13	6	7	19					
8.60	0.60	8.50	8.50		砂							14	6	7	19					
9.20	0.60	9.10	9.10		乳灰					比較的粘り強い粘中砂を主体。火山灰質である。含水中~少ない。		15	2	2	7					
9.80	0.60	9.70	9.70		乳灰							16	2	2	7					
10.40	0.60	10.30	10.30		灰					比較的粘り強い粘中砂を主体。火山灰質シルト。GL-13.85~14.00m間、火山灰質シルト。所々にシルト分混入する。		17	8	8	24					
11.00	0.60	10.90	10.90		灰							18	8	8	24					
11.60	0.60	11.50	11.50		灰					GL-15.50~16.00m間、火山灰質シルト。		19	4	4	12					
12.20	0.60	12.10	12.10		灰							20	4	4	12					
12.80	0.60	12.70	12.70		灰							21	9	8	27					
13.40	0.60	13.30	13.30		灰							22	9	8	27					
14.00	0.60	13.90	13.90		砂					GL-18.00~18.10m間、薄層で砂混りシルトを夾みする。		23	5	5	16					
14.60	0.60	14.50	14.50		灰							24	5	5	16					
15.20	0.60	15.10	15.10		灰							25	4	7	17					
15.80	0.60	15.70	15.70		灰							26	4	7	17					
16.40	0.60	16.30	16.30		灰							27	10	9	29					
17.00	0.60	16.90	16.90		灰							28	10	9	29					
17.60	0.60	17.50	17.50		灰							29	9	10	32					
18.20	0.60	18.10	18.10		青灰							30	9	10	32					
18.80	0.60	18.70	18.70		青灰							31	9	10	32					
19.40	0.60	19.30	19.30		青灰					GL-21.70m以深、火山灰質細砂。		32	12	18	50					
20.00	0.60	19.90	19.90		シルト					比較的均質なシルトを主体。粘性弱。固結状である。		33	12	18	50					
20.60	0.60	20.50	20.50		シルト					比較的均質なシルトを主体。粘性中位。全体に粘中砂を含む。含水多い。		34	20	30	40					
21.20	0.60	21.10	21.10		シルト							35	20	30	40					
21.80	0.60	21.70	21.70		青灰							36	2	2	7					
22.40	0.60	22.30	22.30		青灰					粘り強い粘中砂を主体。全体にシルトを少量混入。含水多い。		37	4	6	19					
23.00	0.60	22.90	22.90		砂							38	4	6	19					
23.60	0.60	23.50	23.50		砂							39	4	6	19					





( JR-85 )